

平成 31 年度

参 考

設計者	検算者	主査	参事	課長

津山圏域消防組合久米南分署新築工事 設計書

位置	久米南町	上弓削	地内
工種・事業量 消防分署 新築：鉄骨造平家建て 472.77㎡	本工事は、津山圏域消防組合から津山市に委託された業務である。		
	<b>入札設計書（見積参考資料）</b>		
	この入札設計書は、特記仕様書、仕様書、施工条件明示、図面、目的物の性能・規格、構造物等の設計計算書を除き見積参考資料として、入札参加者の迅速、適正かつ確かな工事費の見積りと積算の技術力向上のための一資料であり、請負契約上の拘束力を生じるものではない。		
	監督員	津山市 財政部 財産活用課（氏名）	曾和 卓弥
	<b>建設リサイクル法 対象外 工事</b>		
工事番号 H31 FM工第 号			

入札金額内訳書

1 工 事 名 津山圏域消防組合久米南分署新築工事

2 工事場所 久米南町 上弓削 地内

住所又は所在地

商号又は名称

代表者氏名

工 種	単位	金額(円)	摘 要
(A) 直接工事費	1式		I + II + III + IV
I 建築主体工事	1式		
II 外構工事	1式		
III 電気設備工事	1式		
IV 機械設備工事	1式		
(B)	1式		
(C)	1式		
(D)	1式		
工事価格			(A)+(B)+(C)+(D)

※ 上記工事価格と入札金額は、一致すること。

工 種	単 位	金額(円)	摘 要
I 建築主体工事			
1 直接仮設工事	1式		
2 土工事	1式		
3 地業工事	1式		
4 鉄筋工事	1式		
5 コンクリート型枠工事	1式		
6 鉄骨工事	1式		
7 ALC版工事	1式		
8 防水工事	1式		
9 タイル工事	1式		
10 木工事	1式		
11 屋根及び樋工事	1式		
12 金属工事	1式		
13 左官工事	1式		
14 吹付工事	1式		
15 金属製建具工事	1式		
16 木製建具工事	1式		
17 シャッター工事	1式		
18 ガラス工事	1式		
19 金属外装工事	1式		
20 塗装工事	1式		
21 内装工事	1式		
22 ユニット及びその他工事	1式		
小計	1式		1～22計



工 種	単 位	金 額(円)	摘 要
IV 機械設備工事			
1 空気調和設備	1式		
2 換気設備	1式		
3 衛生器具設備	1式		
4 給水設備	1式		
5 排水設備	1式		
6 給湯設備	1式		
7 ガス設備	1式		
8 衛生特殊設備	1式		
小計	1式		1～8計
小計	1式		

施工条件明示事項（特記仕様）		
工 程	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工期を厳守すること。</li> <li>② 工事の着手に先立ち、事前調査を十分に行い、施工計画書を作成すること。</li> <li>③ 入札決定後、早急に工程表を作成し、工事監督員・津山圏域消防組合と協議の後、工程を決定すること。</li> </ul>	
施 工 時 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 原則昼間施工とし、8：30～17：00 を厳守すること。</li> <li>② 地域の行事等、監督員・津山圏域消防組合の指示する日時は作業を中止すること。</li> </ul>	
用 地 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工事場所近接の民地所有者・隣接住民との協議を密にし、トラブルにならぬようにすること。</li> <li>② 工事車両については敷地内の指定する場所に駐車すること。駐車スペースの不足分は、請負業者にて確保すること。</li> </ul>	
環 境 対 策	騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 作業機械は、低騒音型及び排出ガス対策型とすること。</li> <li>② 騒音・粉塵等の発生に対して綿密な工法を計画し実施すること。</li> <li>③ 騒音に配慮し、ブレーカの使用は出来るだけ控えた工法を検討すること。</li> </ul>
	大気・排水	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 汚染された排水等が付近の川、側溝などへ流出しないよう注意のこと。</li> <li>② 粉じんを制御するため、散水等は十分注意すること。</li> </ul>
	周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 敷地への出入りに際し、前面道路を汚さぬよう留意すること。</li> <li>② 同じく敷地境界側溝コンクリート蓋、擁壁等を破損しないよう留意すること。</li> </ul>
安 全 対 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工事期間は、事前に工事予告板・工事看板を配置し、周辺への連絡・周知を徹底すること。</li> <li>② 材料搬出入時には車両通行・歩行者に注意して搬出入すること。</li> <li>③ 工事進入路等に敷き鉄板、土嚢等を敷き階段、水路・マンホール等の養生をすること。</li> <li>④ 周辺住民が工事エリア内に侵入できないよう、また動線が重ならないように仮設計画、安全対策をすること。</li> <li>⑤ 国道沿いの工事であるため、車両・歩行者の安全な通行を常に確保すること。</li> <li>⑥ 屋根上・足場上からの落下物等がないよう注意すること。</li> <li>⑦ 敷地前面道路付近工事の際、大型車両搬入の際には、片側交互通行とするなどし、交通誘導員を合計 30 人以上配置し施工を行うこと。</li> </ul>	
工 事 用 道 路	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 敷地内・周辺道路に関して安全対策を講じること。</li> <li>② 前面道路を使用する場合・通行制限を行う場合には、それに応じた届出書(警察署・久米南町へ各提出)を事前に作成し、各許可を得ること。</li> </ul>	
仮 設	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 近隣住宅・隣接敷地・公民館へ影響の出ないよう、仮設を検討すること。</li> <li>② 仮設水道・電気等は請負業者にて準備すること。</li> <li>③ 建物および付属する設備の試運転等、引き渡しまでの期間内の水道・光熱費はすべて請負業者の負担とする。</li> </ul>	

残土・廃棄物		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 工事等で生じた産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処分すること。</li> <li>② 建設リサイクル法を厳守し、分別解体及び特定建設資材の再資源化を行うこと。</li> <li>③ 場内に廃材を仮置きする場合は分別ボックスを設置し適切に分別すること。</li> <li>④ 事前に廃棄物処分計画書を提出し、承認を得た後、着工すること。</li> <li>⑤ 産業廃棄物におけるマニフェストシステムの実施を行い、工事完了時にE票の写し及び集計表を提出すること。</li> </ul>
支障物件	電 気	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 着工前に、中国電力と協議を行い、引込方向等必要に応じ適切な措置をとること。</li> <li>② 敷地境界上部を特別高圧線等複数の架空線が通っているため、留意し施工を行うこと。</li> </ul>
	ガ ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 着工前に、工事に支障ないか調査を行い、必要に応じ適切な措置をとること。</li> </ul>
	水 道	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 着手前に、久米南町建設水道課と協議を行い、必要な手続き・措置をとること。</li> </ul>
	電 話	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 着工前に、工事に支障ないか調査を行い、必要に応じ措置をとること。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 着工前に、工事に支障ないか調査を行い、必要に応じ措置をとること。</li> </ul>
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 敷地内外の工作物等を破損した場合は、無償で現状復旧をすること。</li> <li>② 施工中に工事対象外の部分に損害が発生した場合は、請負業者の責任において修理・弁償等の保証を行うこと。</li> <li>③ 原則、数量変更に伴う増減契約変更はしない。</li> <li>④ 運搬時、積載オーバーしないこと。</li> <li>⑤ 工事に伴う官公庁等の手続きは延滞なく請負業者で費用等を含め行うこと。</li> <li>⑥ 工事用車両の搬入ルート、各敷地・隣接建物の現状について、着手前に必ず現地確認のこと。</li> <li>⑦ 上下水道工事は津山市・久米南町の指定工事店による施工とし、着工前後の書類手続きを請負業者にて遅延なく行い、工期内に久米南町の所定の工事完了手続きを行うこと。</li> <li>⑧ 設計工期は約 7.5 ヶ月間とする。</li> <li>⑨ 請負業者は資材の調達にあたり、県内産建設資材、県内取扱店からの購入に努めること。</li> </ul>

工 費							
設計金額			(消費税額)				
			(消費税抜)				
工事内訳書							
名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	金 額		備 考
直接工事費		1.0	式				
共 通 費							
共通仮設費		1.0	式				
現場管理費		1.0	式				
一般管理費		1.0	式				
合 計 (工事価格)		1.0	式				
							消費税率(%)
消費税相当額		1.0	式				10.0%
総 合 計		1.0	式				

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
直接工事費						
I 建築主体工事		1.0	式			
II 外構工事		1.0	式			
III 電気設備工事		1.0	式			
IV 機械設備工事		1.0	式			
小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
I	建築主体工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	土工事		1.0	式			
3	地業工事		1.0	式			
4	鉄筋工事		1.0	式			
5	コンクリート型枠工事		1.0	式			
6	鉄骨工事		1.0	式			
7	ALC版工事		1.0	式			
8	防水工事		1.0	式			
9	タイル工事		1.0	式			
10	木工事		1.0	式			
11	屋根及び樋工事		1.0	式			
12	金属工事		1.0	式			
13	左官工事		1.0	式			
14	吹付工事		1.0	式			
15	金属製建具工事		1.0	式			
16	木製建具工事		1.0	式			
17	シャッター工事		1.0	式			
18	ガラス工事		1.0	式			
	(次項へ)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
	(前項より)						
19	金属外装工事		1.0	式			
20	塗装工事		1.0	式			
21	内装工事		1.0	式			
22	ユニット及びその他工事		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
1	直接仮設工事						
	敷鉄板	厚22、7ヶ月	36.0	m2			
	仮囲い;ガードフェンス+シート張り、H=1.8m	L=186m、7ヶ月	186	m			
	キャスターゲート(W=6.0、H=1.8)	7ヶ月	2.0	ヶ所			
	交通誘導警備員B		1.0	式			
	やりかた		1.0	式			
	隅出し	躯体、仕上げ共	1.0	式			
	養生	躯体、仕上げ共	1.0	式			
	清掃・片付け(施工中)		1.0	式			
	竣工時清掃		1.0	式			
	外部足場	枠組本足場(手摺先行)、W900、5ヶ月	1.0	式			
	昇降足場	階段、5ヶ月	1.0	式			
	地足場通路	足場板+手すり、2週間	1.0	式			
	内部足場(車庫以外)	脚立足場、並列、2ヶ月	1.0	式			
	内部足場(車庫)	ローリングタワー、2段、2ヶ月	1.0	式			
	垂直養生	メッシュシート張り、5ヶ月	1.0	式			
	竣工写真	専門家撮影	1.0	式			
	竣工調書		1.0	式			
	VOC測定	ホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン計5品目、7ヶ所採取	1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
2	土工事						
	根切り	つぼ、布堀 機械	293	m3			
	床付け		128	m2			
	盛土	根切り中良質土	23.6	m3			
	埋戻し	場内仮置き	182	m3			
	残土処分	場外任意処分 運搬費共	87.0	m3			
	重機回送費		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
3	地業工事						
	地盤改良工事	材料費、固化材 10%割増	41.0	t			
	〃	掘削費	185	m3			
	〃	造成費	185	m3			
	〃	管理装置損料	185	m3			
	〃	室内配合試験(事前)	1.0	式			
	〃	六価クロム溶出試験(事前)	1.0	検体			
	〃	モールドコア採取による圧縮試験	2.0	ヶ所			
	〃	重機部品運搬費	1.0	式			
	地盤改良に伴う残土処分	場外任意処分 運搬共	61.0	m3			
	碎石敷き(基礎下)	再生材	3.9	m3			
	碎石敷き(土間下)	再生材	46.2	m3			
	防湿シート(2重敷き)	ポチエチレンフィルム厚0.15	402	m2			
	土間下断熱材	フォームポリスチレン厚25 3種B	307	m2			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
4	鉄筋工事						
	異形棒鋼	D10、SD295A	2.21	t			
	〃	D13、SD295A	17.72	t			
	〃	D16、SD295A	1.52	t			
	〃	D19、SD345	0.49	t			
	〃	D22、SD345	0.11	t			
	〃	D25、SD345	6.61	t			
	鉄筋加工組立		27.56	t			
	鉄筋運搬費	30km程度、4t車	27.56	t			
	圧接費	D25-D25	208	ヶ所			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
5	コンクリート型枠工事						
	捨コンクリート	F-18・15・20	6.32	m3			
	// 打ち手間	シュート打ち	6.32	m3			
	基礎コンクリート	F-24・15・20	90.3	m3			
	// 打ち手間	ポンプ打ち	90.3	m3			
	土間コンクリート	F-24・15・20	95.7	m3			
	// 打ち手間	ポンプ打ち	95.7	m2			
	ポンプ圧送費		1.0	式			
	構造体強度補正		1.0	式			
	合板普通型枠		455	m2			
	打放し合板型枠	B種	51.9	m2			
	型枠運搬費	30km程度、4t車	507	m2			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
6	鉄骨工事						
①	主体鉄骨工事		1.0	式			
②	付帯鉄骨工事		1.0	式			
③	その他工事		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
①	主体鉄骨工事						
	コラム(BCR295)	□-300*300*12	1.42	t			
	〃	□-250*250*12	4.66	t			
	〃	□-150*150*9	0.17	t			
	H形鋼(SS400)	H-400*200*8*13	0.67	t			
	〃	H-350*175*7*11	3.31	t			
	〃	H-340*250*9*14	7.94	t			
	〃	H-300*150*6.5*9	2.99	t			
	〃	H-250*250*9*14	1.16	t			
	〃	H-250*125*6*9	2.50	t			
	〃	H-244*175*7*11	0.95	t			
	〃	H-200*100*5.5*8	0.41	t			
	〃	H-150*150*7*10	1.67	t			
	〃	H-150*75*5*7	0.57	t			
	〃	H-100*100*6*8	1.63	t			
	溝形鋼(SS400)	[-200*80*7.5*11	0.71	t			
	不等辺山形鋼(SS400)	L-125*90*10	0.92	t			
	〃	L-100*75*7*10	0.40	t			
	一般構造用角型鋼管 (STKR400)	□-100*100*2.3(胴縁)	3.56	t			
	〃	□-100*100*2.3	0.05	t			
	(次項へ)						

名称	種類・形状	数量	呼称	単価	計	備考
(前項より)						
一般構造用角型鋼管 (STKR400)	□-100*100*6	0.04	t			
リップ溝形鋼(SS400)	C-100*50*20*2.3(母屋)	3.73	t			
〃	C-100*50*20*2.3(胴縁)	1.50	t			
平鋼	FB-9*70	1.05	t			
鋼板(SN490C)	12≤t≤25	0.57	t			
鋼板(SS400)	t=16～19	0.24	t			
〃	t=9～12	1.64	t			
〃	t=6	0.27	t			
ブレース	M16	2.19	t			
ターンバックル		102	個			
アンカーボルト (ABR400)	M20、L=600	8.0	本			
アンカーボルト	M16、L=600	8.0	本			
〃	M16、L=450、フック付	21.0	本			
摩擦接合用高力ボルト (S10T)	M22、L=70	449	本			
〃	M22、L=60	112	本			
〃	M20、L=65	50.0	本			
〃	M20、L=60	416	本			
〃	M20、L=55	50.0	本			
〃	M20、L=50	241	本			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
〃	M20、L=45	27.0	本			
〃	M16、L=60	50.0	本			
〃	M16、L=55	33.0	本			
〃	M16、L=50	235	本			
〃	M16、L=45	352	本			
摩擦接合用高力ボルト (F8T)	M16、L=60	8.0	本			
工場製作費		35.1	t			
工場溶接費		1,107	m			
工場塗装費	鉛・クロムフリー錆止めペイント JIS K 5674 1回塗り	1,547	m2			
運搬費	50km程度	35.1	t			
特殊高力ボルト本締め		35.1	t			
アンカーボルト埋込み	A種	37.0	本			
現場検収立会費		35.1	t			
柱底無収縮モルタル	間柱、ホースリフター受柱部	9.0	ヶ所			
現場建て方費		35.1	t			
建て方重機費		1.0	式			
(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
②	付帯鉄骨工事						
	ベースパック	30-12V、材工共	2.0	ヶ所			
	〃	25-12V、材工共	12.0	ヶ所			
	〃	15-12V、材工共	1.0	ヶ所			
	胴縁、母屋工事		9.63	t			
	中ボルト	M16、L=140	239	本			
	〃	M16、L=40	816	本			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
③	その他工事						
	溶融亜鉛めっき処理	ホースリフター受鉄骨、HDZ55	1.98	t			
	// 運搬費		1.0	式			
	溶接部検査費	超音波探傷試験(自社検査)、第三者検査立会費共	1.0	式			
	鉄骨建て方足場	高所作業車、H=10m	1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
7	ALC版工事						
	間仕切タテカベパネル	厚100	74.0	m2			
	内部化粧コーキング	アクリル	74.0	m2			
	下地金物	L-50*50*6、基礎	12.0	m			
	〃	L-65*65*6、通し	33.0	m			
	〃	L-65*65*6、開口	24.0	m			
	荷揚げ及び場内運搬費		1.0	式			
	機械器具損料		1.0	式			
	発電機損料		1.0	式			
	板間ロックウール詰め		1.0	式			
	残材処理費		1.0	式			
	小口運賃		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
8	防水工事						
	シーリング(サッシ廻り)	変性シリコン、10*10	175	m			
	シーリング(外壁パネル縦目地)	変性シリコン、30*15	108	m			
	シーリング(外壁パネル横目地)	変性シリコン、10*10	13.8	m			
	シーリング(外壁サイディング部)	変性シリコン、10*10	25.2	m			
	シーリング(捨て笠木部)	変性シリコン、10*10	70.5	m			
	シーリング(屋根取合い部)	変性シリコン、10*10	91.2	m			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
9	タイル工事						
	床:磁器質タイル	150角	15.6	m2			
	床:磁器質タイル(ノンスリップ)	150角	3.7	m2			
	段鼻:磁器質タイル	150角	4.6	m			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
10	木工事						
	額縁	桧集成材、120*20	7.2	m			
	〃	桧集成材、150*20	104	m			
	引込み戸縦枠	桧集成材、168*40	22.7	m			
	〃	桧集成材、116*40	22.7	m			
	〃	桧集成材、78*25	22.7	m			
	引込み戸横額縁	桧集成材、93*25	18.0	m			
	引込み戸上枠	桧集成材、60*60	18.0	m			
	引込み戸上枠カバー	桧集成材、6*60	18.0	m			
	開き戸三方枠	桧集成材、110*40	14.7	m			
	見切り縁	桧集成材、20*25	8.5	m			
	化粧柱	桧、120*120、L=3.0m	0.48	m3			
	化粧半柱	桧、120*30、L=3.0m	0.01	m3			
	敷居	桧、120*45、L=2.2m	0.08	m3			
	鴨居	桧、120*45、L=2.2m	0.08	m3			
	框	桧、105*120、L=1.85m	0.15	m3			
	土台	桧、105*105、L=3.0m	0.17	m3			
	大引	桧、105*105、L=2.0m	0.40	m3			
	際根太	桧、45*45、L=2.0m	0.02	m3			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(前項より)						
畳寄せ	桧、30*60、L=3.0m	0.06	m3			
畳寄せ	桧、30*60、L=2.0m	0.02	m3			
構造用合板	厚28	20.0	枚			
鋼製束	城東テクノ、YM-2438L同等	26.0	ヶ所			
アンカーボルト	M12、L=300	15.0	本			
施工費		1.0	式			
釘、金物、接着剤		1.0	式			
防腐剤塗り		21.4	m2			
(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
11	屋根及び樋工事						
	<b>【大屋根】</b>						
	ヨドルーフ瓦棒400	着色ガルバニウム鋼板厚0.5、裏面発泡ポリスチレンフォーム厚4.0張り	342	m2			
	下葺ゴムアスルーフィング	厚1.0	342	m2			
	〃 木毛セメント板	厚25	342	m2			
	〃 エプロン	着色ガルバニウム鋼板製	27.4	m			
	〃 軒先化粧キャップ	着色ガルバニウム鋼板製	27.5	m			
	〃 軒先唐草	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	27.5	m			
	〃 ケラバ唐草	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	3.8	m			
	〃 壁取合水切り(水上)	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	27.4	m			
	〃 壁取合水切り(流方向)	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	27.0	m			
	〃 軒樋	パナソニックエアロアイアン前高165WIDE同等、SUS吊金具共	27.5	m			
	〃 落し口	塩ビ製自在ドレン、VP100用	5.0	ヶ所			
	〃 竪樋	VP100、カラー、SUS掴み金物共	18.4	m			
	〃 呼び樋	VP100、カラー、SUS掴み金物、エルボ、チーズ共、L=1300	1.0	ヶ所			
	〃 排水カバー	VP100用、カラー	4.0	ヶ所			
	<b>【車庫屋根】</b>						
	ヨドルーフ166ハゼ	着色ガルバニウム鋼板厚0.8、裏面フネンエース厚4.0	162	m2			
	〃 タイトフレーム		64.4	m			
	〃 妻用フレーム	@1000	28.0	ヶ所			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
// 水止面戸	着色ガルバニウム鋼板製	12.9	m			
// エプロン	着色ガルバニウム鋼板製	12.9	m			
// 軒先面戸	着色ガルバニウム鋼板製	12.9	m			
// 化粧フレーム	着色ガルバニウム鋼板製	12.9	m			
// 天井吊インサート		200	ヶ所			
// 軒先見切り	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	12.9	m			
// ケラバ包み	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	0.4	m			
// 取合水切り(水上)	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工、 棟板金具共	12.9	m			
// 取合水切り(流方向)	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	24.7	m			
// 軒樋	パナソニックエアロアイアン前高 165WIDE同等、SUS吊金具共	12.9	m			
// 落し口	塩ビ製自在ドレン、VP100用	2.0	ヶ所			
// 縦樋	VP100、カラー、SUS掴み金物、エル ゴ共、這樋含む	26.6	m			
(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
12	金属工事						
	100形 軽量鉄骨壁下地	450@	53.6	m2			
	〃 開口補強(三方補強)	1,200*2,000	1.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	800*2,000	1.0	ヶ所			
	100形 軽量鉄骨壁下地	300@	12.1	m2			
	65形 軽量鉄骨壁下地	300@	475	m2			
	〃 開口補強(三方補強)	2,000*2,500	1.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	1,200*2,000	2.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	1,000*2,000	2.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	800*2,000	12.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	900*2,000	1.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	1,600*2,000	1.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	700*2,000	1.0	ヶ所			
	〃 開口補強(三方補強)	450*2,000	1.0	ヶ所			
	19形 軽量鉄骨天井下地	300@	438	m2			
	〃 開口補強	450*450、ボード切込み共	15.0	ヶ所			
	屋内天井下地補強	19形、ふところ高1.5m～3.0m	18.9	m2			
	25形 軽量鉄骨天井下地	300@	49.0	m2			
	アルミ製ブラインドボックス	120*2,100、ツヅキ:ボックスストップ同等	6.0	ヶ所			
	アルミ製笠木	W=200、カラー	73.0	m			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
アルミ製笠木コーナー役物	W=200、カラー	5.0	ヶ所			
アルミ製下端見切り	W=70、カラー	17.1	m			
玄関アルミ製金属庇 (2,500*1,500)	ステンカラー堅樋(45角)、排水管カバー共、共和アルフィン AD-R同等	1.0	ヶ所			
通用口アルミ製金属庇 (600*1,000)	ステンカラー、共和アルフィン AF95同等	1.0	ヶ所			
窓アルミ製庇(2,000*300)	ステンカラー、共和アルフィン AF93同等	4.0	ヶ所			
小屋裏換気バンドキャップ	SUS製φ150、スーパーSlimフード8620SH・MLG同等	10.0	ヶ所			
スロープ手摺	SUS製、L=2.35m	1.0	ヶ所			
多目的WC手摺補強	PL-2.3、350*350	3.0	ヶ所			
SUS製面台	厚1.5、120*25、HL仕上	12.8	m			
SUS製框	厚1.5、50*100、HL仕上	3.9	m			
SUS製脊摺	厚2.0、40*20、HL仕上	11.5	m			
床脊摺	L-50・50・4、HL仕上、アンカー付	1.5	m			
〃	L-40・40・5、HL仕上、アンカー付	10.2	m			
竣工銘板	アクリル製、105*148	1.0	ヶ所			
館名文字	カラーSUS製箱文字、400*400	5.0	文字			
〃	カラーSUS製箱文字、200*200	8.0	文字			
スクリーンフック	SUSステンレスフックUJ	3.0	ヶ所			
(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
13	左官工事						
	外部						
	床:コンクリート金こて押え		54.1	m2			
	床:タイル下モルタル塗り		9.3	m2			
	巾木:コンクリート打放し全面補修		35.5	m2			
	スロープ縁:天端コンクリート押え	W=150	2.6	m			
	内部						
	床:コンクリート金こて押え		35.1	m2			
	床:タイル下モルタル塗り		9.1	m2			
	床:コンクリート均し		60.9	m2			
	床:セルフレベルング	厚10、セメント系	60.9	m2			
	巾木:コンクリート打放し全面補修		10.7	m2			
	巾木:モルタル金こて押え	H=200	15.2	m			
	土台下モルタル塗り	W=100	15.0	m			
	建具廻りモルタル充填	外部	13.6	m			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
14	吹付工事						
	複層塗材E	アクリルタイル、凸凹吹付、水系ウレタンつやあり	35.5	m2			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
15	金属製建具工事						
①	アルミ製建具工事		1.0	式			
②	スチール製建具工事		1.0	式			
③	移動間仕切壁工事		1.0	式			
④	トイレブース工事		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
①	アルミ製建具工事						
	AD-1	アルミ製片引きドア(自閉)片側ランマFIX窓、2,142.5*2,540	1.0	ヶ所			
	AD-2	アルミ製片引き自動ドア片側ランマFIX窓、2,000*2,540	1.0	ヶ所			
	AD-3	アルミ製片開き框戸、800*1,940	1.0	ヶ所			
	AD-4	アルミ製片開きフラッシュ戸、800*1,940	1.0	ヶ所			
	ADW-1	アルミ製片開きフラッシュ戸片袖引違い窓、1,770*1,940	1.0	ヶ所			
	AW-1	アルミ製引違い窓ランマ排煙外倒し窓、1,800*1,620	2.0	ヶ所			
	AW-2	アルミ製引違い段窓、1,800*1,620	2.0	ヶ所			
	AW-3	アルミ製引違い窓、900*1,020	1.0	ヶ所			
	AW-4	アルミ製引違い窓、900*1,020	1.0	ヶ所			
	AW-5	アルミ製片開き窓+FIX窓、600*1,620	6.0	ヶ所			
	AW-6	アルミ製出だし窓、400*420	1.0	ヶ所			
	AW-7	アルミ製片開き窓+FIX窓、600*1,620	2.0	ヶ所			
	AW-8	アルミ製引違い段窓、1,800*1,620	2.0	ヶ所			
	AW-9	アルミ製上げ下げ窓、600*1,020	1.0	ヶ所			
	AG-1	アルミ製固定ガラリ、1,350*1,020	1.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
オペレーター	AW-1、ワンタッチオペレーター	2.0	組			
エンジン装置	AD-2	1.0	組			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
②	スチール製建具工事						
	SD-1	スチール製片開きフラッシュ親子戸 (ガラリ付)、1,200*2,000	1.0	ヶ所			
	SD-2(防火設備)	スチール製片開きフラッシュ戸(ガラ リ付)、800*2,000	1.0	ヶ所			
	SPD-1(特定防火設備)	スチール製両開きフラッシュ戸(ファイ ヤードⅡ)、1,500*2,000	1.0	ヶ所			
	SPD-2	スチール製片開きフラッシュ戸、 900*2,000	1.0	ヶ所			
	SLD-1(特定防火設備)	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋 無)、2,732*2,000	1.0	ヶ所			
	工事費		1.0	式			
	搬入費		1.0	式			
	SLD-2	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋 無)、2,350*2,000	1.0	ヶ所			
	SLD-3	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋 無)、1,915*2,000	1.0	ヶ所			
	工事費		1.0	式			
	搬入費		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
③	移動間仕切壁工事						
	PT-1	スチール製パーティション、 1,200*2,700	1.0	ヶ所			
	施工費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
④	トイレブース工事						
	TB-1	トイレブース、、1,954*2,020	1.0	ヶ所			
	施工費		1.0	式			
	運搬搬入費		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
16	木製建具工事						
	WD-1	木製片引き框戸、975*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-2	木製片開きフラッシュ親子戸、 1,200*2,000	1.0	ヶ所			
	WD-3	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-4	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	2.0	ヶ所			
	WD-5	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-6	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-7	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-8	木製片開きフラッシュ戸、800*2,000	1.0	ヶ所			
	WD-9	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	2.0	ヶ所			
	WD-10	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-11	木製片引きフラッシュ戸、725*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-12	木製片引きフラッシュ戸、825*1,975	1.0	ヶ所			
	WD-14	木製片開きフラッシュ戸、 448.5*2,000	1.0	ヶ所			
	FD-1	3枚木製連動片引き戸フスマ、 2,200*2,000	5.0	ヶ所			
	金具代		1.0	式			
	運搬取付費		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
17	シャッター工事						
	SS-1	アルミ製バランスシャッター 1,500*1,950	1.0	ヶ所			
	工事費		1.0	式			
	搬入費		1.0	式			
	OS-1	アルミ製電動オーバースライダー 9,300*3,895	1.0	ヶ所			
	工事費		1.0	式			
	搬入費		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
18	ガラス工事						
	型板ガラス	厚4.0、100*100	4.0	枚			
	型板ガラス	厚4.0、60*1,400	9.0	枚			
	強化フロートガラス	厚5.0、～2㎡	3.7	m2			
	強化フロートガラス	厚5.0、～4㎡	6.4	m2			
	強化フロストガラス	厚5.0、625*1,775	1.0	枚			
	複層FL3+A12+FL3	～2㎡	20.6	m2			
	複層FL3+A12+F4	～0.2㎡	0.2	m2			
	複層FL3+A12+F4	～2㎡	3.9	m2			
	複層PW6.8+A6+FL3	～2㎡	0.9	m2			
	衝突防止マーク		24.0	ヶ			
	パネル施工費		1.0	枚			
	シーリング	6*6	446	m			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
19	金属外装工事						
	金属サンドイッチパネル横張り	アイジー断熱ヴァンドNZ35F同等、働き600、標準色、目地コーキング別途	365	m2			
	// 目地部フラットジョイナー	着色ガルバニウム鋼板製、	65.2	m			
	// 出隅	断熱NZ35F L型出隅、出隅捨板共	14.7	m			
	// 出隅	出隅角35N	3.4	m			
	// 入隅	入隅捨板35・50、着色ガルバニウム鋼板製	8.6	m			
	// 縦見切り	遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板厚0.5加工	32.9	m			
	// パラペット縦見切り	遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板厚0.5加工	4.9	m			
	// サッシ上端部納め	スターターNZ35S、アルミ押出型材	35.4	m			
	// サッシ下端部納め	フラッシング、ガルバニウム鋼板厚0.4加工	20.0	m			
	// サッシ側面納め	フラッシング、ガルバニウム鋼板厚0.4加工	73.0	m			
	// スターター	NZ35S、アルミ押出型材	95.2	m			
	// パネル下端切断加工	切断部補強下地共	15.5	m			
	// GL水切り	遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバニウム鋼板製	76.4	m			
	金属サイディング縦張り	KMEWシンプルシリーズ、スマートスパン柄(マンダリンオレンジ)	34.6	m2			
	// 透水防水シート		34.6	m2			
	// 通気胴縁	18*45	34.6	m2			
	// 出隅カバー	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	6.7	m			
	// 見切縁	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	13.4	m			
	// 端面カバー	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	9.3	m			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
〃 土台水切り	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	4.6	m			
金属サイディング縦張り	KMEWシンプルシリーズ、スマートスパ ン柄(メタリックブルー)	28.3	m2			
〃 透水防湿シート		28.3	m2			
〃 通気胴縁	18*45	28.3	m2			
〃 出隅カバー	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	6.7	m			
〃 見切縁	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	26.7	m			
〃 端面カバー	フッ素焼付塗装めっき鋼板厚0.35	6.7	m			
〃 土台水切り	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	3.7	m			
パラペット内壁	ヨドспан1F型目地なし、着色ガル バニウム鋼板厚0.5縦張り	47.8	m2			
〃 透水防湿シート		47.8	m2			
〃 出隅	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	0.5	m			
〃 入隅	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	1.7	m			
〃 廻り縁	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	5.0	m			
パラペット捨水切り	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	77.4	m			
物干し場天井取合い見切り	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	13.0	m			
軒天ヨドспан	ヨドспан1F型目地なし、着色ガル バニウム鋼板厚0.5	25.0	m2			
〃 下地ケイカル	厚6.0	25.0	m2			
〃 廻り縁	着色ガルバニウム鋼板厚0.5加工	30.0	m			
重機及び運搬費		1.0	式			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
鼻隠し	カラー繊維混入セメントケイカル押出成形板(H=210)	31.1	m			
〃 出隅役物	カラー繊維混入セメントケイカル押出成形板(H=210)	3.0	ヶ所			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
20	塗装工事						
	外部						
	合成樹脂エマルジョンペイント(EP)	ボード面、A種	24.6	m2			
	内部						
	現場錆止め塗装	JIS K 5674 A種	1,547	m2			
	合成樹脂調合ペイント(SOP)	鉄鋼面、B種	107	m2			
	クリアラッカー(CL)	木面、B種	43.4	m2			
	〃	木面(細巾)、B種	8.5	m			
	合成樹脂エマルジョンペイント(EP)	ボード面、A種	246	m2			
	〃	ALC面、A種	52.0	m2			
	ALC面シーラー処理	B種	52.0	m2			
	木材保護塗料塗り(WP)	木面、B種	3.5	m2			
	〃	木面(細巾)、B種	213	m			
	2液形ポリウレタン樹脂ワニス(2-UC)	木面、B種	3.6	m2			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
21	内装工事						
	F-1:複層ビニル床タイル	厚2.0、マーブル、300角、FT	72.5	m2			
	F-2:複層ビニル床シート	厚2.0、マーブル、FS	95.9	m2			
	F-3:OAフロア	調高強度軽量コンクリート製置敷タイプ 共同カテゴリー:ネットワークフロア40同等	60.9	m2			
	F-3:リ ボーダー		30.3	m			
	F-3:置敷ビニル床タイル	厚5.0、500角、FOA	60.9	m2			
	F-4:エポキシ樹脂系塗床	厚1.2、NS	18.1	m2			
	F-5:防塵塗床	コーティング工法	27.2	m2			
	F-7:畳敷き	厚55、建材畳	18.0	枚			
	F-8:プラ木レン	H=75、フクビプラ木レン同等	7.0	ヶ			
	F-8:プラ木レン	H=175、フクビプラ木レン同等	9.0	ヶ			
	F-8:パーティクルボード	厚20	4.4	m2			
	F-8:ラワン合板	厚5.5	4.4	m2			
	F-8:クッションフロア	厚1.8、KS	4.4	m2			
	床コンクリート目地切り	4*25	88.9	m			
	FW-1:ビニル巾木	H=75	208	m			
	FW-2:エポキシ樹脂系塗床 立上げ	H=200	3.1	m2			
	壁:石膏ボード(GB-R)	厚12.5	633	m2			
	壁:ビニルクロス張り	中級品	565	m2			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
壁:シナ合板	厚5.5	3.6	m2			
壁:マキシラン張り		3.6	m2			
壁:シージング石膏ボード (GB-S)	厚12.5	33.0	m2			
壁:化粧ケイカル板	厚6.0	74.8	m2			
壁:〃 コーナーガード	塩ビ製	2.2	m			
壁:ケイカル板二重張り	厚8.0+8.0	76.0	m2			
壁:不燃メラミン化粧板	厚3.0	6.7	m2			
壁:ラワン合板	厚5.5	5.0	m2			
外壁断熱材:グラスウール	厚50、24kg/m <sup>2</sup>	177	m2			
天井:石膏ボード(GB-R)	厚9.5	57.4	m2			
天井:ビニルクロス	中級品	57.4	m2			
天井:化粧石膏ボード(GB-D)	ジプトーン	204	m2			
天井:ケイカル板	厚6.0、底目	172	m2			
塩ビ製廻り縁	突付	399	m			
天井点検口(目地タイプ)	アルミ製、450*450	15.0	ヶ所			
天井断熱材:グラスウール	厚50、24kg/m <sup>2</sup>	322	m2			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
22	ユニット及びその他工事						
①	住設ユニット工事		1.0	式			
②	造作家具工事		1.0	式			
③	スチール製家具工事		1.0	式			
④	ホースリフター工事		1.0	式			
⑤	その他工事		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
①	住設ユニット工事						
	ユニットバス(1616)	TOTO:サザナHSシリーズNタイプ同等	1.0	セット			
	// 施工費		1.0	式			
	シャワーユニット(0812)	TOTO:シャワールーム0812Tタイプ同等	1.0	セット			
	// 施工費		1.0	式			
	システムキッチン(L=2,100)	TOTO:ミッテ同等	1.0	セット			
	// 施工費		1.0	式			
	ミニキッチン(L=1,200)	クリナップ:ミニキッチン(IH100V)扉仕様同等	1.0	セット			
	// 施工費		1.0	式			
	SUS製一槽シンク(L=1,500)		1.0	台			
	// 施工費		1.0	式			
	(小 小 計)						



	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
③	スチール製家具工事						
	防火衣ロッカー FRU-22N-S同等	1,315*2,100、材工共	4.0	台			
	ロッカー FRU-11N同等	612.5*2,100、材工共	2.0	台			
	洗面用具収納棚 MBT8-2T-S同等	2,580*1,650、材工共	1.0	セット			
	// MBT1-1T-S同等	336*1,325、材工共	1.0	台			
	ホース棚 SKH-2112同等	1,255*2,100、材工共	1.0	台			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
④	ホースリフター工事						
	ホースリフター FHD200型	消防ホース10本×2列、分割昇降式、材工共	1.0	セット			
	〃 揚重機費		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
⑤	その他工事						
	消火器ボックス(床置)	UFB-3F-307-PWH同等、10型消火器共	3.0	ヶ所			
	消火器ボックス(埋込)	UFB-1F-2720-PWH同等、10型消火器共	2.0	ヶ所			
	物干し金物	川口技研:ホスクリーンZP-104同等	2.0	ヶ所			
	室名札(平付)	パブリックサイン(200×50)同等	1.0	ヶ所			
	室名札(持出し、ピクト)	パブリックサイン(200×200)同等	1.0	ヶ所			
	少量危険物表示板		1.0	ヶ所			
	YB-1 アルミ製横型ブラインド	2,000*1,900、タチカワシルキー25ポール式同等	2.0	ヶ所			
	YB-2 アルミ製横型ブラインド	2,000*1,900、タチカワシルキー25ポール式同等	2.0	ヶ所			
	YB-3 アルミ製横型ブランド	1,700*1,900、タチカワシルキー25ポール式同等	2.0	ヶ所			
	YB-4 アルミ製横型ブランド	600*1,620、タチカワシルキー25ポール式同等	2.0	ヶ所			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
II	外構工事						
1	構内舗装工事		1.0	式			
2	囲障工事		1.0	式			
3	新設側溝工事		1.0	式			
4	既存水路蓋掛け工事		1.0	式			
5	サイン取付壁・植込み工事		1.0	式			
6	駐輪場工事		1.0	式			
7	フラッグポール工事		1.0	式			
8	非常用発電機基礎工事		1.0	式			
9	その他外構工事		1.0	式			
10	取壊し工事		1.0	式			
	小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
1	構内舗装工事						
	すき取り		52.4	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	52.4	m3			
	As-1:密粒度アスファルト舗装	A-5-15、再生材	839	m2			
	As-1:区画線引き	U形(W=100)、デルタマーキング、車いすマーク共	1.0	式			
	As-1:車止めブロック	再生ゴムチップ製	21.0	ヶ所			
	As-2:密粒度アスファルト舗装	A-8-25、再生材	209	m2			
	碎石敷き(B種)		574	m2			
	// 整地		574	m2			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
2	囲障工事						
	F-1:目隠しフェンス	H=1,200、朝日スチール工業:YW-1200-M同等	41.3	m			
	// 組立施工費	基礎ブロック(300*300*600)共	1.0	式			
	F-2:メッシュフェンス	H=1,200、朝日スチール工業:UN-A1200L-40同等	51.5	m			
	// 組立施工費	基礎ブロック(180*180*450)共	1.0	式			
	F-4:バリカーアーチ型コーナータイプ(固定式)	スチール製、φ60.5*H850	2.0	ヶ所			
	// 基礎工事		1.0	式			
	F-5:ソフトコーン	ウレタン製、φ80、H=650	2.0	ヶ所			
	// 施工費		1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
3	新設側溝工事						
	根切り	機械	17.7	m3			
	埋戻し	場内仮置き	6.6	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	11.2	m3			
	U形側溝	300A	55.0	m			
	// 底打ちモルタル		0.7	m3			
	// 底打ちモルタル打ち手間	カート打ち	0.7	m3			
	既存擁壁間均しコンクリート舗装	厚60	18.2	m2			
	集水桝	360*360*480、C種	1.0	ヶ所			
	排水管	VP150、エルボ、コア抜き共	1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
4	既存水路蓋掛け工事						
	既存側溝縁補強	差筋アンカー、D13	171	ヶ所			
	〃	異形棒鋼、D13	71.0	kg			
	〃	鉄筋加工組立	68.0	kg			
	〃	補強コンクリート、F-21・15	2.2	m3			
	〃	〃 打ち手間、カート打ち	2.2	m3			
	〃	合板普通型枠	17.0	m2			
	〃	天端コンクリート押え	34.1	m			
	M-1:コンクリートスラブ	T-2、厚100、W=1,000、L=1,000	13.0	枚			
	〃 施工費		1.0	式			
	M-2:ST製グレーチング	T-2、ノンスリップタイプ、かさ上げグレーチング、HXY-K8338A同等	4.0	m			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
5	サイン取付壁・植込み工事						
	根切り	機械	3.1	m3			
	埋戻し	発生土、付近仮置き土	1.7	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	1.4	m3			
	砕石敷き	再生材	0.40	m3			
	異形棒鋼	D13	117	kg			
	鉄筋加工組立		112	kg			
	捨コンクリート	F18・15	0.2	m3			
	〃 打ち手間	カート打ち	0.2	m3			
	壁・縁コンクリート	F21・15	1.6	m3			
	〃 打ち手間	カート打ち	1.6	m3			
	合板普通型枠		2.1	m2			
	合板打放し型枠		12.5	m2			
	天端コンクリート押え		9.3	m			
	撥水材塗り	フジワラ化学:ASガード、ASC-1工法同等	6.6	m2			
	合成樹脂エマルジョンペイント	コンクリート面	0.6	m2			
	サイン	カラーSUS箱文字	10.0	文字			
	客土	真砂土+バーク堆肥	3.9	m2			

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
ヒラドツツジ	W=1,000	4.0	本			
〃 植栽手間		4.0	本			
(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
6	駐輪場工事						
	根切り	機械	2.6	m3			
	埋戻し	発生土、付近仮置き土	1.6	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	1.0	m3			
	碎石敷き(基礎下)	再生材	0.2	m3			
	碎石敷き(土間下)	再生材	0.5	m3			
	異形棒鋼	D13	77.0	kg			
	鉄筋加工組立		74.0	kg			
	基礎コンクリート	F21・15	0.7	m3			
	// 打ち手間	カート打ち	0.7	m3			
	土間コンクリート	F21・15	0.8	m3			
	// 打ち手間	カート打ち	0.8	m3			
	合板普通型枠		4.4	m2			
	床:コンクリート直押え		7.2	m2			
	駐輪場ユニット	シコク:サイクルポートBLL-2750TG 同等、材工共	1.0	セット			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
7	フラッグポール工事						
	根切り	機械	2.8	m3			
	埋戻し	発生土、付近仮置き土	2.4	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	0.4	m3			
	碎石敷き(基礎下)	再生材	0.04	m3			
	基礎コンクリート	F21・15	0.4	m3			
	〃 打ち手間	カート打ち	0.4	m3			
	合板普通型枠		2.4	m2			
	フラッグポール	(株)サンポール:FP-9U同等、材工共	1.0	基			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
8	非常用発電機基礎工事						
	根切り	機械	0.4	m3			
	埋戻し	発生土、付近仮置き土	0.1	m3			
	残土処分	場外任意処分(運搬費共)	0.3	m3			
	砕石敷き(土間下)	再生材	0.20	m3			
	異形棒鋼	D13	16.3	kg			
	鉄筋加工組立		16.3	kg			
	基礎コンクリート	F21・15	0.3	m3			
	〃 打ち手間	カート打ち	0.3	m3			
	合板普通型枠		1.2	m2			
	コンクリート直押え		1.3	m2			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
9	その他外構工事						
	既存道路側溝:コンクリート 縁補修	L=2.6m	1.0	式			
	既存間地ブロック擁壁天端 補修	L=21.1m	1.0	式			
	既存擁壁ブロック補修	積直し補修	1.0	式			
	(小 小 計)						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
10	取壊し工事						
	既存RC縁取壊し	200*200	14.4	m			
	既存暗渠取壊し	ヒューム管 φ400	26.8	m			
	既存暗渠撤去後穴埋め	既存道路側溝(VS)の穴埋め	1.0	ヶ所			
	既存側溝蓋(RCスラブ)取壊し	W900	3.0	m			
	既存RC側溝縁天端研り	200*200	51.5	m			
	// カッター入れ		206	m			
	集積・積込(コンクリートガラ)		4.3	m3			
	運搬費(コンクリートガラ)	c	4.3	m3			
	処分費(コンクリートガラ)		9.8	t			
	(小 小 計)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
Ⅲ 電気設備工事						
1 幹線動力設備工事		1.0	式			
2 電灯コンセント設備工事		1.0	式			
3 弱電設備工事		1.0	式			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
1	幹線動力設備工事						
	電線	EM-IE 8	12.0	m			
	〃	EM-IE 14	10.0	m			
	ケーブル	CE 3.5-4c 隠蔽	7.0	m			
	〃	CE 5.5-4c 隠蔽	105	m			
	〃	CEE 2-4c 隠蔽	7.0	m			
	〃	CE 3.5-4c 管内	2.0	m			
	〃	CE 5.5-4c 管内	38.0	m			
	〃	CET 22 管内	12.0	m			
	〃	CET 60 管内	12.0	m			
	〃	CET 22 FEP管内	18.0	m			
	〃	CET 60 FEP管内	18.0	m			
	〃	CEE 2-4c FEP管内	2.0	m			
	電線管	PF(22) 隠蔽	2.0	m			
	〃	E (25) 塗装 露出	2.0	m			
	〃	E (31) 塗装 露出	10.0	m			
	〃	ZGP(28) 露出	28.0	m			
	〃	ZGP(42) 露出	12.0	m			
	〃	ZGP(54) 露出	12.0	m			
	〃	VE(16) 露出	2.0	m			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
電線管	VE(22) 埋設	8.0	m			
〃	FEP(50) 埋設	36.0	m			
〃	FEP(80) 埋設	18.0	m			
ノーマルベンド	ZGP(28)	6.0	個			
〃	ZGP(42)	1.0	個			
〃	ZGP(54)	1.0	個			
エントランスキャップ	ZGP(42)	1.0	個			
〃	ZGP(54)	1.0	個			
接続材	24 ビニル被覆	1.0	本			
〃	30 ビニル被覆	7.0	本			
〃	50 ビニル被覆	1.0	本			
〃	63 ビニル被覆	1.0	本			
ボックス類	埋込 SW1個用 樹脂製	1.0	個			
〃	露出丸2方出 E25	1.0	個			
プルボックス	200x200x100 SUS	1.0	個			
〃	200x200x100 WP SUS	1.0	個			
〃	300x300x200 WP SUS	2.0	個			
押釦スイッチ		1.0	個			
引込開閉器盤	LM-0	1.0	面			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
分電盤	LM-1 小型パターン・グループ認定機含む	1.0	面			
コンクリート柱	10-19-350 根架共 建柱車	1.0	本			
装柱材		1.0	式			
ハンドホール	HH2-9 R8K	2.0	個			
	セパレータ	2.0	個			
警報盤	5窓	1.0	個			
配管ブロック	SUS W=150	6.0	個			
防火区画貫通処理		1.0	ヵ所			
接地材	棒 φ14 L1500	3.0	本			
接地理設表示板	黄銅製	2.0	枚			
掘方埋戻し費	w=1m h=0.6m L=2m	1.0	式			
	w=1m h=0.6m L=10m	1.0	式			
	w=1m h=0.6m L=6m	1.0	式			
残土	場内敷き均し	1.0	式			
埋設表示シート	ダブル	10.0	m			
埋設標示柱	コンクリート製	3.0	本			
接続費	7.5kw以下	8.0	ヵ所			
高所作業車	12m	1.0	日			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
2	電灯コンセント設備工事						
	電線	EM-IE 1.6	102.0	m			
	〃	EM-IE 2.0	2.0	m			
	〃	EM-IE 5.5	11.0	m			
	〃	EM-IE 8	1.0	m			
	ケーブル	EEF 1.6-2c 隠蔽	243	m			
	〃	EEF 1.6-3c 隠蔽	194	m			
	〃	EEF 2.0-2c 隠蔽	130	m			
	〃	EEF 2.0-3c 隠蔽	514	m			
	〃	CE 14-2c 隠蔽	9.0	m			
	〃	CE 22-2c 隠蔽	30.0	m			
	〃	CEE 1.25-5c 隠蔽	15.0	m			
	〃	EM-AE 1.2-2c 隠蔽	56.0	m			
	〃	EEF 1.6-3c 管内	32.0	m			
	〃	EEF 2.0-3c 管内	21.0	m			
	〃	CE 5.5-2c 管内	5.0	m			
	〃	CE 22-2c 管内	11.0	m			
	〃	CEE 1.25-5c 管内	6.0	m			
	〃	EEF 1.6-2c PF内	54.0	m			
	〃	EEF 1.6-3c PF内	74.0	m			
	(事項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
ケーブル	EEF 2.0-3c PF内	73.0	m			
〃	CE 14-2c PF内	3.0	m			
〃	EM-AE 1.2-2c PF内	20.0	m			
〃	CE 5.5-2c FEP内	97.0	m			
電線管	PF (16) 隠蔽	186	m			
〃	PF (22) 隠蔽	11.0	m			
〃	PF (28) 隠蔽	3.0	m			
〃	E (19) 隠蔽	49.0	m			
〃	ZGP(16) 露出	2.0	m			
〃	ZGP(22) 露出	3.0	m			
〃	ZGP(36) 露出	5.0	m			
〃	E (19) 塗装 露出	37.0	m			
〃	E (25) 塗装 露出	16.0	m			
〃	VE (16) 露出	1.0	m			
〃	ZGP(22) 埋設	3.0	m			
〃	ZGP(36) 埋設	6.0	m			
〃	HIVE(22) 埋設	5.0	m			
〃	FEP(30) 埋設	18.0	m			
〃	FEP(50) 埋設	97.0	m			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
シーリングフィッティング	横 G16	1.0	個			
ボックス	SB 1個用 樹脂製	19.0	個			
ボックス	SB 2個用 樹脂製	8.0	個			
〃	OB 中浅型 樹脂製	131	個			
〃	OB 中深型 樹脂製	3.0	個			
〃	露出SB 1個用 1方出 E19	3.0	個			
〃	露出丸 2方出 E19	1.0	個			
〃	露出丸 3方出 E25	2.0	個			
プルボックス	150x150x100 SUS	2.0	個			
スイッチ	1P15Ax1 金属P共	3.0	個			
〃	1P15Ax2 金属P共	1.0	個			
〃	1P15ALx1 金属P共	3.0	個			
〃	1P15Ax1+15ALx1 金属P共	4.0	個			
〃	3W15Ax1 金属P共	1.0	個			
〃	3W15Ax1 WP	1.0	個			
〃	1P15Ax1+TM 金属P共	1.0	個			
コンセント	2P15Ax2 金属P共	16.0	個			
〃	2P15AEx2 金属P共	22.0	個			
〃	2P15AEx2+ET 金属P共	18.0	個			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
コンセント	2P20AEx1 兼用型 金属P共	1.0	個			
〃	2P15AEx2+ET WP	6.0	個			
〃	WK4104K	3.0	個			
〃	2P15AE OAフロア	6.0	個			
〃	2P15Ax1 可動間仕切り用	6.0	個			
露出コンセント	2P15AEx2 抜け止め	4.0	個			
リモコンスイッチ	1L 金属P共	9.0	個			
〃	2L 金属P共	2.0	個			
〃	3L 金属P共	2.0	個			
〃	6L 金属P共	1.0	個			
〃	8L 金属P共	2.0	個			
〃	24L 金属P共	1.0	個			
プレート	ハトメプレート 金属製	1.0	個			
〃	大穴プレート 金属製	1.0	個			
防雨入線カバー		1.0	個			
支給品スイッチ取付	換気スイッチ 強弱付き	5.0	個			
自動点滅器	100v3A リード線	1.0	個			
人感センサー	換気扇連動 親機 天井埋込型	2.0	個			
〃	親機 天井埋込型	1.0	個			
(次項へ)						

名称	種類・形状	数量	呼称	単価	計	備考
(前項より)						
〃	換気扇連動 子機 天井埋込型	1.0	個			
照明器具	A	15.0	台			
〃	AG	3.0	台			
〃	B	13.0	台			
〃	C1	3.0	台			
〃	C2	4.0	台			
〃	E	12.0	台			
〃	F	4.0	台			
〃	G	24.0	台			
〃	H	2.0	台			
〃	I	1.0	台			
〃	J	5.0	台			
〃	K	2.0	台			
〃	L	1.0	台			
〃	M	1.0	台			
〃	N 基礎共	1.0	台			
〃	O	1.0	台			
照明器具O取付工事費	高所作業車共	1.0	式			
ハンドホール	HH1-6 R8K	3.0	個			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
コンクリート柱	8-14-200 根架共 建柱車	1.0	本			
掘方埋戻し	w=0.4 h=0.6 L=27	1.0	式			
〃	w=0.4 h=0.6 L=3	1.0	式			
〃	w=0.4 h=0.6 L=10	1.0	式			
〃	w=0.4 h=0.6 L=22	1.0	式			
〃	w=0.4 h=0.6 L=3.2	1.0	式			
〃	w=0.5 h=0.3 L=2	1.0	式			
残土	場内敷き均し	1.0	式			
埋設表示シート	ダブル	66.0	m			
埋設標示柱		9.0	本			
防火区画貫通処理		1.0	ヵ所			
接地材	棒φ14 L1500 D種	2.0	本			
接地埋設表示板	黄銅製	1.0	枚			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
3	弱電設備工事						
	電線	IE 2.0	2.0	m			
	〃	IE 5.5	9.0	m			
	導入線	1.2mm	94.0	m			
	ケーブル	EM-AE 1.2-2c 隠蔽	46.0	m			
	〃	EM-AE 1.2-3c 隠蔽	127	m			
	〃	MEE-S 0.75-2c 隠蔽	51.0	m			
	〃	EM-UTP 4P 隠蔽	52.0	m			
	〃	EM-EBT 0.4-2p 隠蔽	153	m			
	〃	EM-S-5C-FB 隠蔽	53.0	m			
	〃	10D-FB 隠蔽	31.0	m			
	〃	EM-AE 1.2-3c 管内	17.0	m			
	〃	MEE-S 0.75-2c 管内	10.0	m			
	〃	EM-UTP 4P 管内	5.0	m			
	〃	10D-FB 管内	14.0	m			
	〃	EM-AE 1.2-2c PF内	3.0	m			
	〃	EM-AE 1.2-3c PF内	9.0	m			
	〃	EM-UTP 4P PF内	12.0	m			
	〃	EM-EBT 0.4-2p PF内	16.0	m			
	〃	MEE-S 0.75-2c PF内	3.0	m			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
ケーブル	10D-FB PF内	3.0	m			
〃	EM-S-5C-FB PF内	7.0	m			
電線管	PF(16) 隠蔽	59.0	m			
〃	PF(22) 隠蔽	3.0	m			
〃	PF(28) 隠蔽	64.0	m			
〃	E(19) 隠蔽	20.0	m			
〃	ZGP(28) 露出	44.0	m			
〃	E(19) 露出	6.0	m			
〃	VE(16) 露出	11.0	m			
〃	FEP(30) 埋設	66.0	m			
ノーマルバンド	ZGP(28)	4.0	個			
エントランスキャップ	GP(28)	4.0	個			
接続材	30 ビニル被覆	4.0	本			
ボックス	SB 1個用	8.0	個			
〃	OB中浅型	37.0	個			
〃	OB大深型	1.0	個			
〃	露出丸2方出 E19	2.0	個			
プルボックス	200x200x100 WP SUS	1.0	個			
直列ユニット	末端	3.0	個			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
ATT		6.0	個			
人感センサー		1.0	個			
TELモジュラジャック	壁面	10.0	個			
TELモジュラジャック	OAフロア	3.0	個			
LANモジュラジャック	OAフロア	3.0	個			
入線カバー	OAフロア	1.0	個			
プレート	カバー 金属製	5.0	個			
〃	ハトメプレート	4.0	個			
〃	大穴プレート	2.0	個			
防雨入線カバー		3.0	個			
分配器	4分配	1.0	個			
増幅器	33/43db共用型	1.0	個			
平面アンテナ	20素子 垂直偏波用	1.0	個			
火災警報器	煙 親器	1.0	個			
〃	煙 子器	6.0	個			
〃	熱 子器	1.0	個			
スピーカ	天井埋込型	4.0	個			
〃	天井埋込型 Att付き	12.0	個			
〃	天井埋込型 防滴型	2.0	個			
(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
(前項より)						
スピーカ	ホーン型スピーカ	3.0	個			
非常呼び出し釦		1.0	個			
表示灯		1.0	個			
解除ボタン		1.0	個			
非常呼び出し装置	1窓	1.0	個			
チャイムユニット		1.0	個			
リレーユニット		1.0	個			
アンプ		1.0	個			
アクセスポイント収納箱		1.0	個			
端子盤	T-0	1.0	個			
〃	T-1	1.0	個			
複合盤		1.0	個			
防火区画貫通処理		1.0	ヵ所			
接地材	棒 φ14 L1500	1.0	本			
接地埋設表示板	黄銅製	1.0	枚			
小 小 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
IV	機械設備工事						
	(科目別内訳)						
1	空気調和設備		1.0	式			
2	換気設備		1.0	式			
3	衛生器具設備		1.0	式			
4	給水設備		1.0	式			
5	排水設備		1.0	式			
6	給湯設備		1.0	式			
7	ガス設備		1.0	式			
8	衛生特殊設備		1.0	式			
	M 直接工事費計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
IV	機械設備工事						
	(中科目別内訳)						
1	空気調和設備	(1) 機器設備	1.0	式			
		(2) ダクト設備	1.0	式			
		(3) 配管設備	1.0	式			
	1. の 計						
2	換気設備	(1) 機器設備	1.0	式			
		(2) ダクト設備	1.0	式			
		(3) 油通気配管設備	1.0	式			
	2. の 計						
3	衛生器具設備		1.0	式			
	3. の 計						
4	給水設備	(1) 屋内給水設備	1.0	式			
		(2) 屋外給水設備	1.0	式			
	4. の 計						
5	排水設備	(1) 屋内排水設備	1.0	式			
		(2) 屋外排水設備	1.0	式			
	5. の 計						
6	給湯設備		1.0	式			
	6. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼 称	単 価	計	備 考
7	ガス設備		1.0	式			
	7. の 計						
8	衛生特殊設備	スーパー次亜水	1.0	式			
	8. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
1	空気調和設備						
(1)	機器設備						
	パッケージエアコン	ACP-1 CK-4 C=10.0kW H=11.2kW 付属品一式	1.0	台			
	パッケージエアコン	ACP-2 CK-4 C=7.1kW H=8.0kW 付属品一式	2.0	台			
	パッケージエアコン	ACP-3 CK-4 C=4.5kW H=5.0kW 付属品一式	1.0	台			
	パッケージエアコン	ACP-4 CK-4 C=4.0kW H=4.5kW 付属品一式	1.0	台			
	パッケージエアコン	ACP-5 CIS C=5.6kW H=6.3kW 付属品一式	2.0	台			
	ルームエアコン	ACR-1 WR C=2.2kW H=2.5kW 付属品一式	1.0	台			
	屋外機基礎		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	試運転調整費		1.0	式			
	(1) の 小計						
(2)	ダクト設備						
	スパイラルダクト	低圧 φ200	16.0	m			
	フレキシブルダクト	φ200 保温付	6.0	本			
	吹出口ボックス	亜鉛鉄板 板厚0.5mm	4.0	m <sup>2</sup>			
	多層コーン吹出口	E2 #20 SED付	1.0	個			
	保温	消音内貼共	1.0	式			
	(2) の 小計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(3)	配管設備						
	冷媒用被覆銅管	φ 6.4 保温厚8mm	60.0	m			
	冷媒用被覆銅管	φ 9.5 保温厚8mm	58.0	m			
	冷媒用被覆銅管	φ 9.5 保温厚20mm	5.0	m			
	冷媒用被覆銅管	φ 12.7 保温厚20mm	55.0	m			
	冷媒用被覆銅管	φ 15.9 保温厚20mm	58.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 25 接着接合 屋内一般	17.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 40 接着接合 屋内一般	50.0	m			
	床上掃除口	COA50	1.0	個			
	冷媒管外装		1.0	式			
	保温		1.0	式			
	屋内外連絡配線		1.0	式			
	リモコン配線		1.0	式			
	スリーブ		1.0	式			
	(3) の 小計						
	1. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
2	換気設備	(細目別内訳)					
(1)	機器設備						
	全熱交換ユニット	HEU-1 260m <sup>3</sup> /h×84Pa 24H換気 付属品一式	1.0	台			
	全熱交換ユニット	HEU-2 240m <sup>3</sup> /h×64Pa 24H換気 付属品一式	3.0	台			
	全熱交換ユニット	HEU-3 50m <sup>3</sup> /h×8Pa 24H換気 付属品一式	1.0	台			
	天井埋込換気扇	FEV-2 380m <sup>3</sup> /h×119Pa 付属品一式	2.0	台			
	天井埋込換気扇	FEV-3 180m <sup>3</sup> /h×21Pa 付属品一式	1.0	台			
	天井埋込換気扇	FEV-4 140m <sup>3</sup> /h×66Pa 付属品一式	2.0	台			
	天井埋込換気扇	FEV-5 60m <sup>3</sup> /h×16Pa 付属品一式	3.0	台			
	天井埋込換気扇	FEV-7 180m <sup>3</sup> /h×73Pa 付属品一式	1.0	台			
	バンドキャップ	FEV-1用 φ150	2.0	個			
	バンドキャップ	FEV-6用 φ100	2.0	個			
	有圧換気扇	FEV-8 6,000m <sup>3</sup> /h×47Pa 付属品一式	1.0	台			
	(1) の 小計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(2)	ダクト設備						
	スパイラルダクト	(低圧)φ100	52.0	m			
	スパイラルダクト	(低圧)φ150	80.0	m			
	フレキシブルダクト	φ100 保温なし	8.0	本			
	フレキシブルダクト	φ150 保温なし	9.0	本			
	フレキシブルダクト	φ100 保温付	1.0	本			
	フレキシブルダクト	φ150 保温付	4.0	本			
	長方形ダクト	亜鉛鉄板 板厚0.6mm	2.0	m <sup>2</sup>			
	ボックス	亜鉛鉄板 板厚0.8mm	13.0	m <sup>2</sup>			
	スリット型吸込口	600×1,000H	1.0	個			
	点検口	600×600 保温付	1.0	個			
	保温	消音内貼共	1.0	式			
	(2) の 小計						
(3)	油通気配管設備						
	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP 100A ねじ接合 屋内一般	6.0	m			
	ファンベント	FV-1	1.0	台			
	防火ダンパー	φ100	1.0	個			
	塗装		1.0	式			
	(3) の 小計						
	2. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
3	衛生器具設備	(細目別内訳)					
	フラッシュタンク腰掛便器	CFS497BY TCF5523AUS YH701 同等品 付属品一式	1.0	組			
	フラッシュタンク腰掛便器	CFS497BY TCF586AUS YH701 同等品 付属品一式	1.0	組			
	小便器	UFH500 TG600PN 同等品 付属品一式	2.0	組			
	洗面器	L250D T6PM1 同等品 付属品一式	1.0	組			
	洗面器	L250D TENA40A T6PM1 同等品 付属品一式	1.0	組			
	洗面器	L210D TENA40A T6PM1 同等品 付属品一式	1.0	組			
	洗面器	LSA125AA 同等品 付属品一式	1.0	組			
	洗面化粧台	LDA0756BERA LMA750D 同等品 付属品一式	1.0	組			
	汚物流し	SKL330HNFP 同等品 付属品一式	1.0	組			
	化粧鏡	YM4560A 同等品	3.0	枚			
	化粧鏡	YM3580AC 同等品	1.0	枚			
	洗濯機パン	PWSP80E2W 同等品 付属品一式	3.0	組			
	手すり	T112CLS-VTOKU 同等品 付属品一式	1.0	組			
	手すり	T112HK7 同等品 付属品一式	1.0	組			
	台下電気温水器	REW12A1B1HSCM 同等品 付属品一式	1.0	台			
	ハンドドライヤー	TYC320W 同等品	1.0	台			
	シングルレバー混合栓	TKSO5311J 同等品	1.0	個			
	横水栓(洗濯機用)	TW11GR 同等品	3.0	個			
	横水栓(キー式)	T28AKUH13 カップリング 同等品	3.0	個			
	(次項へ)						

名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(前項より)						
散水栓	T28UNH13 (ボックスB-3共) 同等品	2.0	個			
アングル止水栓	TL347CU 同等品	2.0	個			
不凍水栓柱	D-XIII 20mm×13mm×1.2m 同等品 付属品一式	2.0	個			
化粧プラグ	13- T1286 同等品	1.0	個			
3. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
4	給水設備	(細目別内訳)					
(1)	屋内給水設備						
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 20 拡管接合 屋内一般	5.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 40 拡管接合 屋内一般	31.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 20 拡管接合 機械室・便所	73.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 25 拡管接合 機械室・便所	13.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 30 拡管接合 機械室・便所	6.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼鋼管	Su 40 拡管接合 機械室・便所	3.0	m			
	硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VD 40A 管端防食 屋内一般	5.0	m			
	青銅ボール弁	20A 10K	6.0	個			
	青銅仕切弁	40A 10K	2.0	個			
	青銅逆止弁	20A 10K	1.0	個			
	フレキシブルジョイント	20A×300L	5.0	個			
	凍結防止ヒータ	配管用 1m	3.0	個			
	保温		1.0	式			
	スリーブ		1.0	式			
	(1) の 小計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(2)	屋外給水設備						
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 20 接着接合 地中埋設	84.0	m			
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 25 接着接合 地中埋設	11.0	m			
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 40 接着接合 地中埋設	12.0	m			
	青銅仕切弁	20A 10K	1.0	個			
	青銅仕切弁	40A 10K	1.0	個			
	弁柵	VC-P	1.0	組			
	弁柵	VC-1	1.0	組			
	量水器取付	25mm 貸与品	1.0	個			
	伸縮止水栓	副栓付 25mm	1.0	個			
	量水器柵	MC-1	1.0	組			
	地中埋設標	鋳	16.0	個			
	埋設標識テープ		107	m			
	既設配管接続		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	(2) の 小計						
	4. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
5	排水設備	(細目別内訳)					
(1)	屋内排水設備						
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 20 接着接合 屋内一般	5.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管(通気)	VP 75 接着接合 屋内一般	14.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 40 接着接合 機械室・便所	20.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 50 接着接合 機械室・便所	38.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 75 接着接合 機械室・便所	15.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 100 接着接合 機械室・便所	23.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管(通気)	VP 40 接着接合 機械室・便所	17.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管(通気)	VP 50 接着接合 機械室・便所	8.0	m			
	流し排水金物	T14AV-40	1.0	個			
	掃兼ドレン	CODD-50	1.0	個			
	掃兼ドレン	CODD-80	1.0	個			
	床上掃除口	COA50	1.0	個			
	床上掃除口	COA100	3.0	個			
	通気口金物	VC-BA-80	1.0	個			
	保温		1.0	式			
	スリーブ		1.0	式			
	(1) の 小計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(2)	屋外排水設備						
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 30 接着接合 地中埋設	6.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VU 75 接着接合 地中埋設	5.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VU 100 接着接合 地中埋設	112	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VU 125 接着接合 地中埋設	29.0	m			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 Y 塩ビ蓋 H=～800	3.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-8) H=～800	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-8) H=～1,200	3.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-8) H=～1,500	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 Y 鋳鉄防護蓋(T-8) H=～500	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～500	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～800	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 ST,L 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～1,200	2.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 Y 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～800	1.0	組			
	塩ビ製小口径インバート桝	100-200 Y 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～1,800	1.0	組			
	塩ビ製小口径ドロップ桝	100-200 DR 鋳鉄防護蓋(T-14) H=～1,800	1.0	組			
	ポリプロピレン製トラップ桝	75-350 T レジコン蓋 H=～500	2.0	組			
	ポリプロピレン製トラップ桝	75-350 T 鋳鉄防護蓋 H=～500	1.0	組			
	トラップ桝	350×350 RC-1 SUS製グレーチング蓋 H=～450	1.0	組			
	ポリプロピレン製ため桝	350型 鋳鉄防護蓋(T-8) H=～500	5.0	組			
	(次項へ)						

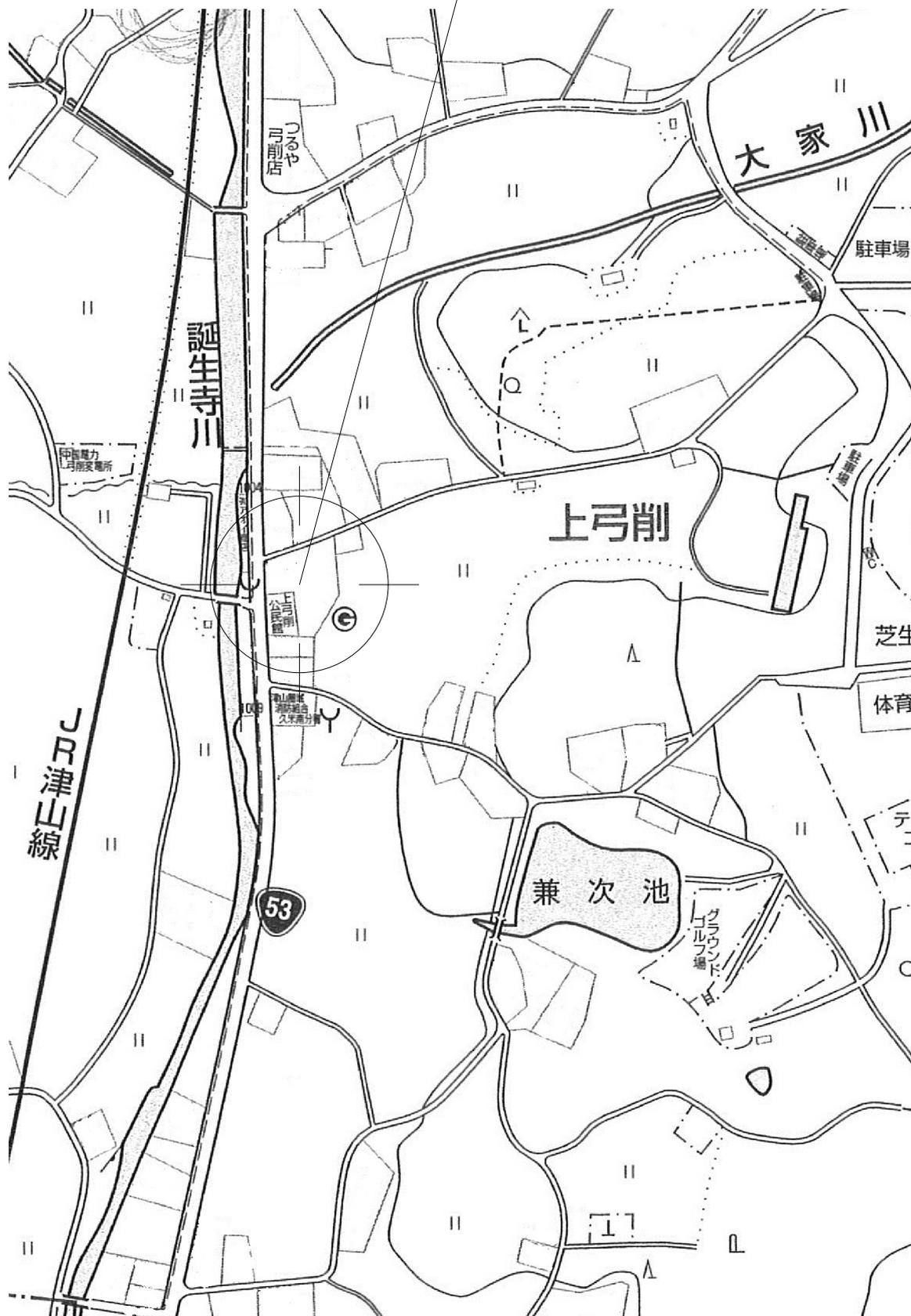
名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
(前項より)						
ポリプロピレン製ため桧	350型 鋳鉄防護蓋(T-8) H=800	1.0	組			
はつり補修	水路接続	1.0	式			
土工事		1.0	式			
(2) の 小計						
5. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
6	給湯設備	(細目別内訳)					
	ガス給湯器	給湯専用屋外壁掛 16号 エコジョーズ 付属品一式	1.0	台			
	ガス給湯器	給湯専用屋外壁掛 24号 エコジョーズ 付属品一式	1.0	台			
	ガスふろ給湯器	追炊付屋外壁掛 24号 エコジョーズ 付属品一式	1.0	台			
	一般配管用ステンレス鋼管	Su 20 拡管接合 機械室・便所	32.0	m			
	一般配管用ステンレス鋼管	Su 25 拡管接合 機械室・便所	2.0	m			
	断熱材被覆銅管	φ12.7 保温厚10mm	14.0	m			
	青銅ボール弁	20A 10K	1.0	個			
	フレキシブルジョイント	20A×300L	3.0	個			
	保温		1.0	式			
	6. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
7	ガス設備	(細目別内訳)					
	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP 20A ねじ接合 屋内一般	42.0	m			
	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP 25A ねじ接合 屋内一般	7.0	m			
	配管用炭素鋼鋼管(白)	SGP 32A ねじ接合 屋内一般	14.0	m			
	プロパンガス集合装置	4本立て 施工72(b)	1.0	組			
	ガスメーター取付	供給業者貸与品	1.0	個			
	ガス栓	単口 ヒューズコック	1.0	個			
	ガス用ボール弁	20A	3.0	個			
	ガス用ボール弁	32A	1.0	個			
	ガス用金属可とう管	15A×300mm	4.0	個			
	塗装		1.0	式			
	7. の 計						

	名 称	種 類・形 状	数 量	呼称	単 価	計	備 考
8	衛生特殊設備	(細目別内訳)					
	スーパー次亜水生成装置	HSP-SR1000S 同等品	1.0	式			
	専用横水栓(吐水口回転形)	HSP-7015 ホースタイプ 救急消毒室	1.0	個			
	専用横水栓(自在形)	HSP-7297 救急消毒室 汚物流し	1.0	個			
	専用立水栓(自在形)	HSP-7299 食堂 流し台	2.0	個			
	専用自動水栓	HSP-V11-H 救急消毒室 手洗い	1.0	個			
	搬入設置費	部材込	1.0	個			
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 20 接着接合 屋内一般	29.0	m			
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 13 接着接合 機械室・便所	1.0	m			
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 20 接着接合 機械室・便所	18.0	m			
	樹脂製ボール弁	PVC製 20mm	1.0	個			
	保温		1.0	式			
	8. の 計						

計画敷地：久米南町 上弓削 地内  
久米南町上弓削1014-1ほか



付 近 見 取 図

津山圏域消防組合消防本部	工事名	津山圏域消防組合久米南分署新築工事	図面番号	作 図	年 度
縮尺	-	図面名	付近見取図	※	Sowa H31

# 津山圏域消防組合久米南分署 新築工事

図面リスト									
建築意匠			建築構造		電気設備		機械設備		
A - 01	建築工事特記仕様書 1	A - 31	部分詳細図 2	S - 01	構造特記仕様書	E - 01	電気設備工事特記仕様書	M - 01	機械設備工事特記仕様書
A - 02	建築工事特記仕様書 2	A - 32	部分詳細図 3	S - 02	RC構造配筋標準図 1	E - 02	電気設備配置図	M - 02	空調和設備 機器一覧表
A - 03	建築工事特記仕様書 3	A - 33	部分詳細図 4	S - 03	RC構造配筋標準図 2	E - 03	動力分電盤結線図	M - 03	空調和設備 平面図 空調和設備 配管系統図
A - 04	建築工事特記仕様書 4	A - 34	住設ユニット詳細図 1	S - 04	RC構造配筋標準図 3	E - 04	引込開閉器盤・電灯分電盤結線図	M - 04	換気設備 機器一覧表
A - 05	建築工事特記仕様書 5	A - 35	住設ユニット詳細図 2	S - 05	鉄骨構造工作標準図	E - 05	照明器具参考図	M - 05	換気設備 平面図
A - 06	津山市建築工事施工管理業務報告要領	A - 36	造作家具詳細図	S - 06	ベースバック柱脚工法 標準図	E - 06	弱電設備系統図	M - 06	衛生設備 機器器具一覧表
A - 07	工事区分表	A - 37	スチール製家具詳細図 1	S - 07	エルマッドS工法 特記仕様書	E - 07	弱電設備・複合盤参考図	M - 07	樹一覧表、給排水設備 配管系統図
A - 08	設計概要・付近見取図・配置図	A - 38	スチール製家具詳細図 2	S - 08	地盤調査位置図	E - 08	幹線・動力設備・弱電設備平面図	M - 08	配置図(屋外配管図)
A - 09	外部仕上表	A - 39	ホースリフター 組立詳細図	S - 09	基礎伏図	E - 09	コンセント設備平面図	M - 09	給排水設備 平面図
A - 10	内部仕上表	A - 40	ホースリフター 取付用鉄骨穴空け詳細図	S - 10	小屋伏図	E - 10	電灯設備平面図	M - 10	給排水設備 平面詳細図(1)
A - 11	求精図	A - 41	外構図	S - 11	軸組図 1			M - 11	給排水設備 平面詳細図(2)
A - 12	法チェック図	A - 42	外構詳細図 1	S - 12	軸組図 2			M - 12	プロパンガス設備 平面図
A - 13	平面図・屋根伏図	A - 43	外構詳細図 2	S - 13	部材リスト			M - 13	スーバー一次垂水設備図
A - 14	立面図・断面図	A - 44	仮設計画図	S - 14	鉄骨架構詳細図				
A - 15	天井伏図								
A - 16	矩計図								
A - 17	断面詳細図 1								
A - 18	断面詳細図 2								
A - 19	平面詳細図 1								
A - 20	平面詳細図 2								
A - 21	展開図 1 (玄関、事務室、会議室、救急消毒室、書庫)								
A - 22	展開図 2 (出勤準備室、車庫)								
A - 23	展開図 3 (タイヤ置場、油庫、資材置場、廊下)								
A - 24	展開図 4 (仮眠室1～6、前室、仮眠室7)								
A - 25	展開図 5 (食堂・調理場、洗面・洗濯室、脱衣室、SW脱衣室、男子WC)								
A - 26	展開図 6 (倉庫、多目的WC、物入)								
A - 27	建具符号図								
A - 28	建具表 1								
A - 29	建具表 2								
A - 30	部分詳細図 1								

照査技術者	株式会社 総合企画 杉山 次郎
主任技術者	株式会社 総合企画 高橋 哲也



8	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び各部配筋 (5.3.4)(5.3.7) ※構造図による	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長		6	コンクリート工事	1	コンクリートの種類及び強度 (6.2.1~4)	普通コンクリート 表6.2.1		
		部位	鉄筋の定着方法、位置、長さ及び余長			設計基準強度 Fc(N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位 容積質量(t/m <sup>3</sup> )	スラブ (cm)	適用場所	
9	圧接完了後の試験 (5.4.9)	外観試験 行う(全圧接部) 振収試験 超音波探傷試験・引張試験		7	鉄骨工事	1	鉄骨製作工場 (7.1.1) (7.1.3)	鉄骨製作工場の加工能力 建築基準法第77条の5第1項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。 (・Jグレード・Rグレード・OMグレード・Sグレード)		
		2	施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4) (7.6.2)(7.12.2)			適用する・適用しない				
10	特殊な鉄筋継手 (5.5.2)(5.5.3)	機械式継手 構造図による 性能(H12建造第1463号に適合するもの)・A級 機械式継手の種類及び工法(カブラ等の接合部分の相互のあき、最小かぶり厚) 構造図による 品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 構造図による		7	鉄骨工事	1	鉄骨製作工場 (7.1.1) (7.1.3)	鉄骨製作工場の加工能力 建築基準法第77条の5第1項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。 (・Jグレード・Rグレード・OMグレード・Sグレード)		
		2	施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4) (7.6.2)(7.12.2)			適用する・適用しない				

1	レディーミキストコンクリート (6.2.1)(6.4.1~2)	セメントの種類 表6.3.1			4	骨材の種類 (6.3.1)(6.5.4)	1	骨材の種類 (6.3.1)(6.5.4)	アルカリシリカ反応による区分 A B ( コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下) A B ( コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下) 混和剤(JIS A6204に適合するA型、A E減水剤又は高性能A E減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分は種とする。また、防錆材を併用する場合はJIS A6205による防錆材とする。) ・混和剤(JIS A6201に適合するライアッシュの種類、種、若しくは種、JIS A6206による高炉スラグ微粉、JIS A6207によるシリカフューム又はJIS A6202による膨張剤とする。)		
		2	セメントの種類 (6.3.1)	適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(e)による 設計基準強度Fc(N/mm <sup>2</sup> ) 18 スラブ 15又は18 セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種							
2	ひび割れ誘発目地 打層目地 (6.6.3)(6.8.2) (9.7.3)(11.1.3)	ひび割れ誘発目地 標準仕様書9.7.3による			9	ターンバックル (7.2.6)	1	ターンバックル (7.2.6)	種類 建築用ターンバックル割 割替式・図示 建築用ターンバックル羽子板ボルト・図示 ねじの呼び 図示による 工法の種類 ・合成スラブ(適用箇所 構造図による) ・床型特用(適用箇所 構造図による)		
		2	打層目地の位置 (イ)・(ロ)・(ハ)・(ニ) ひび割れ誘発目地、打層目地の深さは、打層し厚さで処理する	目地寸法 標準仕様書9.7.3による 間隔 図示による 位置 図示による ひび割れ誘発目地、打層目地の深さは、打層し厚さで処理する							
3	コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.6.6) (6.8.3)	仕上げの種類 適用箇所			10	デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	1	デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ 表6.2.4		
		2	打直し厚さ (6.8.2)	打直し厚さ ・打直し仕上げの打直し厚さ(外部に面する部分に限る) 20mm ・打直し仕上げの打直し厚さ(内部に面する部分に限る) 10mm・20mm ・外装タイル後張り面の打直し処理 20mm ・床型特用鋼製デッキプレートの床側面部の打直し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打直しを行う 10mm・20mm							
4	コンクリートの単位水量測定	コンクリートの単位水量測定			11	スタッドボルト	1	スタッドボルト	径(呼び名) 長さ(呼び長さ)mm 使用箇所 ・16 ・80・100・120 ・19 ・80・100・130・150 ・22 ・80・100・130・150		
		2	コンクリートの単位水量測定	径(呼び名) 長さ(呼び長さ)mm 使用箇所 ・16 ・80・100・120 ・19 ・80・100・130・150 ・22 ・80・100・130・150							
5	製作精度 (7.3.3)	製作精度			12	柱均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)	1	柱均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)	モルタルの種類 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 7.2.9(バ)(1)~(4)による 無収縮モルタルの品質及び試験方法 表7.2.6による		
		2	製作精度	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項(鉄骨基準書2)による ・図示による							
6	仮組 (7.3.10)	仮組			13	工作図 (7.3.2)	1	工作図 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項(鉄骨基準書2)による ・図示による		
		2	製作精度	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造関係共通事項(鉄骨基準書2)による ・図示による							
7	高力ボルト接合 (7.6.4)(7.6.7)	高力ボルト接合			14	溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	1	溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする ファイブプレート鋼材 S S 4 0 0 とする		
		2	製作精度	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする ファイブプレート鋼材 S S 4 0 0 とする							
8	入熱、バース温度の溶接条件	入熱、バース温度の溶接条件			15	溶接部の試験 (7.6.11)	1	溶接部の試験 (7.6.11)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 行う(適用部位 部分溶込み部) ・行わない 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 行う・行わない 表7.6.2-4 工場溶接の場合 A O Q L 4.0%・2.5% 部 全て 検査水準 第6水準		
		2	製作精度	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする ファイブプレート鋼材 S S 4 0 0 とする							
9	錆止め塗装 (7.8.1-4) (18.3.2)	錆止め塗装			16	錆止め塗装 (7.8.1-4) (18.3.2)	1	錆止め塗装 (7.8.1-4) (18.3.2)	塗料の種類 至るめっき鋼面の錆止め塗料 標準仕様書 表18.3.2のA種・標準仕様書 表18.3.2のB種 E P・Gの適用箇所は18.3.2表18.3.2のC種 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う 適用箇所 図示による 塗料の種類 図示による 行わない		
		2	製作精度	鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする ファイブプレート鋼材 S S 4 0 0 とする							

1	耐火被覆 (7.9.2-7)	耐火被覆			8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1	コンクリートブロック (8.2.2)(8.2.3) (8.3.2)(8.3.3)	種類及び性能 種別 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ・耐火材吹付け 乾式吹付けロックウール 乾式吹付けロックウール ・耐火材張り 繊維混入型酸カルシウム板 ・耐火材巻付け 高耐熱ロックウール ・ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 適用箇所(部位・部分) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 ・3時間耐火 ボルトの接合方法 普通ボルト接合 補強方法 補強プレート 補強トラス工法 適用箇所 構造図による 構造関係共通事項による (社)日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付録6(鉄骨精度検査基準)付表5(工事現場)による (7.10.3) 種類等 至るめっきの種類 材料 適用箇所 ・A種(HD Z 55) 最小板厚 6.0mm以上の形鋼、鋼板 図示による ・B種(HD Z 45) 最小板厚 3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 ・C種(HD Z 35) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板		
		2	耐火被覆	耐火被覆							
2	軽量形鋼構造 (7.11.2)	軽量形鋼構造			9	ALCパネル (8.4.2-5)	1	ALCパネル (8.4.2-5)	種類 厚さ 長さ 単位荷重 表面加工 耐火性能 工法種別 外壁用 100 平・意匠 60分 A種・B種 間仕切り用 100 平・意匠 60分 無 C種・D種・E種 屋根用 100 平 30分 F種 床用 100 60分 無 150 120分 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出するものとする。 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 外壁パネルの突出及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅(mm) 20 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する・適用しない 表8.5.2-5		
		2	軽量形鋼構造	軽量形鋼構造							
3	押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2-5)	押出成形セメント板			10	防火工事	1	アスファルト防水 (9.2.2-5)	アスファルトの種類 3種 防水層の下のモルタル塗り 適用する(施工範囲 図示) 屋根保護防水 表9.2.3-6 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2 ・B-3 ・A-I-1 ・A-I-2 ・A-I-3 ・A-II-1 ・A-II-2 ・A-II-3 ・B-I-2 ・B-I-3 ・B-II-2 ・B-II-3 断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること 屋根保護防水断熱材(オゾン層破壊物質を含めないもの、また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること) 材質 押出法ポリスチレンフォーム3種ロスキヤ層付(JIS A9511) 厚さ 25mm 防水立上り部の保護 乾式保護材 無石棉繊維質原料等主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したものの(営業系パネル)とし、寸法は図示による 品質・性能等 寸法の許容差 厚さ:・5~+10%、幅:±1% 曲げ強さ、曲げモーメント(N・cm)(スパン50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)標準時450以上、凍結融解完了時(試験サイクル数)320以上(200)耐凍融融解性能(試験サイクル数:土記)試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと 吸水性(20%以下) 吸水による長さ変化率(0.07%以下) 耐火性能 不燃 耐衝撃性 高さ1.0mから試験体の着落点に500gのおもりを落としたりととき、裏面に達する穴があかないこと 出荷時の含水率 10%以下		
		2	アスファルト防水	アスファルト防水							
【工事名称】 津山園地消防組合久米南分署 新築工事		【図面番号】 A-02					換取印				
【図面名称】 建築工事特記仕様書2		換取印					換取印				



〒462-0011 愛知県津島市久米町4丁目1番1号  
 〒462-0011 愛知県津島市久米町4丁目1番1号  
 〒462-0011 愛知県津島市久米町4丁目1番1号

一般建築士事務所 川山建設事務所  
 〒462-0011 愛知県津島市久米町4丁目1番1号  
 一般建築士 国土交通大臣登録第244962号 高橋 哲也

2	改質アスファルトシート防水 (9.3.2-3)	屋根露出防水 表9.2.7-8				
		種別	施工箇所	断熱材	仕上げ塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用
3	改質アスファルトシート防水 (9.4.2-4)	改質アスファルトシートの押入金物は製造所の仕様による				
		種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用
4	改質アスファルトシート防水 (9.5.3)	防水層の種類				
		種別	施工箇所	ルーフingシートの厚さ(mm)	絶縁用シートの材種	仕上げ塗料 高日射反射率 防水の適用
5	ケイ酸質系塗布防水 (9.6.1-4)	防水層の種類				
		種別	施工箇所	高日射反射率防水の適用	備考	
6	断気装置 (9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)	断気装置の種類				
		種別	種類	設置数量		
7	シーリング (9.7.2)(表9.7.1)	シーリングの種類(記号)				
		施工箇所	シーリング材の種類(記号)			
10	石材 (10.2.1)	石材の種類及び表面仕上げ 表10.2.1-2				
		種別	種類(産地、名称)	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無	
2	取付け金物 (10.2.2)	乾式工法用金物の種類				
		種別	種類(産地、名称)	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無	
3	その他の材料 (10.2.3)	石裏面処理材 ( )				
		種別	種類(産地、名称)	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無	

1	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)	位置 表11.1.1による				
		種別	種類	使用量	高日射反射率 防水の適用	
2	材料 (11.2.2)	タイルの形状、寸法等				
		種別	種類	寸法	等級	形状
3	外部陶磁器質タイル後張り (11.3.3)	施工箇所 施設外壁(ホールを含む) 図示による				
		種別	種類	寸法	等級	形状
4	内部陶磁器質タイル後張り (11.3.3)	施工箇所 便所等 図示による				
		種別	種類	寸法	等級	形状
1	表面仕上げ (12.1.4)	表面仕上げの種類				
		種別	種類	寸法	等級	形状
2	製材 (12.2.1)	製材の種類				
		種別	種類	寸法	等級	形状
3	造作用集成材 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 規制対象外				
		種別	種類	寸法	等級	形状
1	屋根及び土間工事	長尺金属板貫 (13.2.2-3)				
		種別	種類	寸法	等級	形状
2	折板貫 (13.3.2-3)	折板貫の種類				
		種別	種類	寸法	等級	形状

4	造作用単板積層材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」以外の化紙ばり構造用集成材						
		施工箇所	化紙薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	見付け材の厚さ(mm)	含水率	間伐材等の適用
5	床張り用合板等 (12.2.1)	ホルムアルデヒド放散量 規制対象外						
		施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用	
6	接着剤 (12.2.2-3)	接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。						
		施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	
7	防湿・防蟻処理 (12.3.1-2)	防湿・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
1	屋根及び土間工事	長尺金属板貫 (13.2.2-3)						
		施工箇所	板及び材の種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根裏形式	備考	
2	折板貫 (13.3.2-3)	折板貫の種類						
		施工箇所	形式	山高、山幅による区分	材力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	耐火性能
3	その他の材料 (10.2.3)	石裏面処理材 ( )						
		種別	種類(産地、名称)	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無			

3	粘土瓦葺 (13.4.2-3)	種類						
		施工箇所	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物の種類
4	とい (13.5.2-3)(表13.5.5)	この材料種 配管用鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管						
		施工箇所	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物の種類
1	あと施工アンカー (14.1.3)	引抜き耐力の確認試験 機械的簡易引抜き試験機による引抜き試験 行わない						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
2	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	種別						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
3	鉄筋の亜鉛めっき (14.2.3)	表面処理方法 種別						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
4	軽量鉄骨天井下地 (14.4.2-4)(表14.4.1)	野縁等の種類						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
5	金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)	種別						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
6	アルミニウム製笠木 (14.7.2)(14.7.3)	押出し形状						
		施工箇所	厚さ(mm)	等級	表面の品質	有効断面係数	防虫処理	強度等級
【工事名称】 津山園域消防組合久米南分署 新築工事		【図面番号】 A-03						
【図面名称】 建築工事特記仕様書3		換取印						

7 手すり (14.8.2) 8 トラップ (14.8.3) 9 サッシ取合い間仕切り板 10 エキスパンションジョイント金物

4 ステンレス製建具 (16.6.2-5) 5 木製建具 (16.7.2-4)

15 ガラスブロック積み (16.14.5)

1 防水剤 (15.2.2) 2 既製目地材 (15.2.2) 3 床コンクリート直均し仕上げ (15.3.2)(15.3.3) 4 セルフレベリング材塗り (15.4.2)(15.4.2) 5 仕上げ塗材仕上げ (15.5.2)

6 鍵 (16.8.4) 7 自動ドア開閉装置 (16.9.2-3) 8 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3) 9 重量シャッター (16.11.2) 10 軽量シャッター (16.12.2-4) 11 オーバーヘッドドア (16.13.2) (16.13.3) 12 ガラス (16.14.2)

16 ガラス用フィルム (17.1.3) 17 カーテンウォール (17.2.2-5) (17.3.2-5) 18 付属電気設備 (18.2.1) (18.2.2) (18.2.3) (18.2.4) (18.2.5) (18.2.6) (18.2.7) (18.2.8) (18.2.9) (18.2.10) (18.2.11) (18.2.12) (18.2.13) (18.2.14) (18.2.15) (18.2.16) (18.2.17) (18.2.18) (18.2.19) (18.2.20) (18.2.21) (18.2.22) (18.2.23) (18.2.24) (18.2.25) (18.2.26) (18.2.27) (18.2.28) (18.2.29) (18.2.30) (18.2.31) (18.2.32) (18.2.33) (18.2.34) (18.2.35) (18.2.36) (18.2.37) (18.2.38) (18.2.39) (18.2.40) (18.2.41) (18.2.42) (18.2.43) (18.2.44) (18.2.45) (18.2.46) (18.2.47) (18.2.48) (18.2.49) (18.2.50) (18.2.51) (18.2.52) (18.2.53) (18.2.54) (18.2.55) (18.2.56) (18.2.57) (18.2.58) (18.2.59) (18.2.60) (18.2.61) (18.2.62) (18.2.63) (18.2.64) (18.2.65) (18.2.66) (18.2.67) (18.2.68) (18.2.69) (18.2.70) (18.2.71) (18.2.72) (18.2.73) (18.2.74) (18.2.75) (18.2.76) (18.2.77) (18.2.78) (18.2.79) (18.2.80) (18.2.81) (18.2.82) (18.2.83) (18.2.84) (18.2.85) (18.2.86) (18.2.87) (18.2.88) (18.2.89) (18.2.90) (18.2.91) (18.2.92) (18.2.93) (18.2.94) (18.2.95) (18.2.96) (18.2.97) (18.2.98) (18.2.99) (18.2.100)

19 1 接着剤 (19.2.2) 2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3) 3 カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4) 4 合成樹脂塗床 (19.4.3) 5 床用防じん塗料塗り (19.5.2-6) 6 フローリング張り (19.5.2-6) 7 畳敷き (19.6.2)

19 1 接着剤 (19.2.2) 2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3) 3 カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4) 4 合成樹脂塗床 (19.4.3) 5 床用防じん塗料塗り (19.5.2-6) 6 フローリング張り (19.5.2-6) 7 畳敷き (19.6.2)

19 1 接着剤 (19.2.2) 2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3) 3 カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4) 4 合成樹脂塗床 (19.4.3) 5 床用防じん塗料塗り (19.5.2-6) 6 フローリング張り (19.5.2-6) 7 畳敷き (19.6.2)

1 アルミニウム製建具 (16.2.1-4) 2 鋼製建具 (16.4.2) 3 鋼製軽量建具 (16.5.2-4)

13 ガラスの留め材 (16.14.2) 14 ガラス溝の寸法、形状等 (16.14.3)

18 1 材料 (18.1.3) 2 素地ごしらえ (18.2.2-7) 3 錆止め塗料塗り (18.3.2)(18.3.3) 4 仕上げ塗料塗り (18.4.1)(18.4.2)

19 1 接着剤 (19.2.2) 2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3) 3 カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4) 4 合成樹脂塗床 (19.4.3) 5 床用防じん塗料塗り (19.5.2-6) 6 フローリング張り (19.5.2-6) 7 畳敷き (19.6.2)

19 1 接着剤 (19.2.2) 2 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19.2.2)(19.2.3) 3 カーペット敷き (19.3.3)(19.3.4) 4 合成樹脂塗床 (19.4.3) 5 床用防じん塗料塗り (19.5.2-6) 6 フローリング張り (19.5.2-6) 7 畳敷き (19.6.2)

Table with 2 columns: Item ID and Description. Items include ceiling board, wall paper, thermal insulation, drainage, and various construction materials.

Table with 2 columns: Item ID and Description. Items include fireproofing, blinds, roller screens, curtains, junction boxes, outdoor signs, and fences.

Table with 2 columns: Item ID and Description. Items include unit bus, shower unit, kitchen, drainage pipes, and concrete slabs.

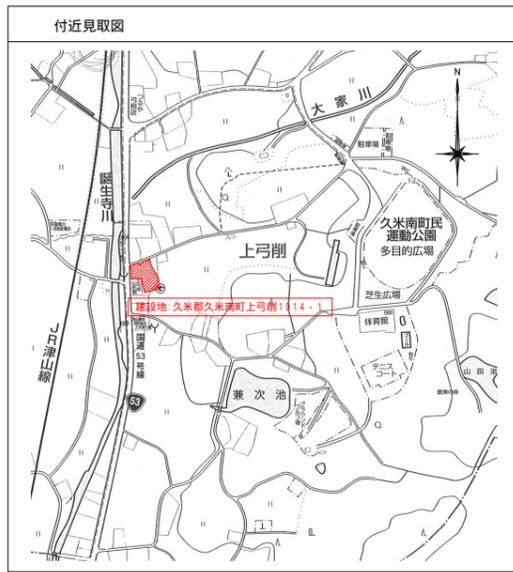
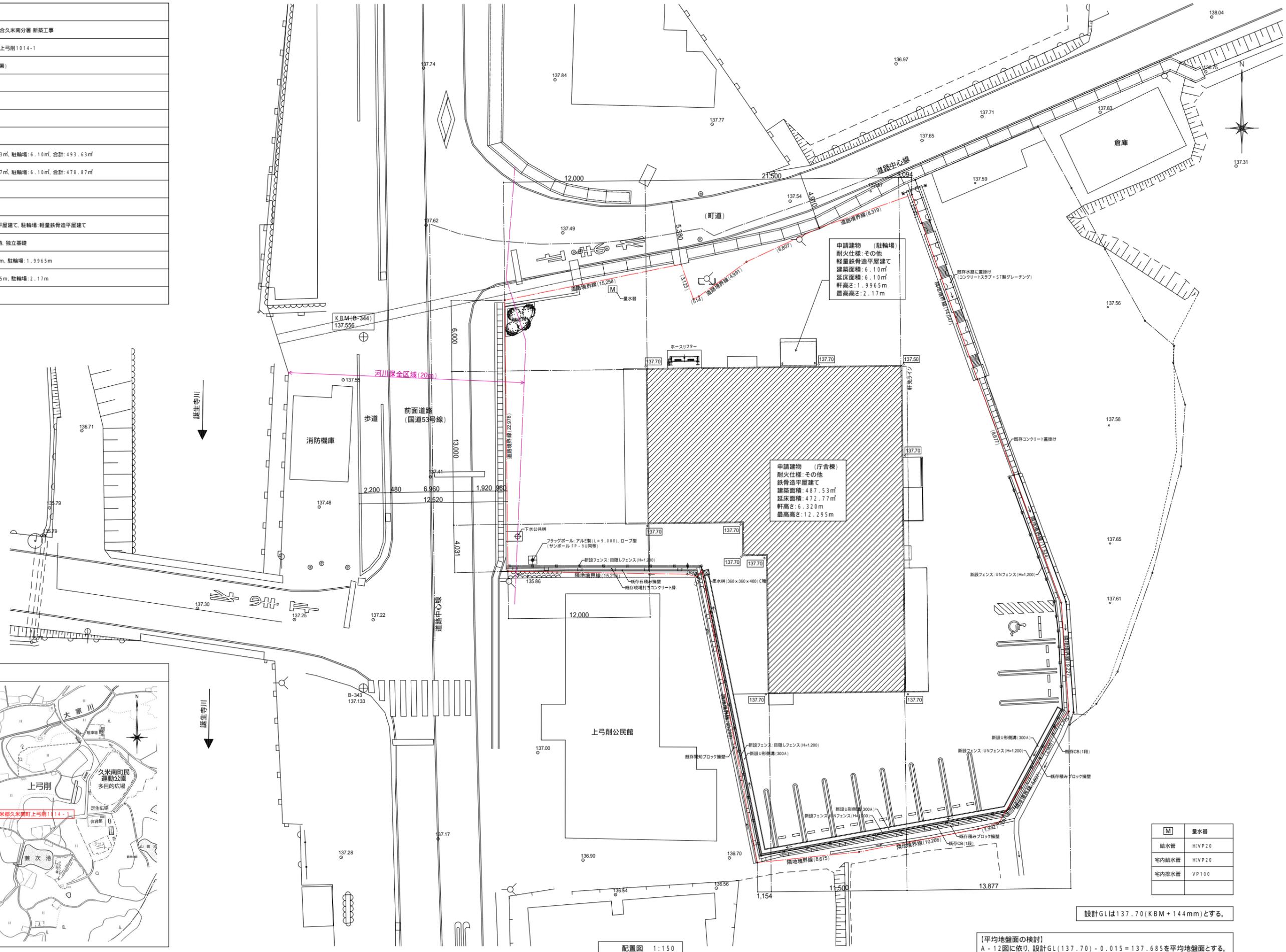
Table with 2 columns: Item ID and Description. Items include block system, road markings, and landscaping. Includes detailed specifications for materials and methods.

Project information including name (津山園域消防組合久米南分署 新築工事), drawing name (建築工事特記仕様書5), drawing number (A-05), and company logo (綜合企画).

津山市建築工事施工管理業務報告要領		第11節 竣工図書の内容	
		(13) 照度分布測定	
		(14) 絶縁抵抗試験	
<b>第1節 総則</b>		(15) VOC測定試験	31. 竣工図書の内容
		(16) 六価クロム溶出試験(地盤改良工事がある場合)	1. 縮小版(A3)黒表紙製本(表紙に工事名称、工事年度を印刷)
		(17) その他必要なもの(津山市建築工事検査基準による)	2. 業者名簿、仕上表(メーカー、品番、色番号(マンセル値)を記載すること。)
(目的)			32. 竣工図書の整合
1. この要領は、津山市が建築工事を請負人に施工させる場合における請負人の施工管理業務報告の取り扱いについて定めることを目的とする。		<b>第7節 工事写真の作成</b>	1. 設計図書をCD-ROM化前に、竣工設計図として正確に図面と現場とを整合させること。
		23. 工事写真	2. 設計図の仕様書に基本設計業者、実施設計業者、検査者、施工者、協力業者の名簿を明記すること。
		(1) 着工前写真 カラー×2部	3. 設計図の仕上表等に使用資材のメーカー名、材料名称、カタログ番号等を記入すること。 (主要資材、換気口、建具金物、建築金物、防水等)
<b>第2節 施工前の提出書類</b>		(2) 工程写真 カラー×1部	4. 設計図の仕様書等に塗装の決定色彩番号、特殊塗料のメーカー名、材料名、カタログ番号を記入すること。
2. 施工計画書 着工前 提出		1.スケール、撮影箇所を明示すること。看板、使用材料等の文字を撮影する場合は、印刷時に文字が読める解像度とすること。	5. 設計図の家具一覧表に取り付け家具の使用資材のメーカー名、材料名称、カタログ番号、決定色彩番号を記入すること。
3. 下請負人選定一覧届出書(津山市様式) 着工前 提出		地下埋設物、配管類は必ずGLを基準にしたスケールを明示した写真とすること。	6. 設備設計図の仕様書、設備機器一覧等に、使用資材のメーカー名、材料名称、カタログ番号機器のメーカー名、型式番号等を記入すること。
4. 施工体制台帳 着工前 提出		(3) 工事完成写真 カラーE版、及びjpegデータ	7. 設備設計図に埋設管標柱の設置場所を正確に記入すること。
5. 下請負の相手方及び内容(累積表) 着工前 提出		1.外部4面、内部各2面以上(対角線撮影) 撮影ヶ所を明示	<b>33. 竣工図書の審査</b>
6. 工事作業所災害防止協議会兼施工体系図 着工前 提出		(4) 竣工写真 カラー8つ切り(1組20枚)	1. 竣工設計図書作成後すみやかに津山市の審査を経てCD-ROM化すること。
7. 施工体制台帳【工事担当技術者台帳】 着工前 提出		1.外部6面、主要室内、夜景を建築写真専門家によって撮影すること。	
8. 下請負業者編成表 着工前 提出		2.撮影データ(jpeg)をCD-ROMに収録して提出すること。	<b>34. CD-ROMに納めるもの。</b>
9. 建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届) 着工前 提出			1. 竣工図書に納めた書類
10. 主要資材購入先一覧届出書(津山市様式) 着工前 提出		<b>第8節 検査願申請書の提出</b>	2. 施工図
11. 工程表 着工前 提出		24. 検査願申請書(津山市様式) 検査前3日提出	3. 完成写真、完成予想図、工事写真、着工前写真
12. 工事費内訳明細書 着工前 提出			4. 構造計算書(監督員の指示による)
13. コリンズの登録(500万円以上の工事) 登録完了後速やかに提出			5. 竣工図CADデータ(JWW又はDXF)
25. 建設廃棄物処理計画書(津山市様式) 着工前 提出		<b>第9節 産業廃棄物書類の提出</b>	6. 竣工図PDFデータ
		25. 建設廃棄物処理計画書(津山市様式) 着工前 提出	7. その他必要と思われるもの(監督員の指示による)
		26. マニフェストE票の写し 竣工検査前3日までに提出	
<b>第3節 使用材料の承諾</b>		27. 建設廃棄物処理実績報告書(津山市様式) 竣工検査前3日までに提出	<b>第12節 竣工時の提出物</b>
14. 使用材料承諾願 随時提出		28. COBRIS又は建設リサイクル報告様式(国土交通省) 竣工検査前3日までに提出	35. 提出物の内容
(1) 建築主要資材(津山市様式)			(1) 竣工調書 2部(正本・副本)
(2) 電気設備主要資材(津山市様式)		<b>第10節 竣工調書の作成</b>	(2) 竣工図(縮小版A3サイズ 黒表紙製本) 3部
(3) 機械設備主要資材(津山市様式)		29. 竣工調書の様式	各工事施工者及び資材、機器製造業者一覧表、資材色彩シート一覧表も収録する
15. 資材検収簿(津山市様式) 随時提出		(1) 黒表紙製本(表紙に工事名称、工事年度、白文字打込みとする。)	(3) 工事写真(着工前写真2組 工程写真1組 工事完成写真2組 竣工写真2組)
		(2) 収録する調書はタイプ印刷とすること。	(4) CD-ROM 1組
<b>第4節 工事日報、工事進捗状況報告書、議事録の提出</b>		(3) 提出期日(竣工後すみやかに提出すること)	(5) 竣工図(縮小版A3サイズ 2つ折り製本) 1部(指示による)
16. 工事日報(津山市様式) 1週間毎に提出(指定日)		30. 竣工調書に収録するもの	
17. 工事進捗状況報告書(津山市様式) 1ヶ月毎に提出(月初め)		(1) 建築物概要	
18. 打ち合わせ議事録(津山市様式) 随時提出		1. 工事名称	6. 請負金額
		2. 工事場所	7. 施工者
<b>第5節 施工要領書、施工図、承認図の提出</b>		3. 用途地域及び地区	8. 構造、階数、各階主要用途
19. 施工要領書 随時提出		4. 設計者	9. 建築面積、延べ面積、各階床面積
20. 施工図、原寸図 随時提出		5. 着工年月日、竣工年月日	10. 設備
21. 承認図 随時提出		提出期限(竣工後すみやかに提出すること。)	
(1) 承認指定日を明記して提出し、承認済みの交付を受けて施工すること。		(2) 着工前届出書類目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
(2) 竣工時に施工要領書、施工図、承認図のデータを提出すること。		(3) 使用材料承諾願一覧目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
施工要領書はWord又はExcel形式、施工図等はJWW及びPDF形式とする。		(4) 資材検収簿提出一覧目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
		(5) 工事日報目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
<b>第6節 試験報告書の提出</b>		(6) 施工要領書目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
22. 試験報告書 随時提出		(7) 施工図・承認図目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
		(8) 施工図書目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
(1) 地耐力試験		(9) 保証書目録	
(2) 杭打ち試験		1. 責任施工を指定した工事	
(3) 鉄筋圧接試験又は超音波探傷試験		2. 機器等で必要と認められたもの	
(4) コンクリート配合計画書		3. その他必要と認められたもの	
(5) コンクリートスランプ試験		(10) 官公署許認可証	
(6) コンクリート圧縮破壊試験(調合管理用、構造体コンクリート強度推定用、28日、その他適宜)		(11) 試験成績書目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
(7) 鉄骨溶接部非破壊検査		(12) 錠目録	
(8) 木材含水検査・木材原寸検査		(13) 予備材料納入目録	
(9) 骨材塩分・泥分含有量検査(鉄筋コンクリート造200㎡を超える新築工事)		(14) 工具納入目録	
(10) 防水水張り試験(屋上、水槽等48h)		(15) 各工事施工者及び資材、機器製造業者一覧表	
(11) 配管圧力試験		(16) 資材色彩シート一覧表	
(12) 機械運転試験		(17) 建物・設備機器の取り扱い説明書(目録のみ収録 別冊作成可)	
		(18) 工事写真目録(目録のみ収録 別冊作成可)	
		(19) 建設廃棄物書類目録(目録のみ収録 別冊作成可)	

工事区分表												
工事区分	工事内容	建築	電気	機械	備考	工事区分	工事内容	建築	電気	機械	備考	
1 スリーブ、仮枠、補強	(1) 基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ					9 排水設備	(1) 屋内、屋外雨水、排水設備工事					
	(2) 同上貫通部分の鉄筋補強						(2) ルーフドレイン及び壁樋(GLまで)、化粧カバー					
	(3) 器及びボックス類の仮枠						(3) 屋内、屋外排水設備工事(雑排水、汚水)					
	(4) 同上開口部の鉄筋補強						<del>(4) グリーストラップ</del>					
	(5) 天井埋め込み照明器具類取付け用切込み及び補強						<del>(5) マット排水及び排水金物</del>					
	(6) 吹き出口、吸気口、取付け用切込み及び補強						<del>(6) 厨房排水栓</del>					
	(7) (1)、(3)のモルタル詰め補強						(7) 壁樋との接続配管					
	(8) (5)、(6)の墨出し											
	(9) 将来用スリーブ(配管、配線、便器用)						10 衛生器具、流し台 調理台、実験台	(1) 洗面器、手洗器用鏡				
	(10) 同上鉄筋補強							<del>(2) 鏡(姿見等で単独で使用するもの)</del>				
						(3) 大、小便器						
2 ビット、シャフト トレンチ、点検口	(1) PS、DS					(4) 給湯器						
	(2) 1階配管、配線用ビット					(5) 同上換気扇連動スイッチ						
	(3) 床、壁、天井、ビット、消防用水槽の点検口					(6) 便所内手摺(洋風大便器用)						
	(4) OAフロアー					(7) システムキッチン、ミニキッチン、ステンレス製流し台					配管接続は機械設備工事	
3 給水、電気、電話、ガスの 引き込み、下水本管接続	(1) 給水引き込み工事				別途工事	(9) 流し台用排水トラップ						
	(2) 電話引き込み負担金(工事費は除く)				別途工事	<del>(10) 調理台、実験台</del>						
	(3) 電気引き込み工事及び負担金				別途工事	<del>(11) 同上給水栓、コンセント</del>						
	(4) 下水本管接続					<del>(12) 同上ガスコック</del>						
	<del>(5) ガス管引き込み工事</del>					<del>(13) 同上排水トラップ</del>						
	(6) 水道設備整備納付金				別途工事	<del>(14) 大研ぎ流し</del>						
4 槽類	(6) インターネット引き込み負担金(工事費は除く)				別途工事	<del>(15) 同上排水トラップ</del>						
	<del>(1) 受水槽(チャンネルベース共)</del>					(16) 洗濯機パン(排水トラップ、周囲コーキング止め金具共)						
	<del>(2) 高架水槽(チャンネルベース共)</del>					(17) ユニットバス、シャワーユニット					配管接続は機械設備工事	
	<del>(3) 通路用地下水槽(コンクリート製のもの)</del>					<del>(18) 小型電気温水器</del>						
	<del>(4) 中継ポンプ槽</del>					(19) 衛生設備器具、手摺、鏡等の下地補強						
	<del>(5) 合併処理尿浄化槽</del>											
	<del>(6) 給食場用オイルタンク</del>											
	<del>(7) 同上架台</del>											
	<del>(8) 各槽用フェンス工事</del>											
	<del>(9) (1)、(2)電極取付け用開口</del>											
	5 コンクリート基礎 (モルタル仕上げ共)	(1) 非常用発電機				既存設備の移設は別途工事						
<del>(2) 高架水槽</del>						(1) 天井扇、換気扇(受け枠共)						
<del>(3) 揚水ポンプ</del>						<del>(2) 窓付換気扇取付け用アルミパネル及びその開口</del>						
<del>(4) 消火ポンプ</del>						(3) ダクト接続ファン(レンジフード、ミニキッチン、ユニットバス、シャワーユニット)					(本体)	
<del>(5) 給食場用ボイラー</del>						<del>(4) 給食場用換気フード</del>					ダクト、バンドキャップ、接続工事は機械設備工事	
<del>(6) プール濾過機</del>						<del>(5) 同上吊り下げ用補強</del>						
<del>(7) キュービクル(フェンス工事共)</del>						<del>(6) 放送室用ダクトファン</del>						
(8) テレビのアンテナ						(7) 天井カセット、パッケージ天井換気扇、取付け用切込み及び補強						
<del>(9) プールの水銀灯及びマイクジャック盤</del>						(8) 換気扇強弱切替スイッチ及び風量調整(インバーター制御)					電気工事へ支給 (取付、配線は電気工事)	
(10) 機器類のアンカー打ち込み						(9) 室内・室外機連絡配線、リモコン配線						
(11) 空調室外機												
6 電極棒、フロートスイッチ 電磁弁、凍結防止ヒーター	<del>(1) 受水槽、高架水槽(電極棒)</del>											
	<del>(2) 消防用地下水槽(電極棒)</del>					12 操作盤、二次側配管 配線の接続	<del>(1) 消火ポンプ用操作盤(警報盤は電気工事)</del>					
	<del>(3) 消防用呼水槽(電極棒)</del>						<del>(2) 揚水ポンプ用操作盤</del>					
	<del>(4) 中継ポンプ槽(フロートスイッチ)</del>						<del>(3) 中継ポンプ用操作盤</del>					
	<del>(5) 受水槽補給水用電磁弁</del>											
	<del>(6) 同上凍結防止ヒーター 1 100V</del>											
	<del>(7) ボンプ凍結防止ヒーター 1 100V</del>											
7 ガラリ	(1) 外壁ガラリ(換気用ガラリ)											
	(2) 換気扇用外壁ガラリ(ウェザーカバー)						(1) 消火器(建物にかかるもの)					
	(3) ドア取付け又はこれに準ずるもの						(2) 消火器(設備にかかるもの)					
							(3) 消火器ボックス(消火栓ボックス以外)					
8 消火栓、ボックス 自動火災報知設備	<del>(1) 消火栓ボックス</del>						<del>(4) 浴槽上外釜(バランス釜)</del>					
	(2) 表示灯、火災報知ベル						(5) 吊り戸棚に湯沸し器、コンロ台を設置する場合の不燃材の取付け					
	<del>(3) ボンプ起動、操作押しボタン(火報用)</del>						<del>(6) 実験台、調理台の設備配管、配線用の穴明け加工</del>					
	(4) 防火戸、防煙シャッター						(7) ガス漏れ警報器					
	(5) 同上感知機及び配管、配線工事						<del>(8) 小機器節水タイマー(3Pプラグ共)</del>					
							(9) 設備配管用天井及び床仕上材の穴明け加工					
							<del>(10) 避難器具</del>					
						<del>(11) 設備取付けのため生じる配管配線接続工事(理科室、家庭科室、図書室など)</del>						
						<del>(12) グリーストラップ</del>						
						<del>(13) 屋上緑化散水設備</del>						
						<del>(14) 電気ガス配管配線接続工事</del>						
						<del>(15) 可動椅子設備電気配管配線工事(1次側)及び電灯工事</del>						
						<del>(16) ステージ幕設備電気配管配線工事(1次、2次側共)</del>						
						(17) 消防通信システム設備(駆込み通報装置、端末装置、無線受令)					支給品とし接続は本工事	
						(18) 出勤表示板のコンクリート柱工事						

設計概要	
工事名称	津山圏域消防組合久米南分署 新築工事
工事場所	久米郡久米南町上弓削1014-1
主要用途	08330(消防分署)
工事種別	新築
敷地面積	1,720.48㎡
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし
建築面積	庁舎棟:487.53㎡、駐輪場:6.10㎡、合計:493.63㎡
延床面積	庁舎棟:472.77㎡、駐輪場:6.10㎡、合計:478.87㎡
建築率	28.70%
容積率	27.84%
構造・規模	庁舎棟:鉄骨造平屋建て、駐輪場:軽量鉄骨造平屋建て
基礎	庁舎棟:地盤支持、独立基礎
最高軒高	庁舎棟:6.320m、駐輪場:1.9965m
最高高さ	庁舎棟:12.295m、駐輪場:2.17m



配置図 1:150

[平均地盤面の検討]  
A-12図に依り、設計GL(137.70) - 0.015 = 137.685を平均地盤面とする。

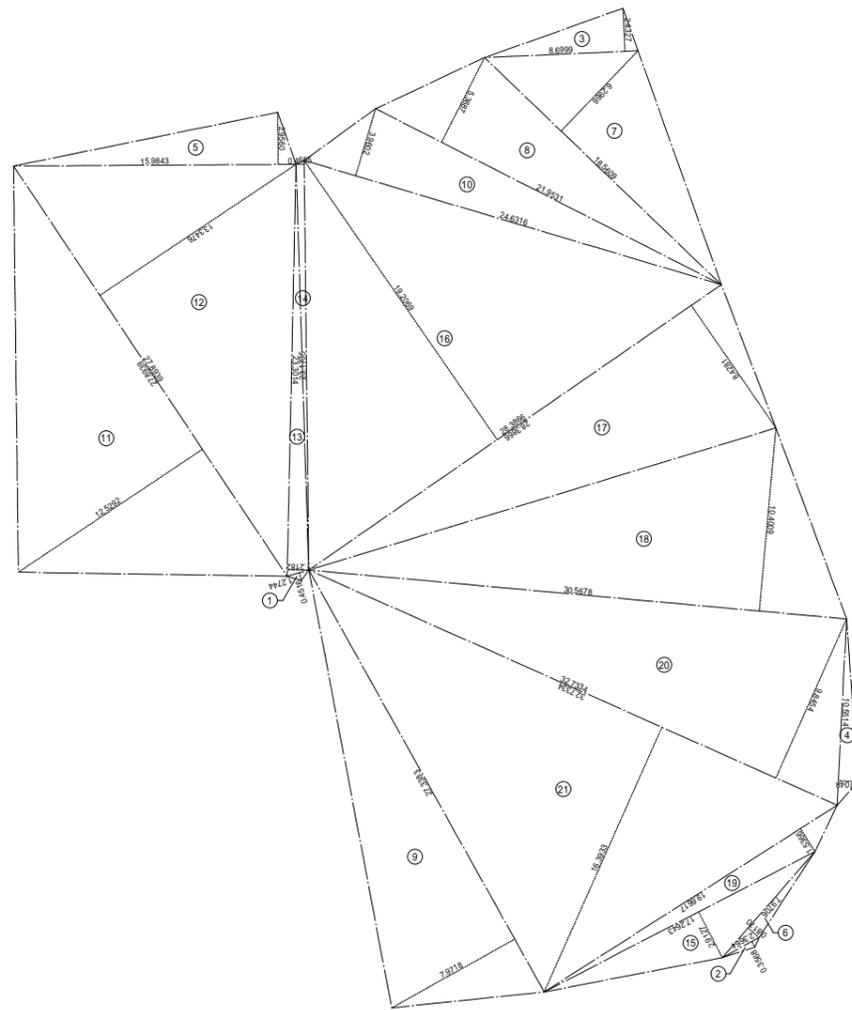
[M]	量水器
給水管	H1VP20
宅内給水管	H1VP20
宅内排水管	VP100

設計GLは137.70(KBM+144mm)とする。

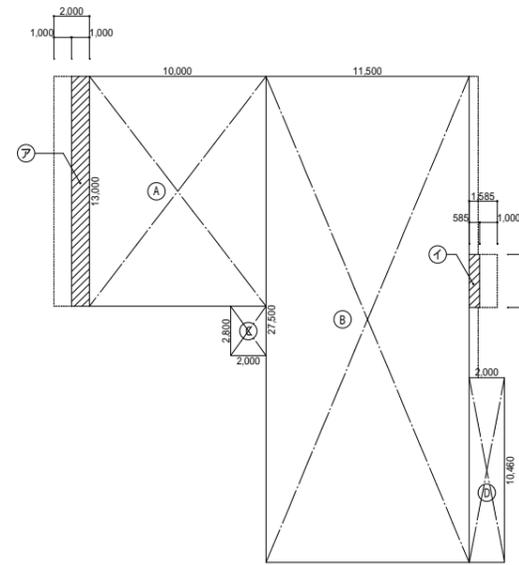
外部仕上表											共通事項							
床			外 壁				そ の 他				使用材料参考品番				下 地 凡 例		塗 装 凡 例	
車庫前犬走り	土間コンクリート厚150金こて押入 カッター目地切り(3×30)@1,500内外 補強筋:D13@200シングルクロス、砕石厚100敷き	OF-1	一般	金属サンドイッチパネル厚35横張り (アイジー断熱ヴァンドNZ35F同等)	OW-1	軒 樋	塩ビ製スチール芯入り(前高165、カラー) パナソニックエアロアイアン同等 SUS製吊金具@600	OP-1	複層ビニル床タイル 厚2.0×300角張り	タジマ:ジニース マーブル同等	CON-1	コンクリート均し	SOP	合成樹脂調合ペイント				
											CON-2	コンクリート直均し仕上	GP	グラファイトペイント				
職員・来客P ホース展開 スペース	アスファルト舗装(A-5-15) 密粒度アスコン厚50、再生クラシラン厚150	OF-2	一般	金属サイディング厚16縦張り (KMEW:シンブルシリーズ、スマートスパン柄同等) 通気胴縁(18×45)、透湿防水シート	OW-2	壁 樋	VP100 (カラー)、SUS製掴み金具@1,200	OP-2	複層ビニル床シート 厚2.0張り	タジマ:バーマリュウム マーブル同等	MOL-1	モルタル金コテ押入	FE	フタル酸樹脂エナメル				
											MOL-2	タイル下モルタル塗り	EP	合成樹脂エマルジョンペイント				
玄関ポーチ	磁器質タイル(150角)張り、段鼻タイル使用 段鼻タイルは平部と色を変えること、	OF-3	バラベツ裏面	角波サイディング カラーGL鋼板厚0.4縦張り (ヨドコウ:1F型目地なし)透湿防水シート張り	OW-3	笠 木	アルミ製(W=200)カラー	OP-3	OAフロア厚40	調高強度軽量コンクリート製 置敷タイプ 共同カテック:ネットワークフロア40同等	MOL-3	モルタル刷毛引き	特殊EP	低汚染型エマルジョンペイント				
											WFL	木床組	CL	クリアラッカ				
スロープ	磁器質タイル(150角、ノンスリップ)張り タイル色はポーチ部と色を変えること、	OF-4				玄 関 金属庇	アルミ製(D=1,500、L=2,500(ステンカラー) ステンカラー 壁樋(45角)、排水管カバー共 共和アルフィン AD-R同等	OP-4	置敷ビニル床タイル 厚5.0×500角張り	タジマ:レイフラットタイル LF-2000同等	LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	VE	塩化ビニル樹脂エナメル				
											WOD	木軸	CE	塩化ゴム系エナメル				
物干し場	土間コンクリート厚120金こて押入 カッター目地切り(3×30)@1,500内外 補強筋:溶接金網 6@150敷き、砕石厚100敷き	OF-5				職員通用口 金属庇	アルミ製(D=600、L=1,000(ステンカラー) 共和アルフィン AF95同等	OP-5	エポキシ樹脂系塗床 厚1.2(防滑工法)	ABC商会:ケムクリートE防滑工法同等	SL	セルフベリング	AE	アクリル樹脂エナメル				
													A-BE	アクリル樹脂エナメル噴付塗装				
東側敷地 駐車場	砕石厚60敷き	OF-6				窓 庇	アルミ製(D=300、L=2,000(ステンカラー) 共和アルフィン AF93同等	OP-6	防塵塗床 (コーティング工法)	ABC商会:カラトップU 同等			UE	ウレタン樹脂塗装				
													UE-BE	ウレタン樹脂焼付塗装				
						小屋裏換気 バンドキャップ	小屋裏換気バンドキャップ:SUS製 150用 (スーパースリムフード8620SH・MLG同等)		ブラホレン	フクビ:ブラホレン 1A型同等			2-XE	2液形エポキシ樹脂エナメル				
						駐輪場	スチール製既製品 四国化成:サイクルポートBLL同等		不燃メラミン化粧板	アイカ工業:セラル同等			2-UE	2液形エポキシ樹脂エナメル				
						ホースリフター	電動式:ホース収容本数(複列20本掛け) 流通産業(株):ホースリフター同等 ホースリフター受鉄骨:溶融亜鉛めっき処理						2-AE	アクリルシリコン樹脂エナメル				
						フラッグポール	アルミ製(L=9,000)、ロープ型 サンポール:FP-9U同等						2-FUE	フッ素樹脂エナメル(常乾)				
						屋 根	カラーGL鋼板厚0.5縦書き(ヨドコウ:ヨドルーフ瓦棟角型同等) 裏貼:ポリエチレンフォーム厚4.0、ゴムアスルーフィング厚1.0 野地板:木毛セメント板厚25	OR-1				仕 上 凡 例						
						物干し場庇	同 上				GB-R	石膏ボード						
						車庫部 屋根	カラーGL鋼板厚0.8折版(H=166)書き (ヨドコウ:ヨドルーフ166ハゼ同等)、裏貼:不燃ベフ厚4.0	OR-2			GB-R-H	普通硬質石膏ボード						
						外 巾 木					GB-F	強化石膏ボード						
						一 般	コンクリート打放し補修下地吹付タイル(複層塗材E)	OB-1			GB-S	シージング石膏ボード						
											GB-S+	構造用石膏ボード						
											GB-L	石膏ラスボード						
											GB-D	化粧石膏ボード						
											GB-NC	不燃種層石膏ボード						
											GB-P	吸音用穴あき石膏ボード						
											GB-R-Hc	吸放湿石膏ボード						
											ケイカル板	珪酸カルシウム板(タイプ2)						
											ケイカル板(P)	吸音用穴あき無石綿セメント 珪酸カルシウム板						
											DR	ロックウール化粧板 吸音板(フラットタイプ)						
											DR(凹凸)	ロックウール化粧板 吸音板(凹凸タイプ)						
											DR(軒天)	ロックウール化粧板 吸音板(軒天用、フラットタイプ)						
											DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧板 吸音板(軒天用、凹凸タイプ)						
											RW-B	ロックウール吸音ボード						
											GW-B	グラスウール吸音ボード						
											MDF	ミディアムデンシティファイバーボード						
											HB	ハードボード						
											IB	インシュレーションボード						
											SL	セルフベリング(セメント系)						

耐火・防火材料リスト											注 記			
認 定 番 号	GB-R厚9.5	準不燃 QM-9828	外壁:金属サンドイッチパネル厚35横張り (アイジー断熱ヴァンドNZ35F同等) 内壁:GB-R厚12.5以上	防火構造 PC030NE-0242(1)							<ul style="list-style-type: none"> <li>仕上げ材は事前に使用材料承諾し及び見本品を提出し、監督員の承諾を得る事。</li> <li>仕上げ材の材料・施工方法はメーカー仕様書を確認し、仕上がり面は所要の状態とする事。</li> <li>床材の張り付けに先立ち下地表面の塵・不陸等のへこみは、ポリマーセメントペースト、ポリマーセメントモルタル等により補修を行い、突起等はサンダー掛け等を行い、平滑とする事。</li> <li>鉄の亜鉛メッキは、溶融亜鉛メッキ2種HDZ55(55g/m<sup>2</sup>)とし、板厚が薄い場合(4.5mm以下)の場合は、板厚に通した等級とする事。(板厚が1.6mm以下の場合は、電気亜鉛メッキとする事)</li> <li>吹付け仕上げ材は、見本吹付け板(450×900)を提出し、監督員の承諾を得る事。</li> <li>建具、家具等の金物は、見本品を提出し、監督員の承諾を得る事。</li> <li>外壁の設備配管貫通部分の詰めモルタルは、無収縮モルタルとする事。</li> <li>土間下断熱材のポリスチレンフォームはJIS A9511 B類3種bとする事。</li> <li>打込み断熱材のポリスチレンフォームはJIS A9511 B類2種bとする事。</li> <li>シーリングの色については、見本品を提出し監督員の承諾を得る事。</li> </ul>			
	GB-R厚12.5	不燃 NM-8619	外壁:金属サイディング厚16縦張り (KMEWスマートスパン同等)	不燃材料 NE-0017										
	GB-D厚9.5	準不燃 QM-0524	異種用途区画 間仕切壁 ALC版厚100縦張り	耐火構造(1h) H12建告 第1399号										
	GB-S厚12.5	不燃 NM-9639	スバンドレル(防火構造)	PC030NE-9109										
	DR厚12.0	不燃 NM-8599	吹付ロックウール(断熱材)	NM-8601										
	ケイカル厚6.0、8.0	不燃 NM-3522												
	不燃下地 ビニルクロス(防火種別1-4)	不燃 NM-0950												



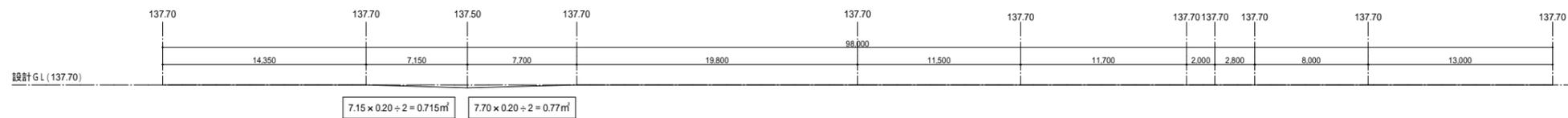


記号	計算式(m)	面積(m <sup>2</sup> )
1	1.2744 × 0.4516 ÷ 2	0.2878
2	2.3664 × 0.3568 ÷ 2	0.4222
3	8.6999 × 2.4327 ÷ 2	10.5821
4	10.5514 × 1.1048 ÷ 2	5.8286
5	15.9843 × 2.9560 ÷ 2	23.6248
6	7.9706 × 0.8170 ÷ 2	3.2560
7	18.5609 × 6.2966 ÷ 2	58.4353
8	21.9531 × 5.3687 ÷ 2	58.9298
9	27.3383 × 7.9718 ÷ 2	108.9677
10	24.6316 × 3.9602 ÷ 2	48.7730
11	27.8939 × 12.5292 ÷ 2	174.7441
12	27.8939 × 13.3476 ÷ 2	186.1583
13	23.3014 × 1.2182 ÷ 2	14.1929
14	23.1735 × 0.4655 ÷ 2	5.3936
15	17.2643 × 2.9127 ÷ 2	25.1429
16	28.3866 × 19.2069 ÷ 2	272.6093
17	28.3866 × 8.4281 ÷ 2	119.6226
18	30.5678 × 10.4009 ÷ 2	158.9663
19	19.6617 × 1.5366 ÷ 2	15.1061
20	32.7334 × 9.8454 ÷ 2	161.1367
21	32.7334 × 16.3933 ÷ 2	268.3042
合計面積		1,720.48

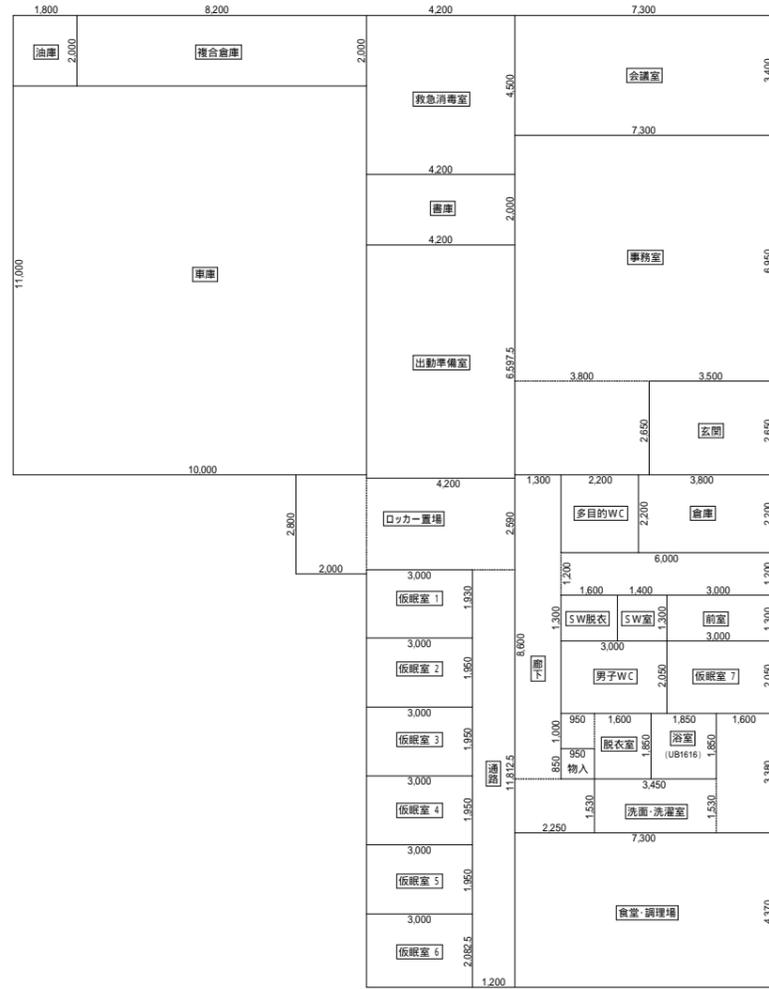


符号	計算式	計	庁舎棟		駐輪場棟	
			建築面積	延床面積	建築面積	延床面積
A	10.00 × 13.00	130.00㎡	130.00㎡	130.00㎡		
B	11.50 × 27.50	316.25㎡	316.25㎡	316.25㎡		
C	2.00 × 2.80	5.60㎡	5.60㎡	5.60㎡		
D	2.00 × 10.46	20.92㎡	20.92㎡	20.92㎡		
ア	1.00 × 13.00	13.00㎡	13.00㎡			
イ	0.585 × 3.00	1.755㎡	1.755㎡			
E	3.048 × 2.00	6.096㎡			6.096㎡	6.096㎡
合計			487.53㎡	472.77㎡	6.10㎡	6.10㎡

	庁舎棟	駐輪場棟	合計
建築面積	487.53㎡	6.10㎡	493.63㎡
延床面積	472.77㎡	6.10㎡	478.87㎡



0.715㎡ + 0.77㎡ = 1.485㎡ ÷ 98.00m = 0.015m  
 137.70 - 0.015 = 137.685  
 依って137.685を平均地盤面とする。



ALVS 検討表

室名	室面積	採光無窓の検討 (A / 20)			換気無窓の検討 (A / 20)			排煙無窓の検討 (A / 50)		
		必要採光面積 (㎡)	有効採光面積 (㎡)		必要換気面積 (㎡)	有効換気面積 (㎡)		必要排煙面積 (㎡)	有効排煙面積 (㎡)	
事務室	60.81㎡	3.05㎡	AW-1 1.80 x 1.12 x 2 = 4.032㎡ 0.865 x 0.40 x 2 x 2 = 1.384㎡	合計 5.416㎡ 3.05㎡ OK	3.05㎡	AW-1 0.90 x 1.12 x 2 = 2.016㎡ 0.865 x 0.40 x 2 x 2 = 1.384㎡	合計 3.40㎡ 3.05㎡ OK	1.22㎡	AW-1 0.90 x 0.14 x 2 = 0.252㎡ 0.865 x 0.40 x 2 x 2 = 1.384㎡	合計 1.636㎡ 1.22㎡ OK
会議室	24.82㎡	1.25㎡	AW-2 1.80 x 0.76 x 2 x 2 = 5.472㎡	合計 5.472㎡ 1.25㎡ OK	1.25㎡	AW-2 0.90 x 0.76 x 2 x 2 = 2.736㎡	合計 2.736㎡ 1.25㎡ OK	0.50㎡	AW-2 0.90 x 0.64 x 2 = 1.152㎡	合計 1.152㎡ 0.50㎡ OK
仮眠室 1	5.79㎡	0.29㎡	AW-5 0.60 x 0.40 x 1 = 0.240㎡ 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.912㎡ 0.29㎡ OK	0.29㎡	AW-5 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.672㎡ 0.29㎡ OK	0.12㎡	AW-5 0.60 x 0.54 x 1 = 0.324㎡	合計 0.324㎡ 0.12㎡ OK
仮眠室 2 - 5	5.85㎡	0.30㎡	AW-5 0.60 x 0.40 x 1 = 0.240㎡ 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.912㎡ 0.30㎡ OK	0.30㎡	AW-5 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.672㎡ 0.30㎡ OK	0.12㎡	AW-5 0.60 x 0.54 x 1 = 0.324㎡	合計 0.324㎡ 0.12㎡ OK
仮眠室 6	6.25㎡	0.32㎡	AW-5 0.60 x 0.40 x 1 = 0.240㎡ 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.912㎡ 0.32㎡ OK	0.32㎡	AW-5 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.672㎡ 0.32㎡ OK	0.13㎡	AW-5 0.60 x 0.54 x 1 = 0.324㎡	合計 0.324㎡ 0.13㎡ OK
仮眠室 7	6.15㎡	0.31㎡	AW-7 0.60 x 0.40 x 1 = 0.240㎡ 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.912㎡ 0.31㎡ OK	0.31㎡	AW-7 0.60 x 1.12 x 1 = 0.672㎡	合計 0.672㎡ 0.31㎡ OK	0.13㎡	AW-7 0.60 x 0.84 x 1 = 0.504㎡	合計 0.504㎡ 0.13㎡ OK
食堂・調理場	31.90㎡	1.60㎡	AW-8 1.50 x 0.76 x 2 x 2 = 4.560㎡	合計 4.560㎡ 1.60㎡ OK	1.60㎡	AW-8 0.75 x 0.76 x 2 x 2 = 2.280㎡	合計 2.280㎡ 1.60㎡ OK	0.64㎡	AW-8 0.75 x 0.64 x 2 = 0.960㎡	合計 0.960㎡ 0.64㎡ OK

消防無窓 検討表

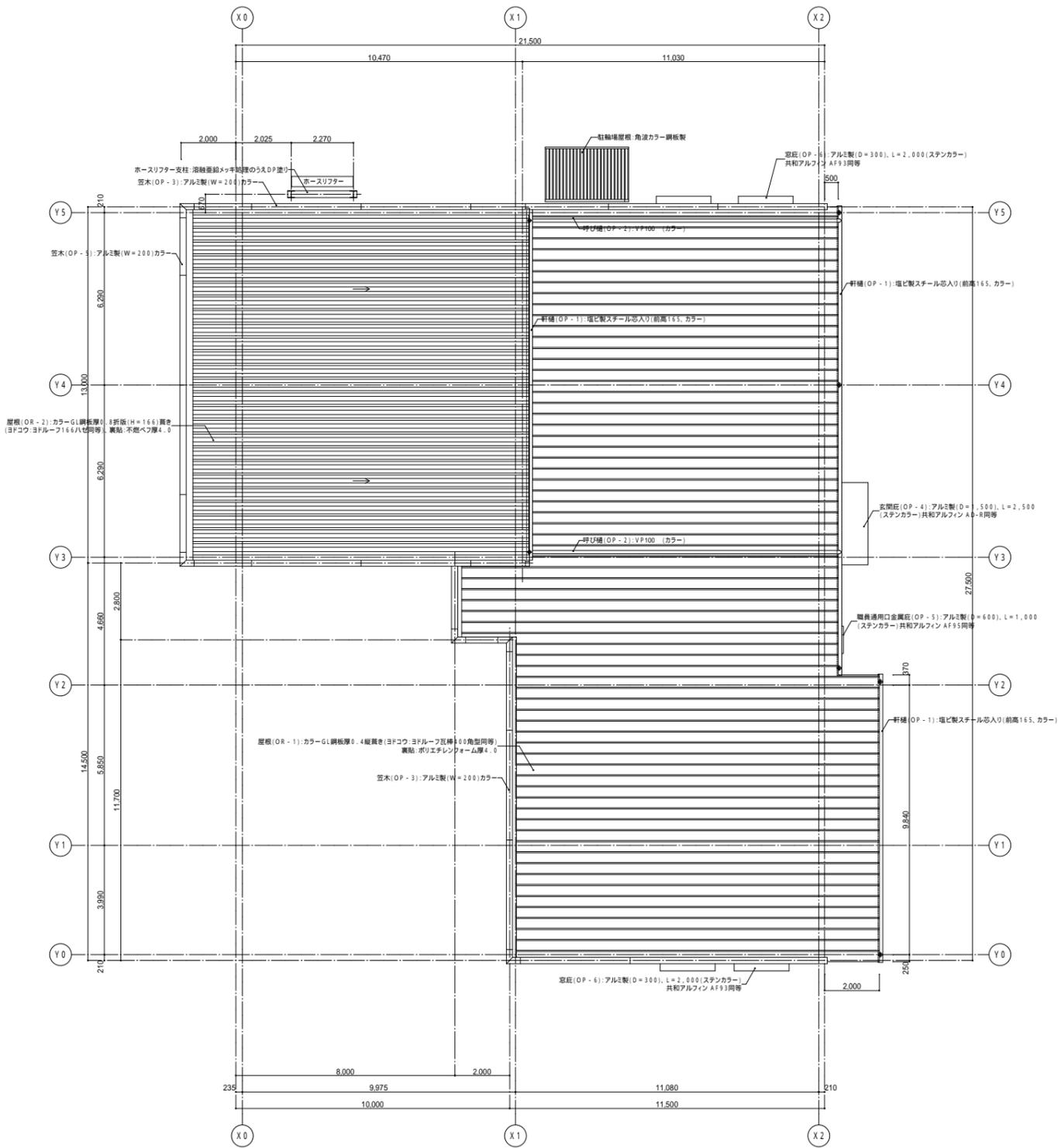
階数	符号	形式	ガラス種類	床からの高さ	有効開口寸法		
1 階	AD-1	片引き戸	強化ガラス5.0	±0	1.068 x 2.10	= 2.2428 ㎡	直径1m以上の円が内接することができる開口部 又は幅75cm以上高さ1.2m以上の開口部
	AD-3	片開き戸	透明3.0 + 型4.0 (ペア)	±0	0.80 x 1.94	= 1.5520 ㎡	
	AW-1	引違い窓	透明3.0 + 型4.0 (ペア)	+920mm	0.90 x 1.12 x 2	= 2.0160 ㎡	
	AW-2	引違い窓	透明3.0 + 型4.0 (ペア)	+920mm	0.90 x 0.76 x 2	= 1.3680 ㎡	
	AW-5	片開き窓	透明3.0 + 型4.0 (ペア)	+900mm	0.60 x 1.12 x 6	= 4.0320 ㎡	
	AW-8	引違い窓	透明3.0 + 型4.0 (ペア)	+920mm	0.75 x 0.76 x 2	= 1.1400 ㎡	
	SS-1	軽量バランスシャッター	アルミ製スラット	±0	1.50 x 1.95	= 2.9250 ㎡	直径1m以上の円が内接することができる開口部 又は幅75cm以上高さ1.2m以上の開口部
					合計 15.275㎡	451.85㎡ ÷ 30 = 15.07㎡	OK

室名	室名	室面積	室名	室面積
玄関	3.50 x 2.65	9.28㎡	食堂・調理場	7.30 x 4.37
事務室	(7.30 x 6.95) + (3.80 x 2.65)	60.81㎡	洗面・洗濯室	(3.45 x 1.53) + (1.60 x 3.38)
会議室	7.30 x 3.40	24.82㎡	物入	0.95 x 0.85
救急消毒室	4.20 x 4.50	18.90㎡	脱衣室	(0.95 x 1.00) + (1.60 x 1.85)
倉庫	4.20 x 2.00	8.40㎡	浴室	1.85 x 1.85
出勤準備室	4.20 x 6.5975	27.71㎡	SW脱衣	1.60 x 1.30
車庫	10.00 x 11.00	110.00㎡	S W 室	1.40 x 1.30
油庫	1.80 x 2.00	3.60㎡	男子WC	3.00 x 2.05
複合倉庫	8.20 x 2.00	16.40㎡	多目的WC	2.20 x 2.20
廊下	(1.30 x 8.60) + (6.00 x 1.20) + (2.25 x 1.53)	21.82㎡	倉庫	3.80 x 2.20
ロッカー置場	(2.00 x 2.80) + (4.20 x 2.59)	16.48㎡		
通路	1.20 x 11.8125	14.18㎡		
仮眠室 1	3.00 x 1.93	5.79㎡		
仮眠室 2	3.00 x 1.95	5.85㎡		
仮眠室 3	3.00 x 1.95	5.85㎡		
仮眠室 4	3.00 x 1.95	5.85㎡		
仮眠室 5	3.00 x 1.95	5.85㎡		
仮眠室 6	3.00 x 2.0825	6.25㎡		
前室	3.00 x 1.30	3.90㎡		
仮眠室 7	3.00 x 2.05	6.15㎡		

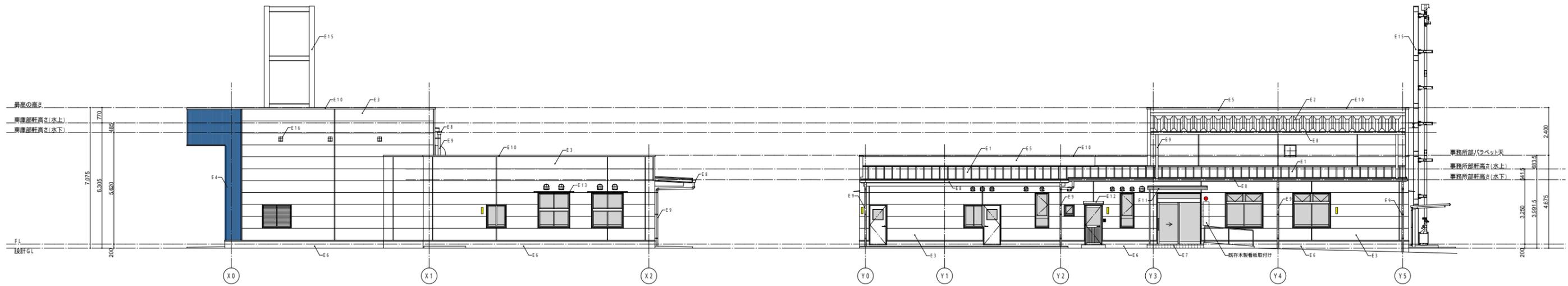
条文	
建令112条12項 (異種用途区画)	壁: ALC版厚100 (耐火構造: H12 建告第1399号) 防火戸: 特定防火設備 (常時閉鎖式) 建具表参照のこと 防火区画を貫通する配管、配電管: 両側1mを不燃材で造り、隙間を不燃材で埋めること。
法35条の2 (内装制限)	車庫: 壁 (不燃材)、天井 (不燃材) 内部仕上表参照のこと 食堂・調理場: 壁 (不燃材)、天井 (準不燃材) 内部仕上表参照のこと



- 平面図 1:100
- 異種用途区画壁: ALC版厚100(1H):H12建告1399号
- 特防 特定防火設備を示す
  - 防 特定防火設備を示す
  - 消 消火器BOX(UFB-3F-307-PWH)を示す。(10型消火器共)
  - 消 消火器BOX(UFB-1F-2720-PWH)を示す。(10型消火器共)
  - ▲ 室名札(平):パブリックサイン(200×50)同等
  - ▲ 室名札(平、突出ピクト):パブリックサイン(200×200)同等
  - 住宅用火災警報器(電気設備工事)



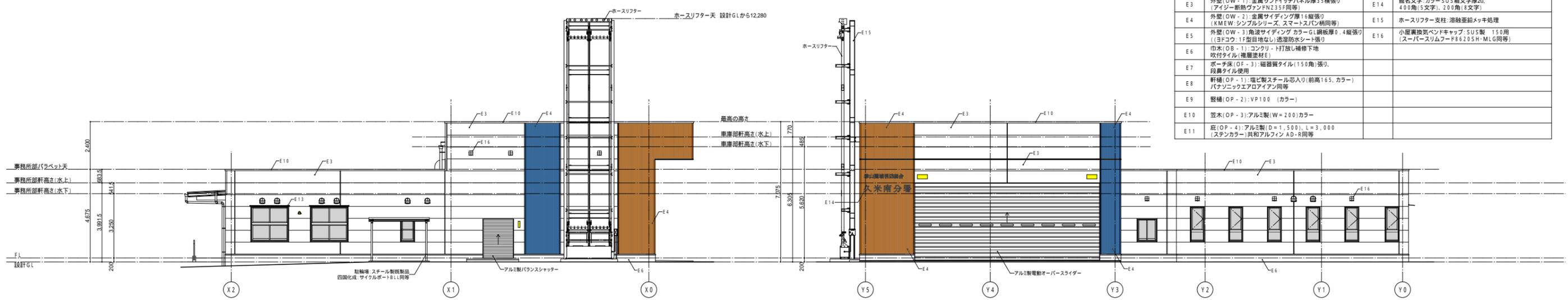
屋根伏図 1:100



南面 立面図 1:100

東面 立面図 1:100

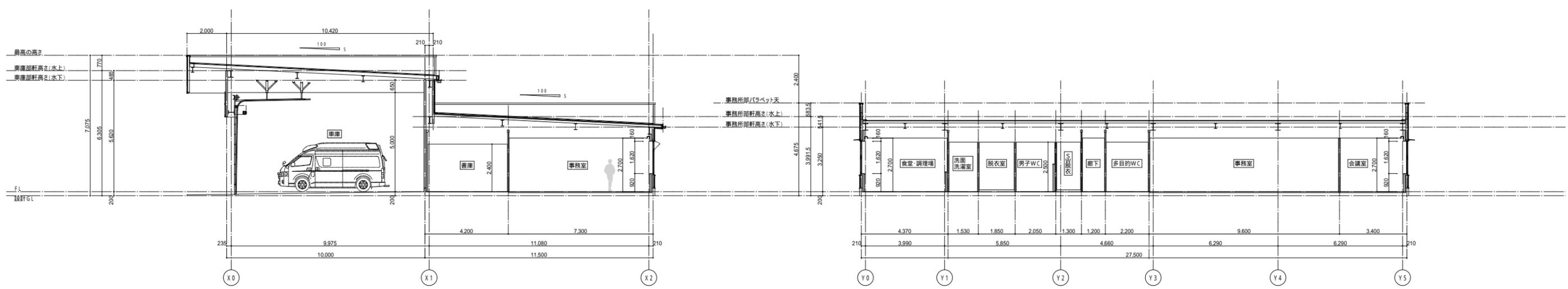
仕上リスト			
E1	屋根(OR-1):カラーGL鋼板厚0.5縦置き (ヨドコウ・ヨドルーフ瓦梯角型同等)	E12	庇(OP-5):アルミ製(D=600), L=1,000 (ステンカラー)共和アルフィン AF95同等
E2	屋根(OR-2):カラーGL鋼板厚0.8折版(H=166)置き (ヨドコウ・ヨドルーフ166ハセ同等)	E13	庇(OP-6):アルミ製(D=300), L=2,000 (ステンカラー)共和アルフィン AF93同等
E3	外壁(OW-1):金属サドイッチパネル35横張り (アジエ-断熱グランドN235同等)	E14	館名文字:カラーSUS箱文字厚20, 400角(5文字), 200角(3文字)
E4	外壁(OW-2):金属サイディング厚16縦張り (KMEW:シンプルシリーズ・スマートスパン同等)	E15	ホースリフト支柱:溶融亜鉛メッキ処理
E5	外壁(OW-3):角造サイディング カラーGL鋼板厚0.4縦張り (ヨドコウ:1F型目地なし)透湿防水シート張り	E16	小屋裏換気ベンドキャップ:SUS製 150用 (スーパーフォームF8620SH・MLG同等)
E6	巾木(OB-1):コンクリート打放し補修下地 吹付タイル(襖屋塗材E)		
E7	ポーチ床(OF-3):磁器質タイル(150角)張り, 段差タイル使用		
E8	軒樋(OP-1):塩ビ製スチール芯入り(前高165, カラー) パナソニックエアロアイン同等		
E9	縦樋(OP-2):VP100 (カラー)		
E10	空木(OP-3):アルミ製(W=200)カラー		
E11	庇(OP-4):アルミ製(D=1,500), L=3,000 (ステンカラー)共和アルフィン AD-R同等		



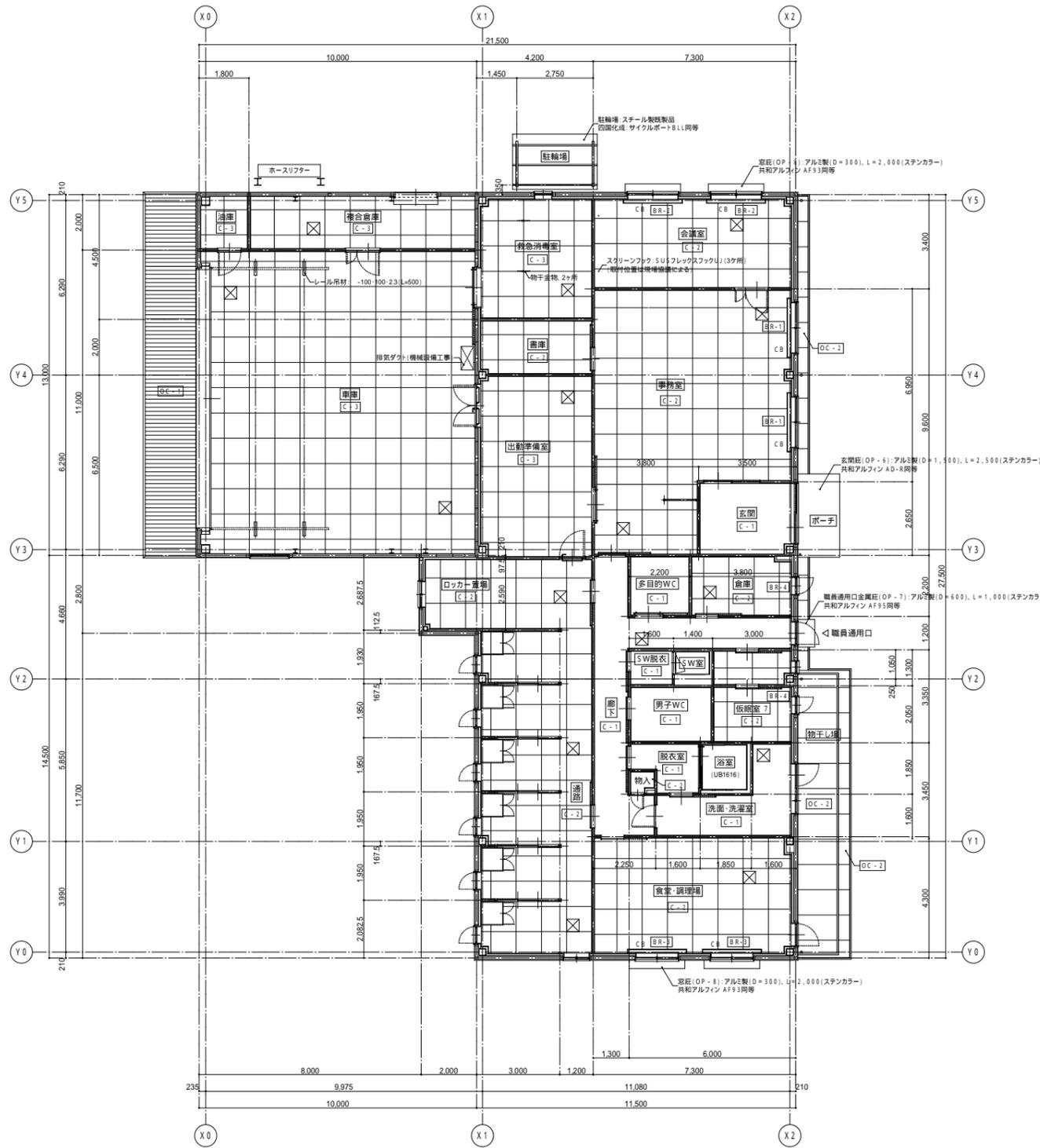
北面 立面図 1:100

西面 立面図 1:100

A-12図に依り、設計GL(137.70)-0.015=137.685を平均地盤面とする。  
依って、庁舎棟各部の高さは図面寸法に15mmを加えた寸法とする。



A-A 断面図 1:100

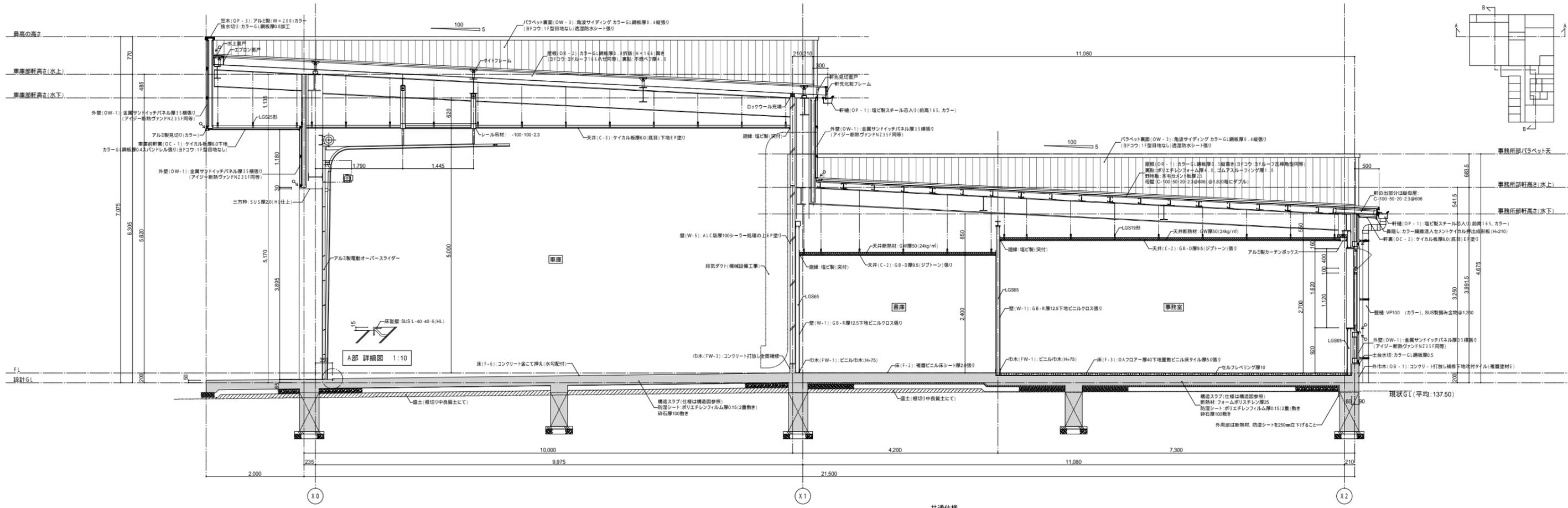


天井伏図 1:100

仕上り	仕様
C-1	GB-R厚9.5下地ビニルクロス張り
C-2	GB-D厚9.5(ジブーン)張り
C-3	ケイカル板厚6.0(底目)下地EP塗り
OC-1	ケイカル板厚6.0下地カラーGL鋼板厚0.4ス/CDレール張り
OC-2	ケイカル板厚6.0(底目)下地EP塗り

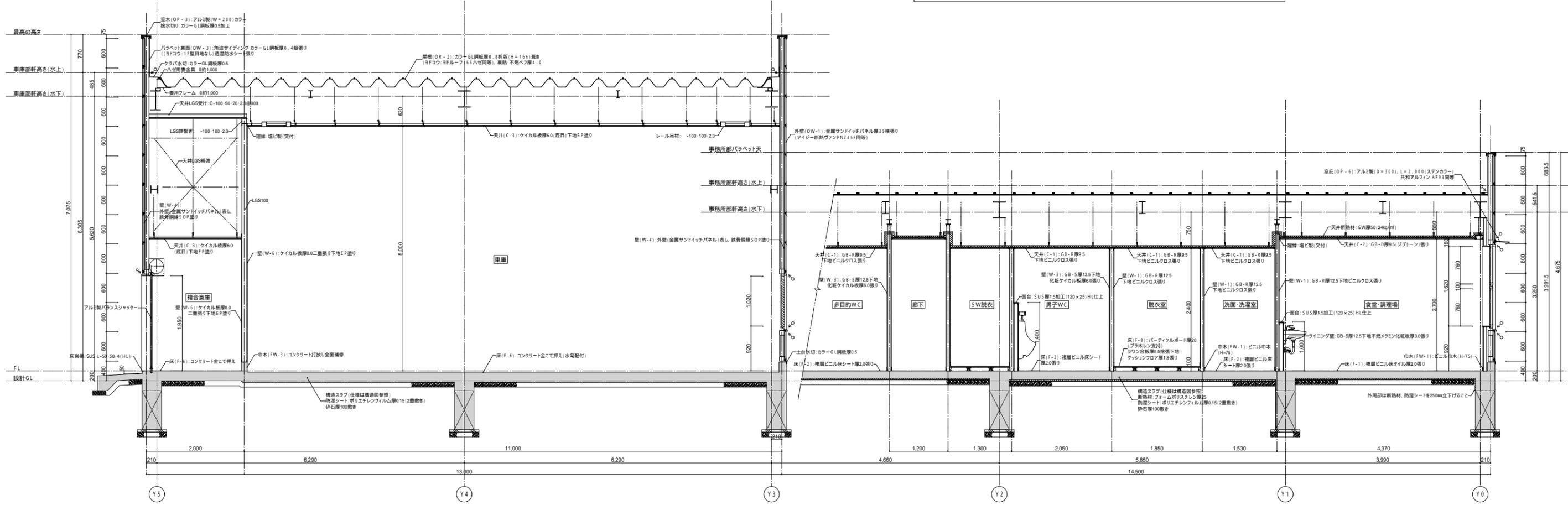
☒ 天井点検口(450)目地タイプを示す。  
 CB アルミ製ブラインドボックス

符号	種類	W × H	数量	備考
BR-1	アルミ製模型ブラインド	2,000 × 1,900	2	ボックス納まり タッチカワ:シルキ-25 ボール式 同等
BR-2	アルミ製模型ブラインド	2,000 × 1,900	2	ボックス納まり タッチカワ:シルキ-25 ボール式 同等
BR-3	アルミ製模型ブラインド	1,700 × 1,900	2	ボックス納まり タッチカワ:シルキ-25 ボール式 同等
BR-4	アルミ製模型ブラインド	600 × 1,620	2	懸垂直付け タッチカワ:シルキ-25 ボール式 同等



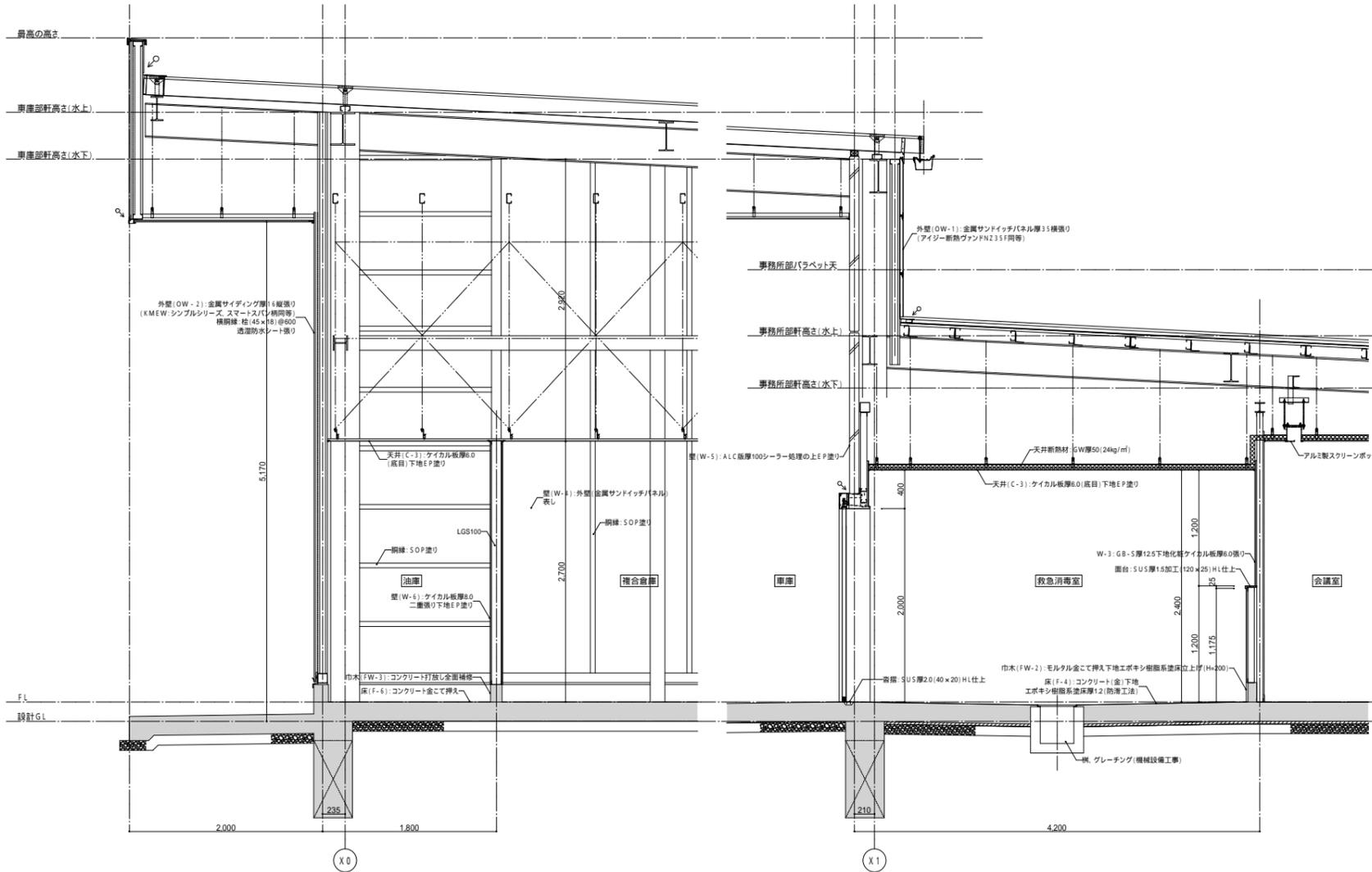
A-A 矩計図 1:40

**共通仕様**  
 車庫・油庫・複合倉庫以外の部分で外気に面する外壁面は、断熱材(グラスウール厚50、24kg/m<sup>3</sup>)を充填すること。  
 車庫・油庫・複合倉庫以外の部分で、土間が取合う熱橋部(地中梁部)は土間断熱材、防湿シートを250mm立下げること。

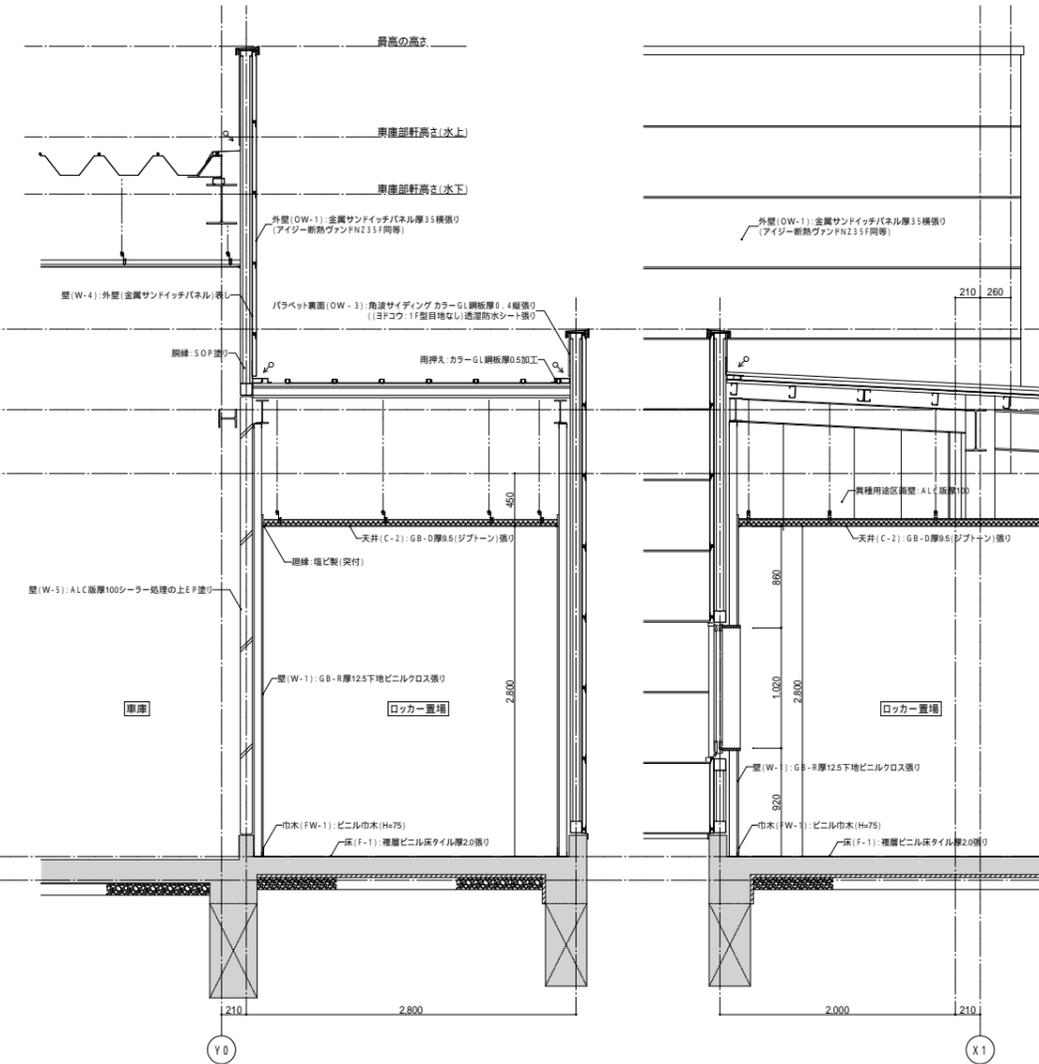


B-B 矩計図 1:40

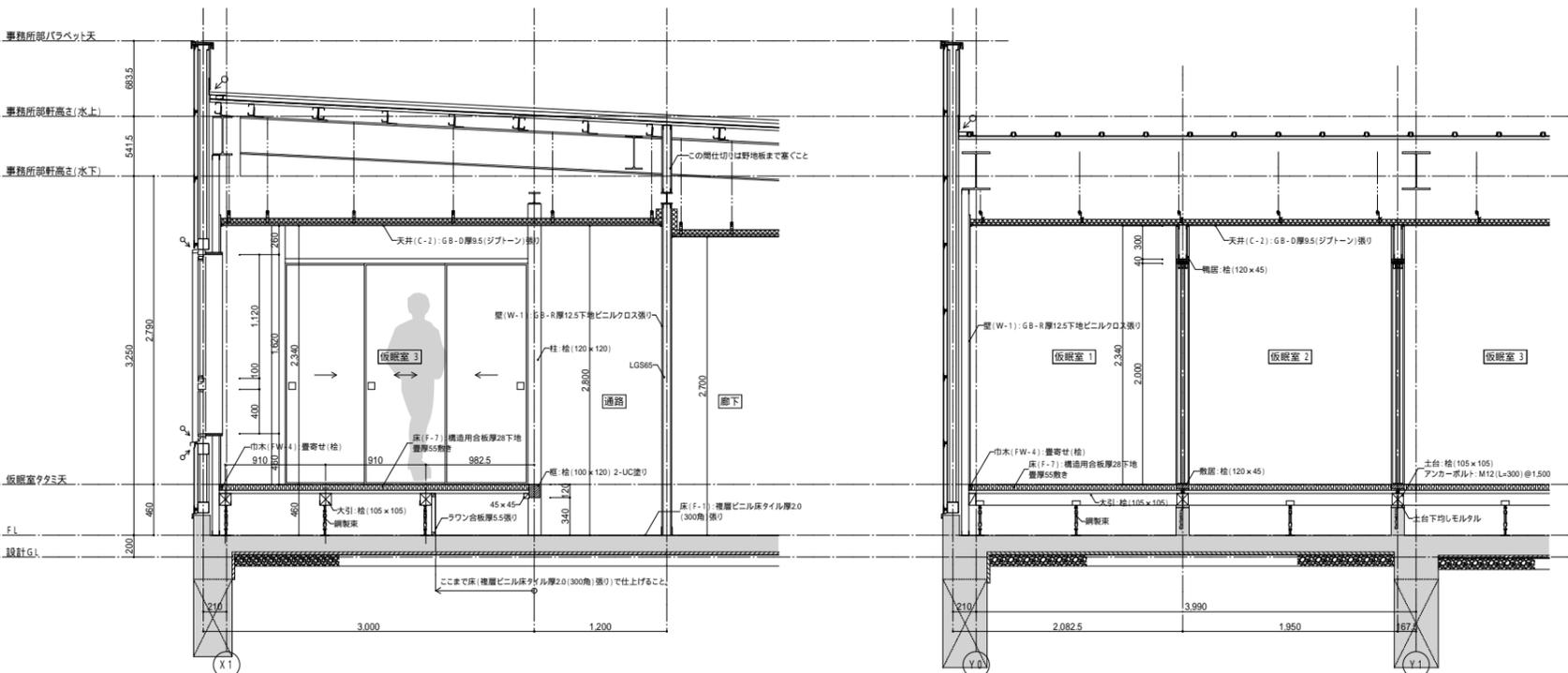
タイヤ置場・救急消毒室 断面詳細図 1:30



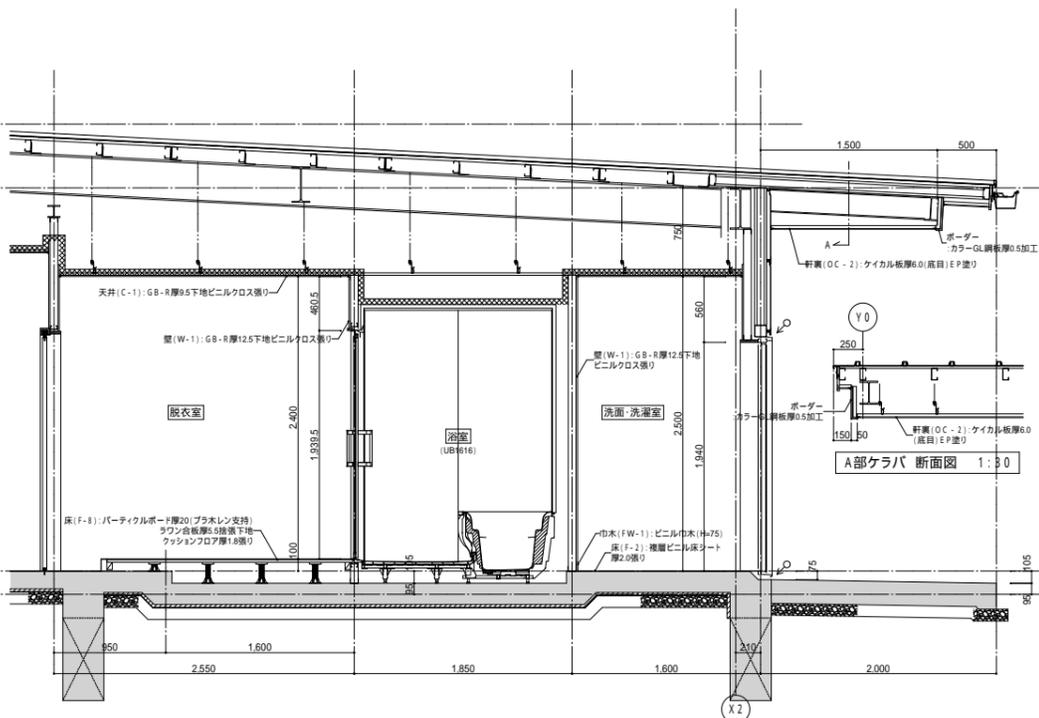
ロッカー置場 断面詳細図 1:30

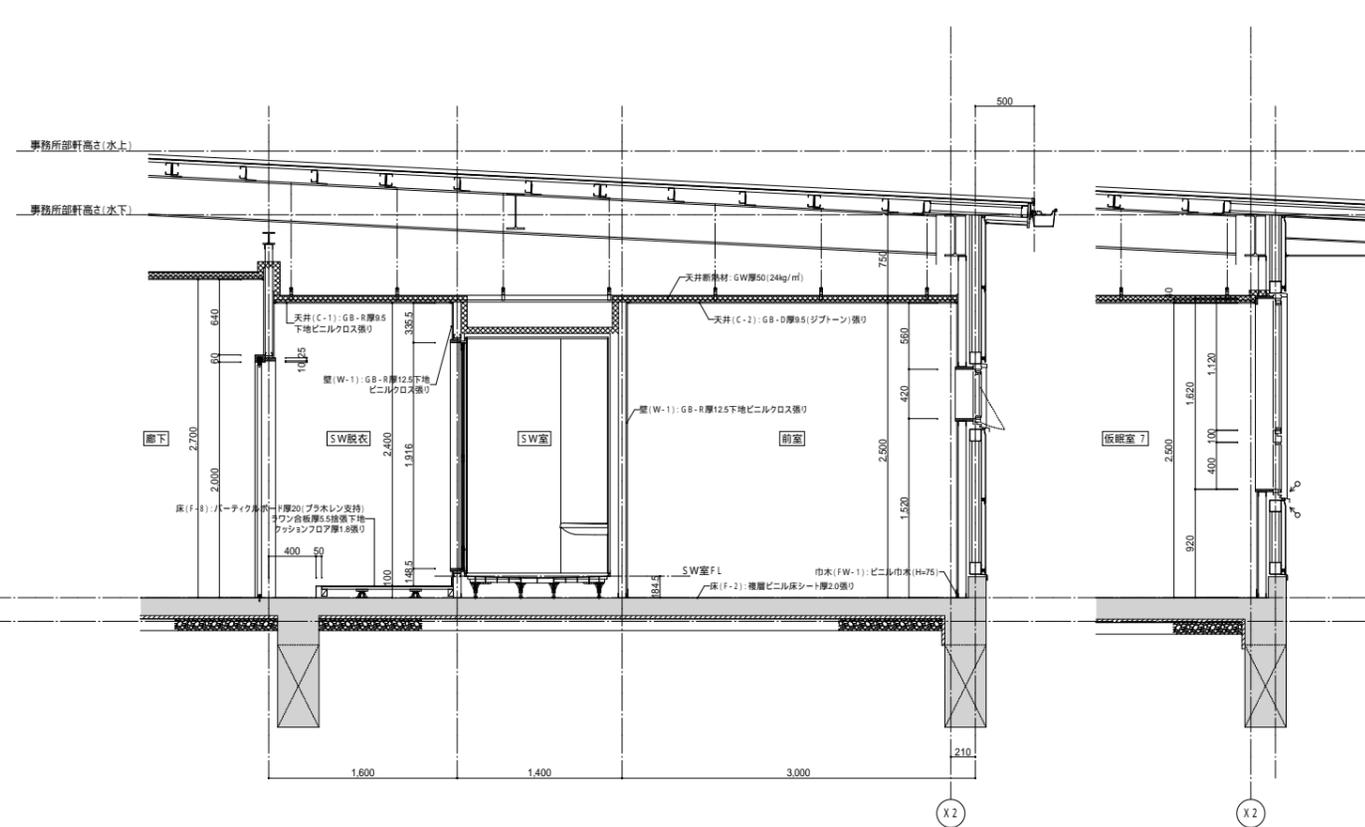
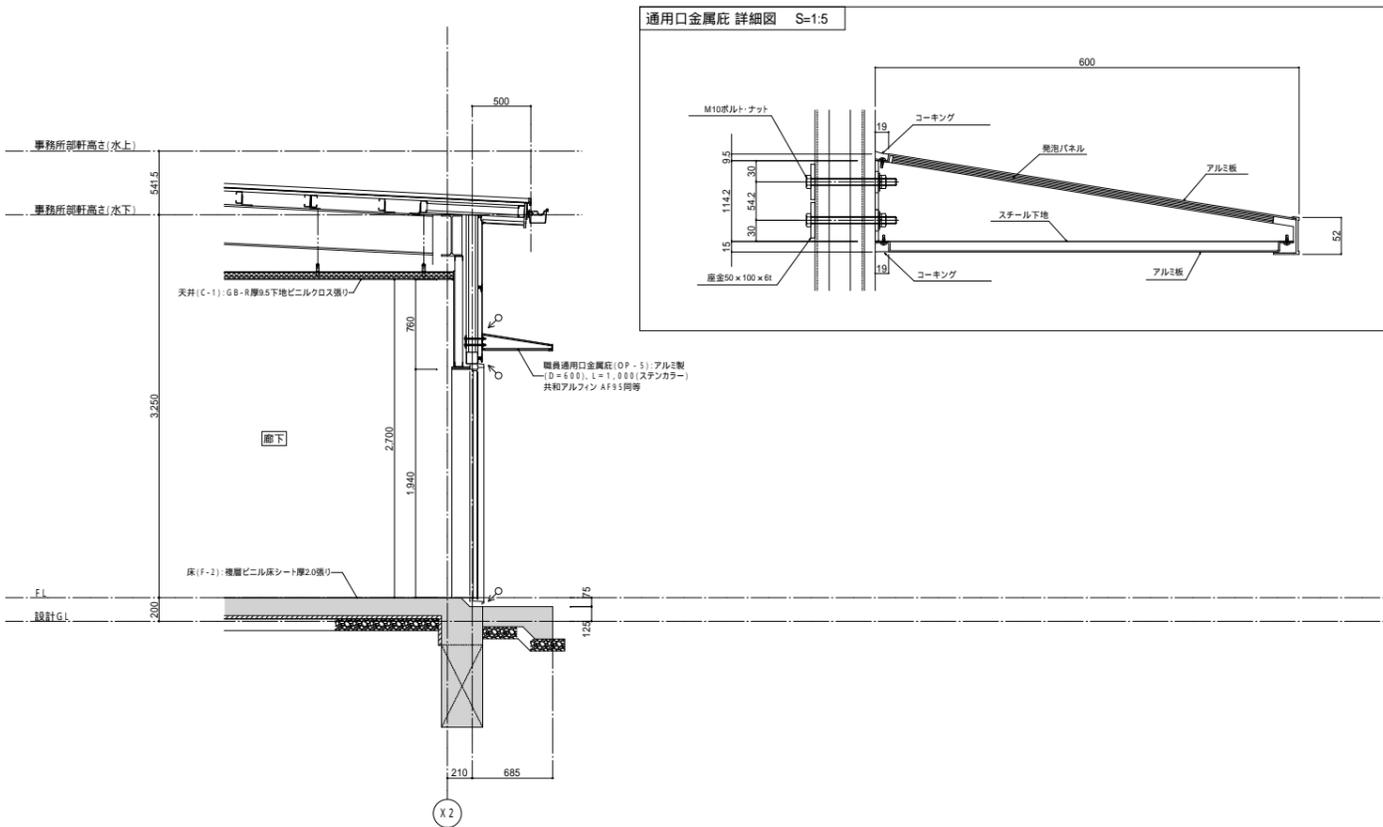
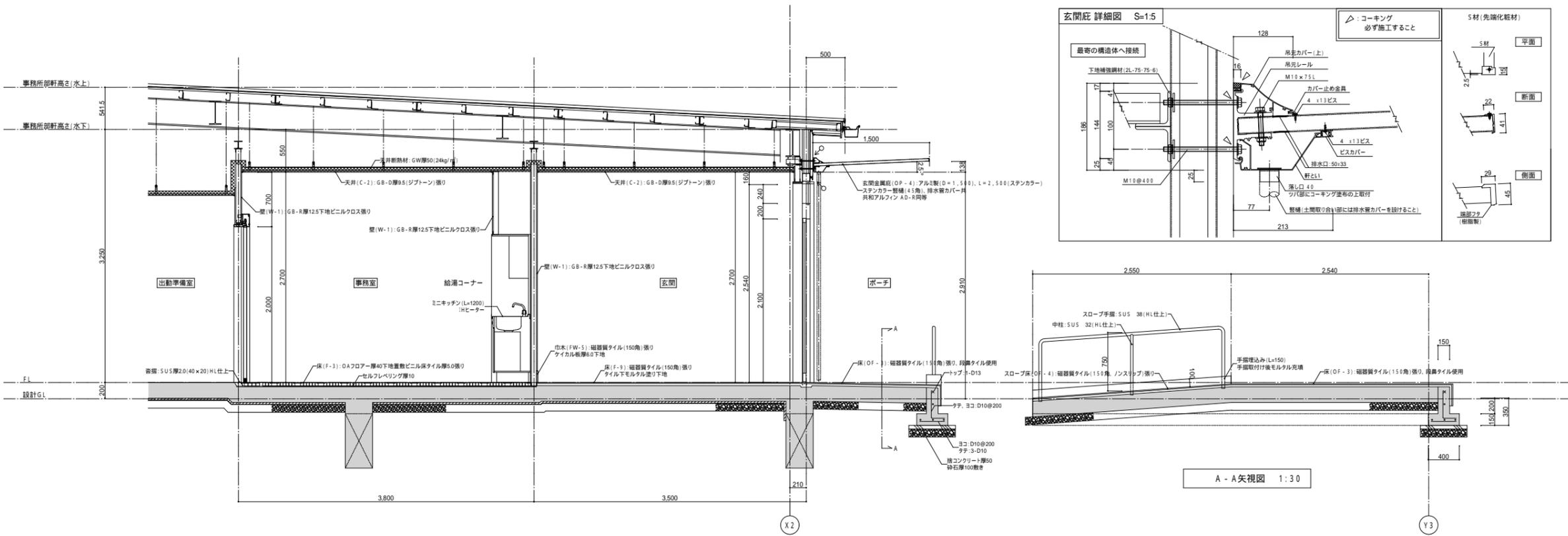


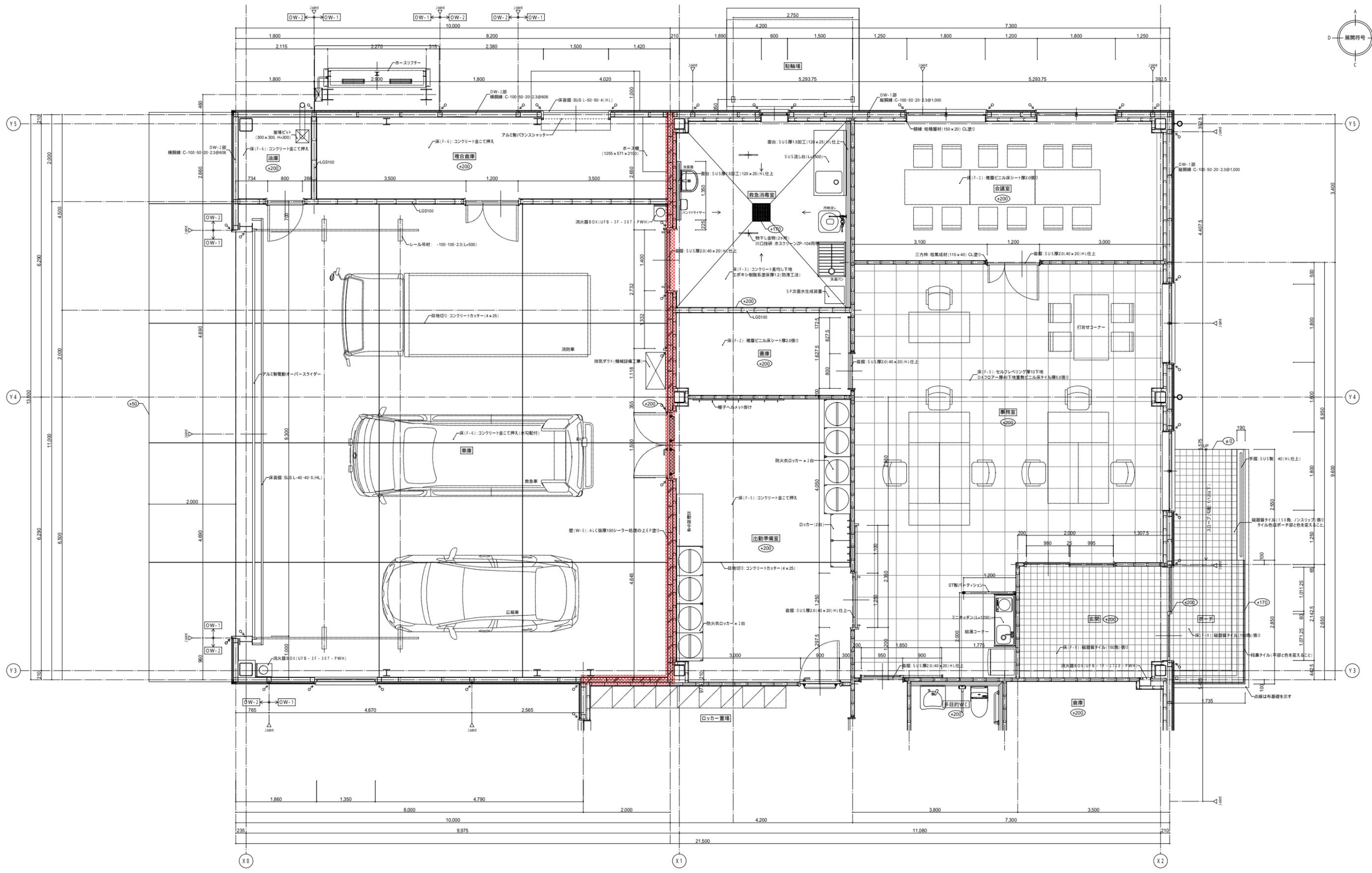
仮眠室 断面詳細図 1:30



脱衣室・浴室(1616) 断面詳細図 1:30



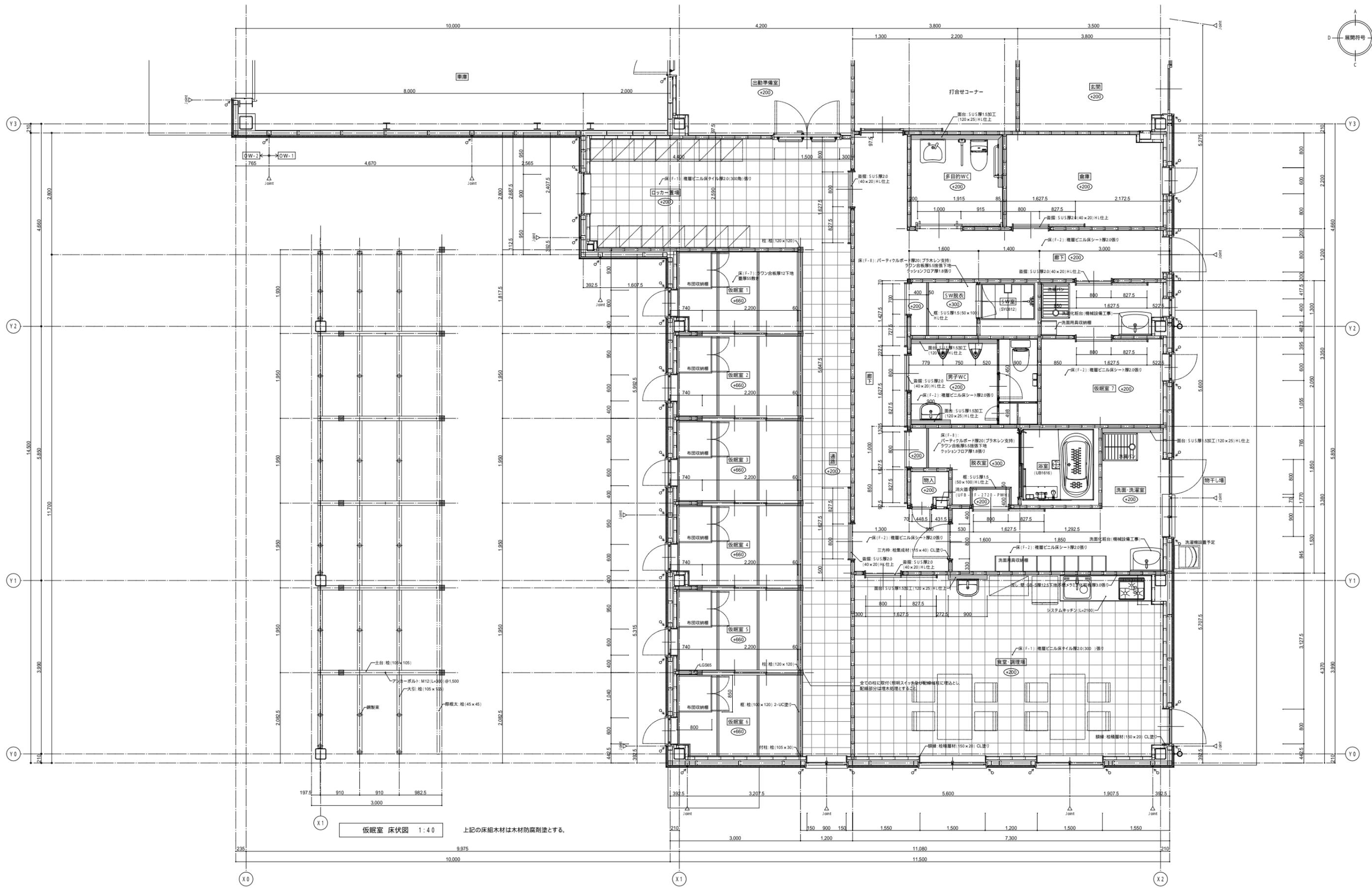




平面詳細図 1 1:40

異種用途区画壁:ALC版厚100(1H):H12建告1399号  
特記なき限り、壁LGSは65形とする。

△ 外壁の縦目地位置を示す。

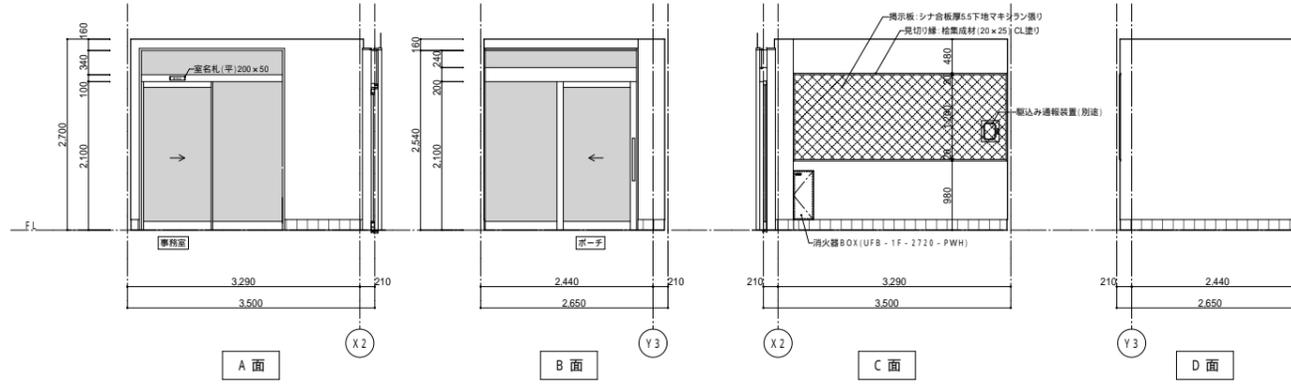


仮眠室 床伏図 1:4.0 上記の床組木材は木材防腐剤塗とする。

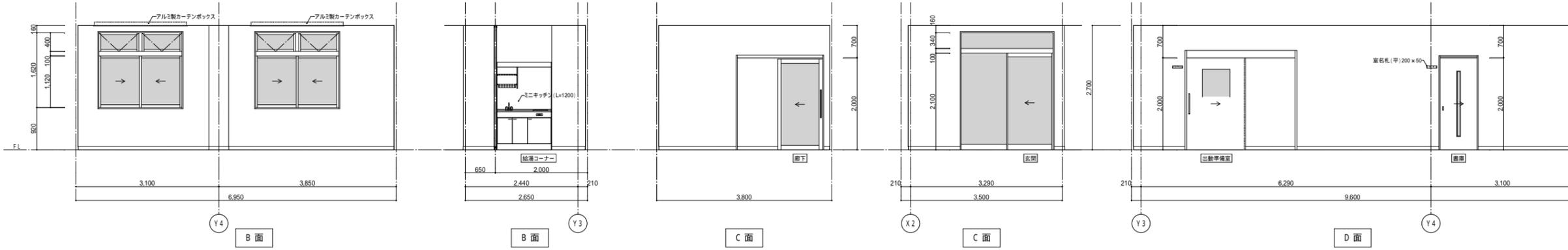
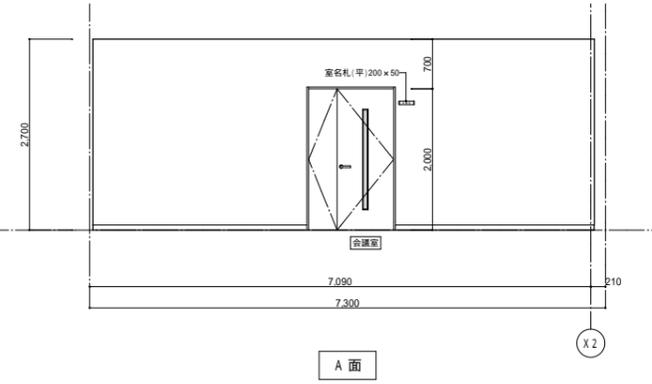
平面詳細図 2 1:4.0

異種用途区画壁:ALC版厚100(1H):H12建告1399号  
特記なき限り、壁LGSは6.5形とする。  
△ Joint 外壁の縦目地位置を示す。

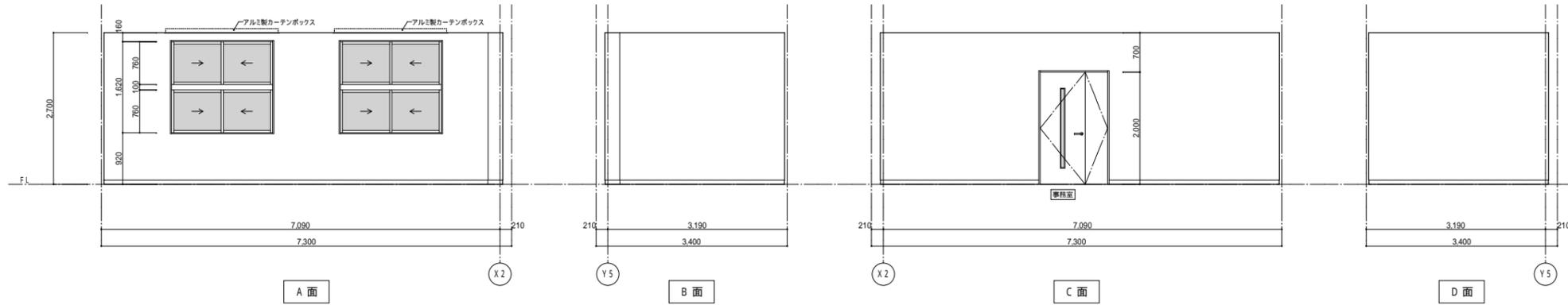
玄関	
天井	G8-R厚9.5下地ビニルクロス張り
壁	G8-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	磁器質タイル(150角)張り
床	磁器質タイル(150角)張り



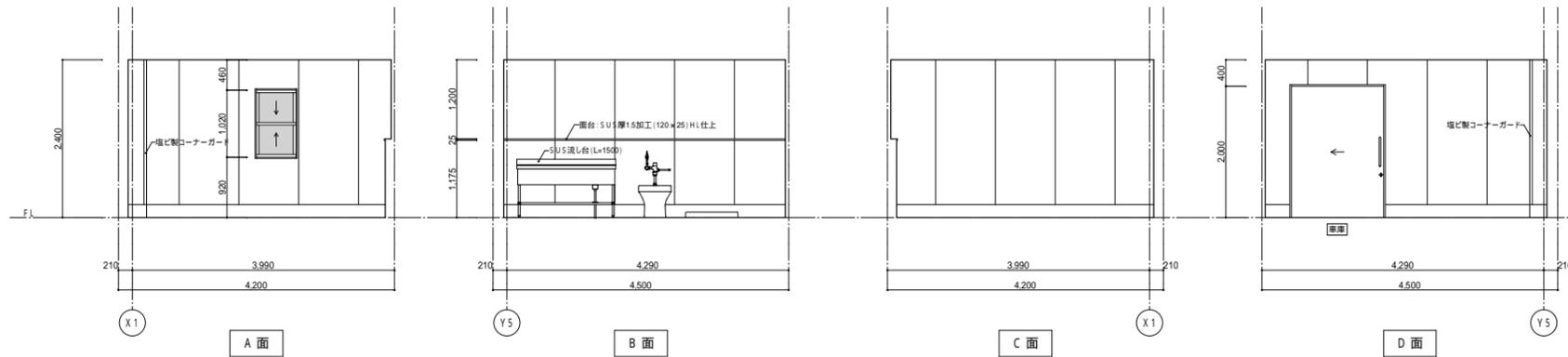
事務所	
天井	G8-D厚9.5(シブトーン)張り
壁	G8-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	セルフレベルング厚10下地 Oフロアー厚40下地 敷敷ビニル床タイル厚5.0張り



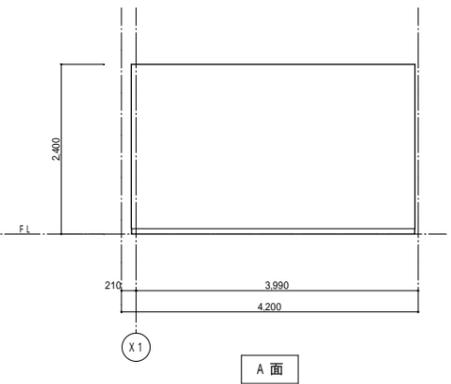
会議室	
天井	G8-D厚9.5(シブトーン)張り
壁	G8-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床タイル厚2.0張り

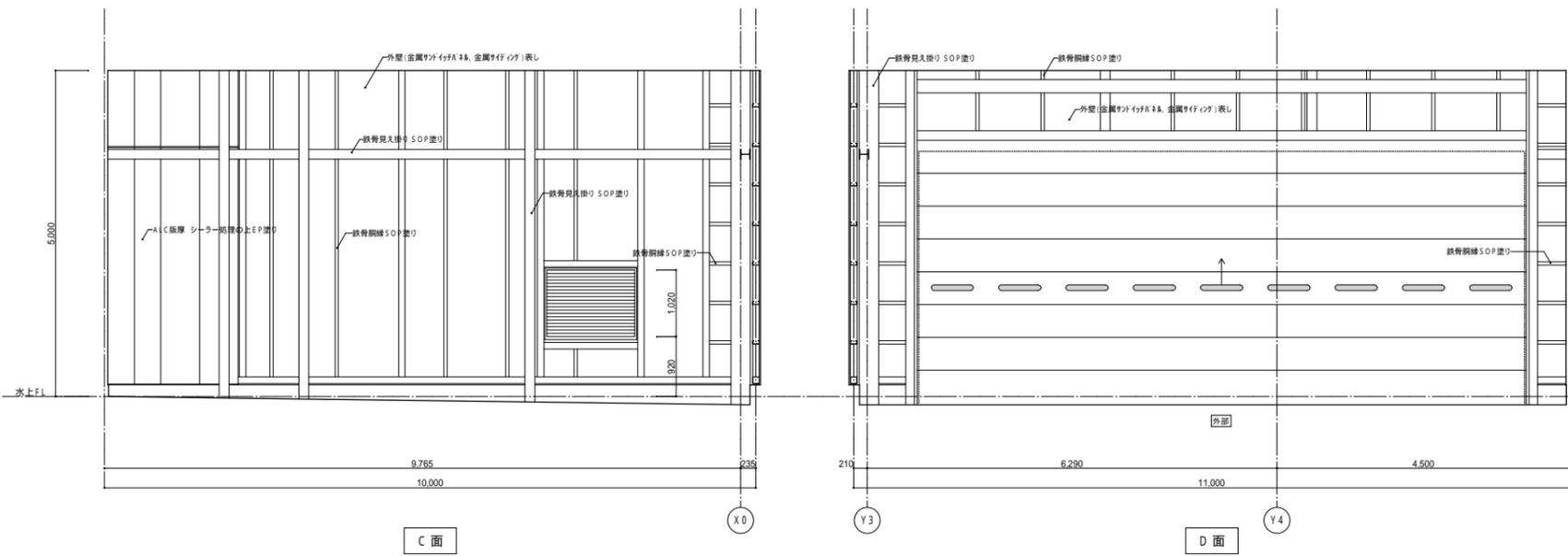
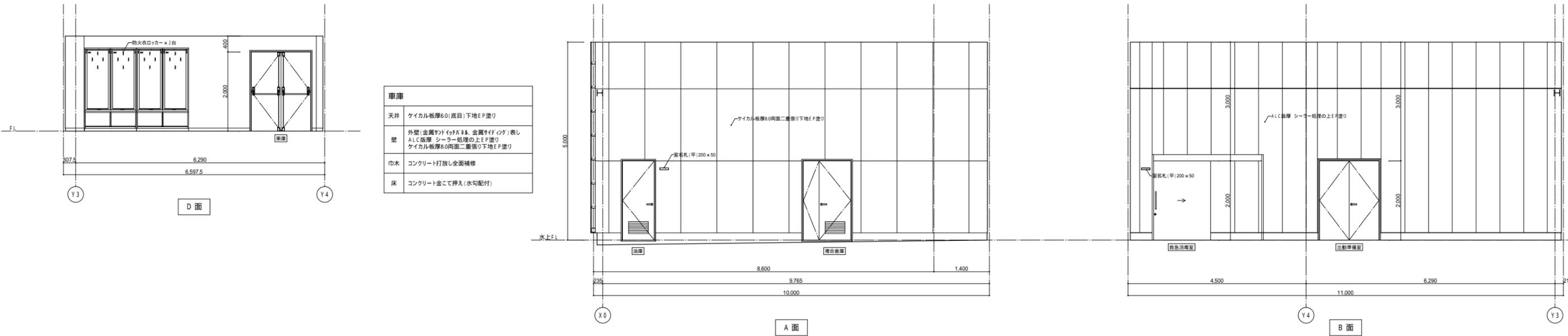
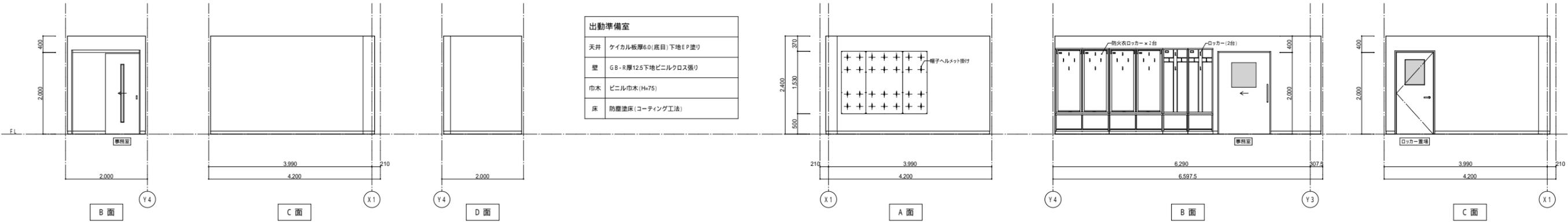


救急消毒室	
天井	ケイカル板厚6.0(底目)下地EP塗り
壁	G8-S厚12.5下地化粧ケイカル板厚6.0張り
巾木	モルタル金こて押入れ下地 エポキシ樹脂系塗床立上げ(H=200)
床	エポキシ樹脂系塗床厚1.2(防滑工法)

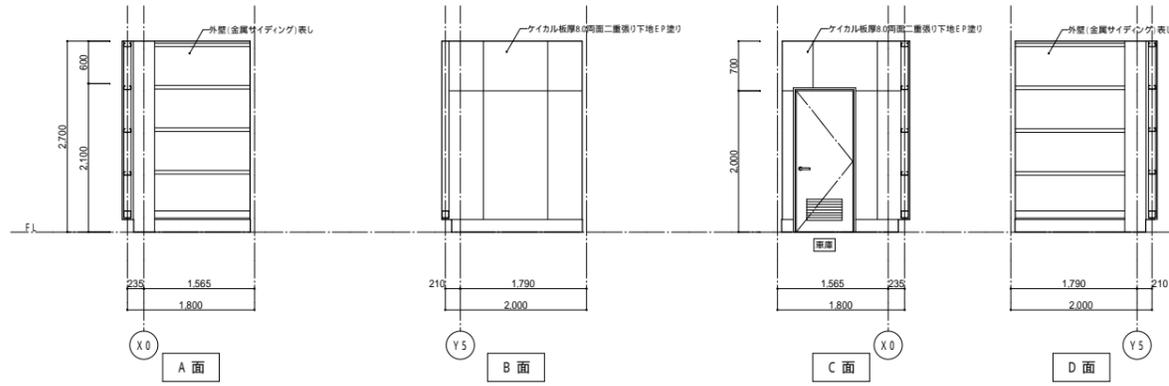


書庫	
天井	G8-D厚9.5(シブトーン)張り
壁	G8-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り

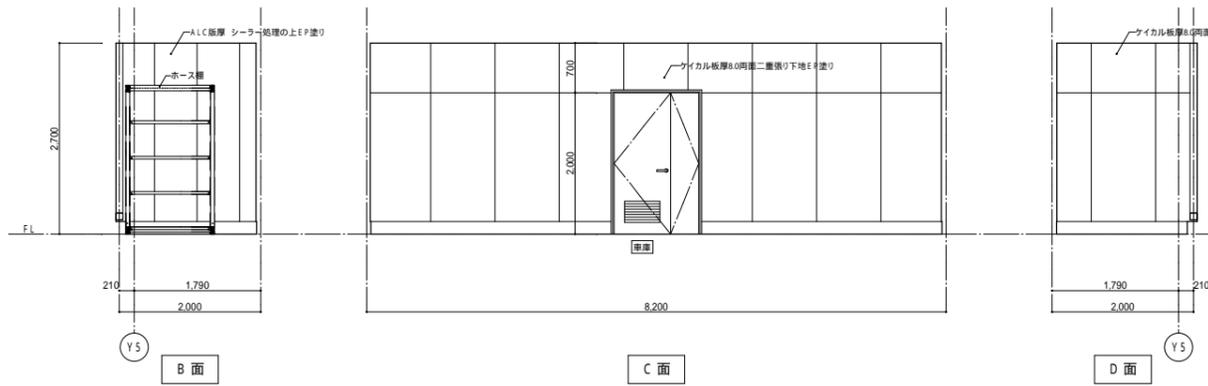
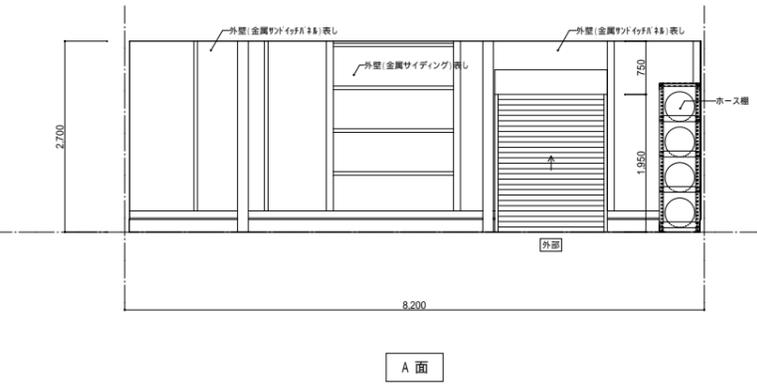




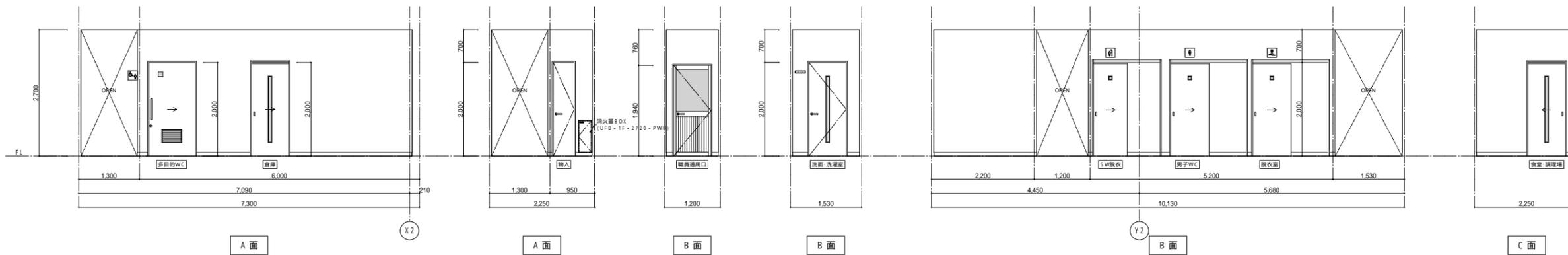
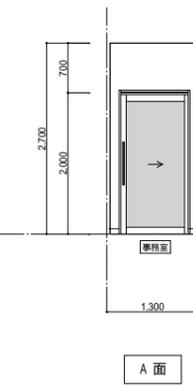
油庫	
天井	ケイカル板厚6.0(底目)下地E.P.塗り
壁	外壁(金属サイディング)表し ケイカル板厚8.0両面二重張り下地E.P.塗り
巾木	コンクリート打放し全面補修
床	コンクリート金こて押入



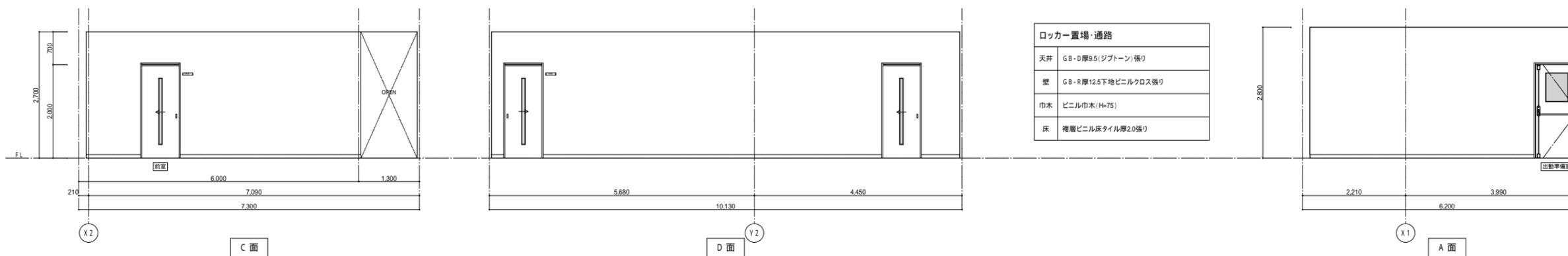
複合倉庫	
天井	ケイカル板厚6.0(底目)下地E.P.塗り
壁	外壁(金属サイディング)表し ケイカル板厚8.0両面二重張り下地E.P.塗り
巾木	コンクリート打放し全面補修
床	コンクリート金こて押入

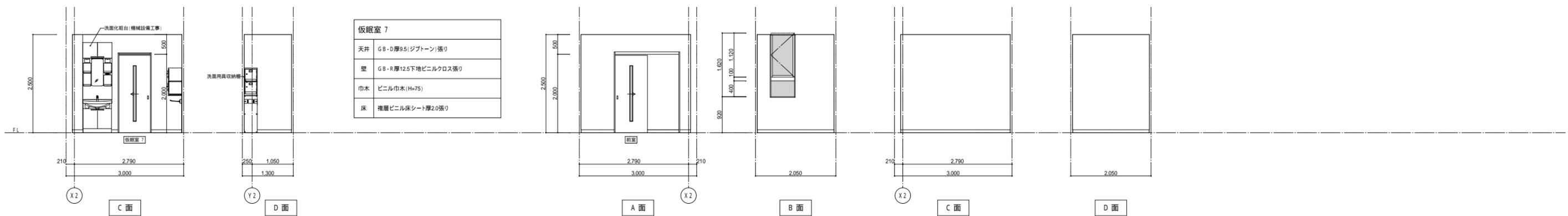
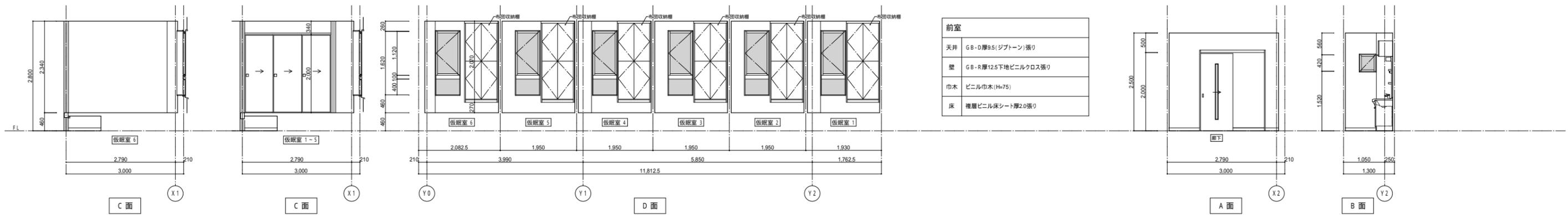
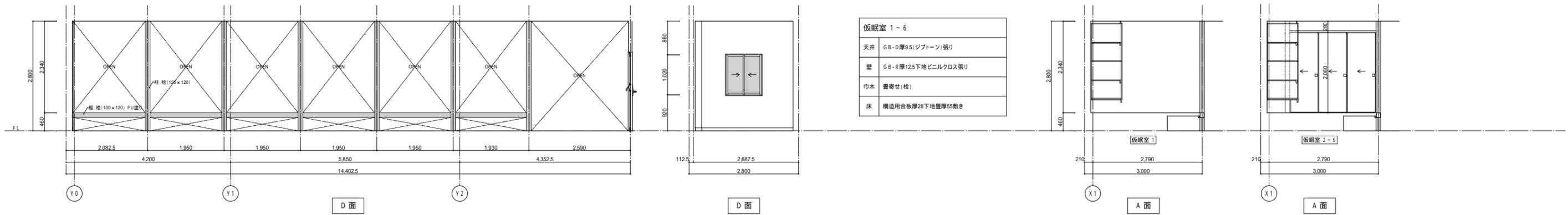
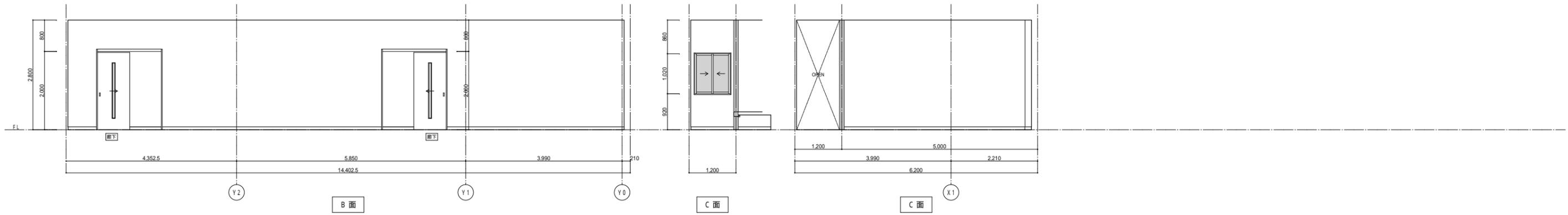


廊下	
天井	GB-R厚9.5下地ビニルクロス張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り

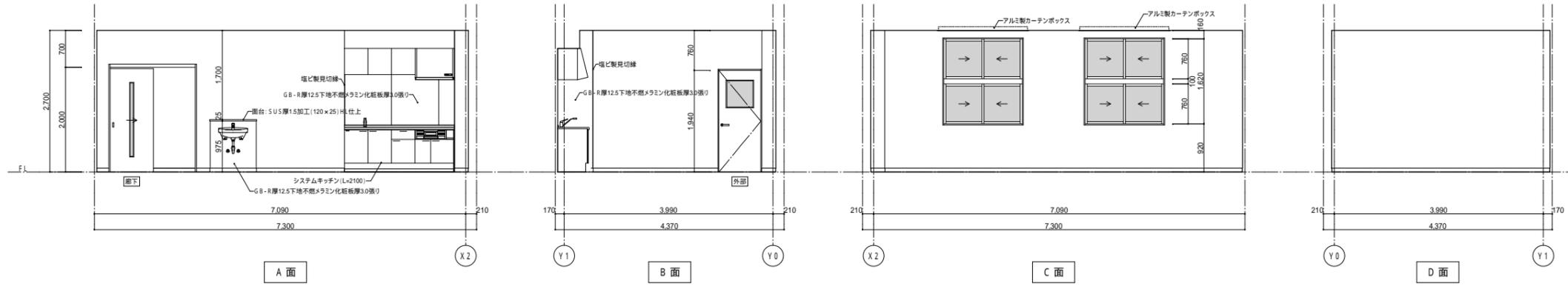


ロッカー置場・通路	
天井	GB-D厚9.5(スプーン)張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床タイル厚2.0張り

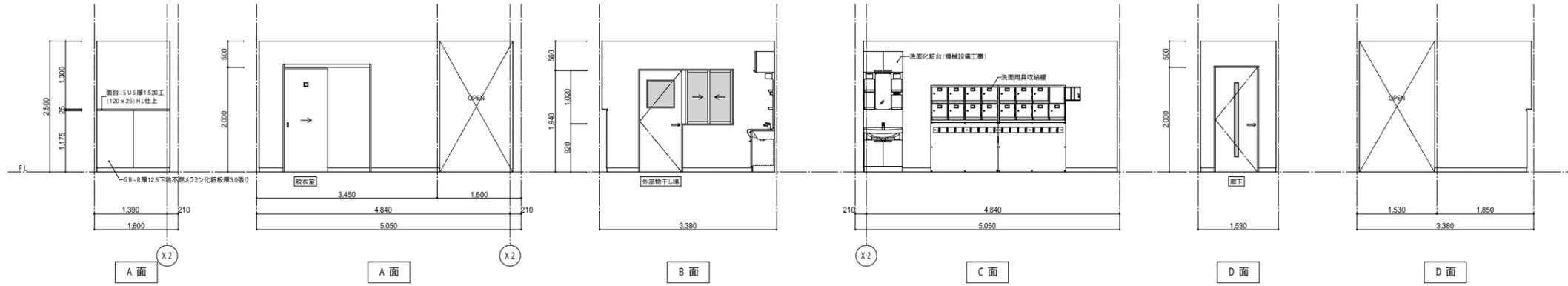




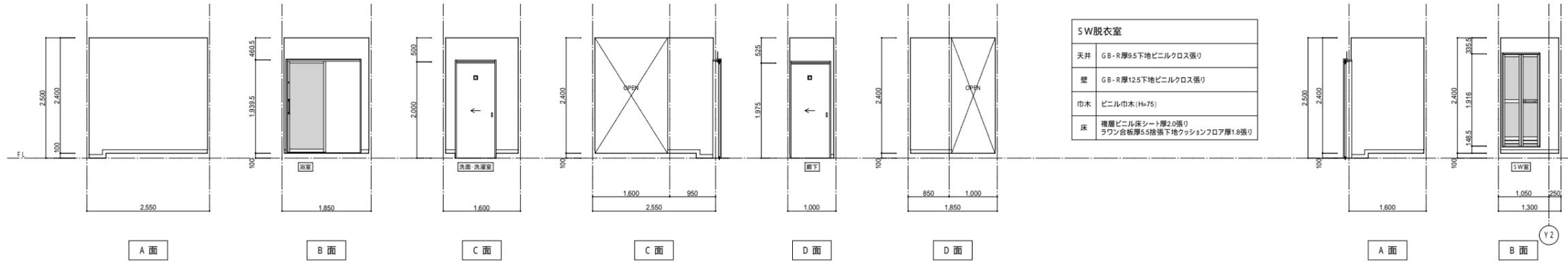
食堂・調理場	
天井	GB-R厚95(ジブトーン)張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り GB-R厚12.5下地不燃メラミン化粧板厚3.0張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床タイル厚2.0張り



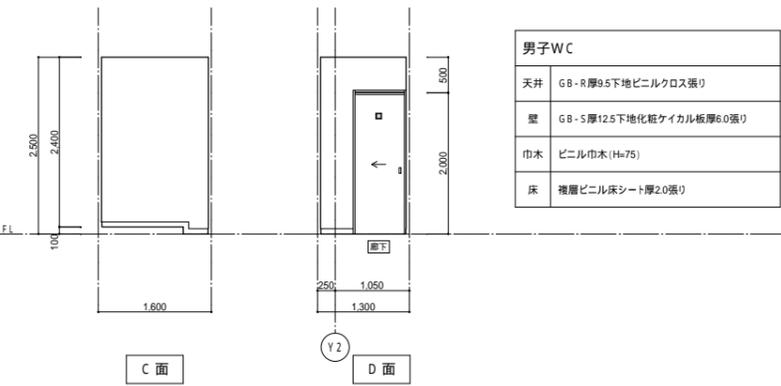
洗面・洗濯室	
天井	GB-R厚95下地ビニルクロス張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り



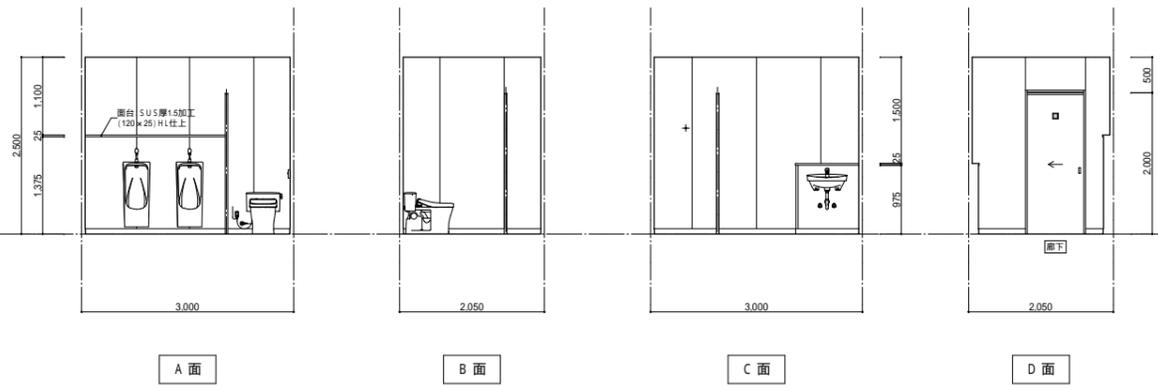
脱衣室	
天井	GB-R厚95下地ビニルクロス張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り ラワン合板厚5.5換気下地クッションフロア厚1.8張り



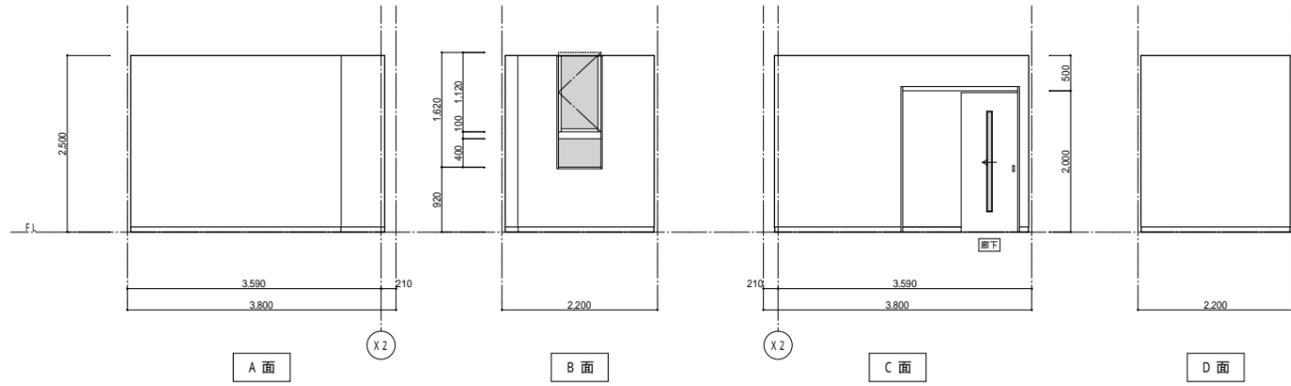
SW脱衣室	
天井	GB-R厚95下地ビニルクロス張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り ラワン合板厚5.5換気下地クッションフロア厚1.8張り



男子WC	
天井	GB-R厚95下地ビニルクロス張り
壁	GB-R厚12.5下地化粧ケイカル板厚6.0張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り

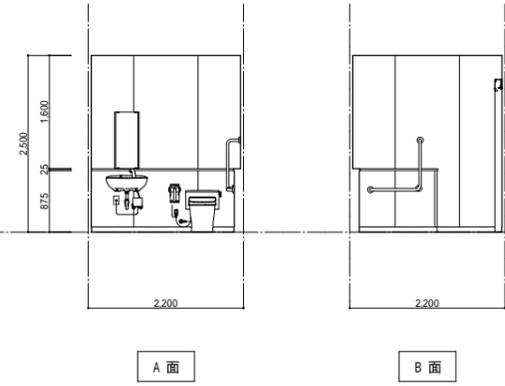


倉庫	
天井	GB-D厚9.5(ジブトーン)張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床タイル厚2.0張り

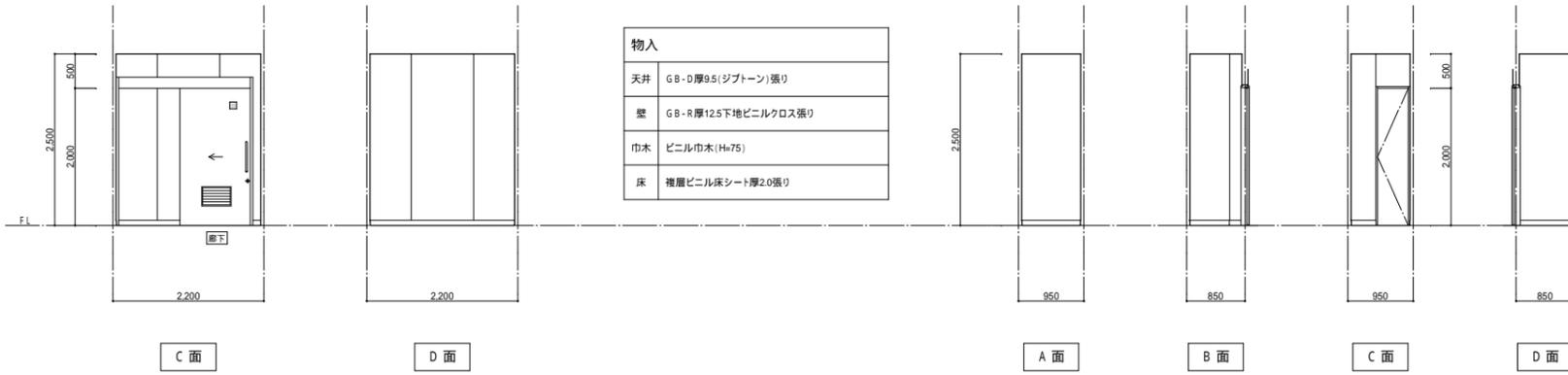


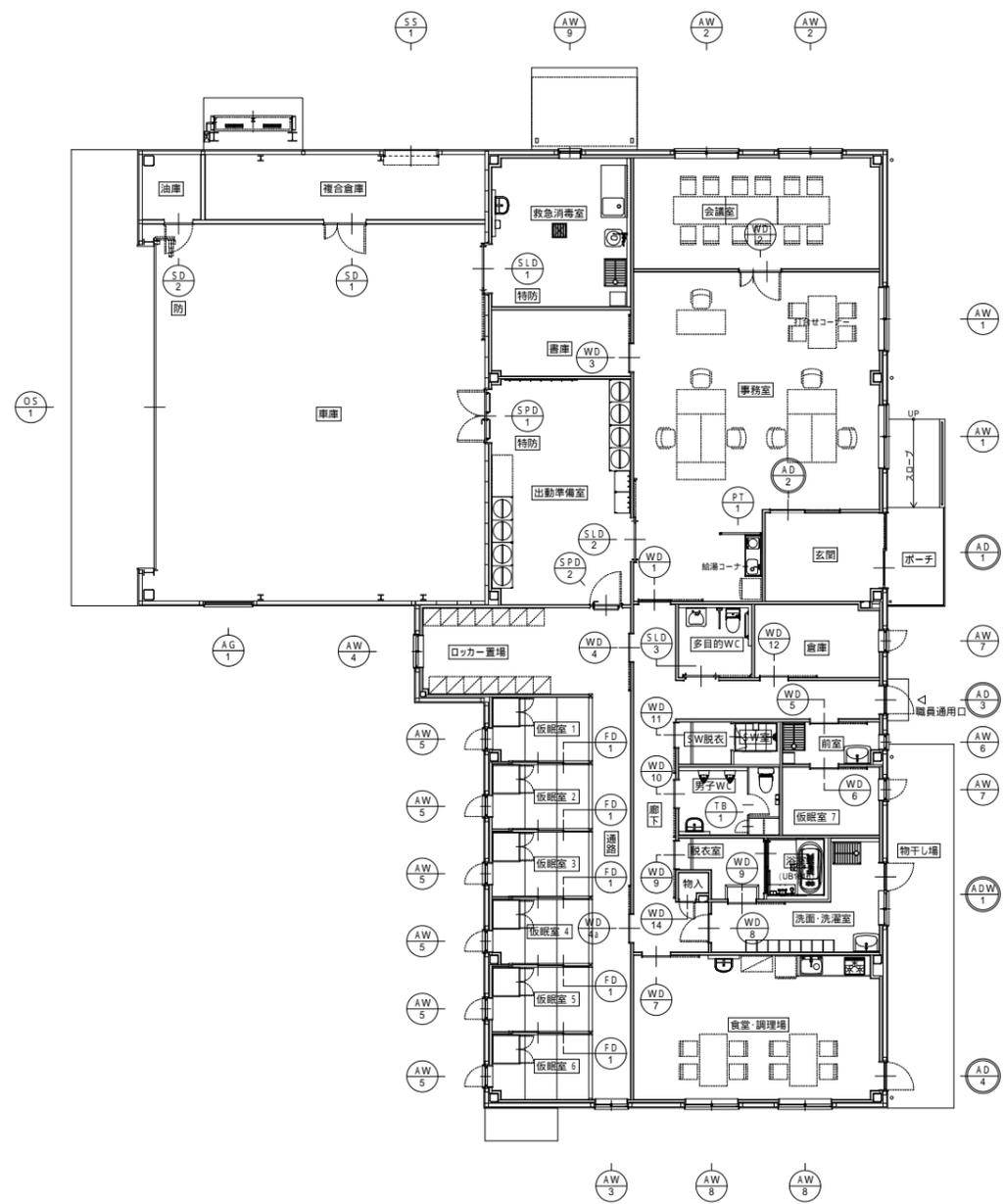
多目的WC	
天井	GB-R厚9.5下地ビニルクロス張り
壁	GB-S厚12.5下地化粧ケイカル板厚6.0張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り

手指の取付く部分にはPL-2.3の補強を設けること。



物入	
天井	GB-D厚9.5(ジブトーン)張り
壁	GB-R厚12.5下地ビニルクロス張り
巾木	ビニル巾木(H=75)
床	複層ビニル床シート厚2.0張り





建具符号図 1:100 ○ マスターキー製作範囲を示す

凡例													
鋼製建具 アルミ製建具	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記なき仕様は鋼板t=1.6 枠t=2.3とし下枠はステンレス製t=1.5とし枠見込み幅に合わせる。</li> <li>耐風圧強度: S - 5 気密性: A - 3 水密性: W - 4</li> <li>カラーアルミ(陽極酸化皮膜の後二次電解着色)</li> <li>特記なき限り4周アンクルピースとし外部には水切を設ける。</li> <li>網戸の框材は本体建具框と同じ材質のアルミ製とする。 ネットは18X14メッシュ張りとする。</li> <li>面格子は4周枠アルミ製としブラケット取り付け型とする</li> <li>特記なき限り硝子止めはポリサルファイド系シーリングとする。</li> <li>延焼のおそれのある部分の範囲内の建具は全て甲種防火戸又は乙種防火戸仕様とする。</li> </ul>												
木製建具	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様及び金物は特記に依る。</li> <li>寸法決定は施工図提出時監督係員と打ち合せの上決定すること。</li> </ul>												
ガラス	<table border="0"> <tr> <td>FL : フロートガラス</td> <td>HG : 熱線吸収ガラス</td> </tr> <tr> <td>F : 型板ガラス</td> <td>HWG : 網入熱線吸収ガラス</td> </tr> <tr> <td>PW : 網入り磨き板ガラス</td> <td>RG : 熱線反射ガラス</td> </tr> <tr> <td>FW : 網入型板ガラス</td> <td>RWG : 網入熱線反射ガラス</td> </tr> <tr> <td>TG : 強化ガラス</td> <td>HRG : 高性能熱線反射ガラス</td> </tr> <tr> <td>PG : ペアガラス</td> <td></td> </tr> </table>	FL : フロートガラス	HG : 熱線吸収ガラス	F : 型板ガラス	HWG : 網入熱線吸収ガラス	PW : 網入り磨き板ガラス	RG : 熱線反射ガラス	FW : 網入型板ガラス	RWG : 網入熱線反射ガラス	TG : 強化ガラス	HRG : 高性能熱線反射ガラス	PG : ペアガラス	
FL : フロートガラス	HG : 熱線吸収ガラス												
F : 型板ガラス	HWG : 網入熱線吸収ガラス												
PW : 網入り磨き板ガラス	RG : 熱線反射ガラス												
FW : 網入型板ガラス	RWG : 網入熱線反射ガラス												
TG : 強化ガラス	HRG : 高性能熱線反射ガラス												
PG : ペアガラス													
番	<table border="0"> <tr> <td>番 (A) : ステンレス 2.0 :</td> <td></td> </tr> <tr> <td>番 (B) : ステンレス40 * 20 * 2 :</td> <td></td> </tr> <tr> <td>番 (C) : ステンレスFB :</td> <td></td> </tr> <tr> <td>番 (D) : ステンレス 2.0 :</td> <td></td> </tr> </table>	番 (A) : ステンレス 2.0 :		番 (B) : ステンレス40 * 20 * 2 :		番 (C) : ステンレスFB :		番 (D) : ステンレス 2.0 :					
番 (A) : ステンレス 2.0 :													
番 (B) : ステンレス40 * 20 * 2 :													
番 (C) : ステンレスFB :													
番 (D) : ステンレス 2.0 :													

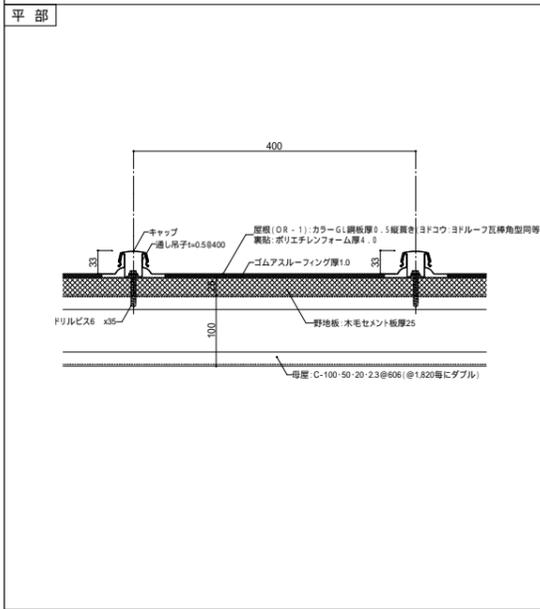
符号	数量	室名	1	2	3	4	5	6	7
形状・寸法			玄関	事務室	職員通用口	食堂・調理場	洗面・洗濯室	事務室	
種類			アルミニウム製片引きドア(自開)、片側ランマFIX窓	アルミニウム製片引き自動ドア、片側ランマFIX窓	アルミ製片引き扉戸	アルミ製片引きフラッシュ戸	アルミ製片引きフラッシュ戸、片引引違窓	アルミ製引違窓+ランマ排煙外倒し窓(2連)	
仕上見込			ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	
金物			A.P. 外部面三方アルミ製、自開装置	A.P. 外部面三方アルミ製	A.P. 外部面三方アルミ製	A.P. 外部面三方アルミ製	A.P. 外部面三方アルミ製、水切	A.P. 外部面三方アルミ製、水切	
錠・引手			シリンダー錠錠(ST付)、SUS製引き棒(L=600)	電気錠(番号にてフランス落してロック)、電気錠操作盤、タッチ式スイッチ	レバーハンドル付電気錠(ST付)、電気錠操作盤、マジカルテンキユニット、制御器	レバーハンドル付電気錠(ST付)	レバーハンドル付シリンダー本締め錠(ST付)、クレセント	クレセント、排煙オペレーターハンドル	
ガラス			TGS.0	TGS.0	FL3.0+A6+F4.0	FL3.0+A6+F4.0	FL3.0+A6+F4.0	FL3.0+A6+F4.0	
備考			EX:IMA 51e R C 枠 ハンガー引戸 重量タイプ同等	SYSTEMA 31e R C 枠 自動ドア(一般スライド)エンジン外付同等	R C 枠	R C 枠	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	
符号	数量	室名	2	1	1	6	1	2	2
形状・寸法			会議室	通路	ロッカー置場	仮眠室1-6	前室	仮眠室7、倉庫	
種類			アルミ製引違い段窓	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製片引き窓+FIX段窓	アルミ製横入り出窓	アルミ製片引き窓+FIX段窓	
仕上見込			ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	
金物			A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	
錠・引手			クレセント	クレセント	クレセント	カムラッチ	カムラッチ	カムラッチ	
ガラス			FL3.0+A6+FL3.0	FL3.0+A6+F4.0	FL3.0+A6+PW6.8	FL3.0+A6+FL3.0	FL3.0+A6+F4.0	FL3.0+A6+FL3.0	
備考			R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	
符号	数量	室名	2	1	1	1	1	1	1
形状・寸法			食堂・調理場	救急消毒室	車庫	複合倉庫	油庫	出動準備室	
種類			アルミ製引違い段窓	アルミ製上げ下げ窓	アルミ製固定ガラリ	スチール製片引きフラッシュ戸(ガラリ付)	スチール製片引きフラッシュ戸(ガラリ付)	スチール製両開きフラッシュ戸	
仕上見込			ステンカラー	ステンカラー	ステンカラー	溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	
金物			A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	A.P. 外部面三方アルミ製、水切り	SUS幅下蓋(3枚吊り)、SUS窓摺(A)、DC(ストップ付)、ST製ガラリ	SUS幅下蓋(3枚吊り)、SUS窓摺(A)、DC(ストップなし)、ST製ガラリ(シャッター付)	SUS製丁番(3枚吊り)、SUS製窓摺(D)、DC(ストップなし)	
錠・引手			クレセント	カムラッチ		握り玉付シリンダー本締め錠(ST付)	握り玉付シリンダー本締め錠(ST付)	パニックドアハンドル、レバーハンドル付シリンダー錠(ST付)	
ガラス			FL3.0+A6+FL3.0	FL3.0+A6+F4.0					
備考			R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、網戸(SUSメッシュ)	R C 枠、防虫網(SUSメッシュ)			三和シャッター工業・ファイヤード 同等	
符号	数量	室名	1	1	1	1	1	1	1
形状・寸法			ロッカー置場	救急消毒室	出動準備室	多目的WC	タイヤ置場	車庫	
種類			スチール製片引きフラッシュ戸	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋無し)	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋無し)	スチール製片引きフラッシュ戸(戸袋無し)	アルミ製ガラスシャッター	アルミ製電動オーバースライダー(ハイリフト型)	
仕上見込			溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	溶融垂鉛めっき鋼板厚1.6メラミン焼付塗装(指定色)	溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	溶融垂鉛めっき鋼板メラミン焼付塗装(指定色)	標準色	標準色	
金物			SUS製丁番(3枚吊り)、SUS製窓摺(B)、DC(ストップなし)	SUS製窓摺(B)	SUS製窓摺(B)	SUS製窓摺(B)	耐風型ガイドレール、シャッターケース	電動装置、埋込型スイッチボックス、障害物検知装置、SUS製三方枠(W=475)	
錠・引手			パニックドアハンドル、レバーハンドル	自開装置、ガイドローラー	自開装置、ガイドローラー	自開装置、ガイドローラー、アルミ製ガラリ(400x250)	SUS製三方枠(W=175)	開信号無電圧(2C-0.75)を出力指令卓から開閉機へ送る	
ガラス			TGS.0	SUS製引き棒(L=600)	SUS製引き棒(L=600)	TGS.0	シャッター錠、水圧開放装置	開閉スイッチ、リモコン(3ヶ)、手動式開閉チェーン	
備考				三和シャッター・特定防火設備タイプ同等	三和シャッター・スムードS同等	三和シャッター・スムードS同等		明かり窓(アクリル厚3.0)	

FL : フロート板ガラス  
 F : 型板ガラス  
 FW : 網入り型板ガラス  
 PW : 網入り磨き板ガラス  
 GB : FL : 熱線吸収板ガラス  
 HB : FL : 熱線反射ガラス  
 TG : 強化ガラス  
 FTG : 型板強化ガラス

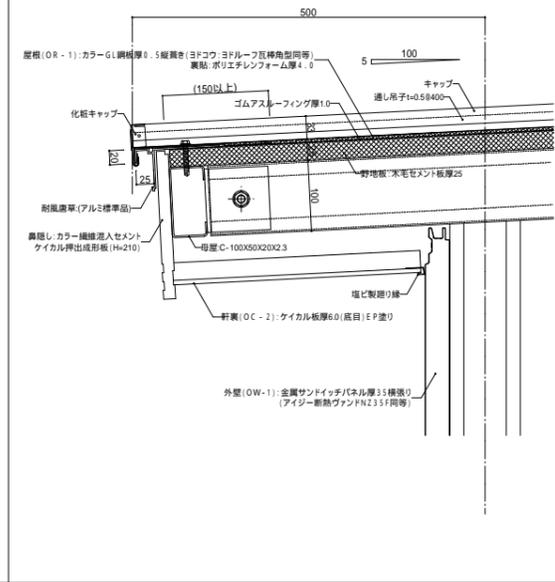
符号	数量	室名	WD 1	1	WD 2	1	WD 3	1	WD 4	WD 4a	1	WD 5	1	WD 6	1	
			廊下		会議室		書庫		各1 通路、ロッカー置場			前室		仮眠室 7		
形状・寸法																
種類			木製片引き扉		木製片引きフラッシュ親子戸		木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸			木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸		
仕上見込			ホワイトアッシュ WP塗り		ポリ合板		ポリ合板		ポリ合板			ポリ合板		ポリ合板		
金物			自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		SUS製丁番(3枚吊り)、DC(ストップ付)、戸当り		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填			自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		
錠・引手			木製引手(L=600)ユニオン-G1101-35-712-L600同等		レバーハンドル付空錠、フランス落し		SUS製舟底引手		SUS製舟底引手			SUS製舟底引手、シリンダー本締め鍵錠(ST付)		SUS製舟底引手		
ガラス			FTG 5.0		F4.0		F4.0		F4.0			F4.0		F4.0		
備考					緑:WP塗り		緑:WP塗り		緑:WP塗り			緑:WP塗り		緑:WP塗り		
符号	数量	室名	WD 7	1	WD 8	1	WD 9	2	WD 10	1	WD 11	1	WD 12	1		
			食堂・調理場		洗面・洗濯室		脱衣室		男子WC		5W脱衣室		書庫			
形状・寸法																
種類			木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸		木製片引きフラッシュ戸			
仕上見込			ポリ合板		ポリ合板		ポリ合板		ポリ合板		ポリ合板		ポリ合板			
金物			自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		SUS製丁番(3枚吊り)、DC(ストップ付)、戸当り		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填		自閉引込み式ソフトクローザー(ダイケンスライドックス同等)、ガイドローラー SUS製番指(B)モルタル充填			
錠・引手			SUS製舟底引手		レバーハンドル付空錠		SUS製舟底引手		SUS製舟底引手			SUS製舟底引手、表示錠(ST、非常開錠付)		SUS製舟底引手、シリンダー本締め鍵錠(ST付)		
ガラス			F4.0		F4.0		F4.0		F4.0			F4.0		F4.0		
備考					緑:WP塗り		緑:WP塗り		緑:WP塗り			緑:WP塗り		緑:WP塗り		
符号	数量	室名		WD 14	1	FD 1	5	TB 1	1	PT 1	1					
				廊下物入		仮眠室 1~6		男子WC		事務室(給湯コーナー)						
形状・寸法																
種類				木製片引きフラッシュ戸		3枚木製連動片引き戸フスマ		トイレブース		スチール製パーテーション						
仕上見込				ポリ合板		ポリ合板フラッシュ		高圧メラミン化粧板フラッシュ		溶融亜鉛めっき鋼板厚0.5(標準色)						
金物				SUS製丁番(3枚吊り)、戸当り		3枚連動引込み金具(アトムリピンテックFG-900同等)、床付ガイド、ガイドピース エンドクッション		グレピティヒンジ(中心吊)指詰め防止タイプ、SUS巾木、戸当り		溶融亜鉛めっき製支柱、巾木、床レール、壁レール、エンドポスト						
錠・引手				レバーハンドル付空錠		SUS製舟底引手		スライドボルト(非常開放付)								
ガラス				緑:WP塗り		緑:WP塗り		小松ウォール工業:TB-GP 巾木(CLタイプ)同等								
備考																

FL : フロート板ガラス  
 PW : 網入り磨き板ガラス  
 GB : 熱線吸収反射ガラス  
 F : 型板ガラス  
 GB・FL : 熱線吸収板ガラス  
 TG : 強化ガラス  
 FW : 網入り型板ガラス  
 HB・FL : 熱線反射ガラス  
 FTG : 型板強化ガラス

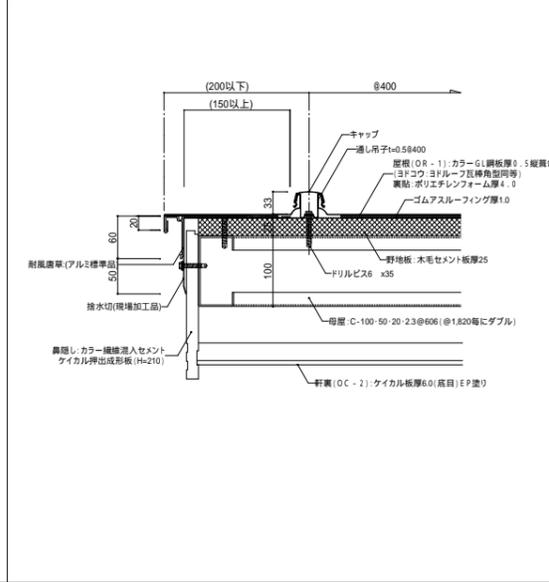
屋根(OR-1):カラーGL鋼板厚0.5縦置き詳細図 1:5



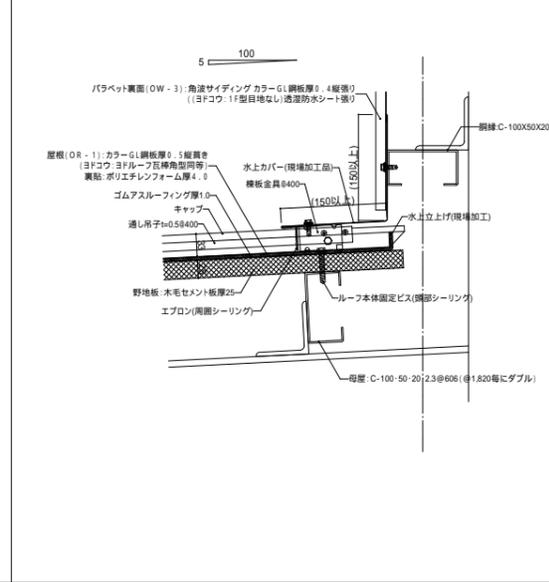
軒先部



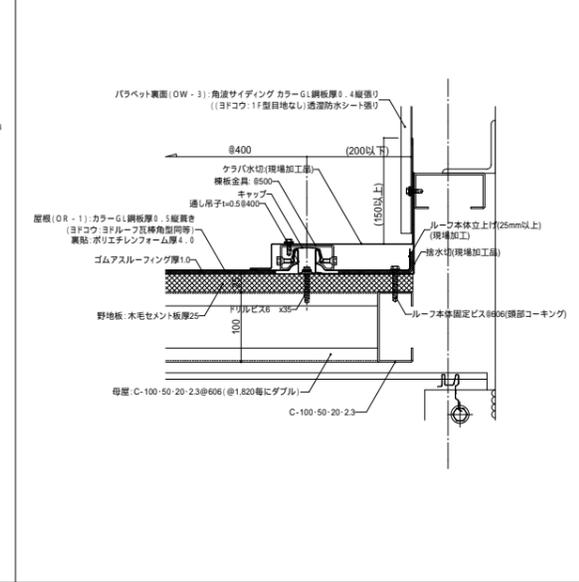
ケラバ部



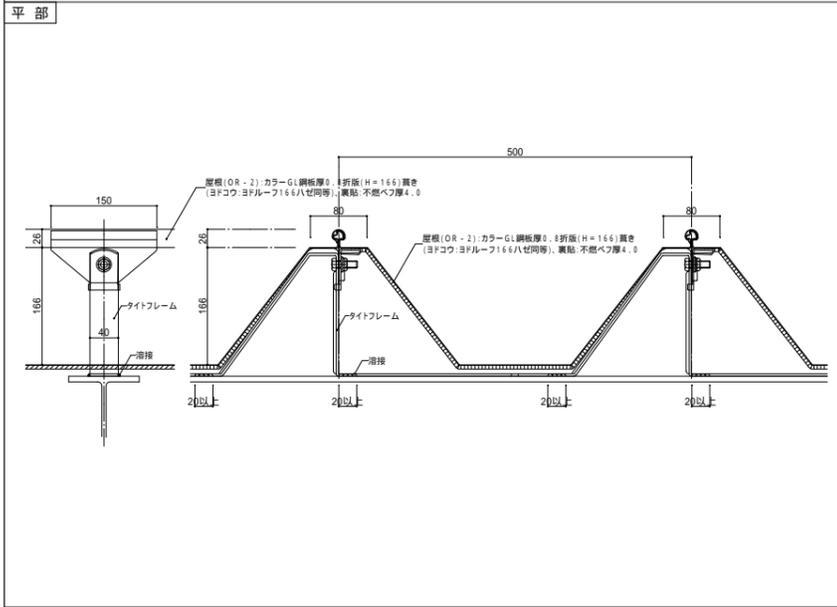
水上バラベツ取合部



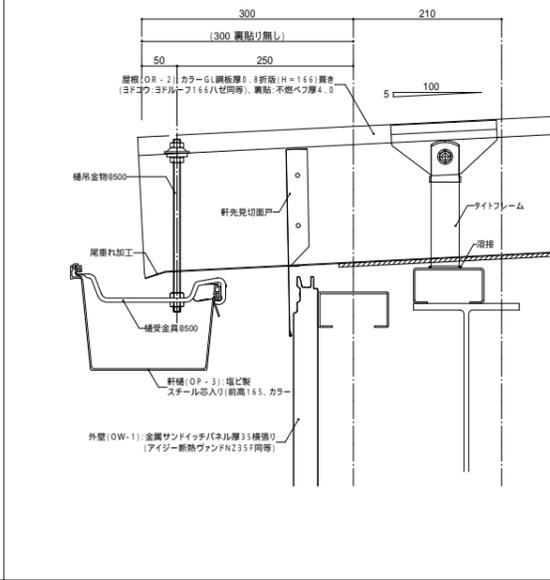
ケラババラベツ取合部



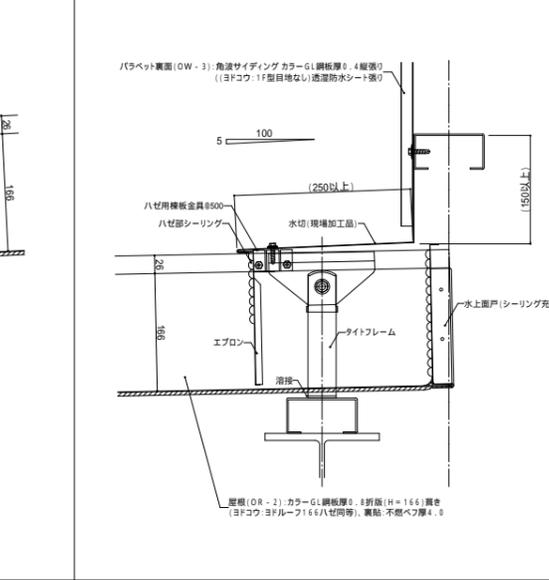
屋根(OR-2):カラーGL鋼板厚0.8折版(H=166、ハゼ)葺き詳細図 1:5



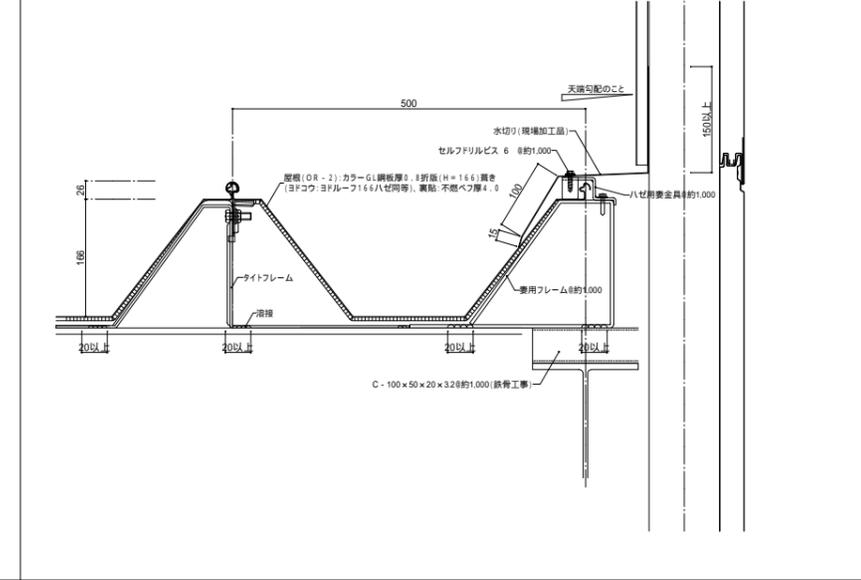
軒先部



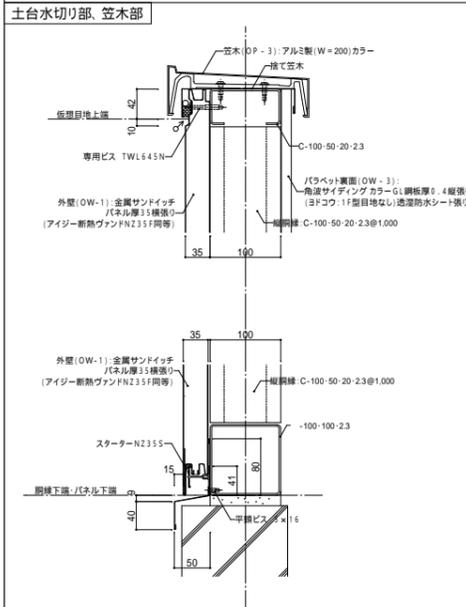
水上バラベツ取合部



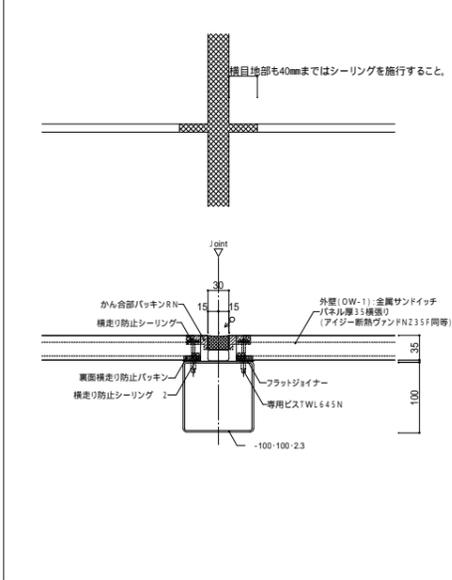
ケラババラベツ取合部



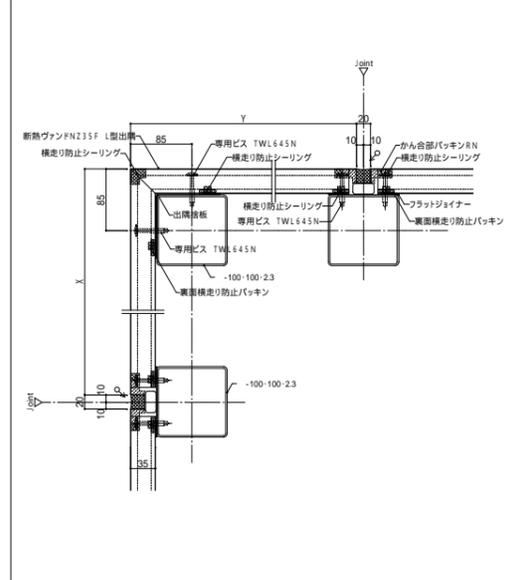
外壁(OW-1):金属サンドイッチパネル厚35横張り詳細図 1:5



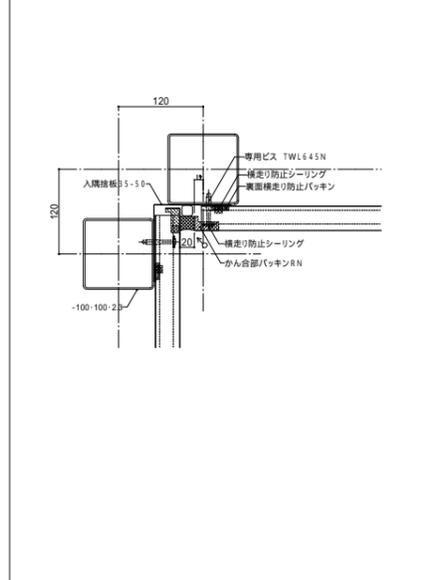
たて目地部



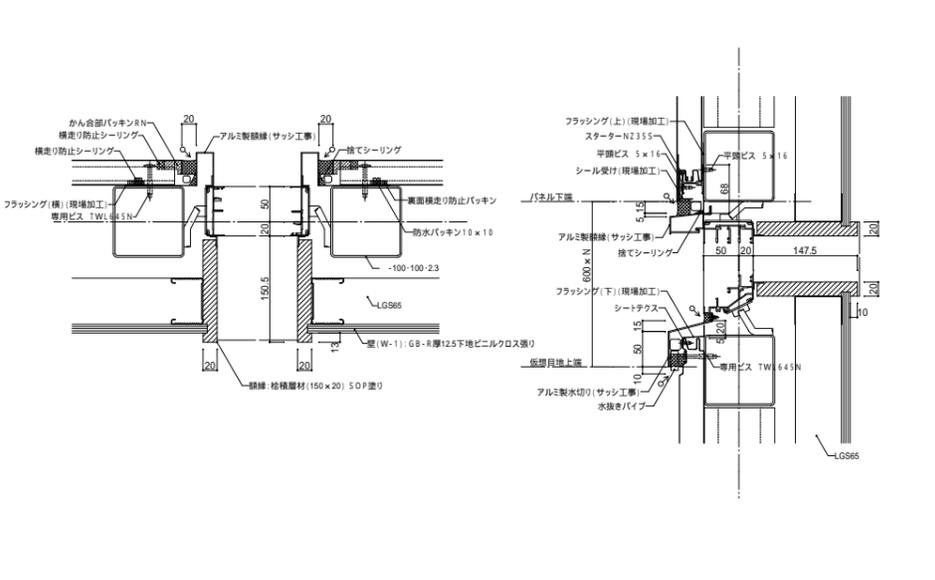
出隅コーナーパネル部

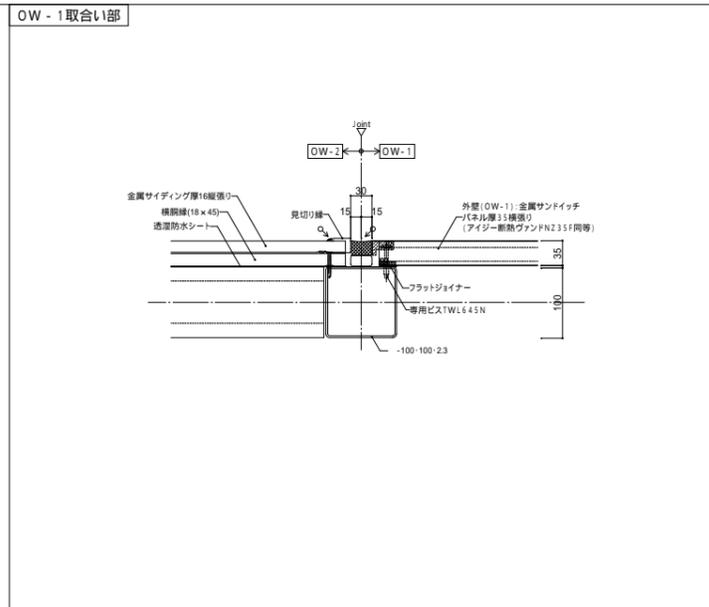
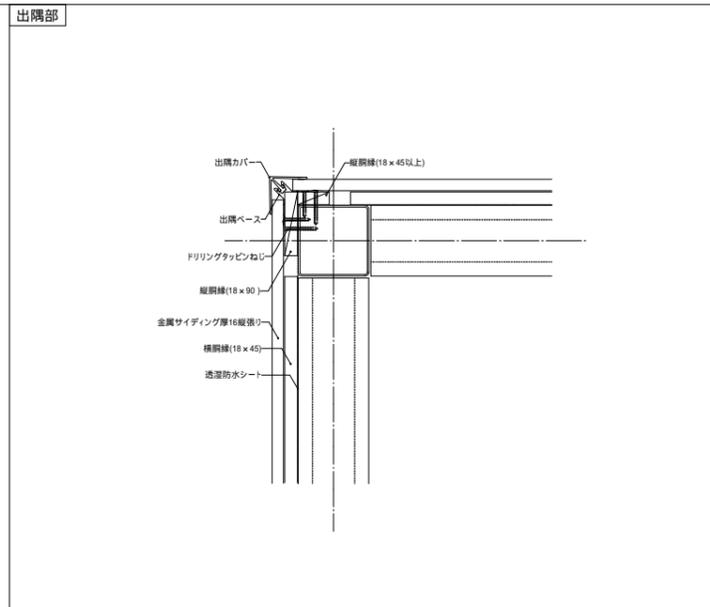
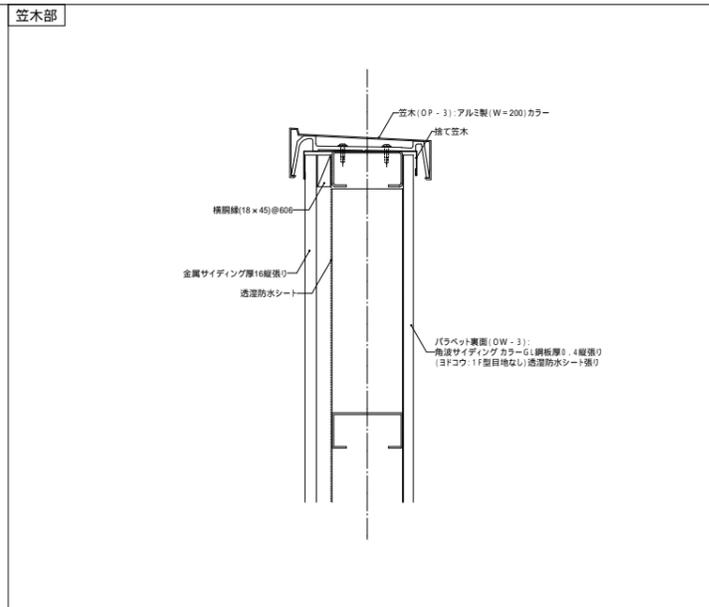
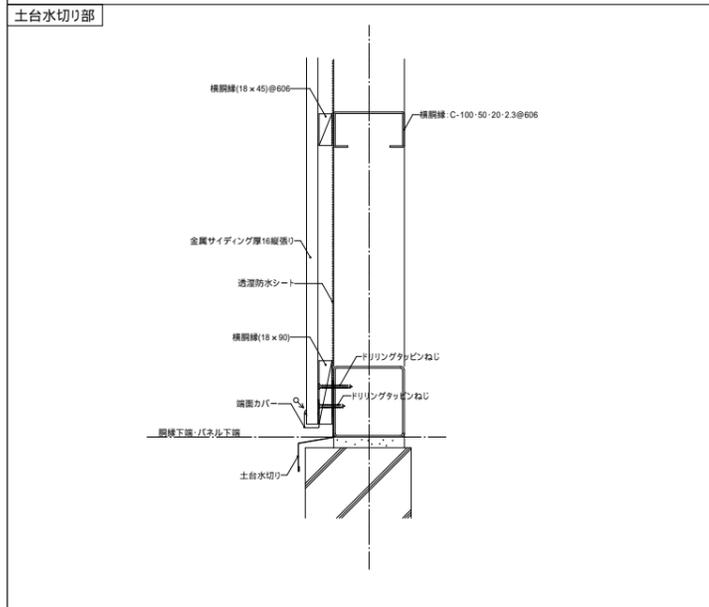


入隅部

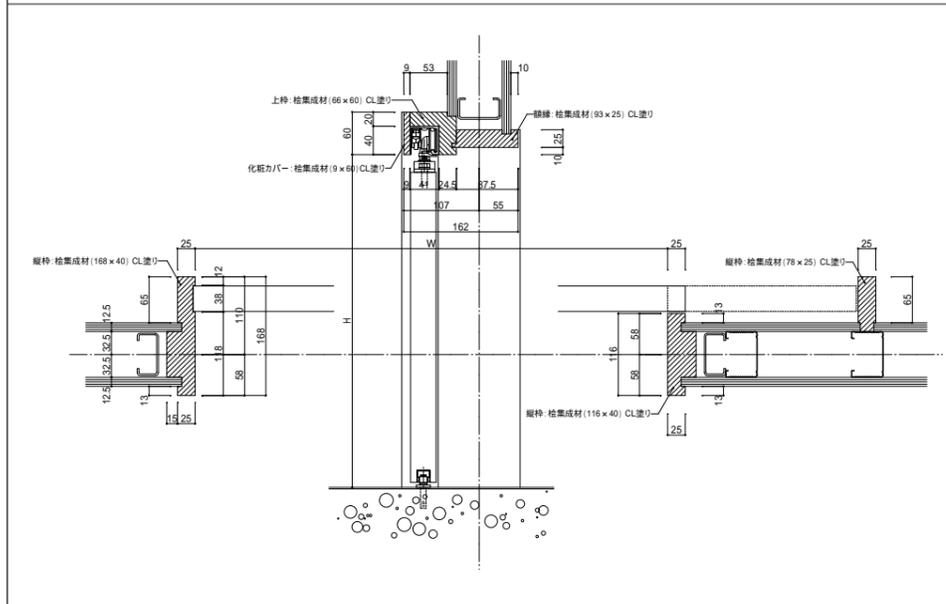


開口部廻り

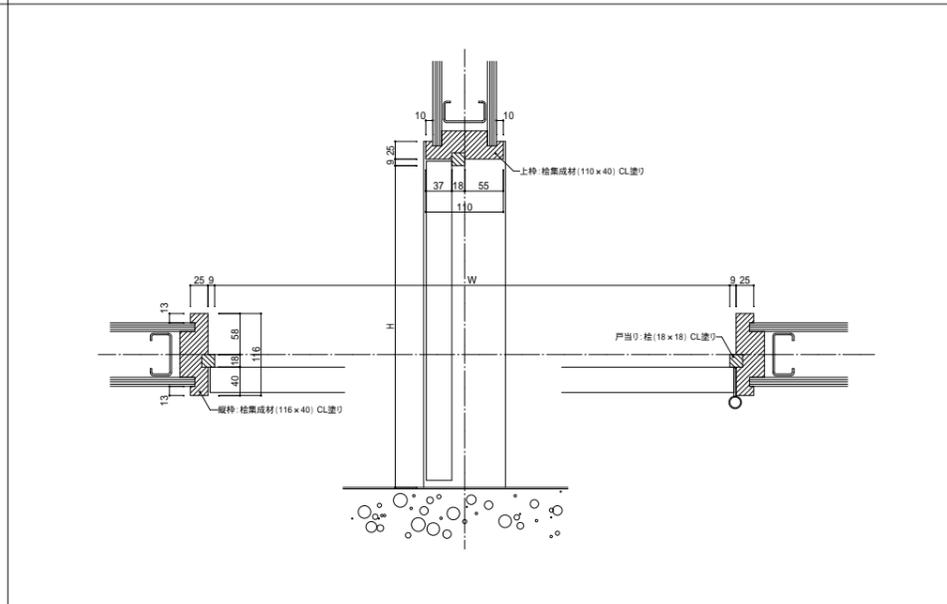




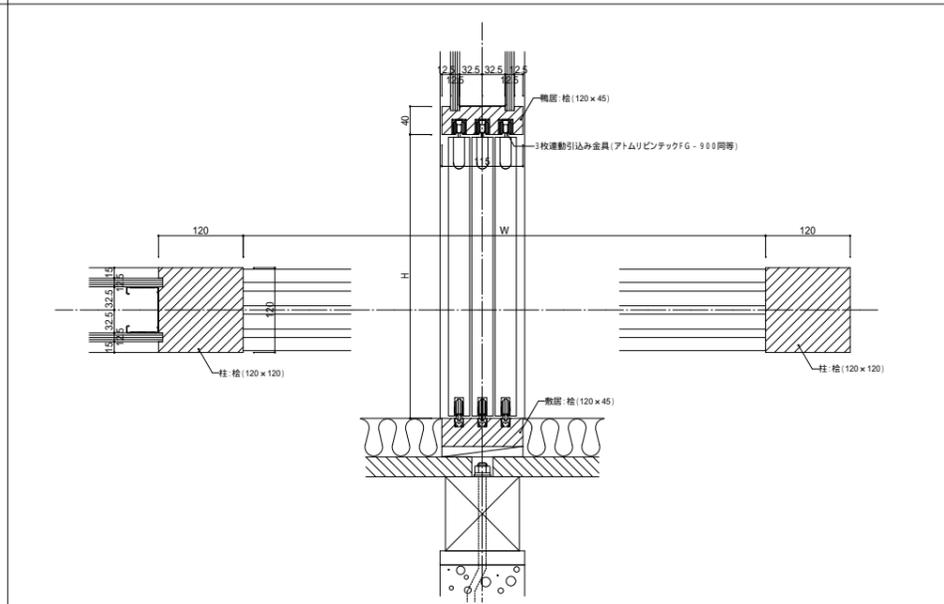
木製引込み戸詳細図 1:5



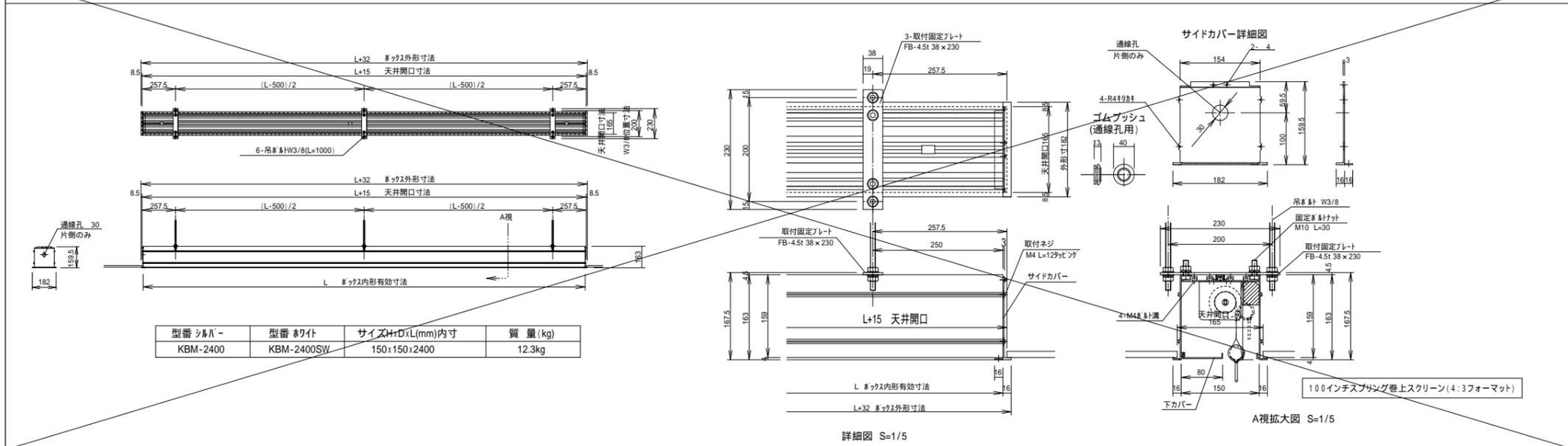
木製片開き戸詳細図 1:5



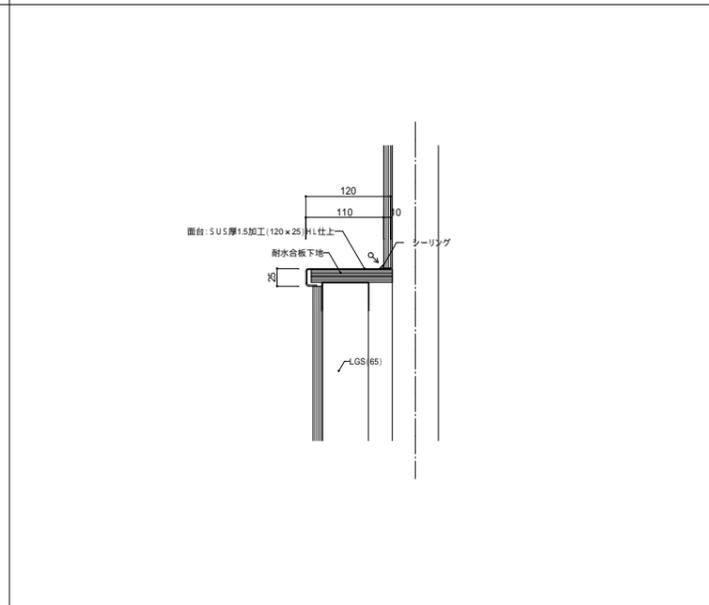
木製3枚引きフスマ詳細図 1:5



アルミ製スクリーンボックス(会議室)詳細図 1:20, 1:5



ライニング壁面台 詳細図 1:5



竣工銘板 詳細図 1:2

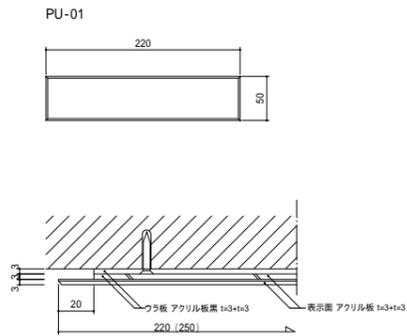


化粧カバー 透明アクリル厚3.0  
糸面取り  
SUS化粧ビス止め

ベース 乳白アクリル厚3.0  
彫り込み文字 青色(黒)  
両面テープ 接着剤併用張

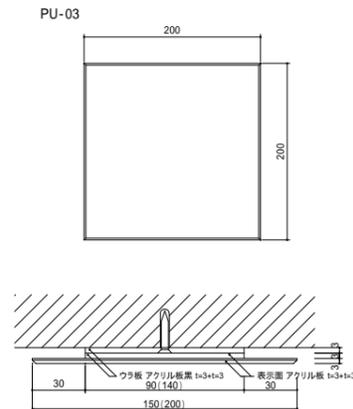
室名札(平) 詳細図 1:4, 1:2

室名札(平):パブリックサイン(220×50)同等



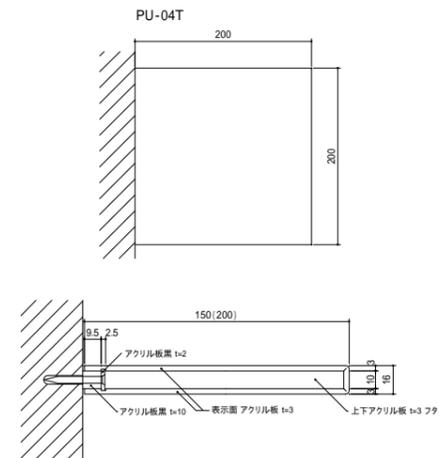
室名札(平ピクト) 詳細図 1:4, 1:2

室名札(平ピクト):パブリックサイン(200×200)同等



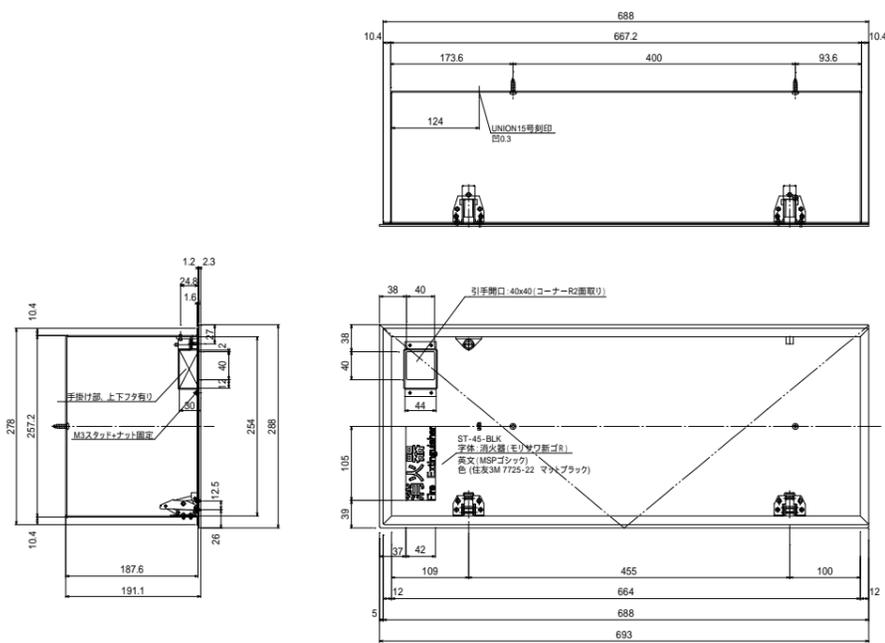
室名札(突出ピクト) 詳細図 1:4, 1:2

室名札(突出ピクト):パブリックサイン(200×200)同等



埋込型消火器ボックス 詳細図 1:5

ユニオン:UFB-1F-2720同等



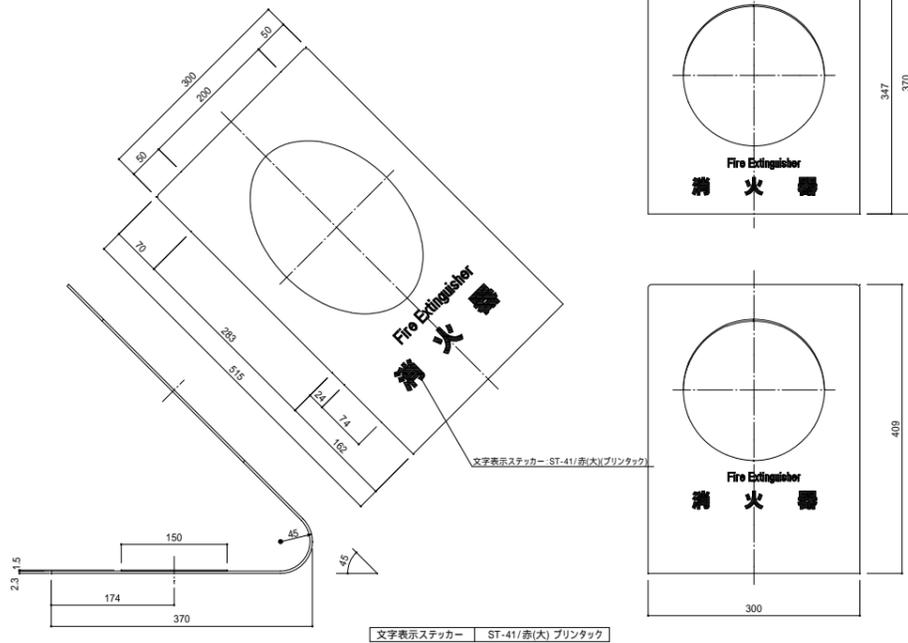
表示ステッカーは製品に貼付け済み

指定色(本体、扉):ボールホワイト CN-90(2分艶)  
指定色(引手内部):レッド 2005年C版 C05-40X(SR4/14)2分艶

- 対応シール品番 ST-45-BLK
  - 対応ブラケット品番 BRN-0030
  - ボックス型ブラケット品番 BRN-0030-B
- 切カキ W D H  
271 × 202 × 682

床置型消火器ボックス 詳細図 1:5

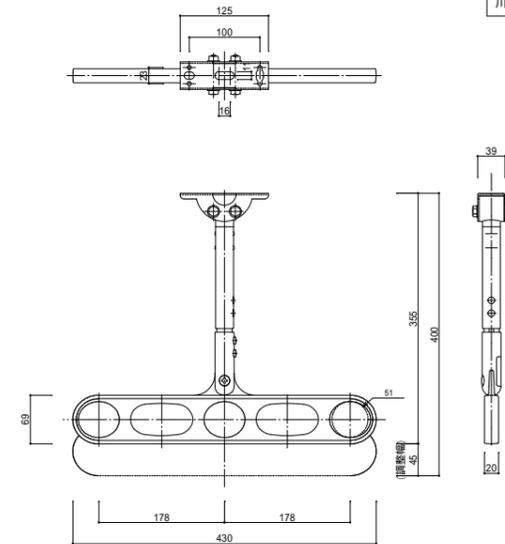
ユニオン:UFB-3F-307-PWH同等

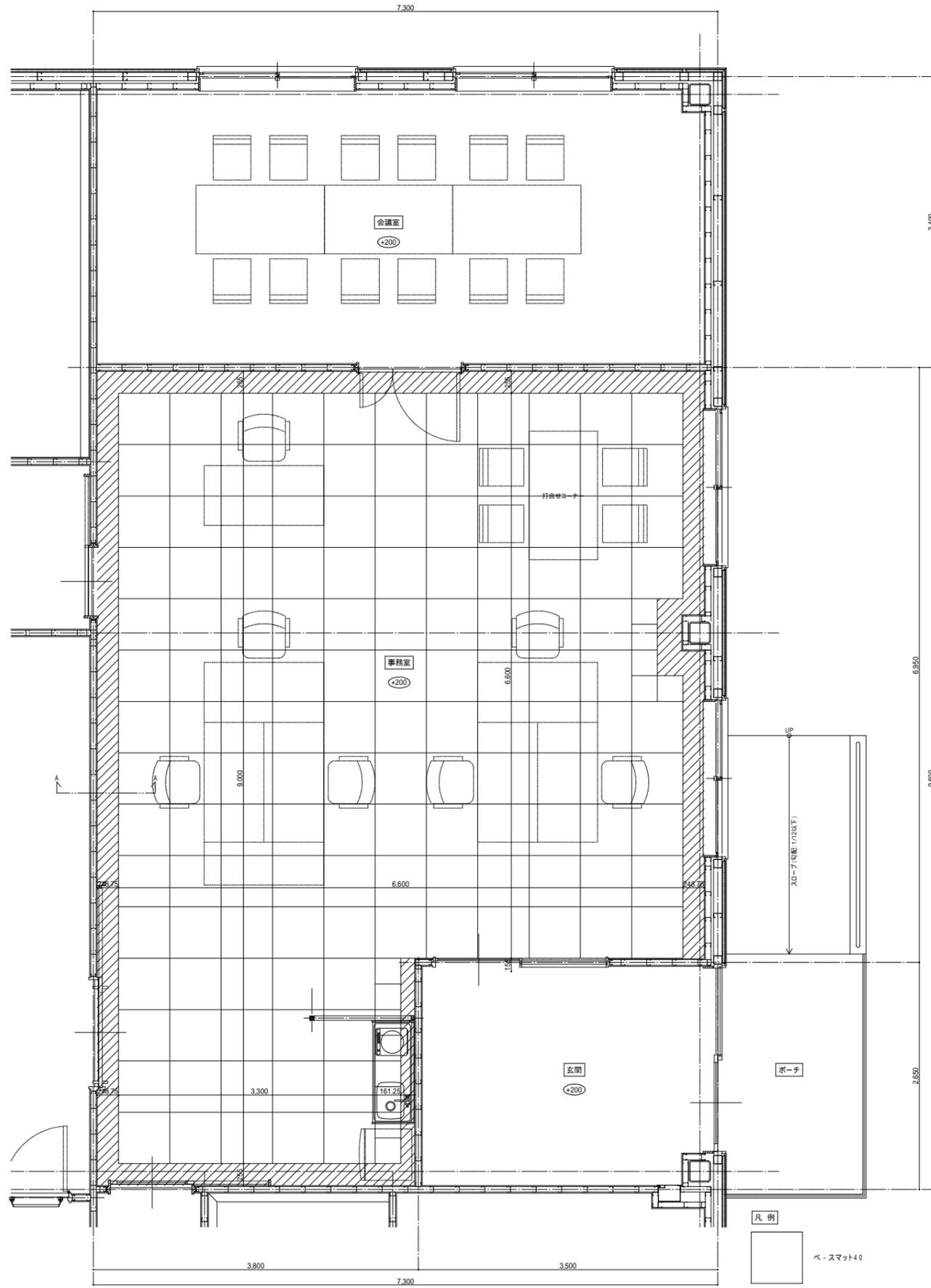


文字表示ステッカー ST-41(赤)大(プリンタック)

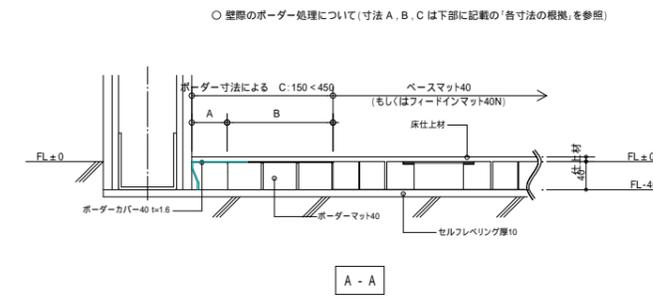
物干し金物 詳細図 1:5

川口技研:ホスクリーン ZP-104型同等





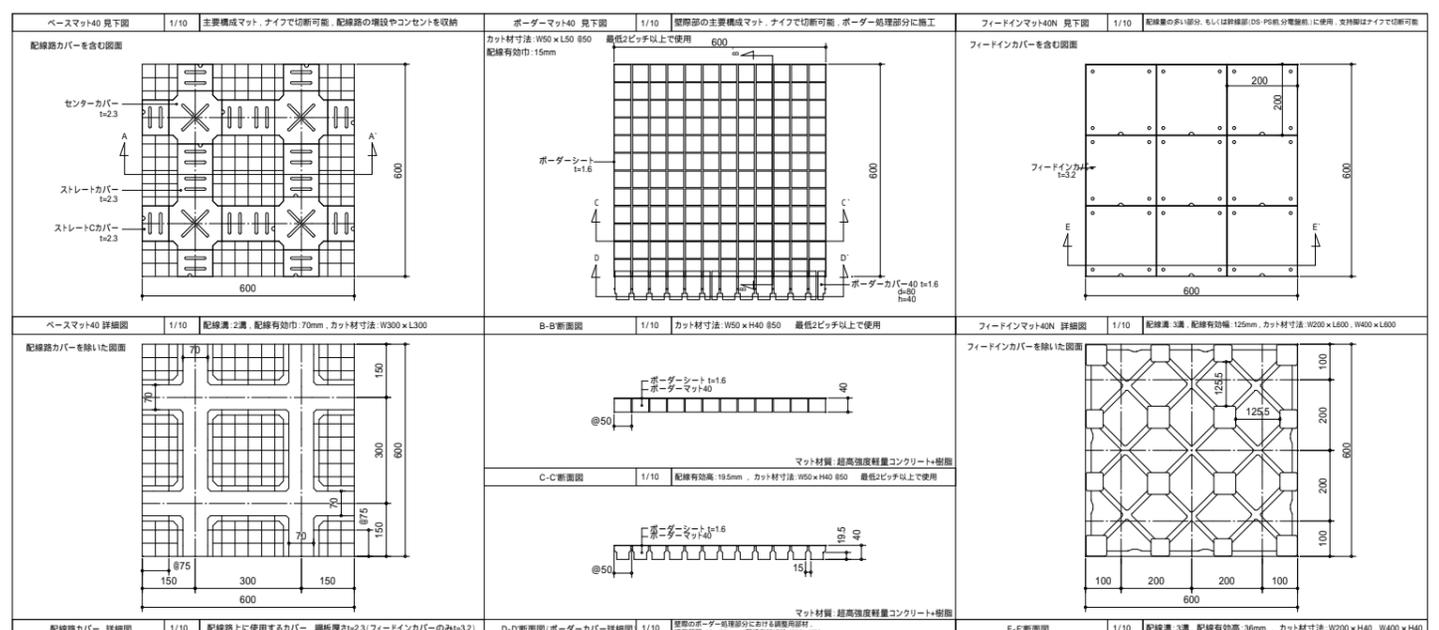
- 凡例
- ベ・スマット40
  - ベ・スマット40(1/4)
  - ボ・ダ・処理部分:ボ・ダ・マット40+ボ・ダ・カバー



各寸法の根拠

A = ボ・ダ・カバー40	15mm以上 - 65mm未満
B = ボ・ダ・マット40	100mm以上400mm以下 (@50mm)
C = ボ・ダ・寸法	原則として躯体壁・仕上り面より150mm以上 - 450mm未満

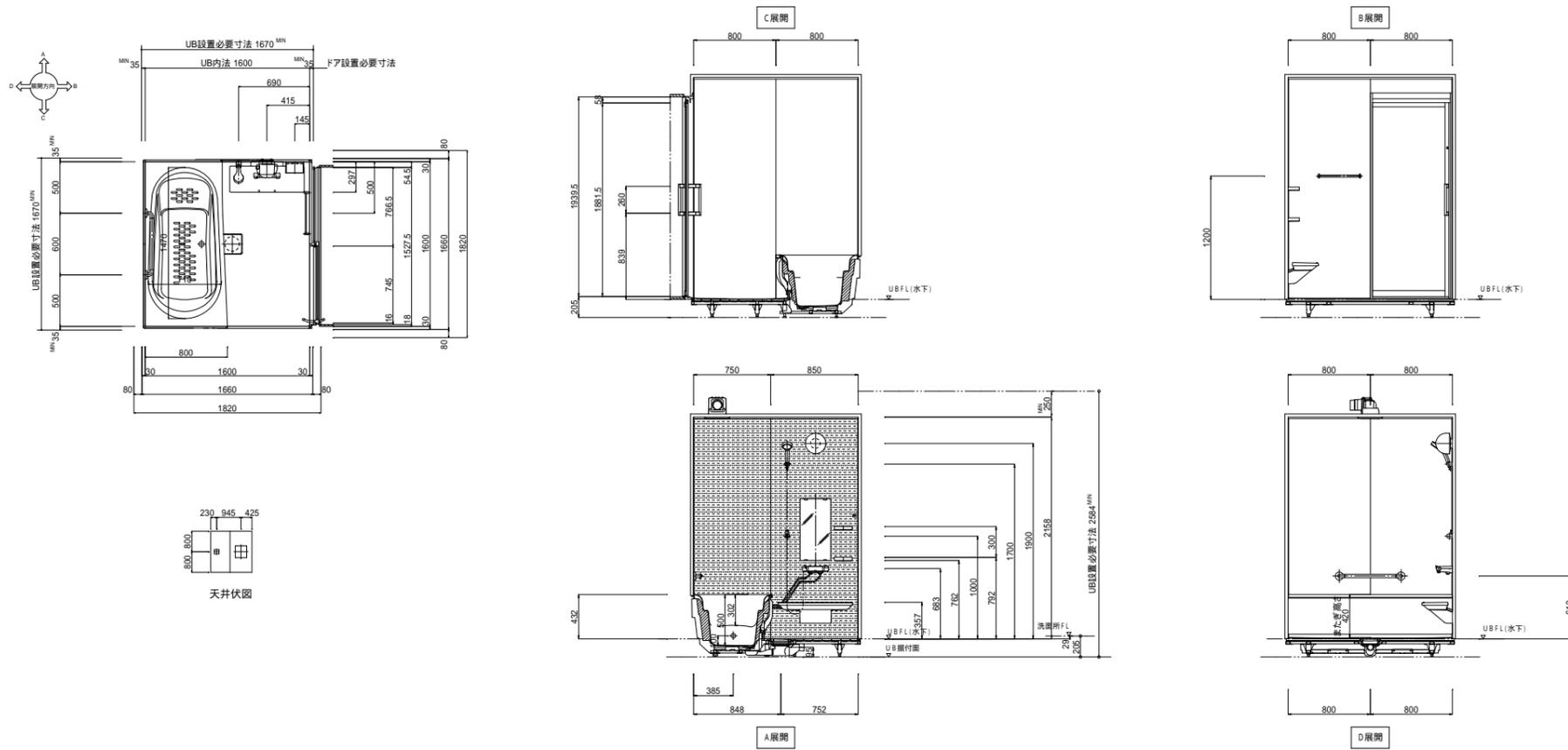
パーツ図 1:10



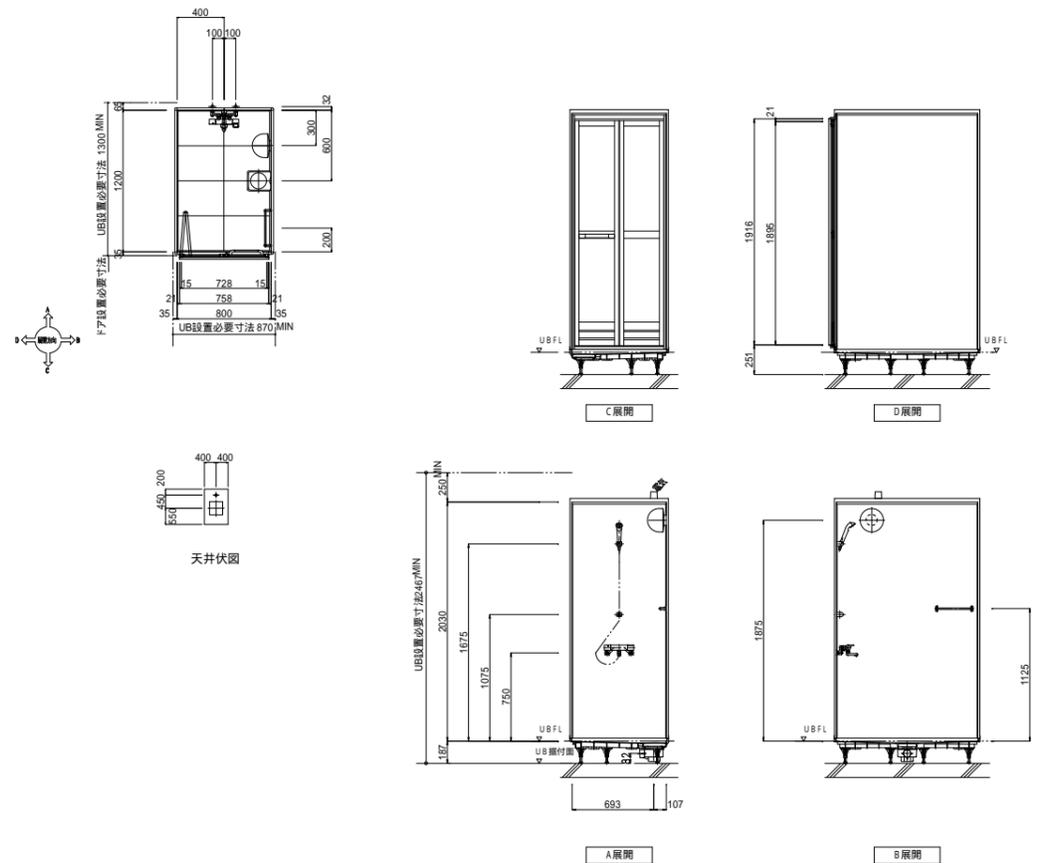
OAフロア「ネットワークフロア40」製品仕様表

構造	重畳式溝構造(溝配線タイプ) 床固定不要
耐摩耗性能	公共建築協会 5000評価品(両3000評価品) <sup>1)</sup>
耐震性能	公共建築協会 1.0G評価品 <sup>1)</sup>
高さ	仕上り高さ: H = 40mm+床仕上材、配線有効寸法: 70×36mm <sup>2)</sup>
主要材質	マット: 超強度軽量コンクリート製+樹脂、難燃樹脂(特殊ポリプロピレン) 配線路カバー: 鋼板+無鉛カチオン塗装(エポキシ樹脂系塗料)
公約評価	(一社)公共建築協会 品質性能評価品 (一社)文教施設協会 推奨品
その他	<sup>1)</sup> 性能保証製品(メーカー保証書提出のこと) <sup>2)</sup> OAフロア用配線路器具は、OAフロアメーカーの推奨のものとする <sup>3)</sup> タイルカーペットを床仕上材にて使用する際は裏/リ付のものを選択とする

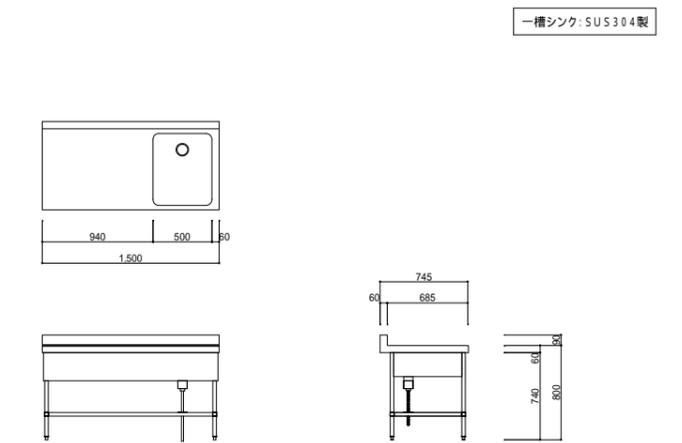
- Notes(記事項)
- (一社)公共建築協会 品質性能評価品 JIS A 1450 に基づくJAF規格に準じます。
  - ファイブマット40Nの配線有効寸法は125×36mmになります。
  - 配線路カバーの重量を含んだベ・スマットの1㎡あたりのシステム重量の値です。
  - 箇所ごとの仕様については図面「S-02」の標準割付図を参照してください。

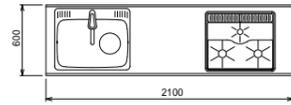


HSV1616UN		フラット床	コロガシ	
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル(モール式) 点検口 450(絞り点検口:落下防止用紐付)	ホワイト		HDHNS
壁パネル	HQパネル	リエホワイト		
正面アクセントパネル	HQパネル	リエピンク		
床パネル	カラリ床	ライトグレー		CFF02 CXA01
ドア種	アルミアルマイト処理	シルバー	(付特用取付ネジUB支給、ネジ取付および付特別途)	HDHNS
ドアパネル	片引戸(スリッドドア) 面材: 型板ステンレス板 戸袋化粧パネル: アルミ複合板 W=800(有効開口幅 690.5mm) H=2000	シルバー 面材: 半透明		HDHNS
浴槽	ラウンド浴槽 FRPバス(ステップ付) 浴槽用ゴム栓 断熱防水パン付	ホワイト エプロン: ホワイト		CXA01 YAA01
浴槽塗装加工	コントロール取付用補強木 W225×H100(同種) フレキシブル管/2本(同種)			YAA01
ふらふら	シャッター式ふらふら	ホワイト		
カウンター	お掃除ラクカクカウンター W=730	天板: ホワイト エプロン: グレー		
洗い場水栓	TUM408108 スプレー水栓(ホワイトハンドル) サーマスタットシャワー器具	水栓本体: メタル調 ハンドル: ホワイト カバー: ホワイト		
シャワーヘッド	コンフォートウエアシャワー ホース: L=1800	ヘッド: ホワイト ホース: シルバー		
シャワーハンガー	TH556F3R #NG2B			
ホースクリップ	樹脂製	グレー		
照明	半球形照明(LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6 x2C L=2.0m付		(以降接続別途)	
換気扇	AC100V 消費電力9/11W (50/60Hz)		(以降接続別途)	
給水管	床下配管立上げ		(材工共別途) (配管部仕上げG1/2 (PF1/2))	CXA01
給湯管	床下配管立上げ		(材工共別途) (配管部仕上げG1/2 (PF1/2))	CXA01
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 浴槽側逆流防止機構付			CXA01
排水管 排水エルボ	VU管(200mm)1本 末端切放し 90度エルボ(D150) 3個		(以降接続別途)	
タオル掛け	ステンレスパイプ L=400	シルバー		HDHNS KTA22
手摺り(浴槽側短辺)	インテリアバー 32 型 L=600	ホワイト		KNR6N
収納棚	収納棚(着脱可能タイプ) 樹脂製 2個	ホワイト		
鏡	お掃除ラクカク鏡 縦長ミラー ツメ式 W298×H600			



JSV0812L		コロガシ		
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル(モール式) 点検口 450(絞り点検口:落下防止用紐付)	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ベースホワイト		
床パネル	FRP カラリ床(単色)	ホワイト(#NW1)		
ドア種	アルミアルマイト処理	アイボリー	(付特用取付ネジUB支給、ネジ取付および付特別途)	
ドアパネル	折戸 ドア脱着機構付 面材: 型板ステンレス板 W=800(有効開口幅 671mm)	アイボリー 面材: 半透明		
シャワー水栓	TMGG405858 サーマスタットシャワー器具(短尺スパウト)			SSGG5
シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース: L=1600	ヘッド: ホワイトグレー ホース: ホワイトグレー		SSGG5
シャワーハンガー	TH556F3R #NG2B			SSGG5
照明	半球形照明(LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6 x2C L=2.0m付		(取付穴現場加工) (以降接続別途)	
ジョイントボックス	エコミージョイント W13107相当品		(ジョイントボックスまでの配線及びジョイントボックス内の接続別途)	
換気グリル	ABS樹脂 接続部外径 99	アイルホワイト	(以降接続別途)	
給水エルボ	シャワー用 青銅製物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ	シャワー用 青銅製物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂 封水深50mm 接続口 VP50受口 ヘアキャッチャー付 高圧洗浄対応		(以降接続別途)	
タオル掛け	ステンレスパイプ 13 L=300	ホワイト(#NW1)		

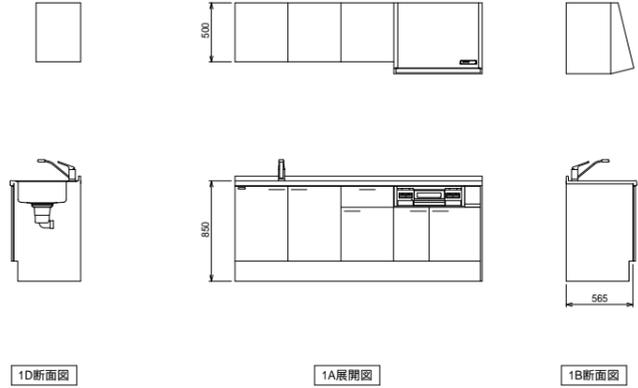




1平面図



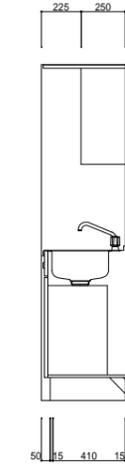
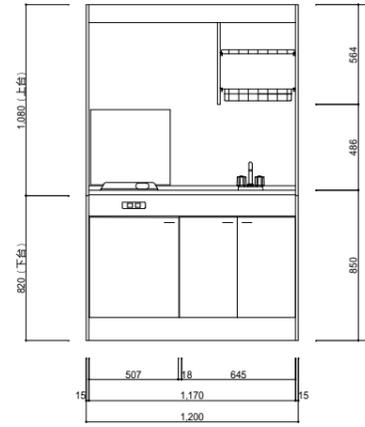
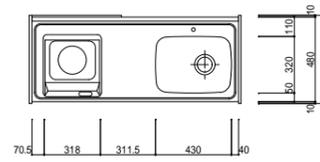
カラーバリエーション	Sシリーズ
カウンター材質	ステンレス
水栓	シングルレバー水栓
調理機器	ホーロートップコンロ(2口)
レンジフード	カラー;深型レンジフード(シロッコファン)
カウンター高さH	850



1D断面図

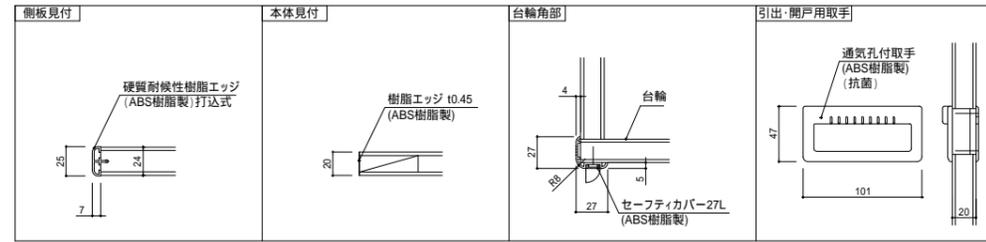
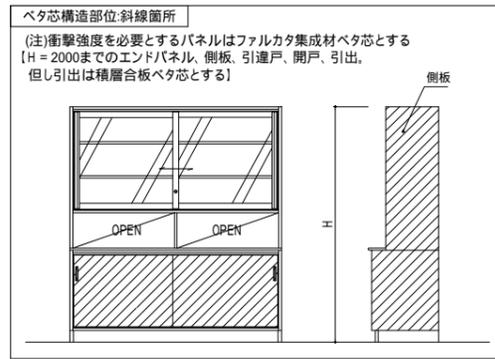
1A展開図

1B断面図

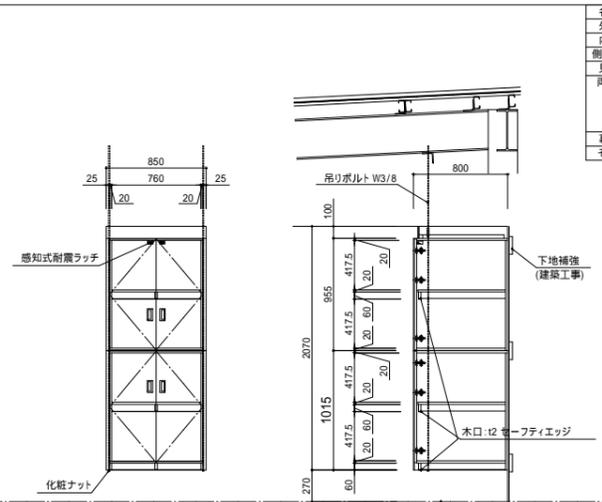


No.	機種名	品名	数量	備考
1	上台	CK120HR	1	
2	下台	CK120KAR	1	
3	IHヒーター(100V)	ZZCH11B-M	1	
4	換気扇	DVF-14MRK	1	
No.		主要部材・部品	材質・仕様	
1	上台 側板(コンロ側)	化粧不燃板+Ptb+FF化粧合板		
2	上台 側板(シンク側)	低圧メラミン化粧Ptb		
3	上台 背板	化粧不燃板+Ptb		
4	上台 天板	化粧不燃板+Ptb		
5	上台 幕板	PP鋼板		
6	上台 仕切板	低圧メラミン化粧Ptb		
7	下台 側板	FF化粧Ptb		
8	下台 底板	低圧メラミン化粧Ptb		
9	下台 背板	FF化粧合板		
10	下台 仕切板	FF化粧Ptb		
11	下台 幕板	低圧メラミン化粧Ptb		
12	けこみ板	FF化粧Ptb		
13	点検口フタ	ABS樹脂		
14	扉	低圧メラミン化粧Ptb		
15	取手	ABS樹脂		
16	シンクトップ	SUS304 t0.5		
17	排水トラップ	PP、封水50mm/末端VP-40用アダプター付		
18	混合水栓	KVK KM17NEZCN		
19	包丁差し	HIPS		
20	ワイヤー棚	SWRM(ポリエチレンコーティング)		
21	ワイヤーカゴ	SWRM(ポリエチレンコーティング)		
22	LED一体型照明	6.3W		
23	スイッチ	ABS樹脂 結線済 15A 300V×2		

共通仕様表	
木材	ベタ芯を使用する箇所は[エコマーク認定品]ファルカタ集成材とする
外装	ポリエステル樹脂合板 JAS規格 タイプ2 F
内装	耐摩耗紙化粧板 F
接着剤	ゼロホルマリン接着剤使用 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤 ( F )
本体側板見付	硬質耐熱性樹脂エッジ (ABS樹脂製)
本体見付	樹脂エッジ t0.45貼リ (ABS樹脂製)
棚板	t20 耐摩耗紙化粧板 F 木口：セーフティエッジt2 (ABS樹脂製)
台輪	t20 ポリエステル樹脂合板 JAS規格 タイプ2 F セーフティカバー27L (ABS樹脂)
棚受	アルミ全可動面付棚柱 ステンレス棚受 (棚受キャップ付)、棚板ズレ防止棚板受け
丁番	107°開きスライド丁番 オートキャッチ機構付き
開戸	t20 ポリエステル樹脂合板 JAS規格 タイプ2 F 通気孔付取手 (ABS樹脂製 抗菌処理) 感知式耐震ラッチ (3段目)
扉板	ポリエステル樹脂合板 JAS規格 タイプ2 F
生産・品質管理	ISO9001認証取得且つ日本家具保証協会認定工場での生産及び管理製品とする
施工	建設業法の内装仕上工事業の登録業者又は同等以上の業者にて施工すること
その他	特記なき限り商品は単色とする

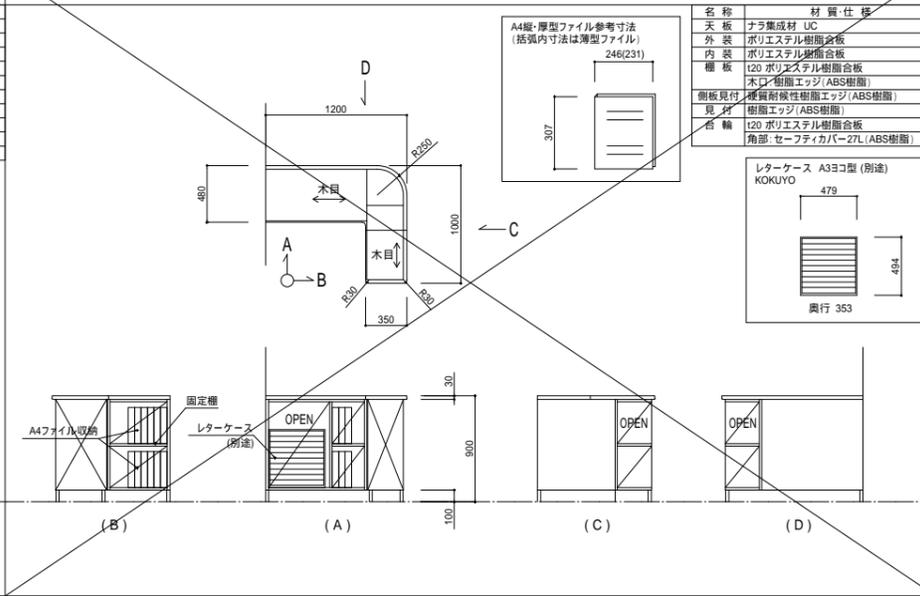


K-1 布団収納棚 EX-54(改) 1:30

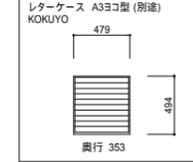


1F 仮眠室1-6 計6台	
名称	材質仕様
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
側板見付	硬質耐熱性樹脂エッジ(ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ(ABS樹脂)
開閉戸	t20 ポリエステル樹脂合板 木口:樹脂エッジ(ABS樹脂) 通気孔付取手(ABS樹脂) スライド丁番
扉板	ポリエステル樹脂合板
その他	(上部扉) 感知式耐震ラッチ

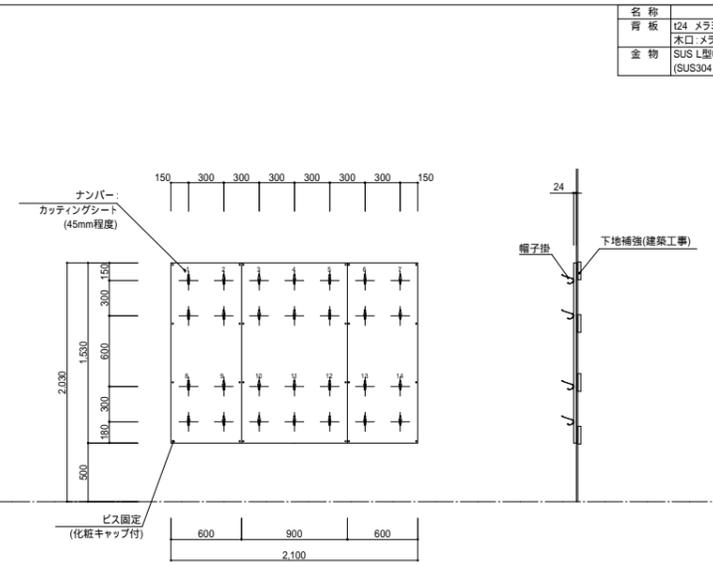
K-2 受付カウンター 1:30



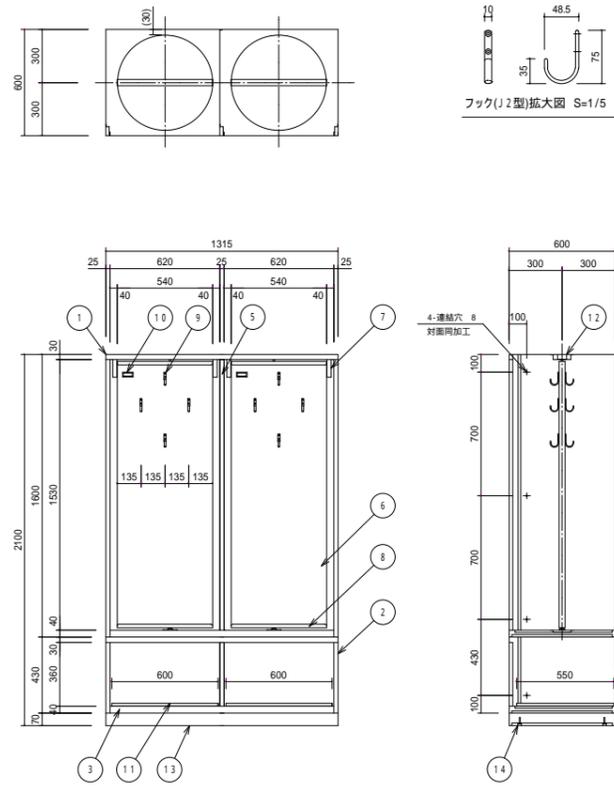
1F 玄関 1台	
名称	材質仕様
天板	ナラ集成材 UC
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
棚板	t20 ポリエステル樹脂合板
見付	木口樹脂エッジ(ABS樹脂) 硬質耐熱性樹脂エッジ(ABS樹脂)
側板見付	硬質耐熱性樹脂エッジ(ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ(ABS樹脂)
台輪	t20 ポリエステル樹脂合板 角部:セーフティカバー27L(ABS樹脂)



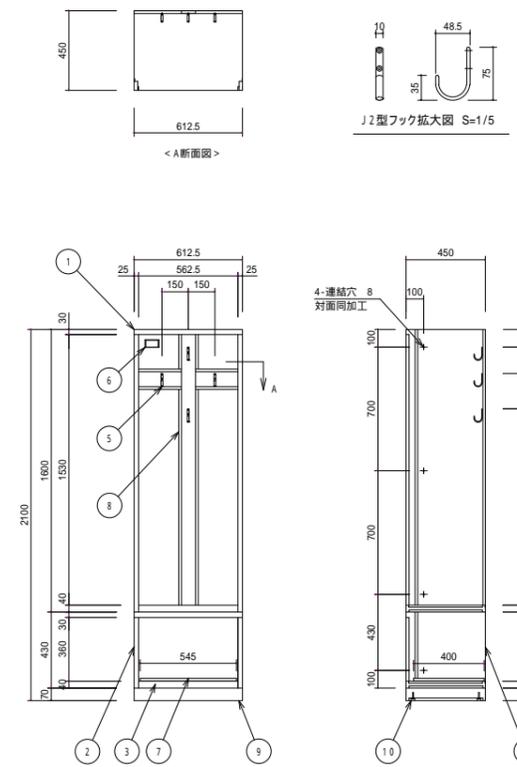
K-3 帽子・ヘルメット掛け 1:30



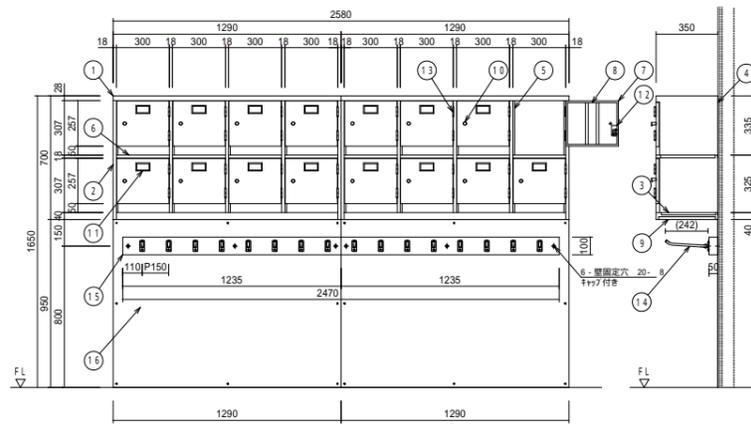
1F 出勤準備室 1台	
名称	材質仕様
背板	t24 メラミン化粧板 積層ベタ芯
金物	木口メラミン化粧板 SUS L型帽子掛 (杉田エース) 28個 (SUS304 ヘアライン)



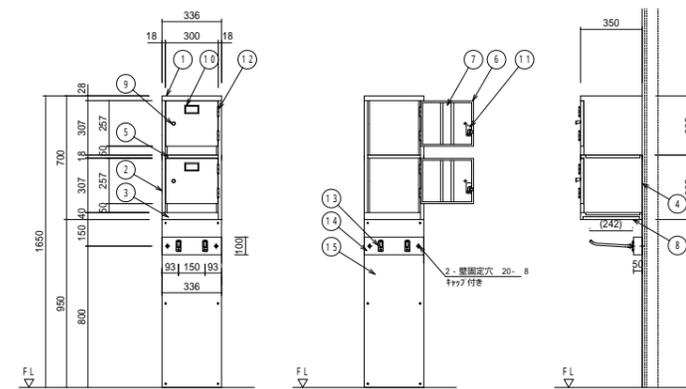
14	アジャスター	4		
13	ベース	1	SUS304 1.0t	HL仕上
12	軸受補強	1	SECC 1.2t	
11	靴トレイ	2	SUS304 0.6t	
10	名札差	4	合成樹脂	ビタリックE 28×60
9	フック	16	ステンレス	J2型
8	上下パネル受け	4	SUS304 1.5t	HL仕上
7	回転ストッパー	4	SUS304 2.0t	
6	回転パネル	2	SECC 0.8t	
5	縦中仕切板	2	SECC 0.8t	
4	裏板	2	SECC 0.8t	
3	底板	2	SECC 1.0t	
2	側板	4	SECC 1.0t	
1	天板	2	SECC 1.0t	
番号 部品名 数量 材質 備考				
塗装	粉体焼付塗装	塗装色	KC-908	
数量	4台	製品記号	FRU-22N-5	



10	アジャスター	4		
9	ベース	1	SUS304 1.0t	HL仕上
8	補強	3	SECC 0.6t	
7	靴入トレイ	1	SUS304 0.6t	
6	名札差	1	合成樹脂	ビタリックC 45×88
5	フック	4	ステンレス	J2型
4	裏板	2	SECC 0.8t	
3	底板	2	SECC 1.0t	
2	側板	4	SECC 1.0t	
1	天板	2	SECC 1.0t	
番号 部品名 数量 材質 備考				
塗装	粉体焼付塗装	塗装色	KC 908	
数量	2台	製品記号	FRU 11N	

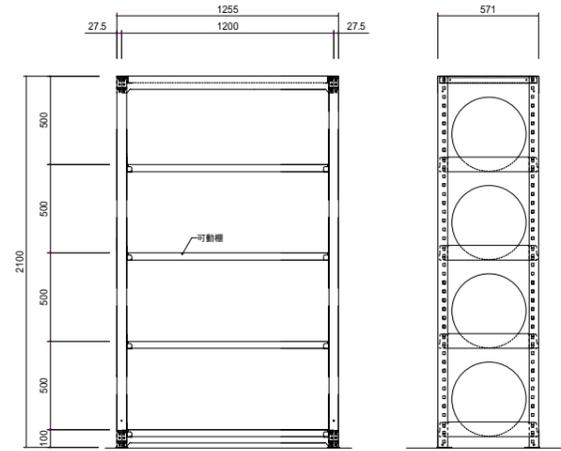
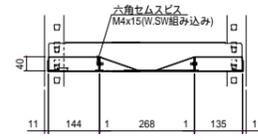


16	露受け裏板	2	SECC 0.6t	4辺ヘミング加工
15	タオル掛け受座	2	スチール角パイプ	100x50x2.3
14	タオル掛け金具	16	ステンレス	光澤加工 HM-250V
13	蝶番	32	SPCC 1.6t	
12	ラッチ	16	合成樹脂	M 10
11	名札差	16	合成樹脂	ビタリックC 45×88
10	ツマミ	16	合成樹脂	SGI 20
9	底貼板	2	SECC 0.8t	
8	扉補強	16	SECC 0.6t	
7	扉板	16	SECC 0.8t	
6	横中仕切板	8	SECC 0.8t	
5	縦中仕切板	6	SECC 0.8t	
4	裏板	2	SECC 0.8t	
3	底板	2	SECC 0.8t	
2	側板	4	SECC 0.8t	
1	天板	2	SECC 0.8t	
番号 部品名 数量 材質 備考				
塗装	粉体焼付塗装	塗装色	本体:KC-908 扉:KC-908	
数量	1セット	製品記号	MBT8-2T-S	

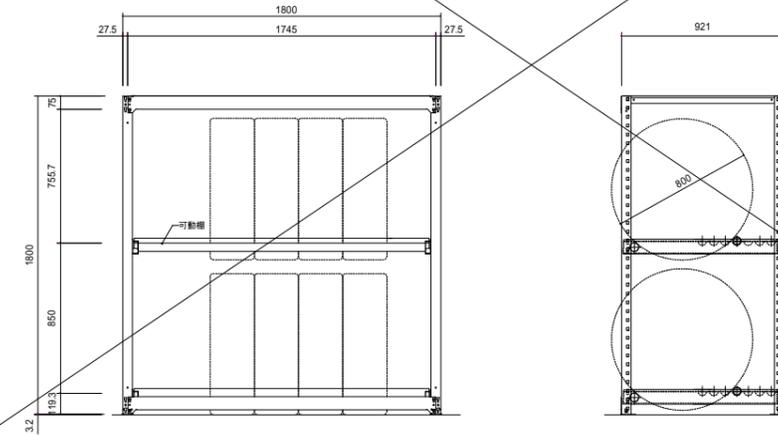


15	露受け裏板	1	SECC 0.6t	4辺ヘミング加工
14	タオル掛け受座	1	スチール角パイプ	100x50x2.3
13	タオル掛け金具	2	ステンレス	光澤加工 HM-250V
12	蝶番	4	SPCC 1.6t	
11	ラッチ	2	合成樹脂	M 10
10	名札差	2	合成樹脂	ビタリックC 45×88
9	ツマミ	2	合成樹脂	SGI 20
8	底貼板	1	SECC 0.8t	
7	扉補強	2	SECC 0.6t	
6	扉板	2	SECC 0.8t	
5	横中仕切板	1	SECC 0.8t	
4	裏板	1	SECC 0.8t	
3	底板	1	SECC 0.8t	
2	側板	2	SECC 0.8t	
1	天板	1	SECC 0.8t	
番号 部品名 数量 材質 備考				
塗装	粉体焼付塗装	塗装色	本体:KC-908 扉:KC-908	
数量	1台	製品記号	MBT1-2T-S	

製品名	ホース収納棚 H2100 x W1200 x D571
製品記号	SKH-2112
台数	1台
段荷重	300kg/段
棚段数	有効4段(天地5段)
固定	壁・床M8アンカー固定
塗装色	標準色・粉体SG色(サンブレイ色)

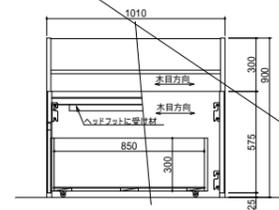
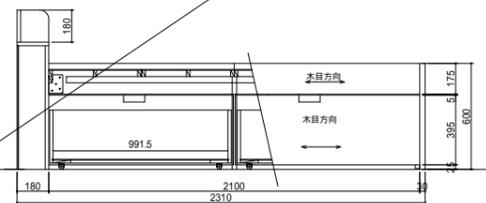
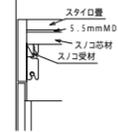
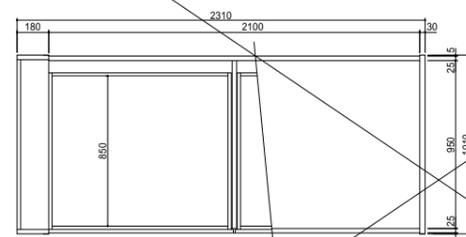


製品名	タイヤラック H1800 x W1745 x D921
製品記号	SKMTR-1818-S
台数	1台
段荷重	300kg/段
塗装色	標準色・粉体SG色(サンブレイ色)
固定	壁・床アンカー固定



左右共通仕様

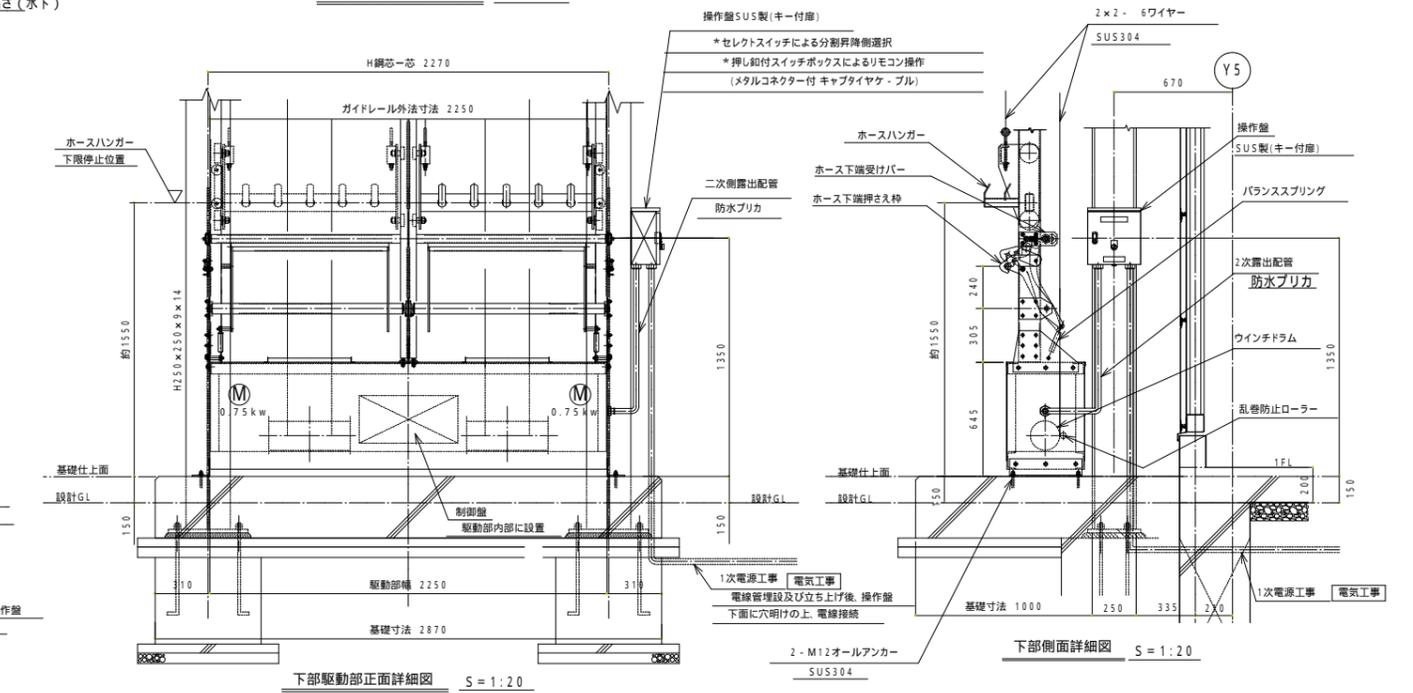
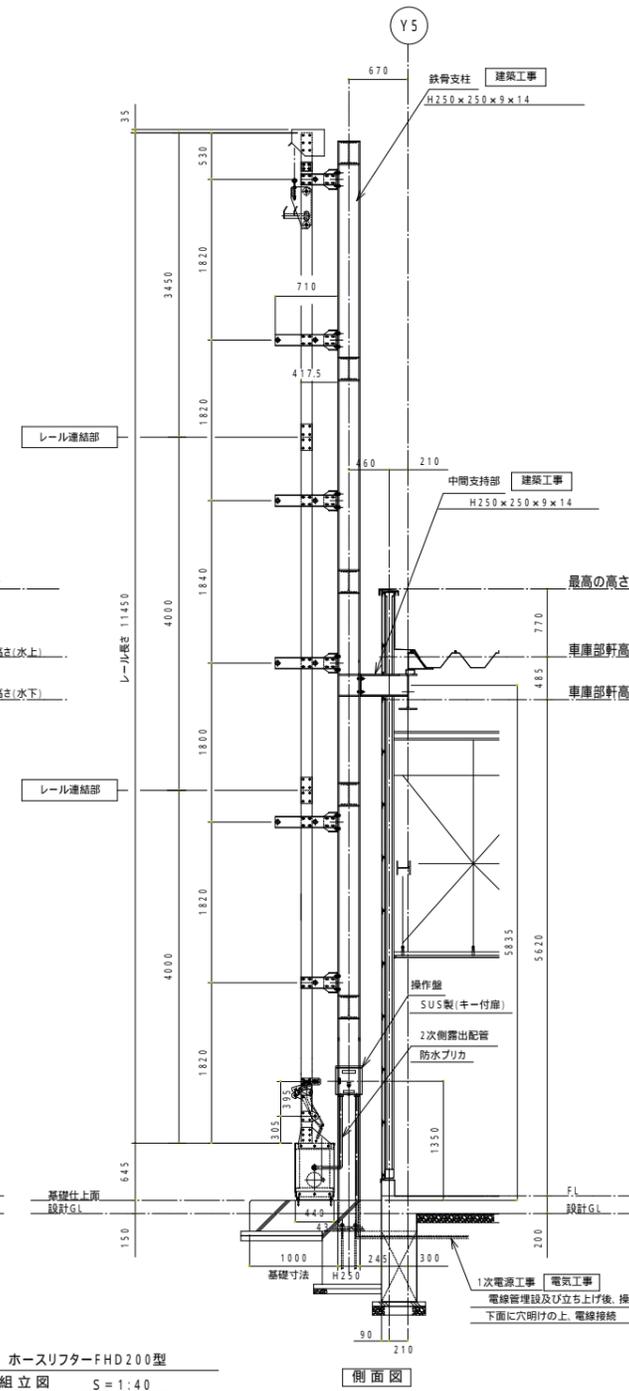
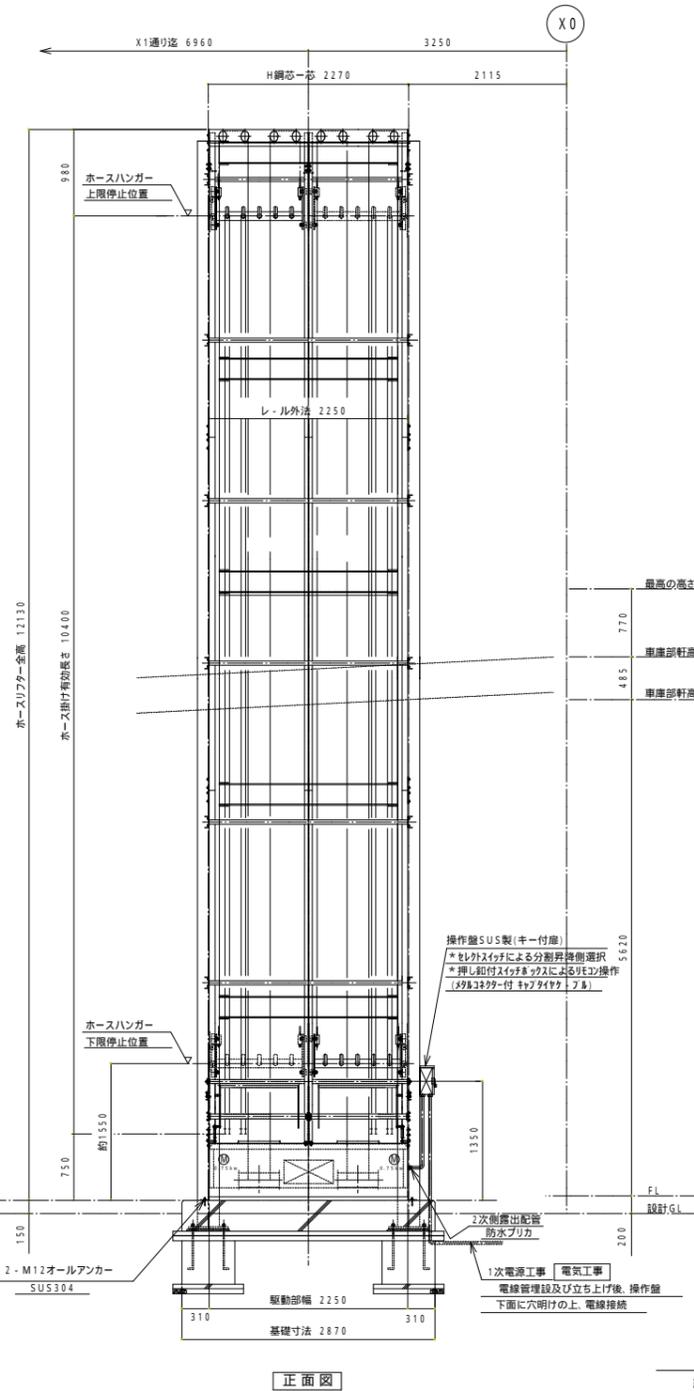
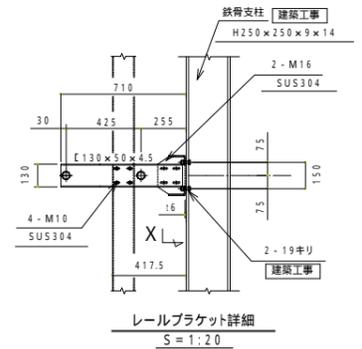
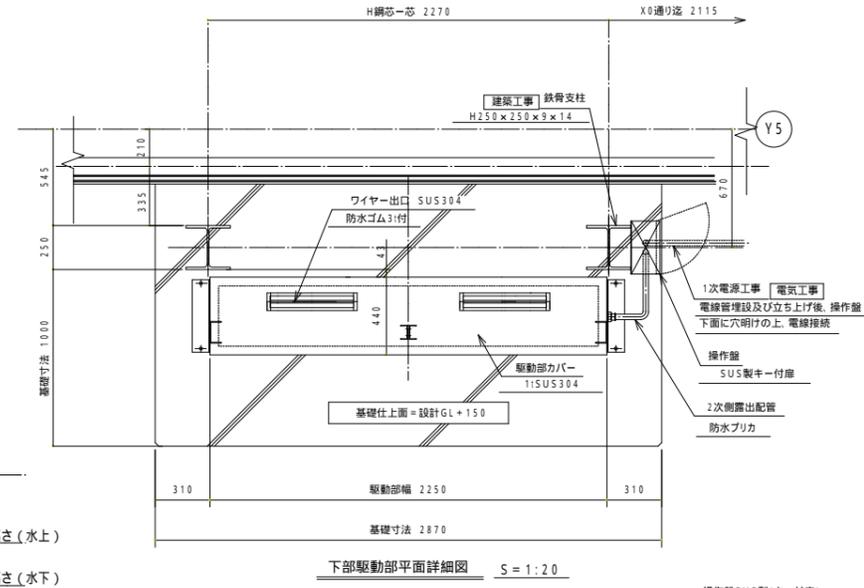
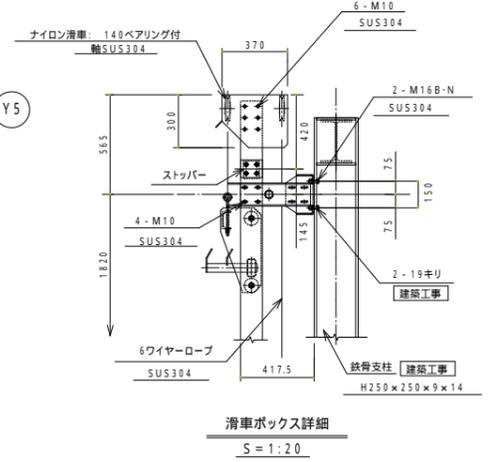
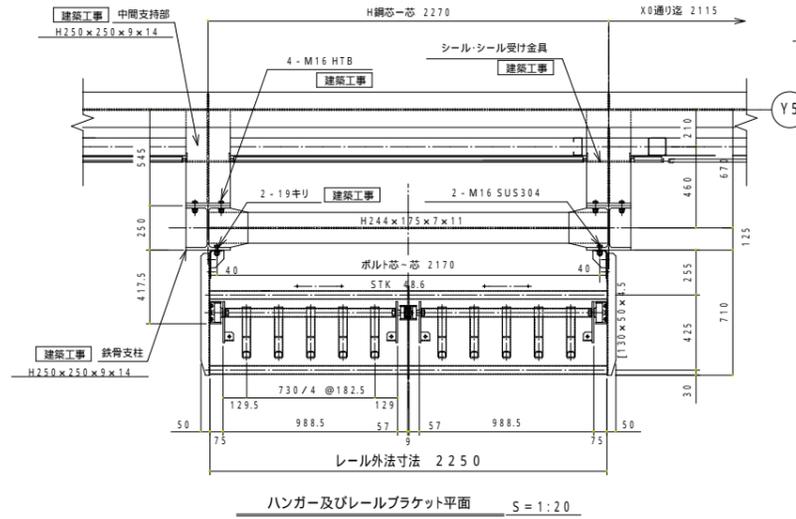
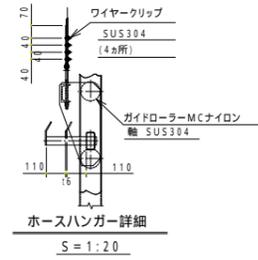
4	量	表裏:イ草・畳床:スタイロフォーム	1=30 ヘリ付
3	内 部	シナランバー 白ポリ合板仕上げ	
2	小 口	本体同色テープ仕上げ	1部メラミン使用
1	本 体	耐摩耗化粧合板	BB172
番号	部品名	材 質	備 考
数量	1 台	製品記号	BED-01C2

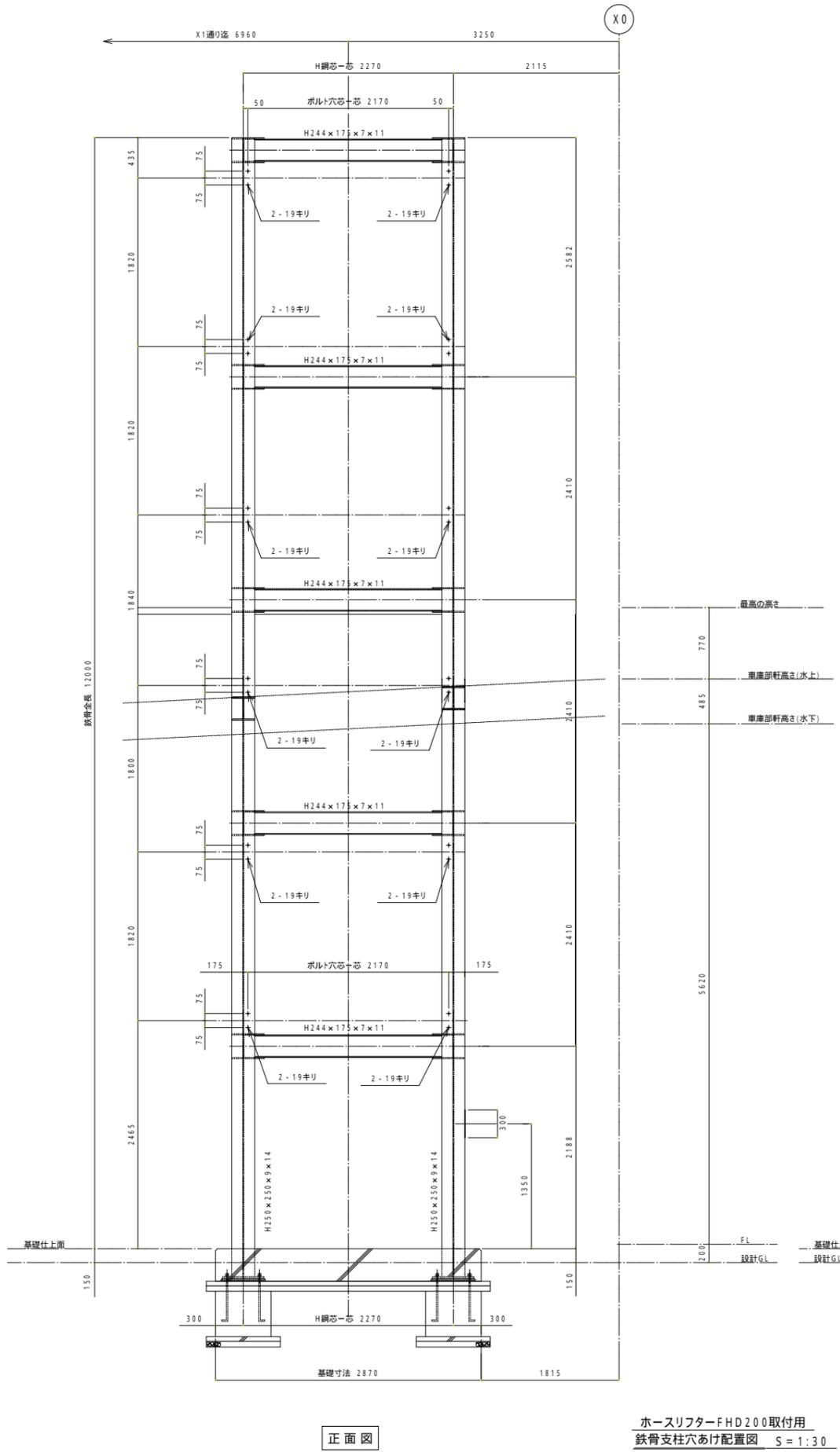


# 仕様概略

項目	仕様	各部材質及び防錆処理	
型式	FHD200(分割昇降型)	ガイドレール	耐蝕アルミ合金 A6063S-T5
台数	1基		125×65×6(両側2本) 80×40×4(中間2本)
外形寸法	2250W×12130H	ガイドローラ	MCナイロン 軸SUS304
ホース収容本数	5本×2×2列 計20本	レールブラケット	SS材 溶融亜鉛メッキ
巻上能力	20kg×10=200kg/列	ホースハンガ-	同上
作動	各列単独昇降	ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛メッキ、外板SUS
昇降速度	7.8m/min 60HZ	同上内部機器	生地のまま
電動機	0.75KW ブレーキ付 2台	吊りワイヤ-	2×6-2列 ステンレスワイヤ-
電源	220V 3相 60HZ	ボルト類	φ.877か共全てSUS304
操作回路電源	AC 24V		

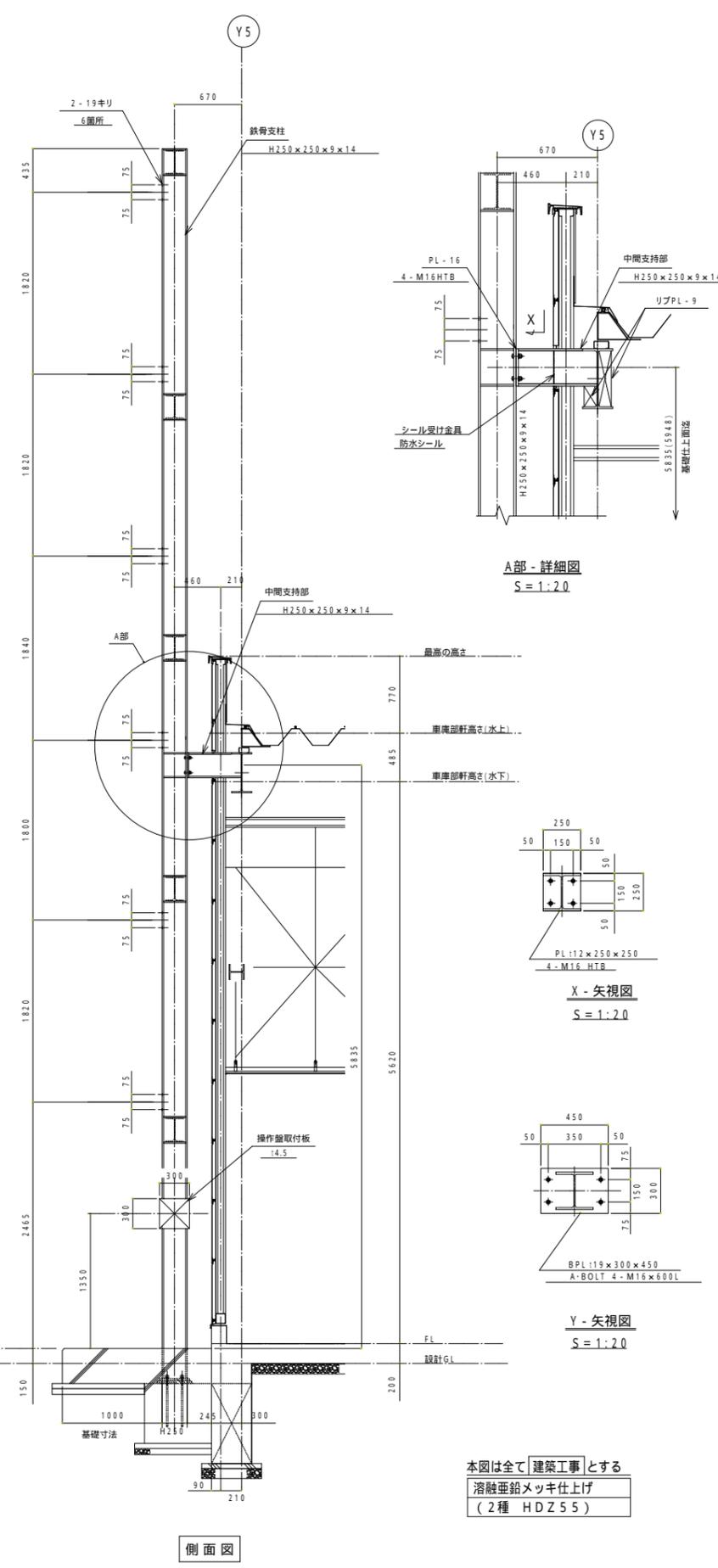
- 建築工事**
- 1) 鉄骨工事
  - 2) 基礎工事
  - 3) 中間支持部工事
- 電気工事**
- 1) 一次電源工事





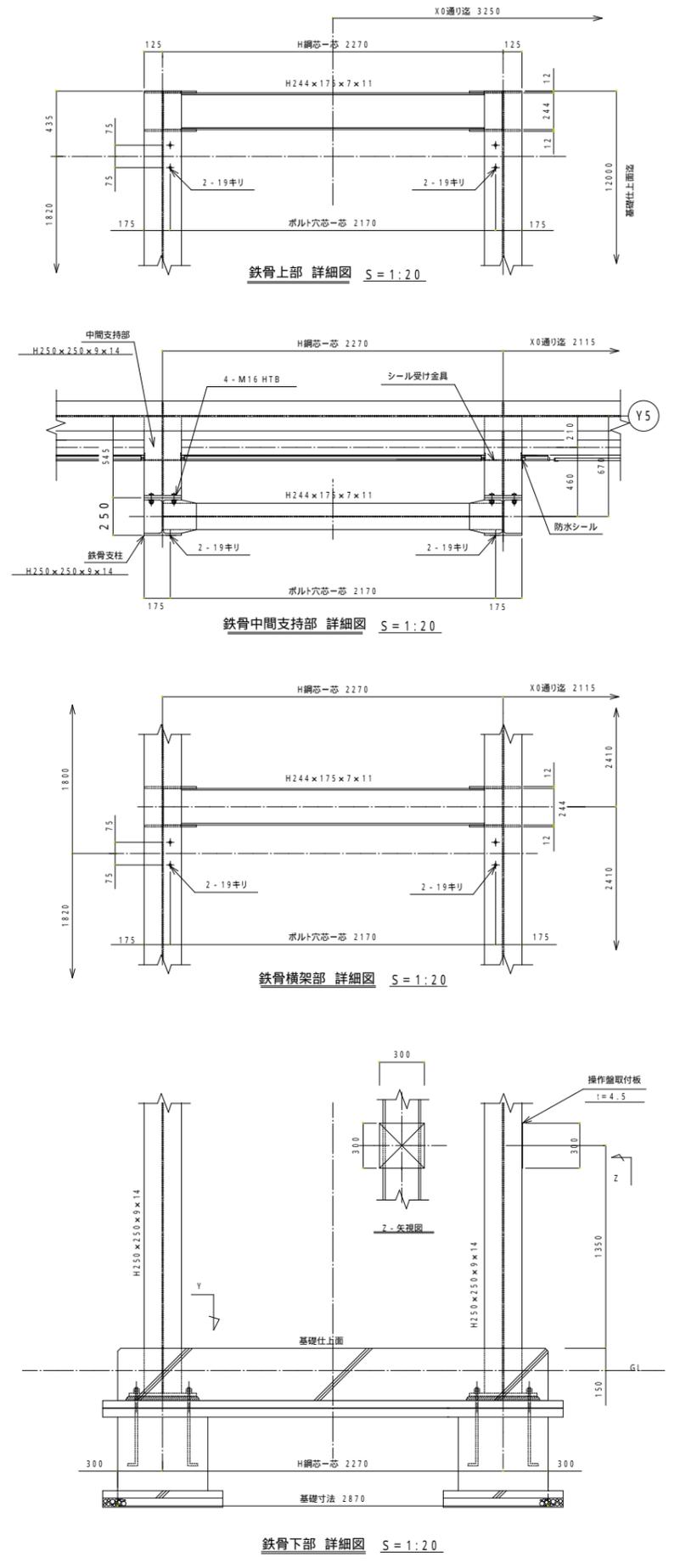
正面図

ホースリフターFHD200取付用  
鉄骨支柱穴あけ配置図 S=1:30

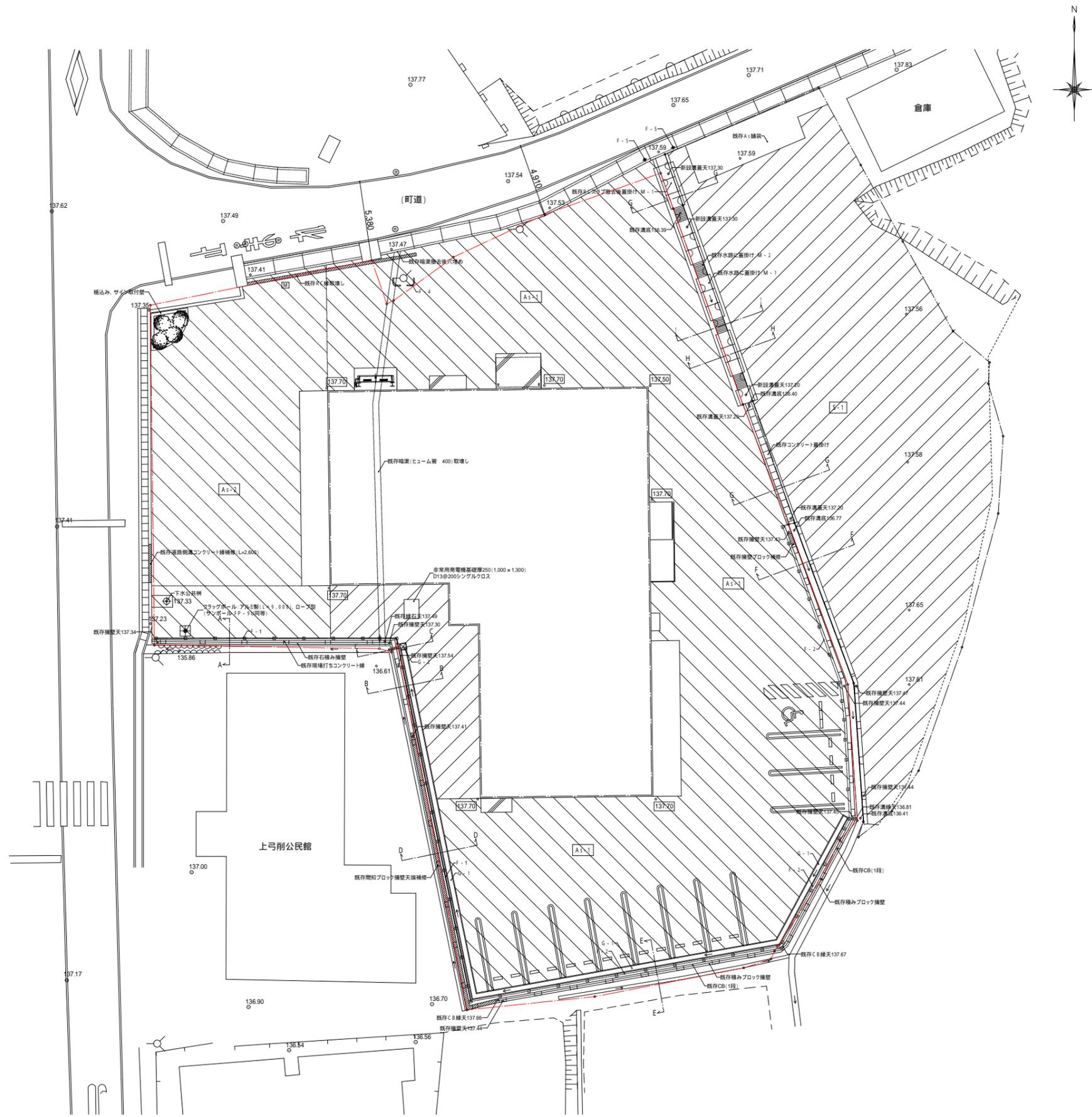


側面図

本図は全て 建築工事とする  
溶融亜鉛メッキ仕上げ  
(2種 HDZ55)



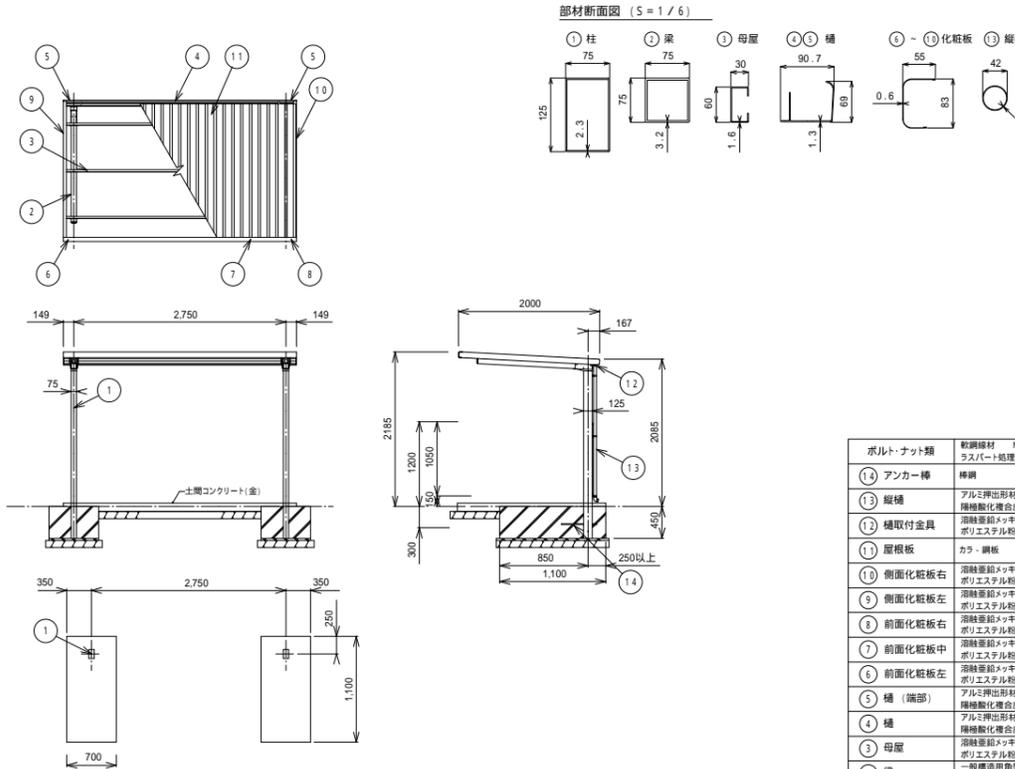
鉄骨下部 詳細図 S=1:20



外構平面図 1:150

外構凡例		
符号	記号	仕様
As-1		密粒度アスファルト舗装 (A-5-15、路盤再生材) 駐車スペース一般部: 区画線引き (W=100) U形、車止めブロック (再生ゴムチップ製) 障害者用部: デルタマーキング、車いすマーキング、車止めブロック (再生ゴムチップ製)
As-2		密粒度アスファルト舗装 (A-8-25、路盤再生材)
S-1		現状地盤スキ取り・整地のうえ 砕石敷き (B種)
CON-1		土間コンクリート厚120 金こて押入 (目地切り) 補強筋: D13@200 (シングルクロス) 砕石厚100
F-1		目隠しフェンス (H=1,200) 朝日スチール工業 XW-1200-M 同等 基礎ブロック: 300角、H=600
F-2		メッシュフェンス (H=1,200) 朝日スチール工業 UN-A1200L-40 同等 基礎ブロック: 180角、H=450
F-4		S1製固定式バリカー (コーナータイプ) バリカー: バリカーアーチ型コーナータイプ (固定式)、60.5 x H650、基礎: 300 x 250
F-5		ソフトコーン、80、H=650 サンボール: ガードコーン RBHS-65同等
G-1		側溝: U形側溝 (300A) 均しモルタル厚20、捨コン厚60、砕石敷き厚100
G-2		集水溝 (360 x 360 x 480) C種
M-1		コンクリートスラブ (T-2) 厚100、L=1m
M-2		スチール製グレーチング (T-2)、ノンスリップタイプ、 かさ上げグレーチング HXY-K8338A同等 材質: SS400 + STKR400、処理: 溶融亜鉛めっき、L=485

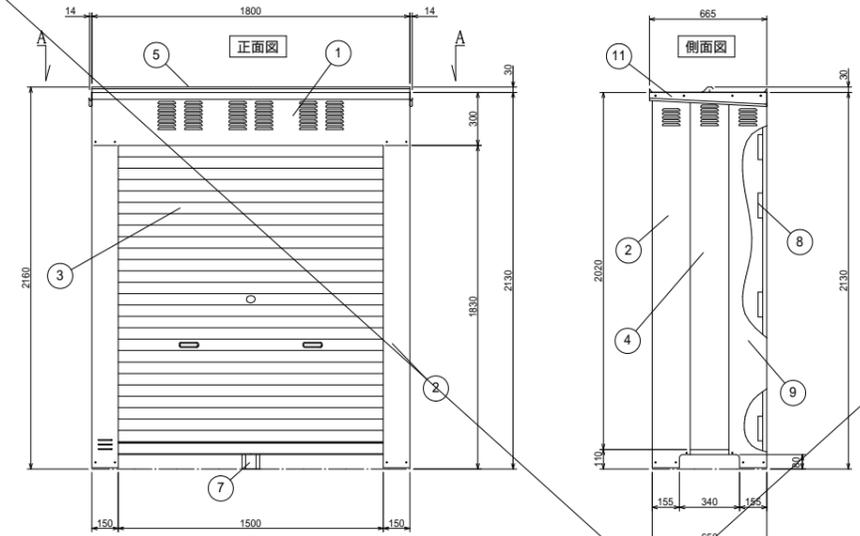
サイクルポートBLLタイプ 基本セット同等



ボルト・ナット類	取組線材 M6, M8 スラバート処理
⑫ アンカー棒	棒鋼
⑬ 縦柱	アルミ押出型材 (A6063S) 陽極酸化重合皮膜
⑭ 横取付金具	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
① 屋根板	カラ・鋼板
⑩ 側面化粧板右	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
⑨ 側面化粧板左	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
⑧ 前面化粧板右	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
⑦ 前面化粧板中	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
⑥ 前面化粧板左	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
⑤ 横 (端部)	アルミ押出型材 (A6063S) 陽極酸化重合皮膜
④ 横	アルミ押出型材 (A6063S) 陽極酸化重合皮膜
③ 母屋	溶融亜鉛メッキ鋼板 ポリエスチル粉体塗装
② 梁	一般構造用角型鋼管 (溶融亜鉛メッキ) ポリエスチル粉体塗装
① 柱	一般構造用角型鋼管 (溶融亜鉛メッキ) ポリエスチル粉体塗装

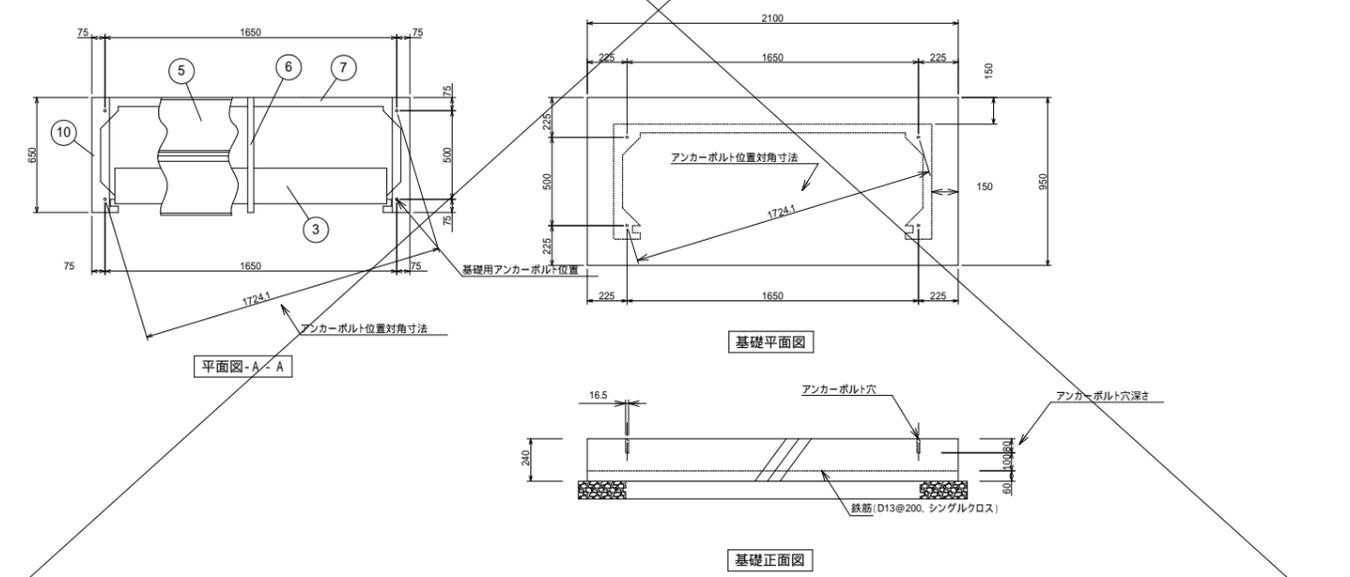
型式コード	間口(W)	奥行	高さ	全幅	色
BLL-2750	2,750	2,000	2,185	3,048	タウングレー

ホクエイ:ボンベクBN-240同等

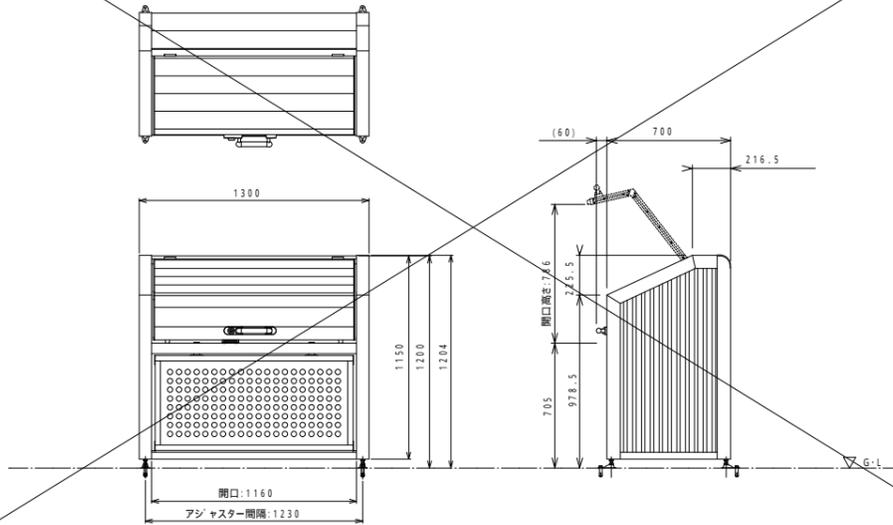


防火設備(乙種防火シャッター仕様)

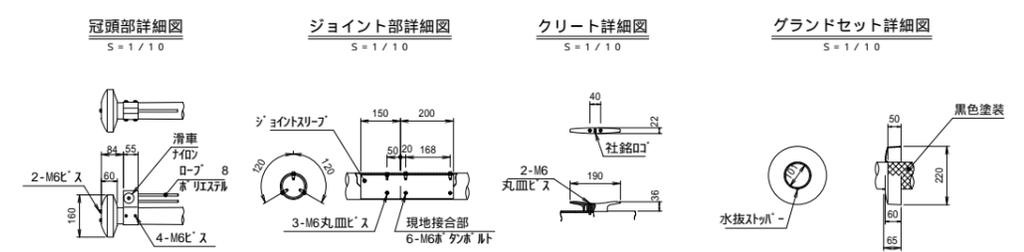
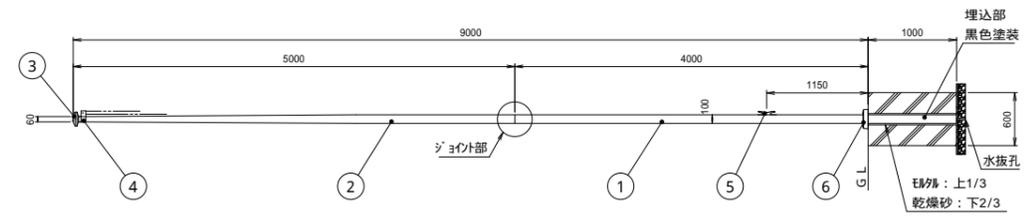
番号	品名	材質	個数	記事
11	屋根受け雨樋	ZAM	右1左1	(1.2)溶融メッキ
10	左右土台	ZAM	2	(2.0)溶融メッキ
9	後柱	SGCC	右1左1	(0.8)溶融亜鉛メッキ
8	横柱	SGHC	4	(1.2)溶融亜鉛メッキ
7	後土台	ZAM	1	(1.6)溶融メッキ
6	母屋	ZAM	1	(1.2)溶融亜鉛メッキ
5	屋根	ZAM	前1後1	(0.7)溶融メッキ
4	側パネル	SGCC	2	(0.8)溶融亜鉛メッキ
3	シャッター	SGCC	1	(0.8)溶融亜鉛メッキ
2	前柱	SGCC	右1左1	(0.8)溶融亜鉛メッキ
1	前梁	SGCC	1	(0.8)溶融亜鉛メッキ



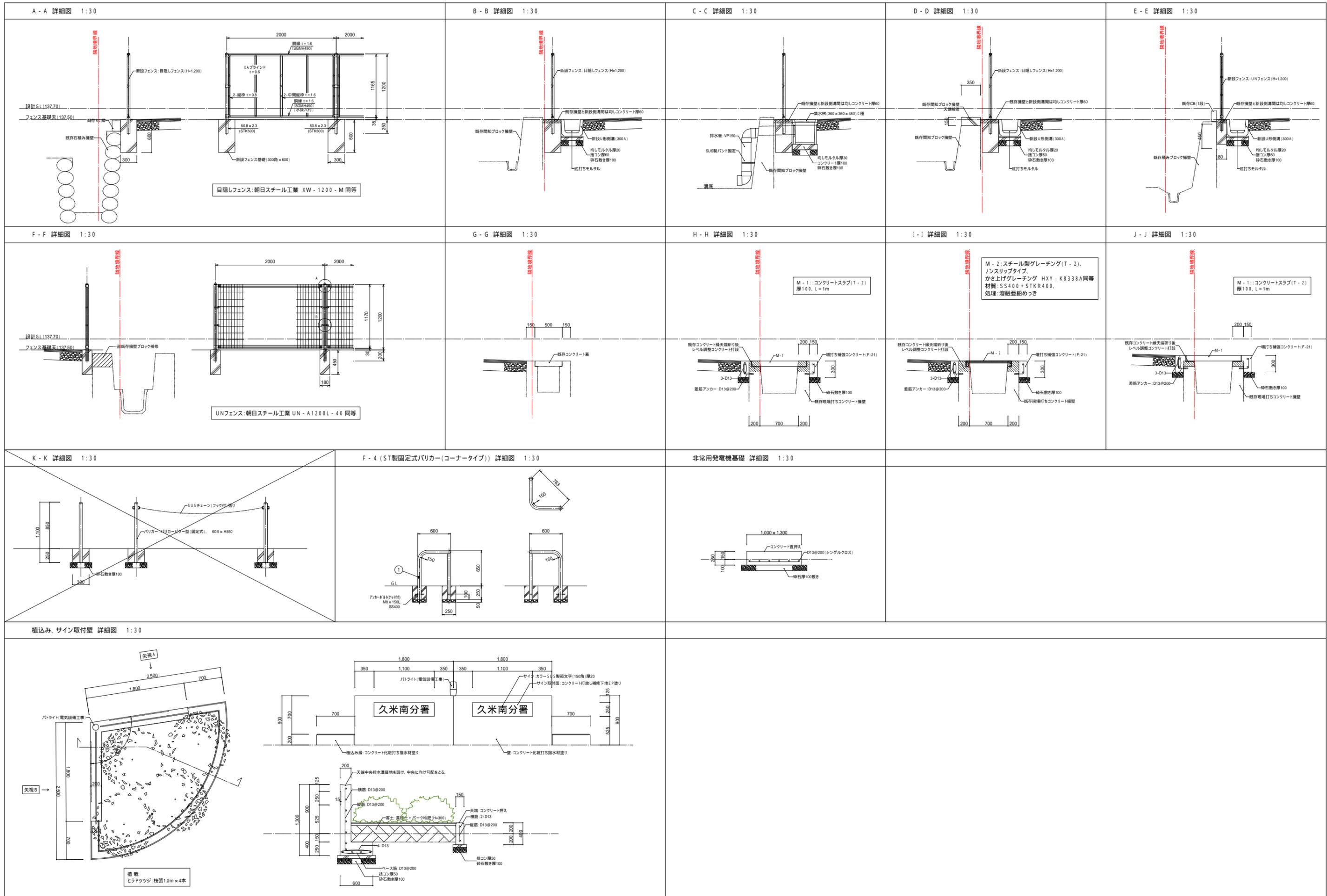
四圍化成:ゴミストッカーE-A型同等

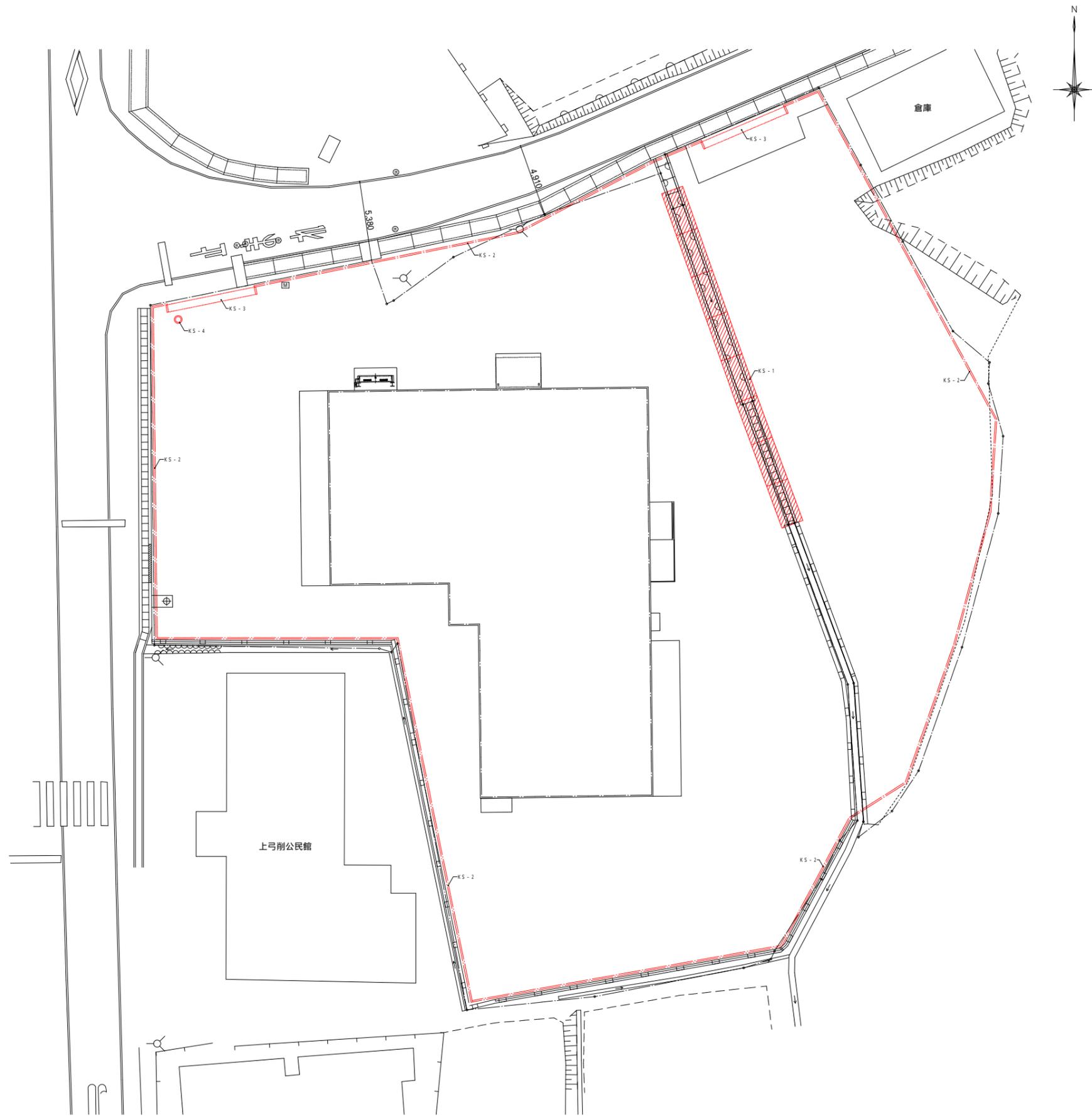


(株)サンポール:FP-9U同等



番号	品名	数量	材質	備考
6	グランドセット	1	アルミ合金ダイカスト ADC12	塗装仕上げ
5	クリート	1	アルミ合金ダイカスト ADC6	バフ研磨後クリアー焼付塗装
4	洗濯ホルダー	1	アルミ合金 A6063S-T5	焼付塗装
3	キャップ	1	アルミ合金/ポリプロピレン1050P/PP	アルマイト処理
2	ポール(上段)	1	アルミ合金継目無管 YB2TD-T8	100x12.3 H.L.後アルマイト処理クリアー電着塗装
1	ポール(下段)	1	アルミ合金継目無管 YB2TD-T8	100x13.8 H.L.後アルマイト処理クリアー電着塗装





外構凡例		
符号	記号	仕様
KS-1		現状コンクリート蓋部・敷鉄板厚22敷き
KS-2		仮囲い: ガードフェンス(H=1.8m) + シート張り
KS-3		キャストゲート両開き、(L=6m, H=1.8m)
KS-4		交通誘導員(30日程度)

仮設計画図 1:150

構造特記仕様書 2017年度版

§1 一般事項

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書は優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書

§2 構造計算ルート

Table with 2 columns: 方向 (Direction) and 構造計算ルート (Structural Calculation Route). Rows include X and Y directions with options for Route 1, 2, and 3.

§3 仮設工事、土工

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土
盛土
残土処分

§4 地業工事

Table for foundation and slab ground (基礎及びスラブ下地業). Columns include location (場所), concrete thickness (捨てコンクリート厚さ), and thickness (厚さ).

注 (1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。

(2) 端部aは100以上とする。

設計地耐力 長期 200 kN/m² 短期 400 kN/m² 終局 kN/m²

- 4-2 地耐力載荷試験
4-3 地盤改良
無筋コンクリート地業
セメント系固化材攪拌
載荷試験
既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

- 1) 杭種
PHC杭
ST杭
SC杭
PRC杭
節杭
2) 工法
打撃工法
埋込み工法

3) 杭径、設計耐力、本数表

Table for pile diameter, design capacity, and quantity. Columns: 杭径 (mm), 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考.

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
かご筋
スタッド溶接
杭外周溶接
4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

- 1) 工法
アースドリル工法
リバース工法
BH工法
2) 杭径、設計耐力、本数表 (杭底部は施工工を示す)

Table for pile diameter, design capacity, and quantity (杭底部は施工工を示す).

- 3) 杭先端深さ
4) 孔壁測定
5) 使用材料
コンクリートの仕様は設計図による。

- 4-6 杭打地業共通事項
1) [ 杭長決定用先行杭
2) 載荷試験
3) SL塗布

§5 鉄筋工事

Table for reinforcement types and diameters. Columns: 種類 (Type), 径 (Diameter), 継手 (Joint).

- 5-2 溶接部の検査
5-3 梁貫通補強
5-4 その他

§6 コンクリート工事

- 6-1 設計基準強度
1) セメント
2) 粗骨材
3) 躯体

4) 土間コンクリート

- 5) 捨てコンクリート
6) 防水せきえコンクリート
7) かさ上げコンクリート
6-2 混和材
6-3

- 6-4 試験
1) 骨材
2) フレッシュコンクリート
3) 躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験
5) マスコンクリートのひび割れ照査
6) 単位水量測定

- 6-5 調査
6-6 せき板及び支柱の在置期間

Table for curing period of formwork and supports. Columns: 材料 (Material), 基礎、梁側、柱、壁 (Foundation, etc.), スラブ下 (Slab under), 梁下 (Beam under).

- 住宅性能表示
劣化等級
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図

§7 鉄骨工事

Table for steel materials and usage. Columns: 規格名称 (Specification Name), 鋼材名 (Steel Name), 柱 (Column), 通し (Through), 内 (Inner), 大梁 (Main Beam), アレス (Arrest), 小梁 (Sub-beam).

Table for high strength bolts. Columns: 高力ボルトの種類 (High strength bolt types), 使用箇所 (Usage locations).

- 7-3 普通ボルト、アンカーボルト
1) 材質
2) 大臣認定柱脚

Table for high strength bolts. Columns: 径 (Diameter), 長さ (Length), 使用箇所 (Usage locations).

- 7-5 溶接材料
1) アーク溶接
2) ガスシールドアーク溶接

Table for joints. Columns: 継手 (Joint), 柱 (Column), 梁 (Beam).

7-8 溶接手法及び管理

- 1) 使用する溶接ワイヤー、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技能者技量検定付加試験を
3) AII検定 (工場・現場・代替タブ) の有資格者で、係員の承認を受けた者は技量検定付加試験を免除する。
7-9

Table for paint application. Columns: 適用 (Application), 塗料 (Paint), 種別 (Type), 標準膜厚 (Standard film thickness).

- 3) 溶融亜鉛メッキ
4) 常温亜鉛メッキ

7-11 溶接部の検査 (受入検査)

- 1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者 (元請) との直接契約による。
2) 第三者検査機関は (社) 日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2008により、合格判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。
7) 受入検査の採取り方法及び採取り率は以下による。
a) 工場溶接の場合
i. 検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii. 採取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii. サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合はロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は更に同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合合格とする。
b) 現場溶接の場合
i. 全数検査とする。
8) 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9) ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監行「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補修マニュアル」等を参考にする。

Table for reinforcement steel grades. Columns: S, H, M, R, J.

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 1) 種類
2) 厚さ mm
ALC パネル
1) 使用箇所
2) 厚さ mm
3) 外壁取り付け構法

Table for construction methods and usage. Columns: 方向 (Direction), 構法 (Construction method), 使用箇所 (Usage locations), 備考 (Remarks).

- 押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm

Table for construction methods and usage (pushed concrete board).

- PCa板
1) 床及び屋根

Table for construction methods and usage (PCa board).

- 2) 外壁 厚さ mm

一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 TEL (06) 6763-8205 FAX (06) 6763-8206 http://www.kse-web.com/

構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株) 倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司
2017年2月1日作成 (不許複製)

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図

設計図書に記載なき場合は本標準図による。

## § 1 一般共通事項

### 1. 1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内径直徑 (D)			使用箇所
		SD295A D16以下	SD295B D19~D38	SD390 D19~D38	
180°		3d			柱・梁の主筋及び杭基礎のベース筋並びにD16以上の鉄筋
135°		3d			あばら筋、帯筋、スパイラル筋、D13以下の鉄筋
90°		3d			T形及びL形の梁のあばら筋
135°及び90°		3d			幅止め筋
90°以下		4d以上 (5d以上)			その他の鉄筋

(注) 1. Dは、曲げ内径直徑  
2. dは、呼び名に用いた数値  
3. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端部の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、全長は4d以上とする。  
4. SD390は、( ) 内を適用する。

### 1. 2 鉄筋の継手

- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手（鉄筋の継手の構造方法を定める件）（平成12年5月31日 建設省告示第1463号）に適合する機械式継手とし、適用は特記による。
- 鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）7.6.6 [部材の組立] (d) 及び7.6.7 [溶接施工] 格者]に準じ、工事に相応した技能を有する者とする。
- 重ね継手は、次による。

なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。  
1) 主筋及び耐力型の鉄筋の重ね継手の長さは、突起による。特記がなければ、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と下記表の重ね継手長さのうち大きい値とする。  
2) 1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下記表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	L1(フックなし)		L1h(フックあり)		
		SD295A SD295B	SD345	SD390	SD295A SD295B	SD345
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d	30d
	21	40d	35d	30d	25d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d	20d
SD345	18	50d	45d	35d	30d	30d
	21	45d	40d	30d	25d	25d
	24, 27	40d	35d	25d	20d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d	20d
SD390	21	50d	45d	35d	30d	30d
	24, 27	45d	40d	30d	25d	25d
	30, 33, 36	40d	35d	25d	20d	20d

(注) 1. L1, L1h: 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合は、L1hは、下部に示すようにフック部分1を含む。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



### 1. 3 隣り合う継手の位置

- 隣り合う継手の位置は下記表による。但し、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。  
なお、先組込み工法等で、柱・梁の主筋の継手を同一箇所に行ける場合は、特記による。

重ね継手の種類	フックありの場合		フックなしの場合	
	柱	梁	柱	梁
圧接継手				
	$a \geq 0.5L1h$	$a \geq 0.5L1h$	$a \geq 0.5L1$	$a \geq 0.5L1$
機械式継手				
	$a \geq 400\text{mm}$	$a \geq 400\text{mm}$	$a \geq 400\text{mm}$	$a \geq 400\text{mm}$

## 1. 4 鉄筋の定着

### 1. 4. 1 鉄筋の定着の長さ

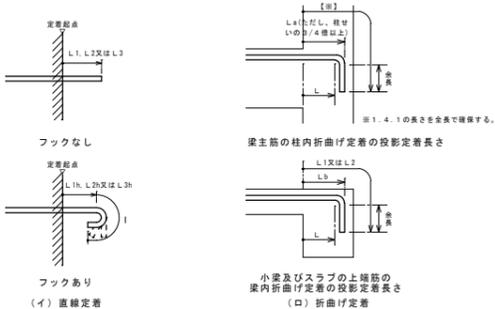
- 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と下記表の定着長さのうち大きい値とする。
- (1) 以外の鉄筋の定着の長さは、下記表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし			フックあり		
		L1	L2	L3	L1h	L2h	L3h
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d	30d	30d
	21	40d	35d	30d	25d	25d	25d
	24, 27	35d	30d	25d	20d	20d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d	20d	20d
SD345	18	50d	45d	40d	35d	30d	30d
	21	45d	40d	35d	30d	25d	25d
	24, 27	40d	35d	30d	25d	20d	20d
	30, 33, 36	35d	30d	25d	20d	20d	20d
SD390	21	50d	45d	40d	35d	30d	30d
	24, 27	45d	40d	35d	30d	25d	25d
	30, 33, 36	40d	35d	30d	25d	20d	20d

(注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ  
2. L2, L2h: 引張り鉄筋の柱に接する部分の長さ及びフックあり定着の長さ  
3. L3: 小梁及びスラブ下部の引張り鉄筋の長さ。ただし、引張りスラブ及びこれを支える小梁を除く。  
4. L3h: 小梁下部の引張り鉄筋の長さ  
5. フックあり定着の場合は、1. 4. 2に示すようにフック部分1を含む。また、中間部での折曲げは行わない。  
6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

### 1. 4. 2 定着の方法

- 定着の方法は下記による。
- 仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さsが、1. 4. 1のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を1. 4. 1に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを下記表に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上)をのみ込ませる。

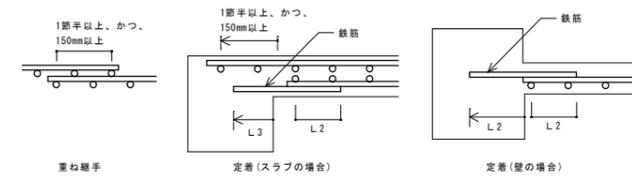


鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	L a		L b		
		SD295A SD295B	SD345	SD390	SD295A SD295B	SD345
SD295A SD295B	18	20d	15d	15d	15d	15d
	21	15d	15d	15d	15d	15d
	24, 27	15d	15d	15d	15d	15d
	30, 33, 36	15d	15d	15d	15d	15d
SD345	18	20d	20d	20d	20d	20d
	21	20d	20d	20d	20d	20d
	24, 27	20d	20d	20d	20d	20d
	30, 33, 36	15d	15d	15d	15d	15d
SD390	21	20d	20d	20d	20d	20d
	24, 27	20d	20d	20d	20d	20d
	30, 33, 36	20d	20d	20d	20d	15d

(注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む)。  
2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く)。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

### 1. 4. 3 溶接金網の継手及び定着

- 溶接金網の継手及び定着は下記による。なお、L2及びL3は、1. 4. 1の(注)による。



## 1. 5 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

### 1. 5. 1 鉄筋の最小かぶり厚さ

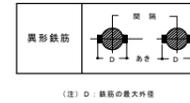
- 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、下記表による。
- 真通孔に挿入する鉄筋かぶり厚さは最小かぶり厚さ以上とする。
- 柱、梁の主筋にD20以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ	
	土に接し	土に接する部分
スラブ・耐力壁以外の壁	仕上げあり	20
	仕上げなし	30
	柱	30
	梁	30
耐力壁	室内	30
	仕上なし	30
	室外	40
	仕上なし	40
橋脚、耐圧スラブ		40
柱、梁、スラブ、壁		*4.0
基礎、擁壁、耐圧スラブ		*6.0
煙突等 高温を受ける部分		6.0

- \*1: 40mm以上は普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
- \*2: 「仕上あり」として、仕上げ層の厚さを加えるものとする。鉄筋の断面形状に等しい仕上げ(仕上層、塗装等)のものを除く。
- \*3: スラブ、梁、基礎及び擁壁で直接土に挿入する部分のかぶり厚さは、コンクリートの厚さを定めない。
- \*4: 基礎等の場合のかぶり厚さは、概算値とする。
- \*5: 橋脚を受けるおそれのある部分等、耐久性能上不適当は、特記による。

### 1. 5. 2 鉄筋の間隔

- 鉄筋相互の間隔は、下記の値のうち最大のものを以上とする。  
1) 組骨材の最大寸法の1. 25倍  
2) 25mm  
3) 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名に用いた数値)の1.5倍  
4) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨のあきは上記(1)~(3)のうち最大のものを以上とする。



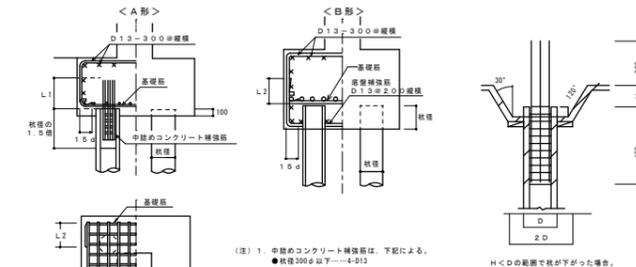
## § 2 基礎及び基礎梁の配筋

### 2. 1 基礎の配筋

- 一般事項  
(1) 杭基礎の場合は、基礎筋、横筋ともD13-300@を標準とする。  
(2) 地盤の種類及び厚さは特記する。ただし、コンクリート厚さ50mm、砂利地盤厚さ60mmを標準とする。

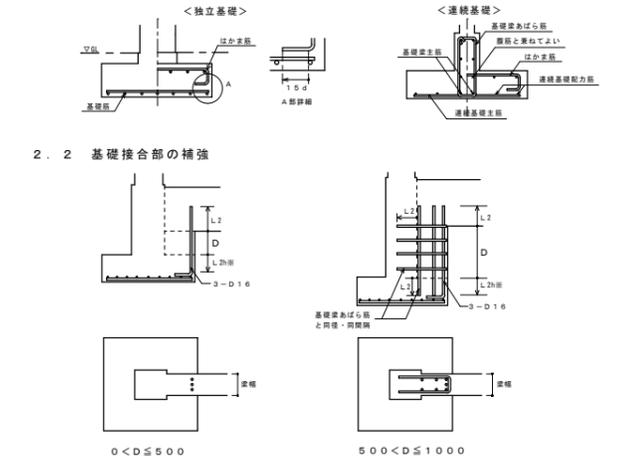
#### 2. 1. 2 基礎の配筋及び引張補強の方法

##### (1) 杭基礎の場合

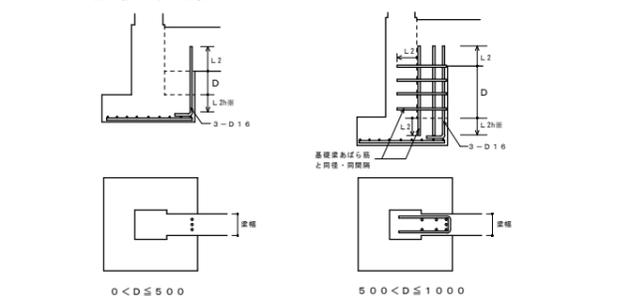


(注) 1. 中間部コンクリート補強筋は、下記による。  
● 鉄径200以下...  
● 300以下...  
● 400以下...  
● 500以下...  
2. 中間部コンクリート補強筋はフックをつけない。

##### (2) 直接基礎の場合



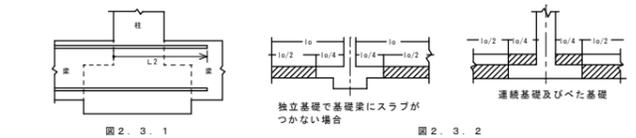
### 2. 2 基礎接合部の補強



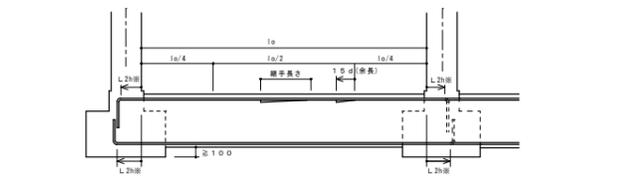
### 2. 3 基礎梁筋の継手、定着及び余長

#### 2. 3. 1 一般事項

- 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図2. 3. 1による。
- 梁筋を柱内に定着する場合は、4. 1. 1(3)による。
- 継手中心位置は図2. 3. 2の斜線部分とする。

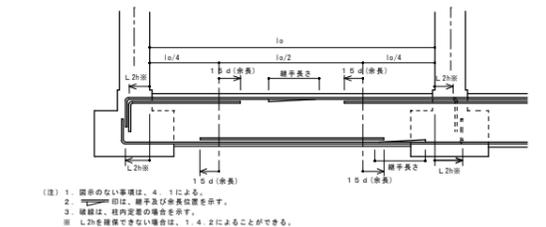


#### 2. 3. 2 独立基礎で基礎梁にスラブがつかない場合

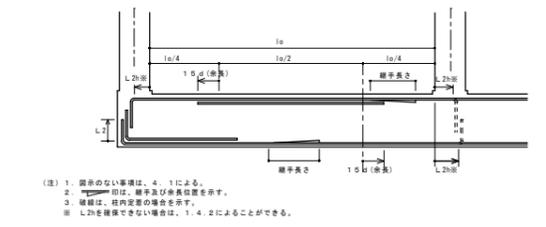


(注) 1. 図示のない事項は、4. 1による。  
2. 斜線部分は、継手及び余長位置を示す。  
3. 横筋は、柱内定着の場合を示す。  
※ L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることである。

#### 2. 3. 3 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合(耐圧スラブが付く場合は、2. 3. 4による)

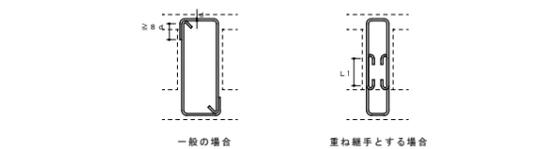


#### 2. 3. 4 連続基礎及びべた基礎の場合



### 2. 4 基礎梁のあばら筋

- あばら筋柱立の形及びフックの位置は、4. 2. 2による。
- 梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、下図によることである。

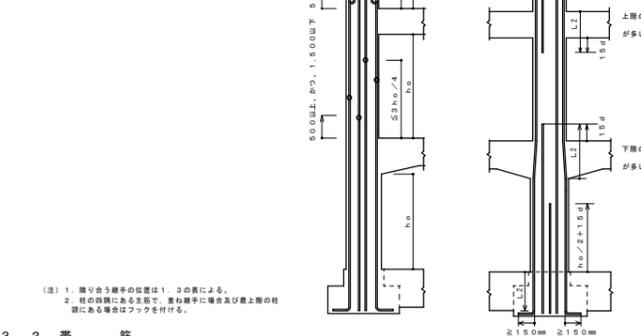


## § 3 柱

### 3. 1 柱筋の継手及び定着

#### 3. 1. 1 一般事項

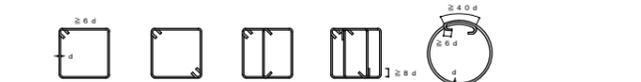
- 継手中心位置は、梁上端から500mm以上1,500mm以下、かつ3ho/4(hoは柱の内径高さ)以下とする。
- 柱筋定着長さL2が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
- 柱頭柱尾について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。



#### 3. 2 帯筋

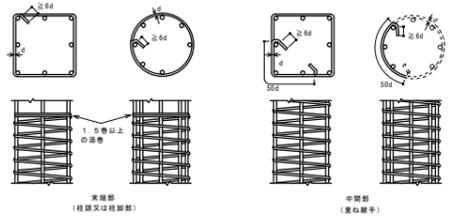
##### 3. 2. 1 帯筋

- 帯筋の種類及び間隔は、特記による。
- 帯筋立の形は、特記がなければ、下記による。
- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 上下の柱断面寸法異なる場合は、帯筋は、一般の帯筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

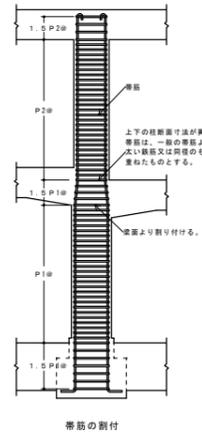


構造設計担当者  
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号  
(株)倉敷構造設計  
構造設計一級建築士第4087号  
一級建築士第243674号 木村賢司

§ 4 スパイラル筋の継手及び定着



(6) 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1@又は1.5P2@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、P1@、P2@は、特記された帯筋の間隔を示す。



帯筋の削付

§ 4 梁

4.1 大ばり筋の継手、定着及び余長

4.1.1 一般事項

- 継手中心位置は、下記による。  
上端筋 - 中央 $l_0/2$ 以内  
下端筋 - 柱面より梁せい(D)以上とし、 $l_0/4$ を加えた範囲以内
- 梁主筋は原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(3)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は右図による。
- 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。  
なお、定着の方法は、1.4.2による。  
上端筋：曲げ降ろす。  
下端筋：原則として曲げ上げる。
- 段違いは、図4.1.1によることができる。
- 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端(図4.1.2の●印)にある場合はフックを付ける。ただし、基礎梁を除く。

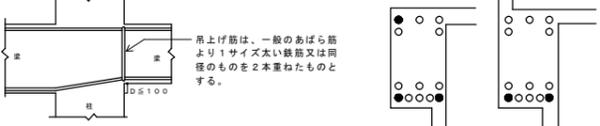
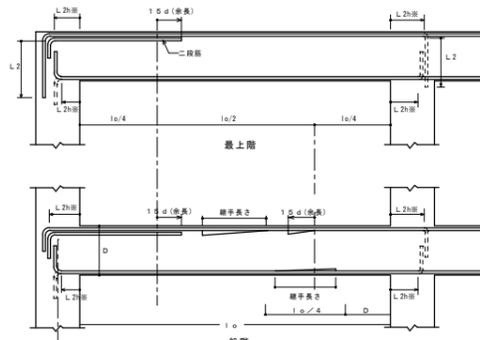


図4.1.1

図4.1.2

4.1.2 ハンチのない場合

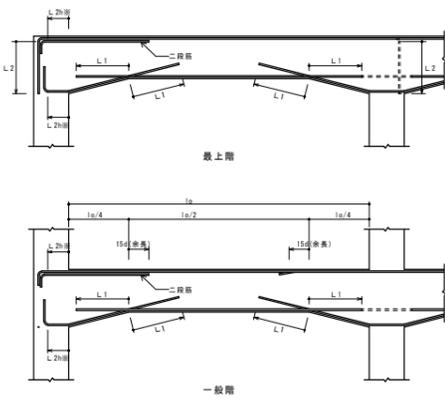
- 継手中心位置は、下記による。  
上端筋 - 中央 $l_0/2$ 以内  
下端筋 - 柱面より梁せい(D)以上とし、 $l_0/4$ を加えた範囲以内
- 4.1.1(5)で定めた鉄筋には、フックを付ける。



(注) 1. 〰印は、継手及び余長を示す。  
2. 〰印は、帯筋を示す。  
※ L2/3を確保できない場合は、1.4.2によることができる。

4.1.3 ハンチのある場合

- 4.1.1(5)で定めた鉄筋には、フックを付ける。



(注) 1. 〰印は、継手及び余長を示す。  
2. 〰印は、帯筋を示す。  
3. 〰印は、帯筋を示す。  
※ L2/3を確保できない場合は、1.4.2によることができる。

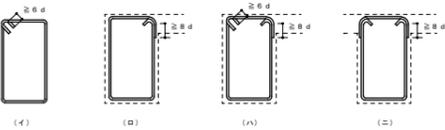
4.2 あばら筋、腹筋及び幅止め筋

4.2.1 一般事項

- あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1000@程度とする。
- 腹筋に継手を付ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければ、L2とする。

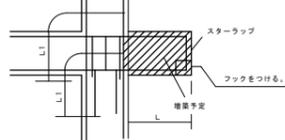
4.2.2 あばら筋補立の形及びフックの位置

- 形は、下図(イ)とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)~(ニ)とすることができる。
- フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ)の場合は、スラブの付く側を90°折曲げとする。



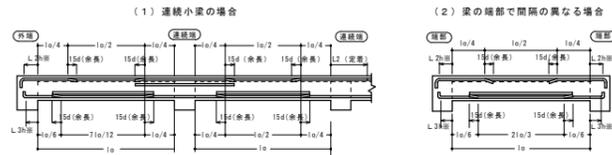
4.3 増築予定がある場合

- 圧接の場合 $L=1,000$ 、重ね継手の場合 $L=L1+0.5L1$
- 増築取合せ部分の梁主筋は増築用梁まで延長することなく柱にアンカーする。
- 下図ハッチ部分はスタイロホームを入れてコンクリートを打設又はラスモルタルとし現場の状況に応じて指示する。

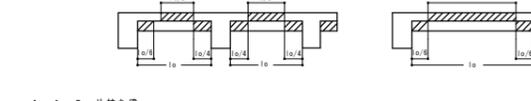


4.4 小梁及び片持ち梁

4.4.1 小梁

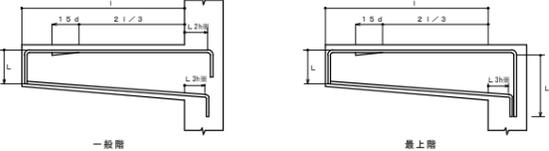


(注) 1. 〰印は、余長位置を示す。  
2. 〰印のない事項は、大ばりの項による。  
3. 継手中心位置は下部の斜線部分とする。  
4. 梁せいDが小さく、梁端で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。  
※ L2/3を確保できない場合は、1.4.2によることができる。



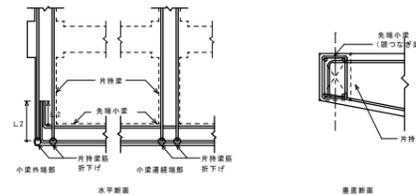
4.4.2 片持ち梁

(1) 先端に小梁のない場合



(注) 1. 〰印のない事項は、大ばりの項による。  
2. 〰印は、余長を示す。  
3. 先端の折曲げの長さLは、梁せいDより大きさを確保した長さとする。  
※ L2/3を確保できない場合は、1.4.2によることができる。

(2) 先端に小梁がある場合

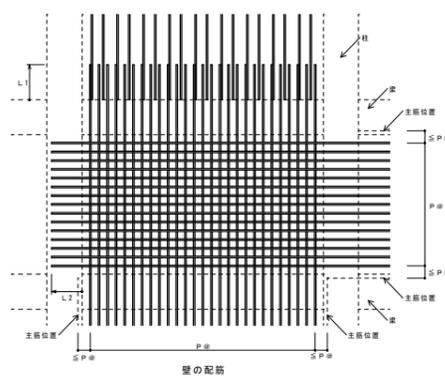


(注) 1. 〰印のない場合は、(1)による。  
2. 先端の小梁の位置は、片持ち梁の先端に水平定着する。  
3. 先端小梁の位置は、片持ち梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

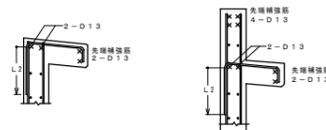
§ 5 壁

5.1 壁筋の継手及び定着

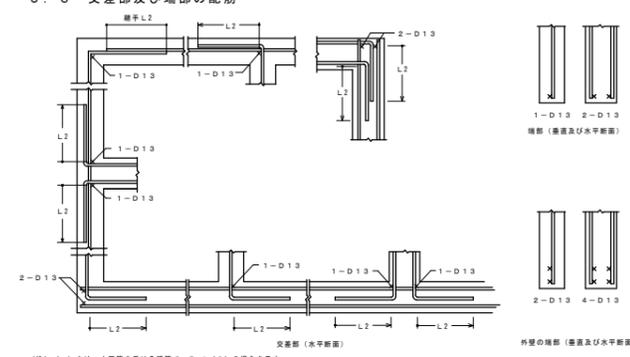
- 壁筋の重ね継手はL1、定着の長さはL2とする。
- 幅止め筋は、縦横共D10-1,000@程度とする。
- 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはならない。
- 下図のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。



5.2 パラレットの配筋



5.3 交差部及び端部の配筋

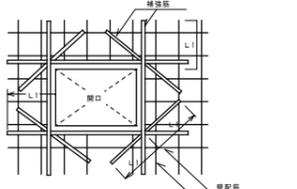


5.4 壁開口部の補強

- 壁開口部の補強は、A形又はB形とし、特記がなければB形とする。ただし、耐震壁を除く。

壁の種類	A 形		B 形	
	補強筋	斜め	補強筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13	W12, W15	2-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	W18, W20	4-D13

(2) 壁開口部補強筋の定着長さ

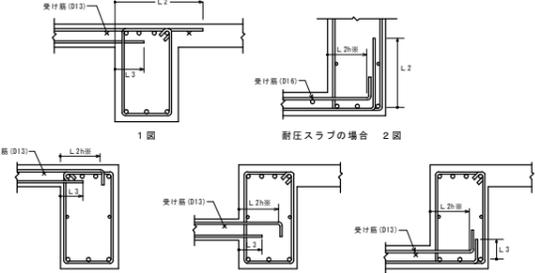


- 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を縦や曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

§ 6 スラブの配筋

6.1 スラブ筋の継手及び定着

- 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
- 定着長さ及び受け筋は、1図による。ただし、引き通すことができない場合は、3図により梁内に定着する。



(注) ※ L2/3を確保できない場合は、1.4.2によることができる。

(3) 継手中心位置は下記表による。

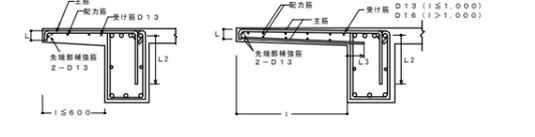
	標準継手位置	標準継手位置	
		短辺方向	長辺方向
上端筋	短辺方向	B・D	
下端筋	長辺方向	A・B	
		両方向共	A・C・D

(注) 1. 主筋下端継手中心はB、D部分をさけること。  
2. 配筋下端継手中心はA、B部分をさけること。

6.2 スラブの基準配筋

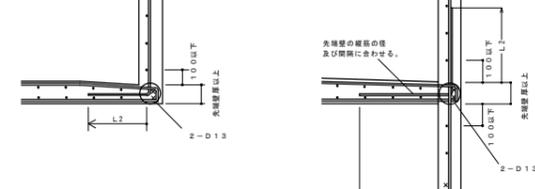
6.2.1 片持ちスラブ

(1) 先端に壁がない場合

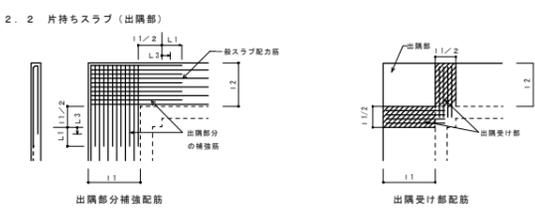


(注) 1. 先端の折曲げの長さは、スラブ厚よりかぶり厚さを確保した長さとする。  
2. スラブに段差のない場合、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

(2) 先端に壁が付く場合



6.2.2 片持ちスラブ(出隅部)

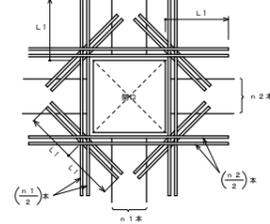


(注) 1. 1/2以上とする。  
2. 出隅受け筋は柱又は梁にL1定着する。

構造設計担当者  
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号  
(株)倉敷構造設計室  
構造設計一級建築士第4087号  
一級建築士第243674号 木村誠司

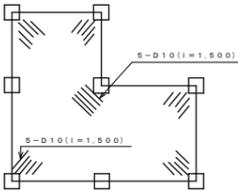
6. 3 スラブ開口部の補強

- (1) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合、スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (l=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- (2) スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



6. 4 その他の補強

- 6. 4. 1 屋根スラブ  
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



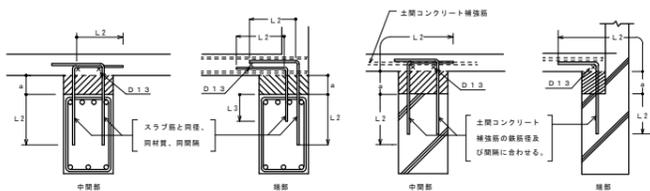
6. 4. 2 壁付きスラブ

- (1) スラブに上端筋がなく、壁が付いている場合には、下図により補強筋を入れる。



6. 4. 3 土間スラブ、土間コンクリートの打継ぎ補強

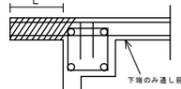
- (1) 土間スラブの打継ぎ補強
- (2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



- (注) 1. 土間コンクリートとは、土に埋まるスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをい、それ以外は土間スラブとして、別途設計して基礎へ荷重を伝達するものとする。
- 2. aが300mm以下の場合は異なる。

6. 5 増築予定がある場合

- (1) 継手長さL=L1+0.5L1
- (2) 増築取合せ部分の床主筋は増築用床まで延長することなく梁にアンカーする。
- (3) 右図ハッチ部分はラスモルタルとし現場の状況に応じて指示する。

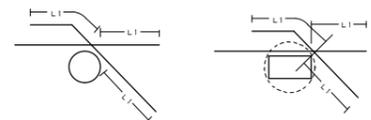
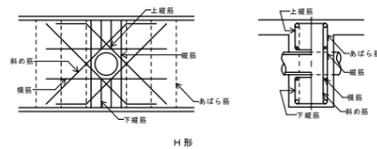


§ 7 梁貫通孔補強

梁貫通孔の補強はこの標準配筋により、孔の形状寸法および配筋種別は特記する。

7. 1 一般事項

- (1) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- (2) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下縁より1/3Dの範囲には設けてはならない。
- (3) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。
- ただし、基礎梁、壁付等梁は除く。
- (4) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (5) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (6) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは下図による。
- (7) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- (8) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出は10mm以上とする。
- (9) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-3φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- (10) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中止とする。



7. 2 補強の形式と種類

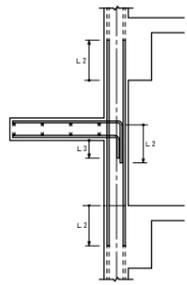
配筋種別	H形配筋				図
	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	
H 1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H 2		2-2-D13			
H 3	4-2-D13				
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

(注) ---は、一部部分のあばら筋を示す。

§ 8 階段の配筋

8. 1 片持スラブ形階段の標準配筋

配筋種別	片持スラブ形階段の標準配筋	
	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		

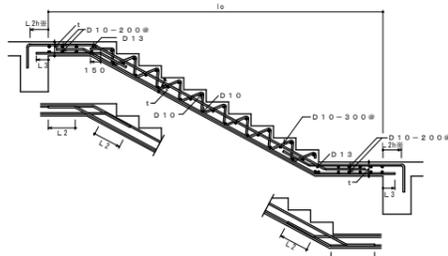


片持スラブ形階段配筋の定着

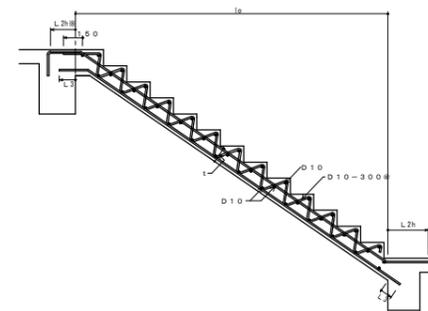
- (注) 1. 階段主筋は、壁の中心線を経た下から埋下する。
- 2. スラブ配筋の継手及び定着の長さ、1. 4. 1 (2) のL3とする。

8. 1 二辺固定スラブ形階段の標準配筋

二辺固定スラブ形標準配筋		
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	
KB 1	D13-200φ	
KB 2	D13-150φ	
KB 3	D13-100φ	
KB 4	D13、D16-150φ	
KB 5	D16-150φ	
KB 6	D16-125φ	
KB 7	D16-100φ	



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)

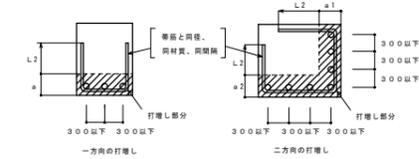


- (注) 1. 右図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を使用する。
- 2. L2hを確保できない場合は、1. 4. 2によることができる。

二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

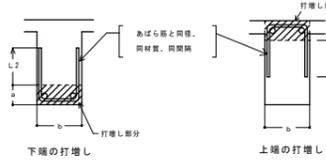
§ 8 その他の補強

8. 1 柱の打増し補強



- (注) 1. 柱の打増し幅 (a, a') が70mm以上の場合は補強を示す。
- 2. 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
- 3. 軸方向の補強間隔は300mm以下とする。

8. 2 梁の打増し補強

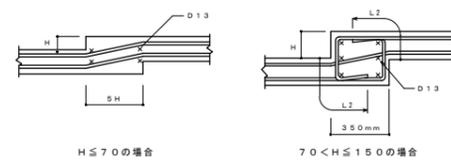


- (注) 1. 梁の打増し幅 (a, a') が70mm以上の場合は補強を示す。
- 2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。

8. 3 壁の打増し補強

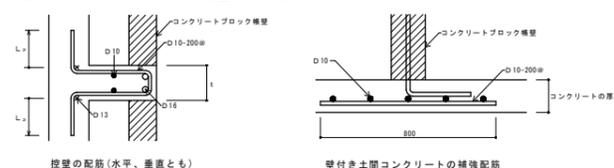


8. 4 段差のあるスラブの補強



- (注) 1. 150mm以下の段差のあるスラブの場合異なる。

8. 5 コンクリートブロック積壁との取合い



控壁の配筋 (水平、垂直とも)

壁付き土間コンクリートの補強配筋

構造設計担当者  
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号  
(株)倉敷構造設計室  
構造設計一級建築士第4087号  
一級建築士第243674号 木村誠司

鉄骨構造工作標準図

§ 1 一般事項

1-1 使用材料

・使用材料は 構造図による。

1-2 鉄骨加工業者

・鉄骨加工業者は 社団法人全国鋼構工業協会 (J S F A) 加盟の大臣認定取得の工場とする。

延床面積	500㎡以下	3000㎡以下	制限なし	
グレード	Jグレード	Rグレード	Mグレード	Hグレード
種類	400N	490Nまで	490Nまで	520Nまで
板厚	16mm以下	25mm以下	40mm以下	60mm以下
通しダイヤフラム	490Nまで 22mm以下	32mm以下	50mm以下	70mm以下
ベースプレート	490Nまで 50mm以下	50mm以下	制限なし	制限なし

1-3 その他

- ・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
- ・本標準図における単位はすべてmmとする。
- ・精度に関しては「鉄骨工事精度標準 (日本建築学会編)」による。
- ・防錆塗装は J I S K 5 6 2 1 ~ K 5 6 3 3 による。

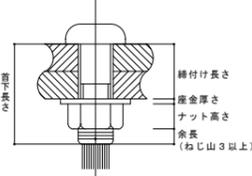
§ 2 共通事項

- ・A B アンカーボルト
- ・B E ベースプレート
- ・D F E ダイヤフラム
- ・F E フランジプレート
- ・H T B 高力ボルト
- ・S E スプライスプレート
- ・W E ウェブプレート
- ・B H 組立てH形鋼
- ・C H E チェッカープレート
- ・F B フラットバー
- ・G E ガセットプレート
- ・R E リブプレート
- ・T B ターンバックル
- ・W 1 溶接記号 (§ 4 参照)

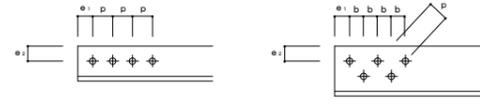
§ 3 ボルト接合

ボルトの形要長さ

ねじの呼び	締付け長さに入る長さ		締付け長さ
	F 1 0 T	S 1 0 T	
M 1 6	30mm	25mm	ナット高さ 余長 (ねじ山3以上)
M 2 0	35mm	30mm	
M 2 2	40mm	35mm	
M 2 4	45mm	40mm	



- 特記以外は全て F 1 0 T 又は S 1 0 T (特殊高力ボルト、右図) とする。
- 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- ボルトの接合面の処理は締付け摩擦面の母材においては平グラインダー掛け、スプライスプレートにおいてはショット掛けを行ない、黒皮を除去して一様に赤さびを生じさせず、又、締付けは一次締付け後マーキングを入れて本締めをする。



呼び径		M 1 6	M 2 0	M 2 2	M 2 4
孔径	標準	18	22	24	26
	最小	40	50	55	60
ピッチ	標準	60	60	60	70
	最小	40	50	55	60
はしあき	e <sub>1</sub>	40 (50)	40 (55)	50 (60)	
へりあき	e <sub>2</sub>	25	30	35	40

- ( ) 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。
- 手作業によるガス切断を行なう場合はへりあき e<sub>2</sub> は上表の数値+5とする。

3-3 形鋼のゲージ

A	B	e <sub>1</sub>	e <sub>2</sub>	最大軸径	B	e <sub>1</sub>	e <sub>2</sub>	最大軸径	B	e <sub>1</sub>	e <sub>2</sub>	最大軸径
50	30	16	10	60	16	10	30	16	50	30	16	16
60	35	16	12.5	75	16	12.5	35	16	65	35	20	20
65	35	20	15.0	90	22	15.0	40	22	70	40	20	20
70	40	20	17.5	105	22	17.5	40	22	75	40	22	22
75	40	22	20.0	120	24	20.0	45	24	80	45	22	22
80	45	22	25.0	150	24	25.0	50	24	90	50	24	24
90	50	24	30.0	150	40	30.0	55	24	100	55	24	24
100	55	24	35.0	140	70	35.0		24				
125	50	35	40.0	140	90	40.0		24				
130	50	40										
150	55	55										
175	60	70										
200	60	90										

B = 300 は千鳥打ちとする。

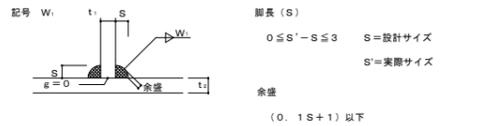
\* \* 印の欄の e<sub>1</sub> および最大軸径の値は強度上支障がないとき

最小径端距離の規定にかかわらずいることができる。

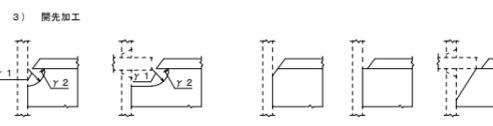
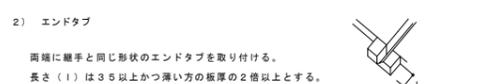
4-1

隅肉溶接

§ 4 溶接接合



t <sub>1</sub> : t <sub>2</sub> と t <sub>1</sub> の小さい方	6以下	9	12	14	16	19
S ≥ 0.7t	t	7	9	10	12	14



- ・スカーラップを設ける場合、スカーラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。
- ・スカーラップを設けない形状の場合、図のいずれかによるものとする。
- ・スカーラップの円弧の半径は、γ1は35mm程度、γ2は10mm程度とする。
- ・なお接合円は滑らかに仕上げること。
- ・突き合わせ溶接部以外のスカーラップはγ=2.5程度とする。

記号	形状	適用板厚	寸法	
			手溶接	半自動溶接
W <sub>2</sub> MC-BL-B1 GC-BL-B1	[Diagram]	6 < t ≤ 12	α <sub>1</sub> 7 ± 1 γ 2	α <sub>1</sub> 6 ± 1 γ 2
		12 < t ≤ 40	α <sub>1</sub> 9 ± 1 γ 2	α <sub>1</sub> 7 ± 1 γ 2
W <sub>2</sub> MC-BL-B2 GC-BL-B2	[Diagram]	6 < t ≤ 19	α <sub>1</sub> 0 ± 1 γ 2	α <sub>1</sub> 0 ± 1 γ 2
		19 < t ≤ 40	α <sub>1</sub> 9 ± 1 γ 2	α <sub>1</sub> 7 ± 1 γ 2
W <sub>2</sub> MC-BK-B2 GC-BK-B2	[Diagram]	19 < t ≤ 40	α <sub>1</sub> 0 ± 1 d <sub>1</sub> 1/(t-γ) γ 2	α <sub>1</sub> 0 ± 1 d <sub>1</sub> 1/(t-γ) γ 2
		19 < t ≤ 40	α <sub>1</sub> 9 ± 1 d <sub>2</sub> 1/(t-γ) γ 2	α <sub>1</sub> 7 ± 1 d <sub>2</sub> 1/(t-γ) γ 2
W <sub>2</sub> MC-BL-B1 GC-BL-B1	[Diagram]	1 ≤ t ≤ 6	α <sub>1</sub> 5 ± 1 γ 2	α <sub>1</sub> 1 ± 1 γ 2

- 外観及び表面欠陥の検査は原則として目視により全ての溶接線に対して行うこと。
- 柱、梁のフランジ突き合わせ溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷試験による。
- 検査規程及び合格判定は日本建築学会編「鋼構造建築接合部の超音波探傷検査基準」による。
- 工場溶接に対し第三者機関による検査箇所数は下表による (但し社内検査は100%行うこと)。

検査箇所数	1	2	3
検査箇所数	30%以上	60%以上	100%
第1部	[Diagram]	[Diagram]	[Diagram]
第2部	[Diagram]	[Diagram]	[Diagram]
第3部	以下、上記の方法を繰り返すこと。		

- ← ○ 不合格率 5% 未満の場合
- → ○ 不合格率 5% 以上の場合

5 現場溶接の場合は第三者機関による検査を100%行う。

6 不合格と判定された溶接部は全て補正すること。

4-3

溶接部の検査

5-1

継手部

§ 5 継手



- ・ピン接合は小梁仕口リストによる。
- ・FR、WR面で段差が1をこえる場合は、フィラープレートを入れる。

5-2

小梁仕口



- ・FR、REは小梁のWEと同厚以上とする。
- ・継手プレート及びHTBはリストによる。

6-1

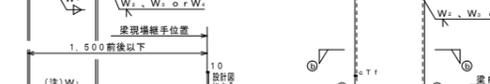
勾配屋根



- ・ハンチ部FR折曲げ規定 (勾配が1/3をこえる場合は補強プレート (点線) を入れる)
- ・T d ≤ 25 の場合 25 かつ c T f
- ・T d > 25 の場合 30 かつ c T f

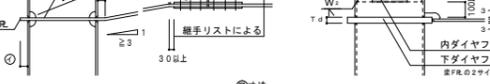
6-2

梁通し



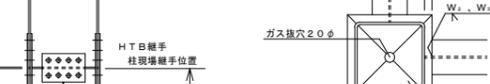
6-3

雑仕様



6-4

柱通し



6-5

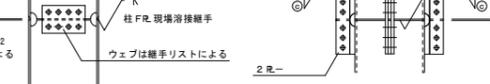
現場溶接継手



- ・現場溶接を行なう場合は係員の承認を得ること。
- ・パネルゾーン及びダイヤフラムの材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。
- ・又、接続する柱及び梁の材質異なる場合は、強度及び材質共大きい方の材料とする。

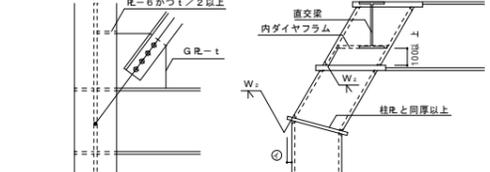
6-6

その他



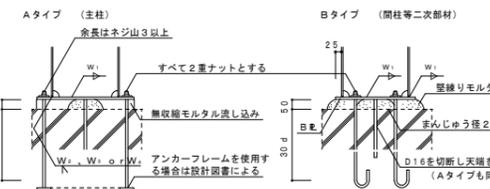
6-6

その他



7-1

一般柱脚



7-2

認定柱脚



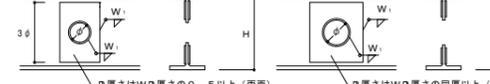
7-2

認定柱脚



8-1

貫通補強



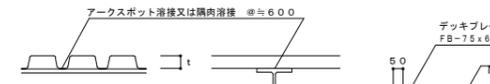
8-2

デッキプレート



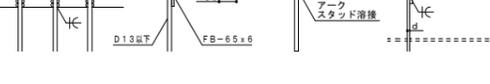
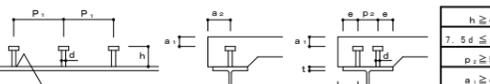
8-3

スタッドジベル



8-4

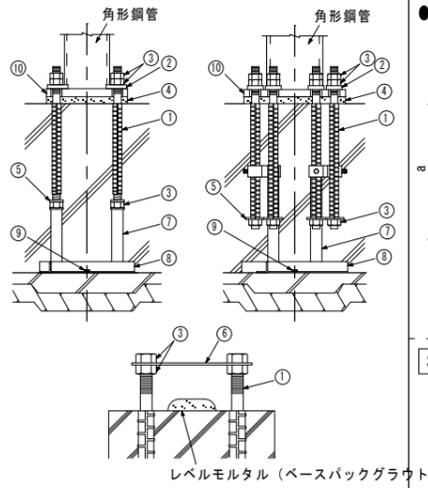
壁筋の溶接



構造設計担当者  
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号  
(株) 倉敷構造設計  
構造設計一級建築士第4087号  
一級建築士第243674号 木村誠司

1. 工法概要

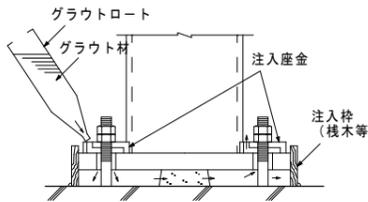
1.1 構成部品



- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ ベースバックグラウト(グラウト材)
- ⑤ 定着座金
- ⑥ テンプレート
- ⑦ フレームポスト
- ⑧ フレームベース
- ⑨ ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
- ⑩ ベースプレート

(注)上記①-⑩の構成部品はベースバック構成部品として供給される。  
(注)上記③④は現場状況により仕様異なる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

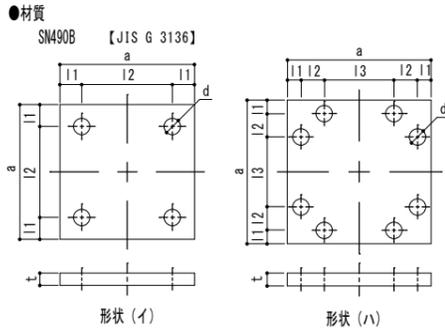


2. 柱

F値(N/mm <sup>2</sup> )	鋼種	採用
235	BCP235	○
	STKR400	
295	BCR295	○

3. 構成部品・寸法

3.1 ベースプレート



3.3 Mナット

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

通用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

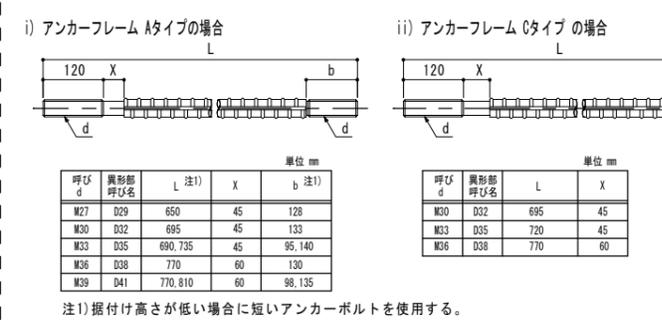
通用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3.5 注入座金

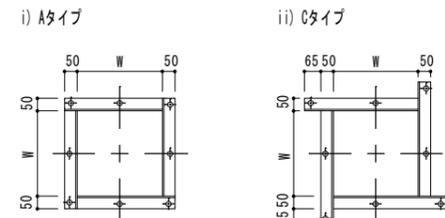
【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	通用アンカーボルト	g1	g2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

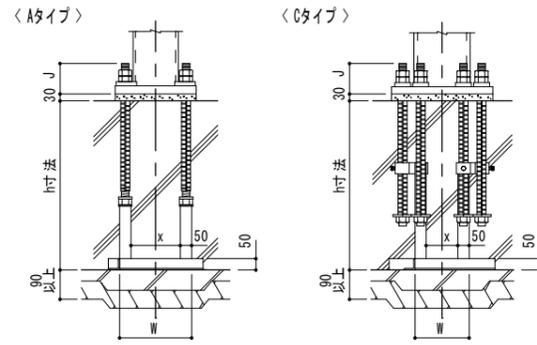


3.6 フレームベース



3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

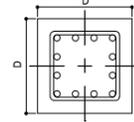


採用ベースバック記号	柱		材質	形状	ベースプレート				アンカーボルト		コンクリート柱型			フレームベース		間最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)				
	外径 (mm)	板厚 (mm)			a	t	I1	I2	I3	d	本数	呼び	材質	寸法 (mm)	配筋			設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	寸法 (mm)	寸法 (mm)	
○ 15-12V	□-150×150	t≤12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	SD490	A	500	12-D16	D13#100	21以上	250	150	550	135
○ 17-12V	□-175×175	t≤12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	SD490	A	530	12-D19	D13#100	21以上	280	180	600	135
○ 20-09V	□-200×200	t≤9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	SD490	A	560	12-D16	D13#100	21以上	310	210	600	135
○ 20-12V	□-200×200	t≤12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	SD490	A	560	12-D19	D13#100	21以上	310	210	600	135
○ 25-09V	□-250×250	t≤9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	SD490	A	610	12-D19	D13#100	21以上	360	260	650	150
○ 25-12V	□-250×250	t≤12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	SD490	A	630	12-D19	D13#100	21以上	370	270	650	150
○ 25-16V	□-250×250	t≤16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	SD490	C	620	12-D19	D13#100	21以上	240	140	650	135
○ 30-09V	□-300×300	t≤9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	SD490	A	680	12-D22	D13#100	21以上	420	320	650	150
○ 30-12V	□-300×300	t≤12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	SD490	C	700	12-D22	D13#100	21以上	310	210	650	135
○ 30-16V	□-300×300	t≤16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	SD490	C	710	12-D22	D13#100	21以上	310	210	700	150
○ 30-19V	□-300×300	t≤19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	SD490	C	740	12-D22	D13#100	21以上	340	240	700	150

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状  
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

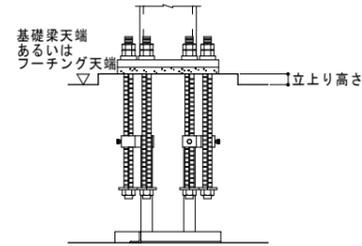


●コンクリート  
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm<sup>2</sup>以上とする。

●鉄筋  
SD295 (D13, D16)  
SD345 (D19, D22)

4.3 基礎立上がり

●基礎立上り高さは50mm以下とする。  
※ただし基礎立上り高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用すること。



5. 工場製作 (溶接)

■組立  
●ベースプレートの中心線(竹'線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。 (JASS 6 鉄骨工による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	溶接板厚 T (mm)	ルート間隔 G (mm)	ルート深さ R (mm)		開先角度 α1 (°)	溶接姿勢
				標準値	許容差		
被覆アーク溶接	6~	7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:45	-2.5,+0 (-5,+0) 下向き
		9	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:35	-2.5,+0 (-5,+0) 下向き
セミ自動アーク溶接	6~	6	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:45	-2.5,+0 (-5,+0) 下向き
		7	-2,+0 (-3,+0)	2	-2,+1 (-2,+2)	α1:35	-2.5,+0 (-5,+0) 下向き

許容差 記号+0は制限無しを示す。  
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差  
(上段:管理許容差、下段括弧内:限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚 (mm)		
		t<32	32≤t<40	40≤t≤50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50℃	50℃
	CO2ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

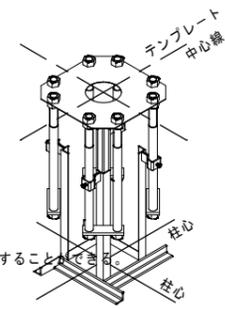
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地盤等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



図

標準許容差	基準高さより誤差は
-2≤e1≤2	基準高さより誤差は
-3≤e2≤10	

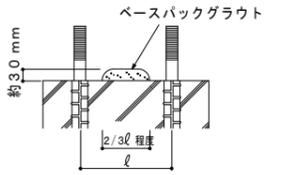
6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベルモルタルはベースバックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。



6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1 ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースバック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

# エルマッドS工法（GBRC性能証明第11-14号 改3） 特記仕様書

## — スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法 —

### 1. 工法概要

本工法は、セメント系固化材液を用いて現地土を流動化処理することで、ブロック状の均質な地盤改良体を築造する工法である。

### 2. 一般事項

本工法は、本特記仕様書によるほか下記の参考資料による。  
「改訂版建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針」  
（財）日本建築センター 平成30年11月

### 3. 特記事項

改良体の形状、寸法、及び配置は、設計図書による。ただし土質や地盤の状況により設計仕様を変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認を受けて変更することができる。  
本工事における改良体の設計基準強度（ $\sigma_{28}$ ）は下記の通りとする。

- $F_c = (0.60 \text{ N/mm}^2)$
- 長期設計地耐力 :  $LF_e = 200 \text{ kN/m}^2$
  - 推定配合量 :  $200 \text{ kg/m}^3$
  - 使用予定硬化材料 : 一般軟弱土用固化材 もしくは 高炉セメントB種  
(六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準値を超える場合、特殊土用固化材(六価クロム対応品)の使用もしくは配合設計の変更を行う。)
  - 改良長(1回につき) : 0.6~6.0m
  - 施工管理装置 : 改良体の出来形・電気比抵抗値
  - 攪拌混合装置 : 攪拌時間もしくは羽根切り回数を記録  
ローター式バケットミキサー もしくは  
(砂質土)ミキシングバケット・スケルトンバケット
  - 供試体の採取方法 : 未固化試料採取 または、頭部コア・全長コア
  - 造成工事業者 : 建築技術審査証明書を取得した専門業者の責任施工

### 4. 施工計画

工事に先だち下記事項を記載した施工計画書を監督員に提出し承諾を受ける。

- 工事概要
- 計画・設計の条件
- 施工計画(施工機械・作業計画・材料計画・工程計画)  
組織構成表  
工程  
使用機械  
使用材料  
準備工  
施工手順  
作業手順
- 施工管理計画
- 品質管理計画
- 安全管理計画
- 技術資料
- その他

### 5. 配合計画

(1) 配合強度  
次式を用いて求める。

$$Xf = \alpha t \times F_c$$

$Xf$  : 配合強度  
 $\alpha t$  : 変動係数・採取ヶ所数による割増係数  
 $F_c$  : 設計基準強度

※採取箇所数 2 箇所とした場合  
割増係数( $\alpha t$ ) 合格率80%

採取ヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
割増係数 $\alpha t$	0.30	2.597	2.240	2.095	1.961	1.869
割増係数 $\alpha t$	0.35	2.754	2.417	2.157	2.004	1.902
割増係数 $\alpha t$	0.40	2.931	2.417	2.223	2.049	1.938

### (2) 室内配合試験

室内試験用土砂採取の上、改良対象土について下記の試験を行い、試験結果と配合強度を基に添加量を決定する。

- 単位体積重量・含水比・粒度組成
- 試験練 (JGS 0821による供試体の製作)  
イ. 推定算定式を用い、必要固化材量・水量を求める。  
ロ. 所定量の土・固化材・水を添加し、ソイルミキサーにて混合する。  
・材令7日の一軸圧縮試験  
一軸圧縮試験は、JIS A 11081による。  
・六価クロム溶出試験を行い、基準値以内であることを確認する。
- 試験結果を配合報告書にまとめて提出し、監督員の承認を得る。

### 6. 施工要領

基本的な施工手順を以下に示す。施工の障害になる事項が判明した場合は別途検討する。

- 施工位置を確認する。
- 掘削
- 掘削完了・計測
- 流動化処理工程（計測初期値セット）
- 流動化処理工程（造成）
- 流動化処理工程（品質管理）
- 未固化試料採取
- 造成完了
- 施工に対して質疑が生じた場合は、ただちに監督員と協議しその指示を受ける。

### 7. 施工管理

施工管理には、改良寸法と混合状態がリアルタイムに表示される管理装置を用いる。

- 支持層を目視にて確認
- 改良寸法の計測
- 固化材及び添加水の計量
- 混合状態及び出来形を管理装置にて確認  
・電気比抵抗値測定センサーにて比抵抗が $20\Omega$ 以内であること。  
・攪拌時間が $1\text{m}^3$ 当り1.5分以上であること。もしくは、バケットミキサーを使用時は回転計にて羽根切り回数が1000回/ $\text{m}^3$ に達しているか確認する。
- 改良天端レベルの確認

### 8. 配合管理

- 本工法に用いる固化材は、セメントおよびセメント系固化材とする。
- 一回に施工する改良体積（ $B \times L \times H$ ）を計測し、必要な固化材量と水量を算出する。

### 9. 品質管理

- 頭部もしくは深部サンブラーの圧縮試験用の供試体は $50\phi \times 100\text{H}$ とする。
- 供試体の作成は原則として検査対象 $150\text{m}^3$ に1ヶ所とするが、監督員と協議の上決定する場合がある。
- 材令28日で一軸圧縮試験を行う。
- 検査手法Aによる品質検査とする。

$$X_n \geq XL = F_c + k_a \cdot \sigma_d = F_c + k_a [F_c \times V_d / (1 - 1.3V_d)]$$

$X_n$ : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値  
 $XL$ : 合格判定値  
 $F_c$ : 設計基準強度  
 $k_a$ : 合格判定係数  
 $\sigma_d$ : 標準偏差  
 $V_d$ : 変動係数 (30%)

※採取箇所数 2 箇所とした場合

採取箇所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 $k_a$	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

- 材令28日強度は合格判定値を上回る事を確認する。
- 合格判定値を下回る場合は、その原因を調査し、監督員と協議のうえ適切な処置を施す。

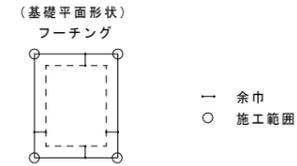
### 10. 報告書等

工事完了後、以下の項目について報告書を作成し、監督員に提出する。

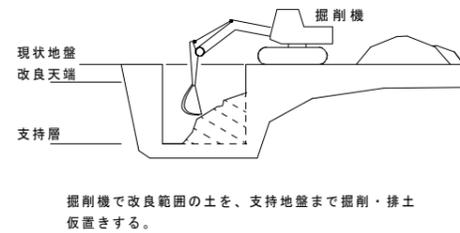
- 工事日報
- 施工順序の記録
- 工事写真
- 一軸圧縮試験結果

## 『エルマッドS工法 標準施工手順』

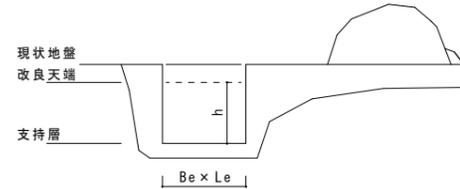
### (1) 施工位置の確認



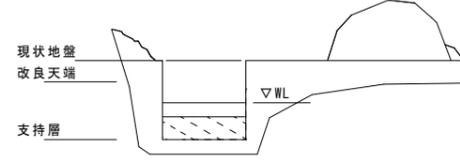
### (2) 掘削工程



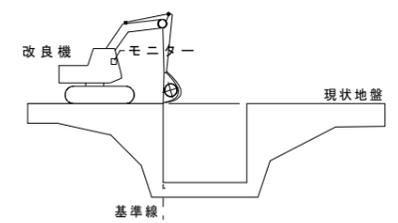
### (3) 掘削完了・計測



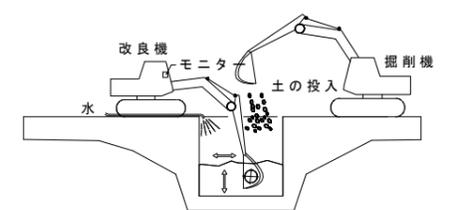
### (3) - ② 掘削完了



### (4) 流動化処理工程（計測初期値セット）

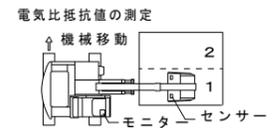


### (5) 流動化処理工程（造成）



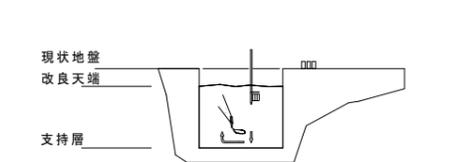
仮置き土を入れ戻しつつ、固化材(フレキシブルコンテナ)と水を投入し、改良機のバケットミキサーで土と混合攪拌する。混合ローターが所定の時間もしくは羽根切り回数を満たし、かつ電気比抵抗値分布が横方向に均一になるまで、混合攪拌する。

### (6) 流動化処理工程（品質管理）

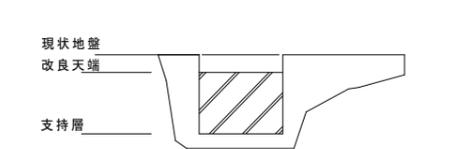


バケット部のセンサーにより、改良体全体の混合度をモニタリングする。

### (7) 試料採取（品質管理）



### (8) 造成完了



改良体の天端を確認する。

ボーリングNo

事業・工事名

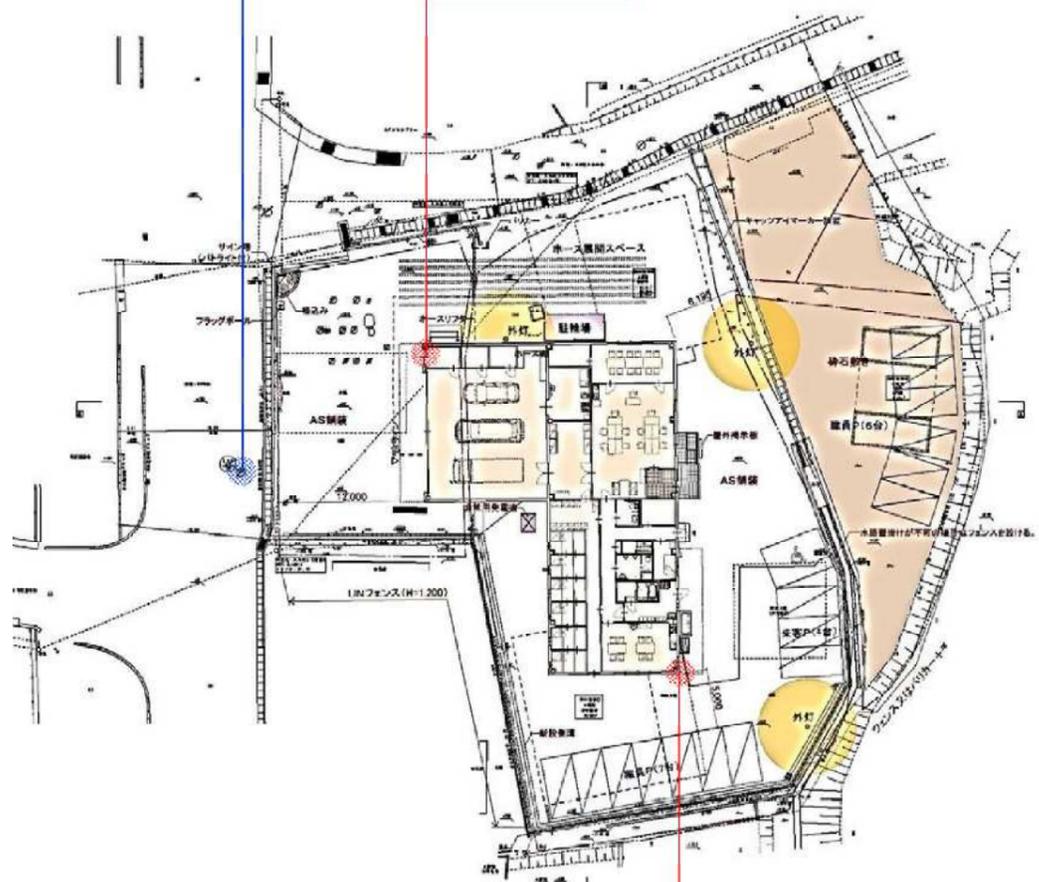
シートNo

ボーリング名 No.1 調査位置 岡山県久米郡久米南町上弓削1014-1ほか

Table with columns: 標尺, 層厚, 柱状, 土質, 色, 相対, 相対, 記, 標準貫入試験, 原位試験, 試料採取, 室内試験

KBM±0 (マンホール天端)

No.1 H=KBM+0.07m



No.2 H=KBM+0.16m

調査位置図

※ 地盤調査KBM=FH=137.25 設計GL=地盤調査KBM+0.45とする。

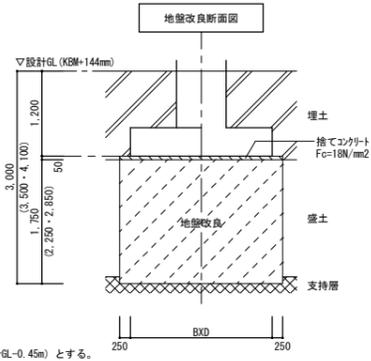
ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名 No.2 調査位置 岡山県久米郡久米南町上弓削1014-1ほか

Table with columns: 標尺, 層厚, 柱状, 土質, 色, 相対, 相対, 記, 標準貫入試験, 原位試験, 試料採取, 室内試験



※ 上記KBMは、FH=137.556とする。  
設計GLはFH=137.70とする。  
地盤調査のKBMはFH=137.25(設計GL-0.45m)とする。

地盤改良工事概要	
工法	377'S工法 (GBRC性能証明第11-14号 改3)
改良長	1,850mm・2,350mm・2,950mm
	改良体天端は設計GL-1,250とする(改良層 GL-3,100・3,600・4,200)
設計基準強度	Fc=600kN/m <sup>2</sup>

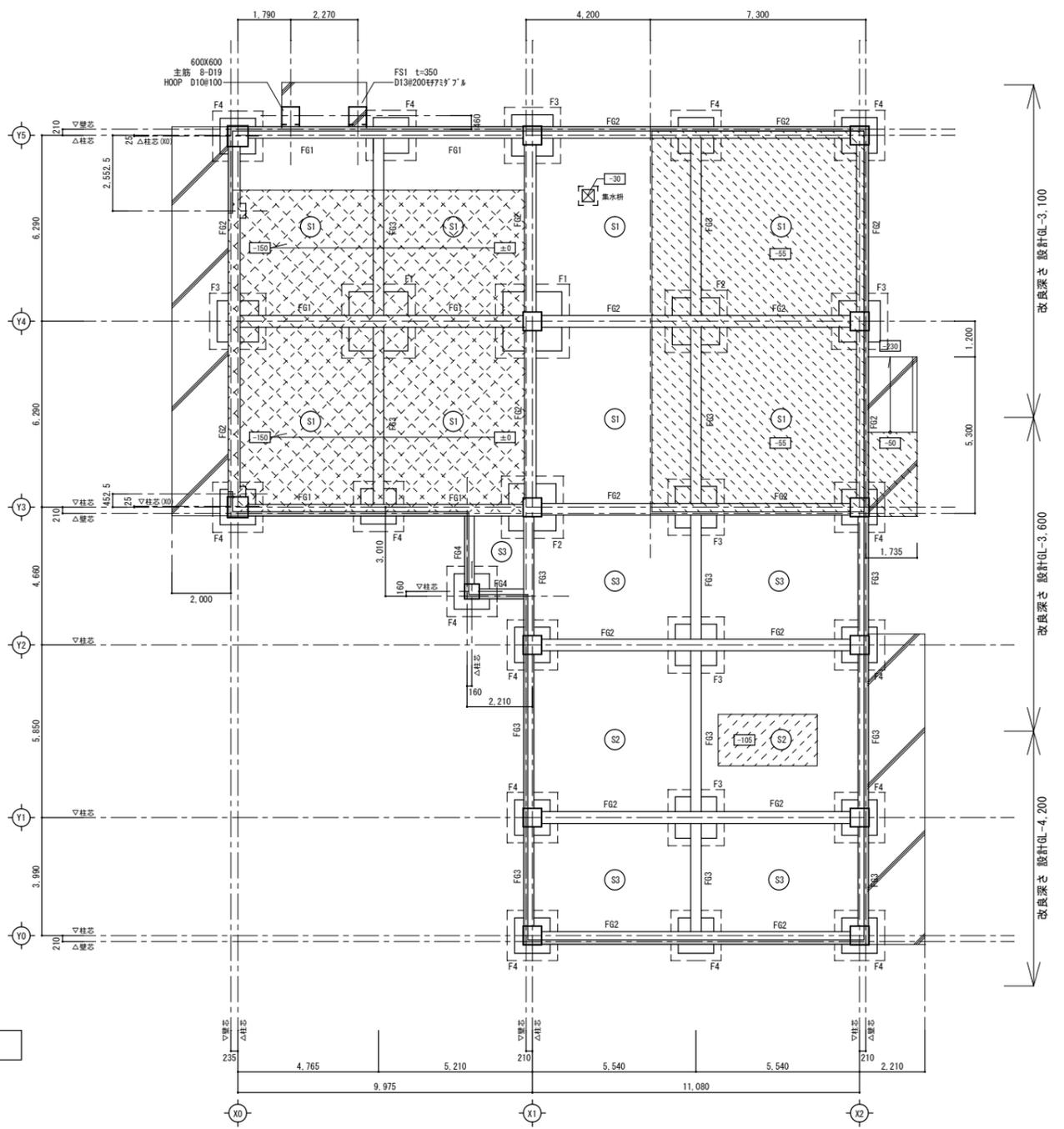
スラブリスト

記号	スラブ厚	位置	短辺方向主筋		長辺方向主筋		備考
			端部	中央	端部	中央	
S1	200	上端筋	D13#150		D13#150		
		下端筋	D13#150		D13#150		
S2	180	上端筋	D10、D13#150		D10、D13#150		
		下端筋	D10、D13#150		D10、D13#150		
S3	150	上端筋	D10、D13#150		D10#150		
		下端筋	D10、D13#150		D10#150		
土間床	200	上端筋	D13#200		D13#200		
		下端筋	D13#200		D13#200		

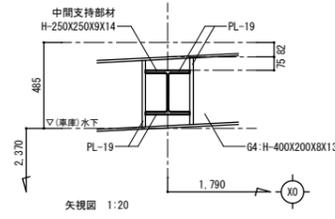
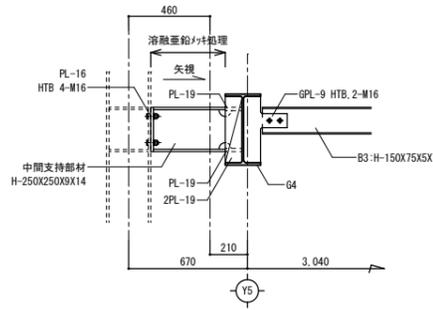
基礎伏図 1:150



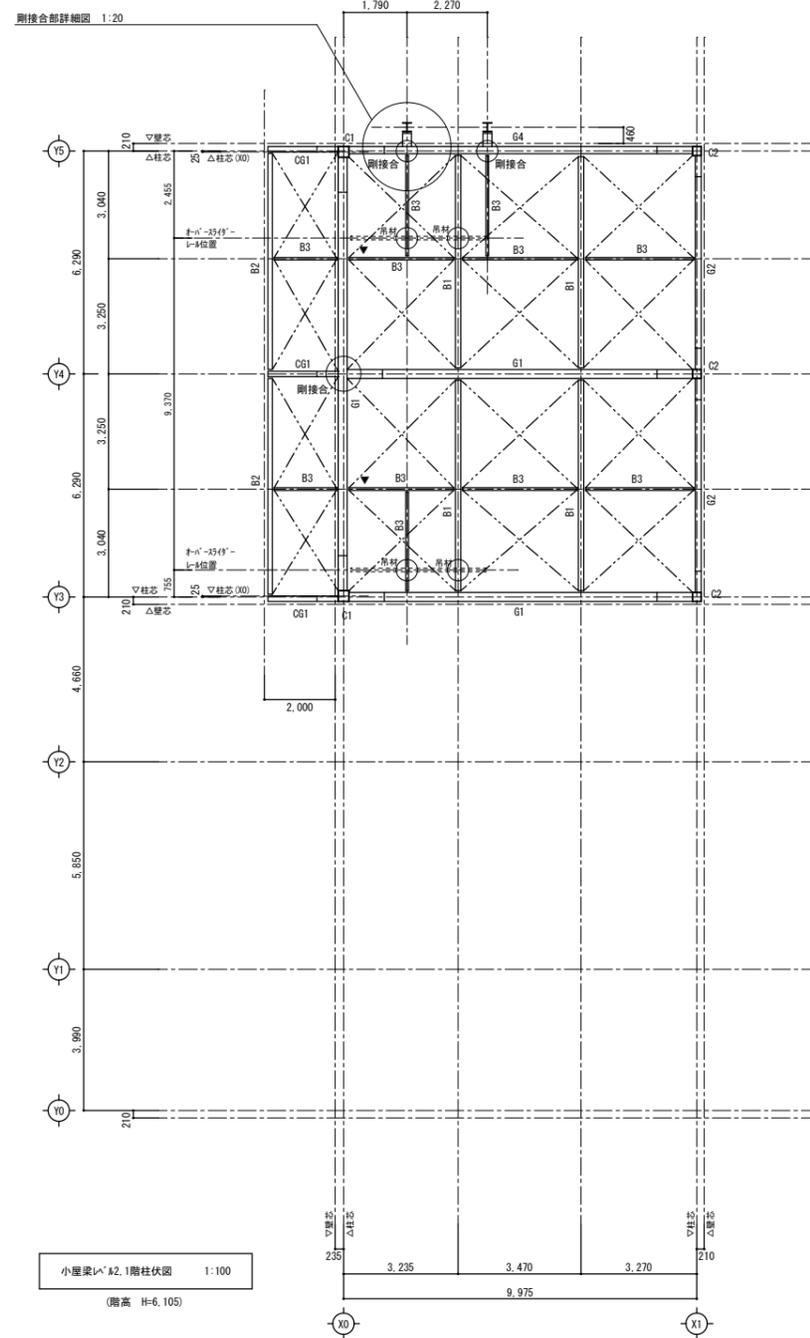
- 特記なき限り下記による
- GL=KBM+200mmとする
  - 内数字は、1FLからの床版レベルを示す
  - は、腰壁15を示す
  - は、土間スラブを示す
  - は、地盤改良範囲を示す



- 凡例 1 スラブ天端表示 1FL=設計GL+200
- 表示なき限り 1FL±0 (GL+200)
  - 1FL-55 (GL+145)
  - 1FL-105 (GL+95)
  - 1FL-0~150 (GL+50~200)
- 凡例 2 梁天端表示
- 表示なき限り 1FL-400 (GL-200)
- 凡例 3 基礎コンクリート下端表示
- 表示なき限り GL-1,200



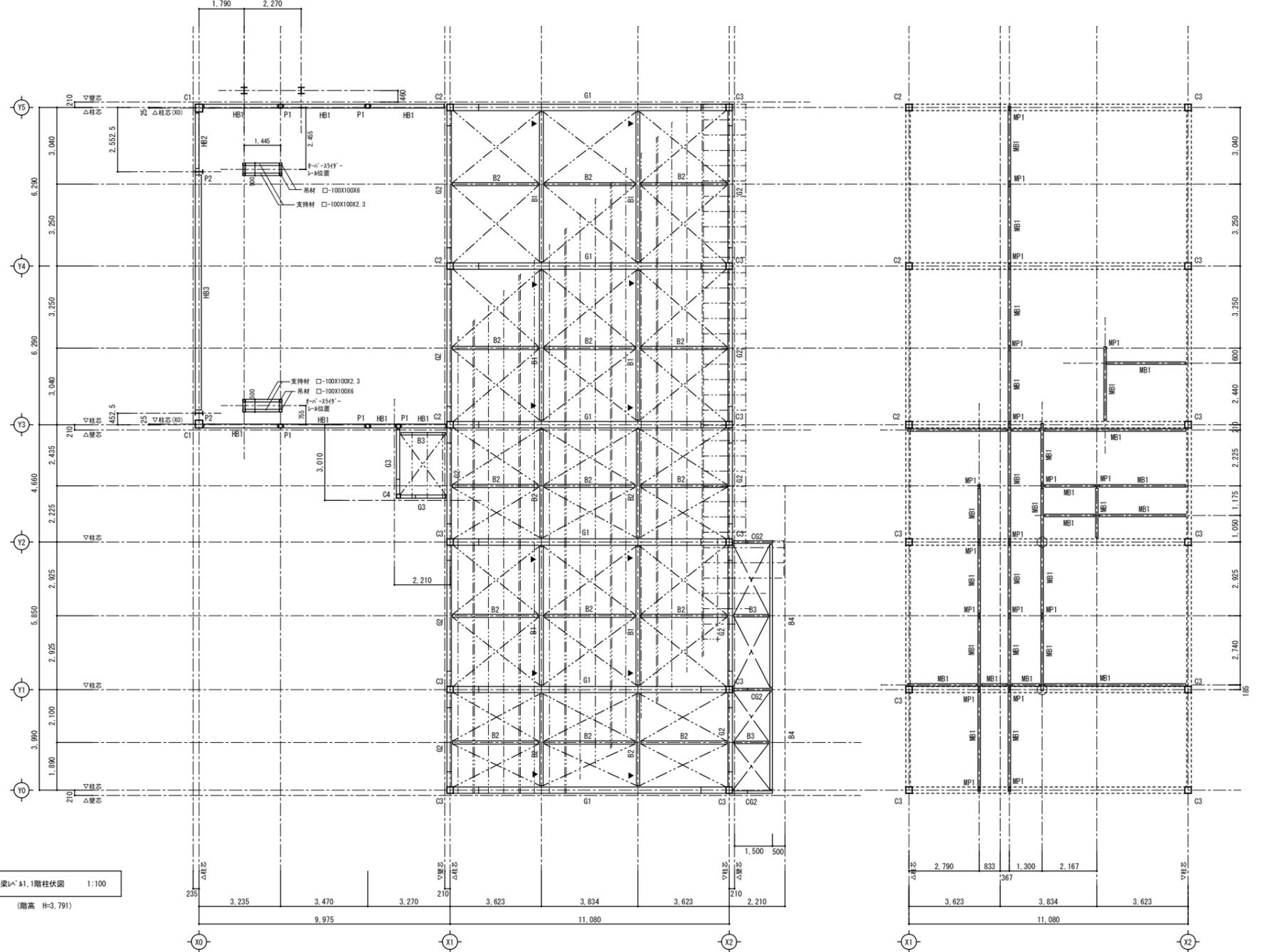
符号	MP1 MB1
断面	
部材	H-100X100X6X3
仕口	GPL-6 HTB, 2-M16
備考	



小屋根梁1階2.1階柱伏図 1:100  
(階高 H=6,105)

特記なき限り下記による

- 梁1'の梁継手位置は、軸組図参照
- 水平アレイは、SV1とする
- ▼は、横補剛仕口位置を示す
- ※-X/P-支持材の詳細図は、別図による



小屋根梁1階1階柱伏図 1:100  
(階高 H=3,791)

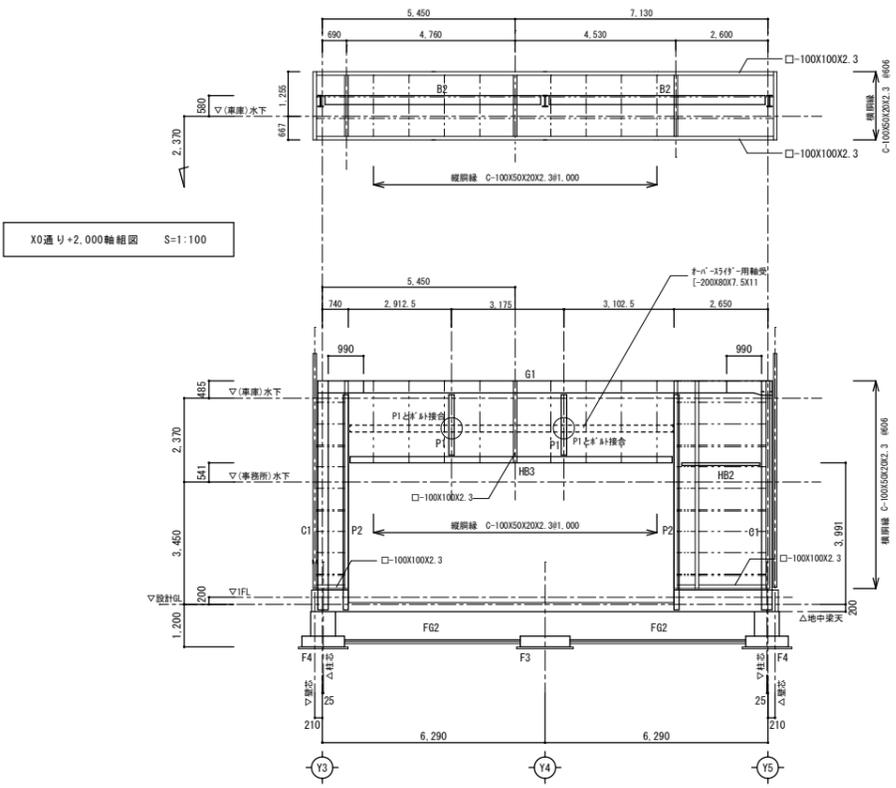
特記なき限り下記による

- 梁1'の梁継手位置は、軸組図参照
- 水平アレイは、SV1とする
- ▼は、横補剛仕口位置を示す
- ※-X/P-支持材の詳細図は、別図による

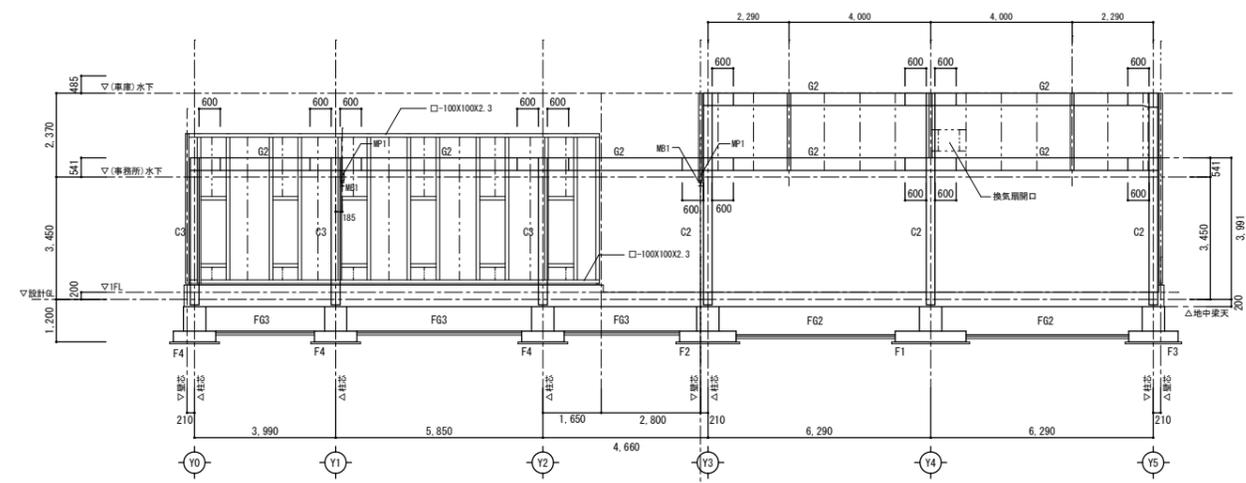
間仕切頭梁ぎ部材伏図 1:100

特記なき限り下記による

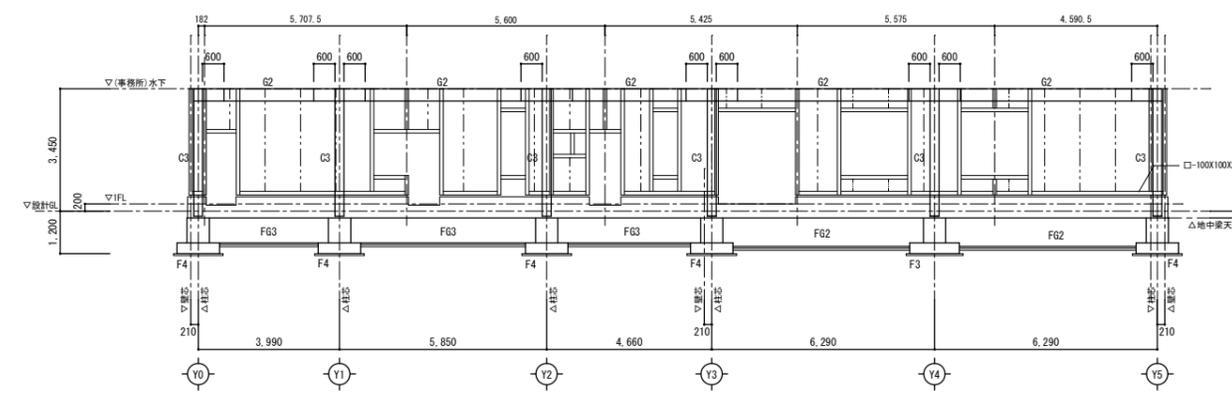
- 梁1'の梁は、MB1下端でIFL+3,000とする。



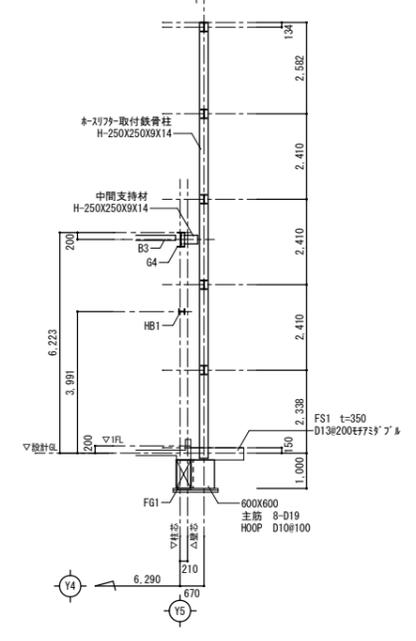
X0通り軸組図 S=1:100



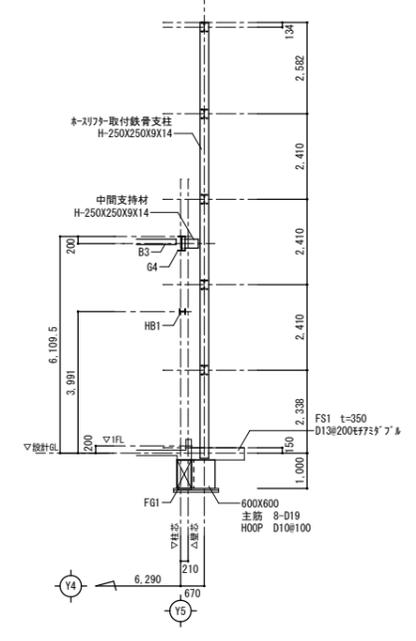
X1通り軸組図 S=1:100



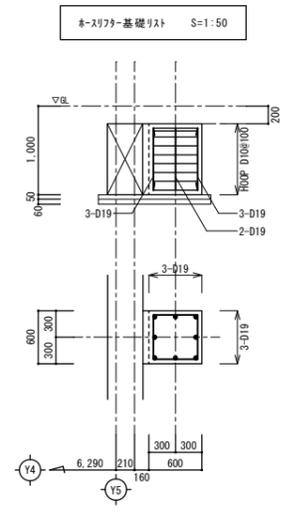
X2通り軸組図 S=1:100



X0通り+1.790軸組図 S=1:100

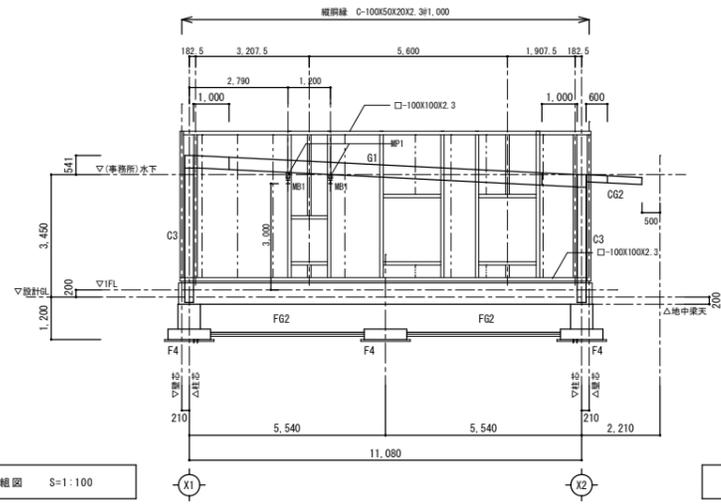


X0通り+4.060軸組図 S=1:100

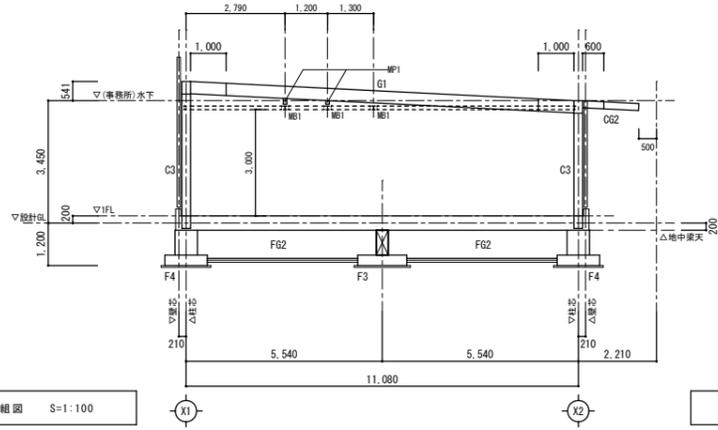


8-スリット-基礎リフト S=1:50

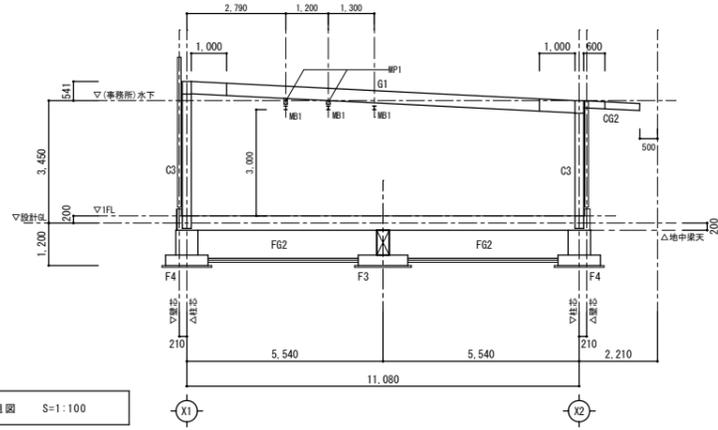
- 特記なき限り下記による
- ・ 地中梁天端は、GL-200とする
  - ・ BPL下端は、GL-170とする
  - ・ 基礎へ下下端は、GL-1,200とする
  - ・ 縦筋はC-100X50X20X2.3#1.000とする
  - ・ 縦筋のφ寸位置は□-100X100X2.3とする
  - ・ 横筋は、C-100X50X20X2.3#606, 2C-100X50X20X2.3#1820とする
  - ・ 外壁開口部の補強材は□-100X100X2.3とする



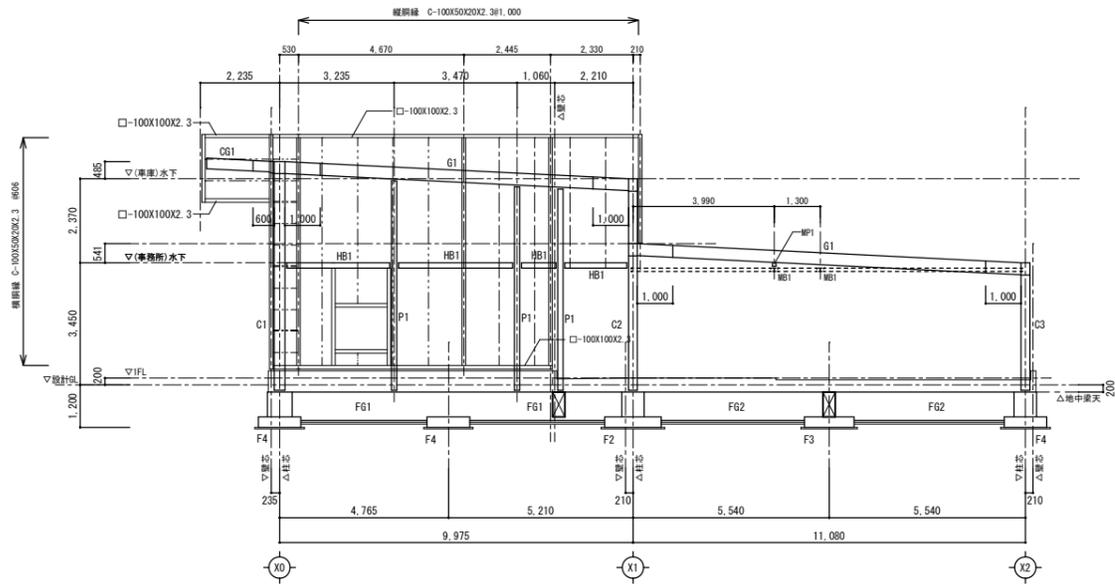
Y0通り軸組図 S=1:100



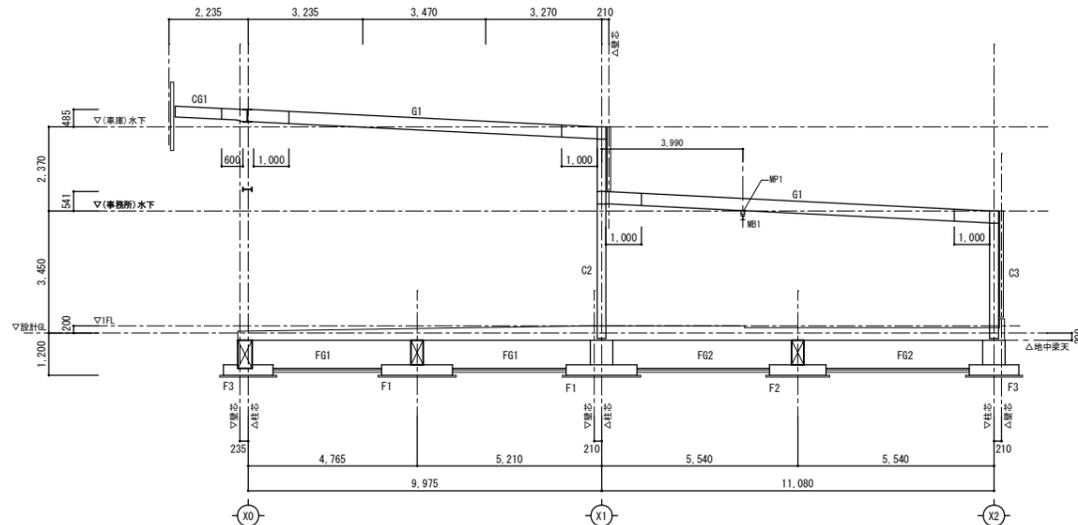
Y1通り軸組図 S=1:100



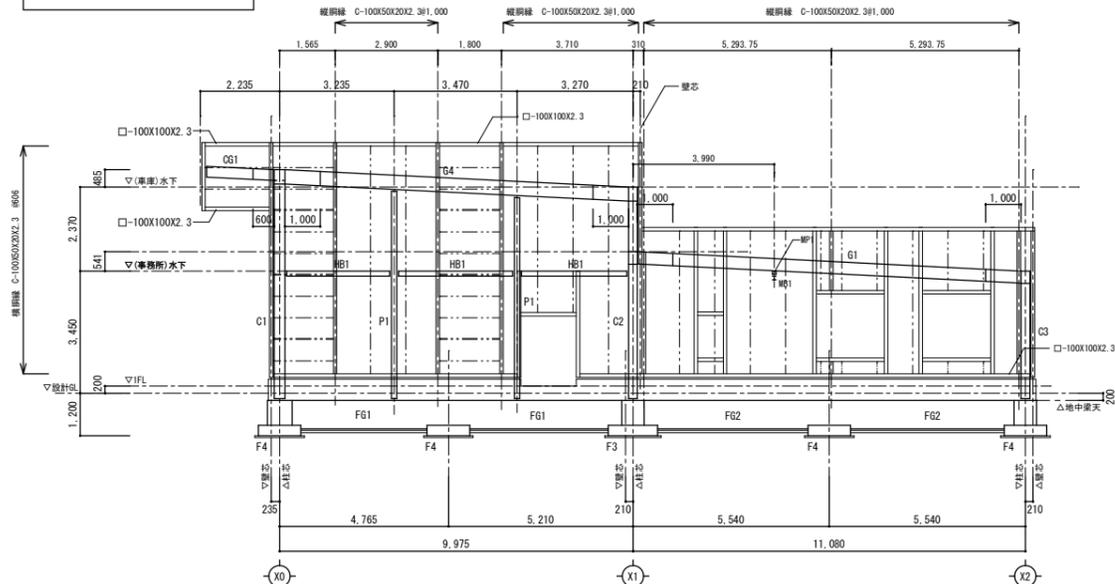
Y2通り軸組図 S=1:100



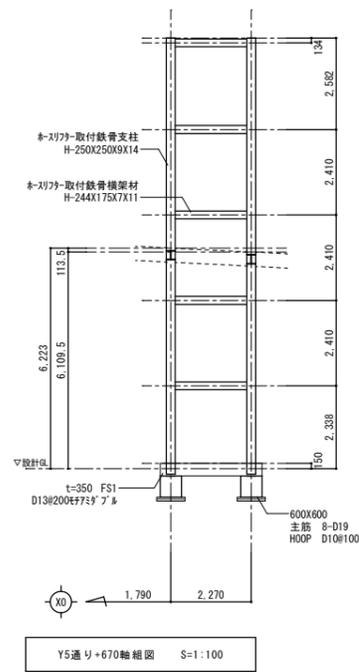
Y3通り軸組図 S=1:100



Y4通り軸組図 S=1:100

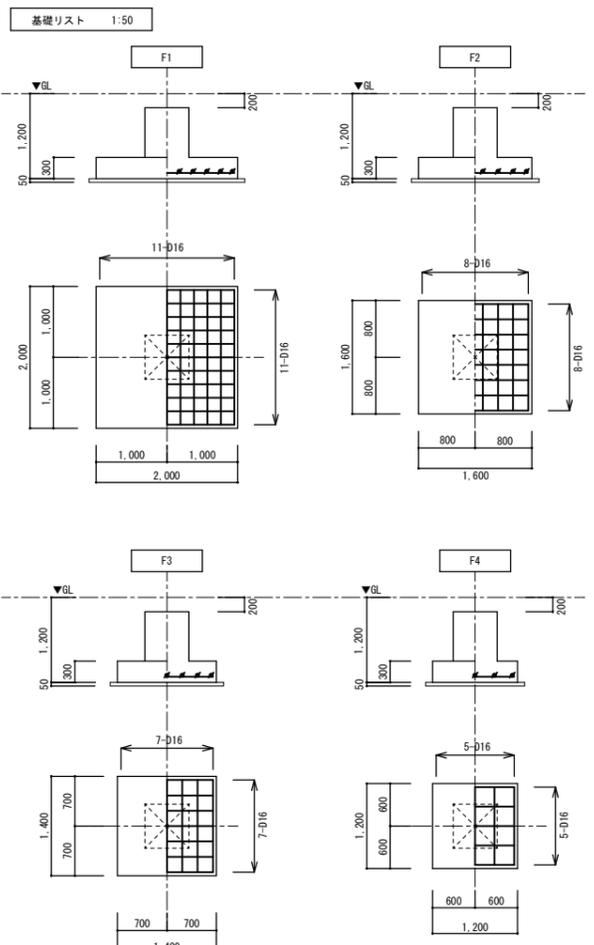


Y5通り軸組図 S=1:100



Y5通り+670軸組図 S=1:100

- 特記なき限り下記による
- ・地中梁天端は、GL-200とする
  - ・BPL下端は、GL-170とする
  - ・基礎V-下端は、GL-1,200とする
  - ・縦筋はC-100X50X20X2.3φ1,000とする
  - ・縦筋の引当位置はC-100X100X2.3とする
  - ・横筋は、C-100X50X20X2.3φ606, 2C-100X50X20X2.3φ1820とする
  - ・外壁開口部の補強材はC-100X100X2.3とする



地中梁リスト 1:40

特記なき限り下記による  
・ 巾止筋 D10@1000

符号	F61	F62	F63	F64	スラブ増打要領
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	
断面					
B X D	400X800	400X800	350X700	350X700	
上端筋	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	
下端筋	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	
スターアップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D10@200	□-D10@200	
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	補強筋 2-D16 (B≦350) か-777と同様、同じ777

柱リスト 1:30

・ 特記なき限り鋼材はBQR295とする

階	符号	C1	C2	C3	C4
M 1	部材	□-300X300X12	□-250X250X12		
1	部材	□-300X300X12	□-250X250X12	□-250X250X12	□-150X150X9
柱脚	断面				
	BASE PL	520X520X32	420X420X36	420X420X36	300X300X28
	A. BOLT	8-M30 (SD490)	4-M39 (SD490)	4-M27 (SD490)	4-M27 (SD490)
	備考	30-12V (か-777)	25-12V (か-777)	25-12V (か-777)	15-12V (か-777)

礎柱リスト 1:40

符号	C1	C2	C3	C4
断面				
B X D	700X700	630X630	630X630	500X500
主筋	12-D22 (SD345)	12-D19 (SD345)	12-D19 (SD345)	12-D16 (SD295A)
HOOP	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295A)
備考	(か-777) 30-12V)	(か-777) 25-12V)	(か-777) 25-12V)	(か-777) 15-12V)

開柱リスト 1:30

符号	P1	P2
部材	H-150X150X7X10	H-300X150X6.5X9
梁下端取付き		
梁上端取付き		
GPL	PL-6X150X170	PL-9X80X200
HTB	2-M16	3-M20
備考		
柱脚		
BASE PL	PL-16X310X310	PL-16X250X500
A. BOLT	4-M16 (L=450 フッ付)	4-M20 (L=600 ABR400)
備考		定着板 PL-12X600X60

・ 特記なき限り鋼材はSS400, フッ付はSS400, 高力ボルトはS10Tとする

鉄骨梁継手リスト 1:30

・ 特記なき限り鋼材はSS400, 高力ボルトはS10Tとする

符号	G1	G2	G3	G4	G61	G62
部材	H-340X250X9X14	H-350X175X7X11	H-200X100X5.5X8	H-400X200X8X13	H-300X150X6.5X9	H-200X100X5.5X8
継手						
フランジ	SPL 2PL-12X250X410 4PL-12X100X410	2PL-9X175X290 4PL-9X70X290	2PL-16X100X290	2PL-9X200X410 4PL-9X80X410	2PL-9X150X290 4PL-9X60X290	2PL-16X100X290
ウェブ	HTB 24-M22	16-M20	16-M16	24-M20	16-M16	16-M16
ウェブ	SPL 2PL-9X200X170	2PL-6X260X170	2PL-6X140X170	2PL-9X260X170	2PL-6X200X170	2PL-6X140X170
ウェブ	HTB 6-M22	6-M20	4-M16	8-M20	6-M16	4-M16
ピン挿合		GPL-9 HTB, 4-M20	GPL-6 HTB, 2-M16			

小梁リスト 1:30

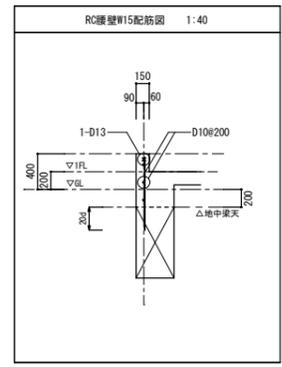
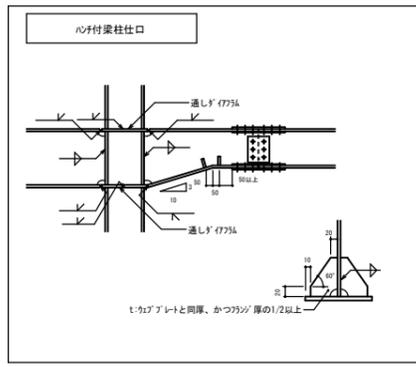
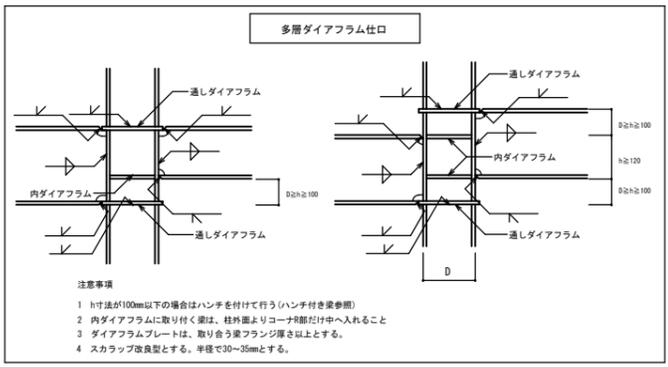
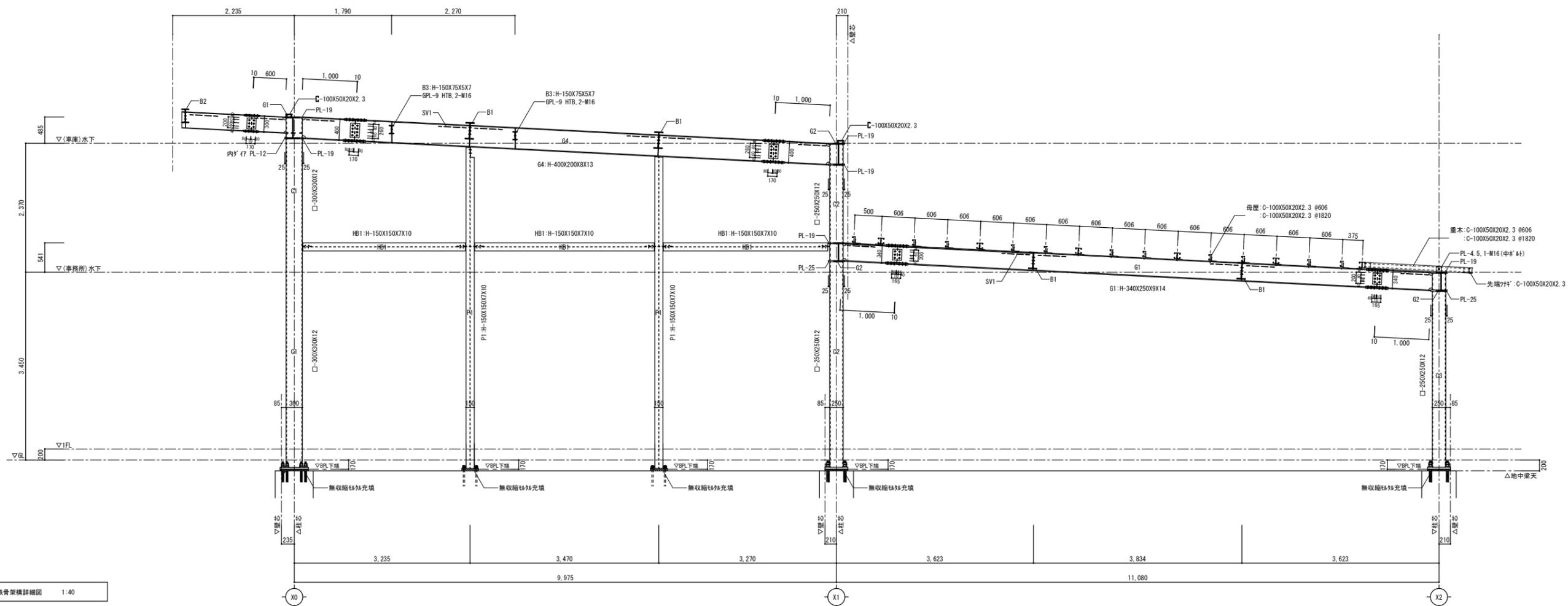
・ 特記なき限り鋼材はSS400, 高力ボルトはS10Tとする

符号	B1	B2	B3	B4	HB1	HB2
断面						
部材	H-300X150X6.5X9	H-250X125X6X9	H-150X75X5X7	H-200X100X5.5X8	H-150X150X7X10	H-150X75X5X7
仕口	GPL-9 HTB, 3-M20	GPL-6 HTB, 3-M16	GPL-6 HTB, 2-M16	GPL-6 HTB, 2-M16	GPL-9 HTB, 2-M20	GPL-6 HTB, 2-M16
備考					横使い	横使い
符号	HB3	SV1	縦網線	横網線	母屋	
断面						
部材	H-244x175x7x11	1-M16 チェンケル付	C-100X50X20X2.3	C-100X50X20X2.3	C-100X50X20X2.3	
仕口	GPL-9 HTB, 3-M20	GPL-9 HTB, 1-M16	L-125X90X10 1-M16 (中ボルト)	L-125X75X7 1-M16 (中ボルト)	L-100X75X7X10 1-M16 (中ボルト)	
備考			ジョイント部 □-100X100X2.3	2C-100X50X20X2.3 #1.820	2C-100X50X20X2.3 #1.820	

鉄骨大梁補剛リスト(小梁仕口) 1:30

・ 特記なき限り鋼材はSS400, 高力ボルトはS10Tとする

符号	G1-B3	G1-B1	G1-B2
断面			
大梁	H-340X250X9X14	H-340X250X9X14	H-340X250X9X14
小梁	H-150X75X5X7	H-300X150X6.5X9	H-250X125X6X9
仕口	GPL-9 3-M20	GPL-9 3-M20	GPL-9 3-M20



※令第129条の2の4 建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による

- ・ 建築設備の支持構造部及び架設金物は、腐食、腐朽のおそれがないものとする。
- ・ 建築物に設ける給水、排水その他設備は
  - ・ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
  - ・ 建築物の部分を通して配管する場合において、当該貫通部に配管がPを設ける等有効な管の損傷防止の措置を講ずる事。
  - ・ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生じる恐れがある場合において、伸縮継手、可換継手を設ける等有効な損傷防止の措置を講ずる事
  - ・ 管を支持し、固定する場合は、つり金物または防振ダを用いる等有効な地震、その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- ・ 給湯設備は風圧、土圧、及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
- ・ 給湯設備 は、風圧、土圧、及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

※「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

Table with project details: 工 事 名 称 (津山圏域消防組合久米南分署 新築工事), 工 事 場 所 (岡山県久米郡久米南町上弓削 1014-1・1014-3・1015), 敷 地 面 積 (m²), 構 造 (鉄骨鉄筋コンクリート造), 施 工 条 件 (設備) (無人・有人), 床 面 積 (m²), 施 工 日 程 (約 15 日), 用 途 地 域 (都市計画区域外), 工 事 範 囲 (電気設備工事), 消 防 指 令 システム 機 器 (自 充 電 装 置 移 設 工 事).

Table with columns: 工 事 種 目 (電気設備, 配線, 照明, etc.), 工 事 種 別 (新設一式, 既設のみ新設一式, etc.), 備 考 (機器移設提供は別途工事, etc.).

- 1. 共通仕様
1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管理標準仕様等のうち、
2) 印の付いたものによる。
2. 特記仕様
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。

Table with columns: 区 分 (材料・機材の品質等, 環境への配慮), 項 目, 特 記 事 項 (1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 別表-1に示す機材等の製造業者等は次のからすべてを満足したものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能が評価されたことを示す書面を提出して監督委員の承認を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- 3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の又はのものに該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の○又は○に該当する材料を指す。
4) 電気保安技術者は、監督委員の指示に従い、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
5) 電気工事士
6) 工事用電力、水、その他
7. 監督委員事務所
8) 受注者事務所その他
9. 足場
10. 施工条件
11. 施工調査
13. はつり工事における非破壊検査
14. 建設発生土の処理
15. 完成写真
16. 完成図等
17. 安全に関する資料
18. 電線類
19. 耐震措置
20. あと施工アンカー

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監督委員に提出する。測定はパッシブ空気採取機器により行う。測定時期 ・工事着手前 ・施工終了後
測定対象室 ・隠室
測定箇所数 ・隠室

発生材の分析及び処理
1) 引渡しを要するもの。 ※無 ・有 (・全量削 ・燃焼 ・電焼、ケール ・引き渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。
2) 特別管理産業廃棄物 ※無 ・有 (・PCB使用機器 ・アスベスト含有設備資材材 ・除去予定機器の数量PCB分析結果 ※無 ・有 除去する廃棄物等は製造年、品番等を正確に数量PCB分析の要否を判定する。
3) 再生資源化を図るもの ※無 ・有 (・蛍光管 ・小型二次電池)
4) 上記以外 ・無 ※有

1) 完成図 ※二つ折り製本(※A1版 部 ・A3版 2 部)
2) 竣工図 施工図の著作権に依る当該建築物に使用する場合は、発注者に帰属するものとする。
3) 提出要 (※2部 ・部) ・提出不要
1) EM電線類で規格等の定めのないものは、ハログン及び発煙を含まない材料で構成されたものとする。
2) 通信ケーブルでJIS規格にない対数のケーブルはJIS規格に準じたものとする。
3) 屋内配線はEM電線を使用する。ただし、製造業者等が特記したものを除く。

Table with columns: 設置場所 (上層階注1), 機器種別 (機器, 防鼠支持の機器, 木箱類), 重要機器 (重, 中, 軽), 一般機器 (重, 中, 軽), 特定施設 (重, 中, 軽), 一般施設 (重, 中, 軽).

1) 施工後確認試験 ※行う ・行わない
試験方法 引張試験による引張試験
試験強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引張力以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 (・配電盤 ・発電装置 ・直流電源装置 )

- 21. フラッシュプレートの材質
22. カバープレートの用途別表示
23. 電線本数・管径等
24. 露出設備の塗装(付風品を含む)
25. プルボックスの塗装
26. 屋上・屋根の支持金等
27. 接地極
28. 工事安全計画書
29. 他工事との取合い
30. 天井仕上げ区分
31. 適用区分
1. 照明器具
2. 照明の照度測定
3. 非常用照明の照度測定
4. 照明制御の照度測定等
5. 照度センサ装置
6. 多重伝送リモコンアドレス送信器
7. 非常照明・誘導灯自己点滅送信器
1. インバータ装置の効率が
2. 動力設備
3. 構内交換設備
4. 配電設備
5. 高圧ケーブルの継手部
6. 配線シート
7. 照明用ポール

接地極の材料は次による。
(遮断の場合、EBはD=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする)
(車道の場合、EBはD=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする)
(測定用の場合、EBはD=10 L=1500 又は W=30 L=1200とする)
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を作成し、監督委員に提出する。
図面に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。
( ) 書きの番号は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
1) 風圧力 風速 (V= 30 ), 地表面粗度区分 ( II )
2) 積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ( )
1) 蛍光ランプ及びLEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
2) H形形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧(100V~242V)に対応するものとする。
照度測定方法は「日本工業規格(JIS)」に則り行う
設置した各部屋2箇所以上とし、測定箇所は監督委員の指示による
明るさセンサーによる照度制御を行う場合は照度測定を行い、測定表を監督委員に提出する。なお、測定箇所は監督委員の指示による。
照度測定時期 100×点灯時(※夜間 ・ ) 調光制御点灯時(※夜間 ・昼間)
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個

三相可変速運転用インバータ装置の期待効率は次の数値以上とする。
電動機出力(kW) 40,75,52,23,75,57,511 15 18,52230 3745 ~ 75
期待効率(%) 86,88,92,93,94,94,94,94,95,95,95,95,95,95,595,5
備考(1) 期待効率はJEM-TR245「汎用インバータの期待効率」により算出した値とする。
(2) 期待効率はJIS C4212「 効率低下三相可変速電動機」の定格電圧 200V,1P4X,6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
※本工事 ・別途工事
※モジュラージャック ・ 電話用プレート
卓上電話機1台につき次のものを送込む。
○ボタン電話機 BM-BT1EB 0.4 -2P (※15m ・ )
○一般電話機 BM-T1EB 0.65-2C (※15m ・ )
・多機能電話機 BM-BT1EB 0.4 -2P (※15m ・ )
・IP電話機 BM-UTP 0.5 -4P (※15m ・ )

埋設深さ 特記なきは地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。
埋設引込み部の地盤安定等への対応
想定穴下層(・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下)
コンクリート製埋設機は対応表示のものを用いる。
重の記号表示 筒型涵み(・電力 ○電気 ・ )
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
・閉鎖形(重鎖閉) ・地絡検出器付(※方向性 ・無方向性)
※別紙制御盤までの制御ケーブルを付属すること。
高圧ケーブルの面識時にシースの幅対稱(熱収縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
・一般形 ・耐燃形
・高圧 ○低圧幹線 ○外灯
照明用ポールには配線用断層器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(差込ヒューズ)を内蔵する。ただし、ガードライトは除く。

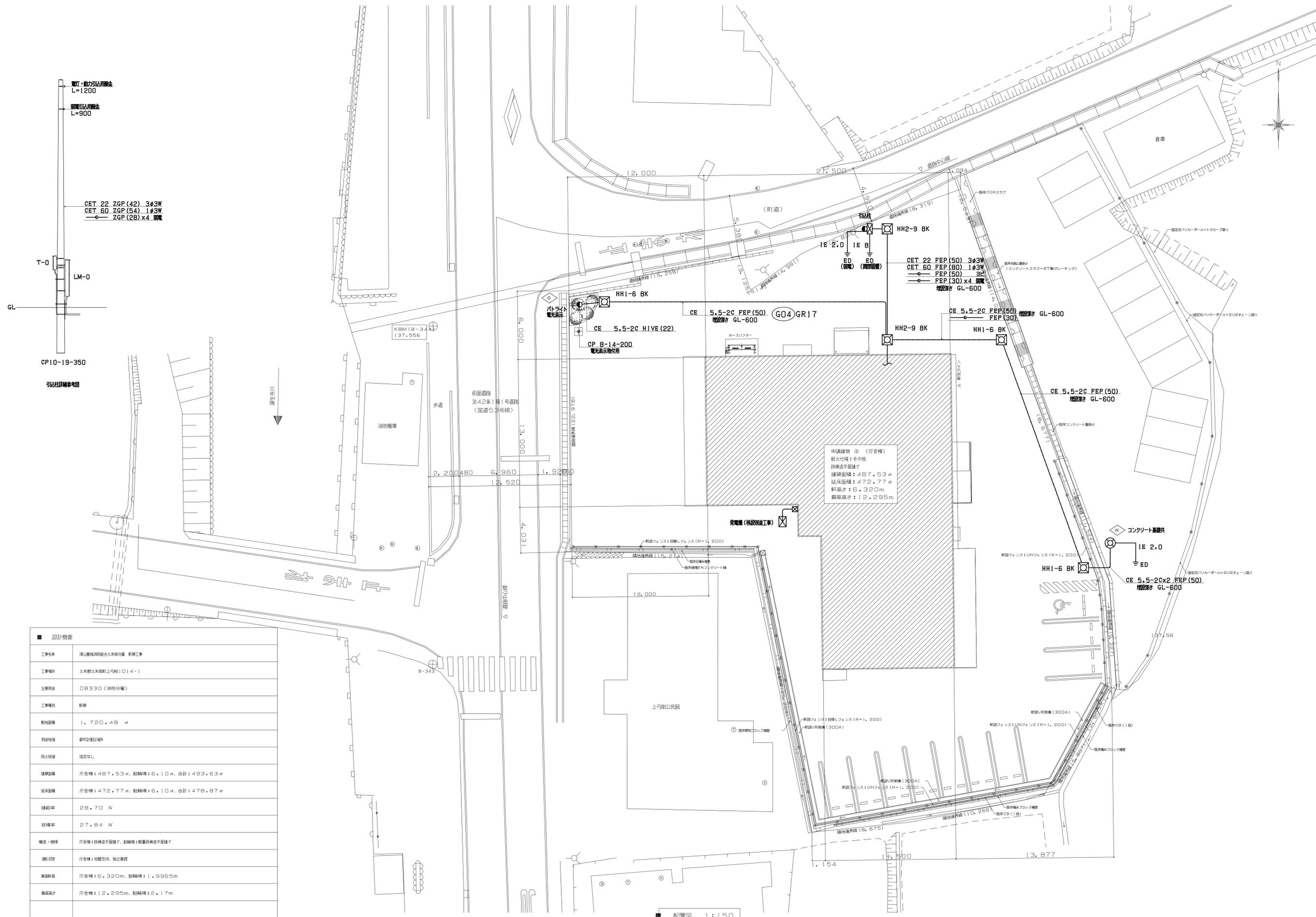
- 1. 施工方法
埋設深さ 特記なきは地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。
埋設引込み部の地盤安定等への対応
想定穴下層(・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下)
重の記号表示 筒型涵み(・通信 ・ )
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
2. 地中箱
3. 配線シート
1. 調査仕様
図面に記載されていない事項は、すべて(社)日本CATV技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、(社)日本CATV技術協会の技術審査を受けること。
2. テレビ電波受信障害調査時期
・事前 ・中間 ・事後
3. 受信する受信数及び地点数
中継局: 数: 地点
中継局: 数: 地点
4. 報告書
提出回数 ・事前 3部 ・中間 部 ・事後 3部

Table with columns: 機 器 取 付 高 (機 器 取 付 高 は 下 記 を 標準 と する。た だ し、天 井 高 3 m 以 上 の 場 合 及 び 機 器 の 使 用 に 支 障 が 有 る 場 合 は 監督委員と協議する。), 名 称 (取引用計器, 引出用閉器, 分電盤, etc.), 測 点 (地上~窓中心, 地上~中心, etc.), 取 付 高 (mm) (1,800~2,000, 1,500, etc.), 名 称 (表示装置, 警報発信器, etc.), 測 点 (床下~中心, etc.), 取 付 高 (mm) (天井高X0.9, 天井高X1.30, etc.).

- 2. 配線図記号その他
1) BEF1.6-2CX2は、BEF1.6-4Cを使用してもよい。
2) EMケーブルの表記は警報用及び防触ケーブルを除き「EM-」を省略する。

Table with columns: 機 材 等 (蛍光灯器具(防触照明器具及び防災用照明器具を除く), LED照明器具(一般居室に限る), etc.), 製造業者名

3. 負担金等(消費税抜き)
(・本工事 ・別途工事) 円
(・本工事 ・別途工事) 円
s'dooki kaku architectural firm
総合企画
TITILE 津山圏域消防組合久米南分署 新築工事
DRAWING NAME 電気設備特記仕様書
NO E-01
DRAFT PERSON

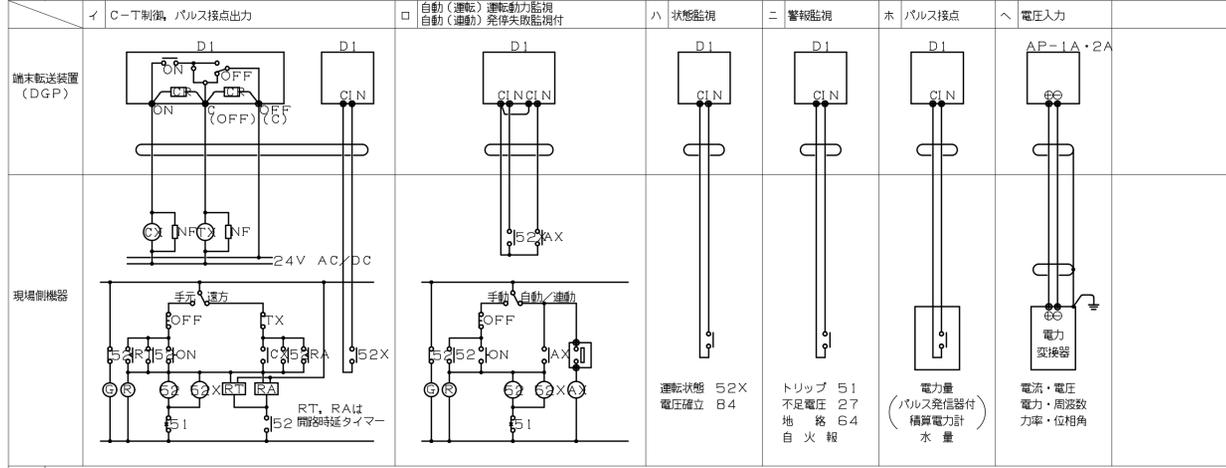
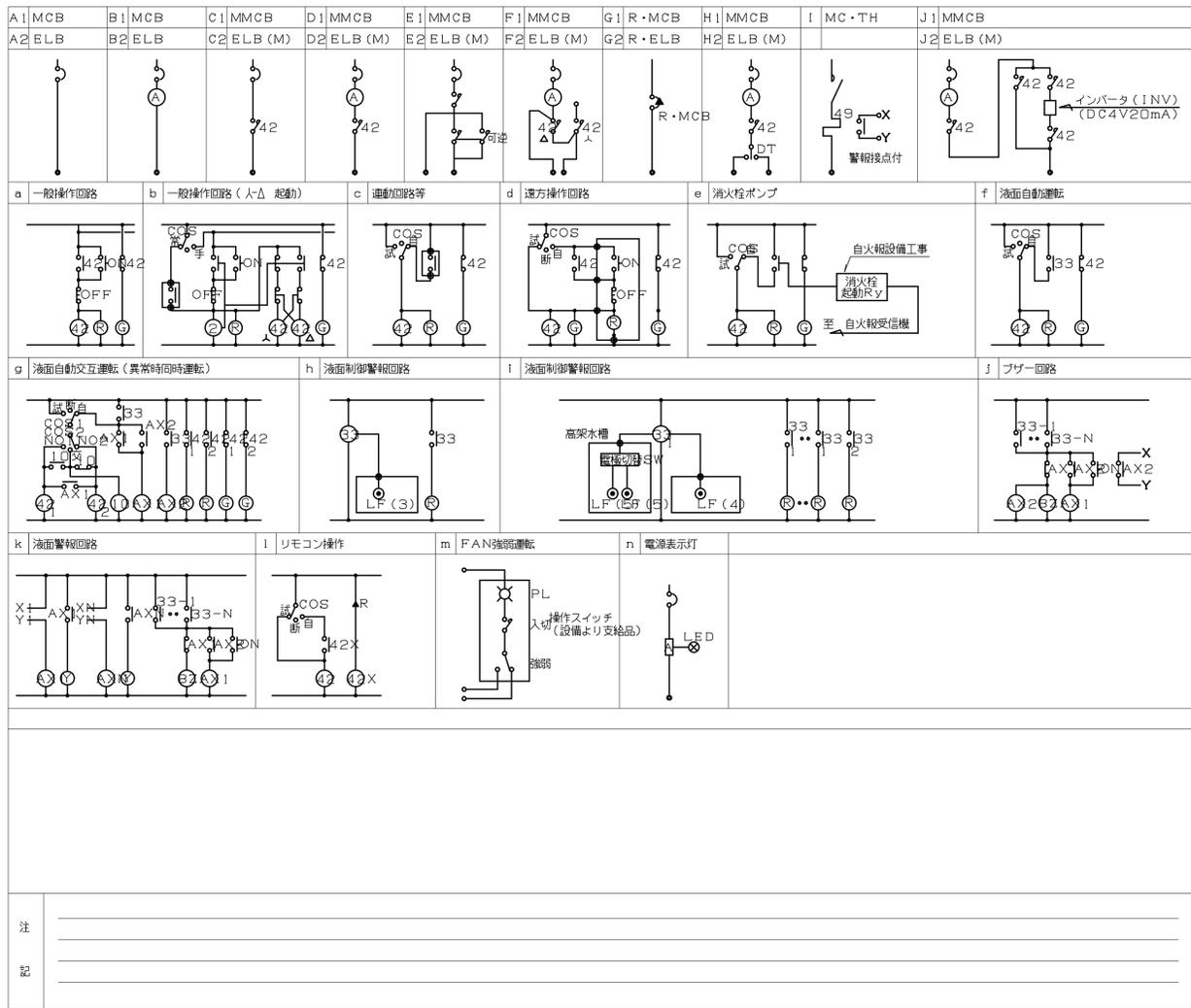


申請建物 ① (庁舎棟)  
 耐火仕様：その他  
 鉄骨造平屋建て  
 建築面積：487.53㎡  
 延床面積：472.77㎡  
 軒高：6.320m  
 最高高さ：12.295m

設計概要	
工事名称	湯山圏域消防組合久米南分署 新築工事
工事場所	久米郡久米南町上町1014-1
主要用途	08330 (消防分署)
工事種別	新築
敷地面積	1,720.48㎡
用途地域	都市計画区域外
防火地域	指定なし
建築面積	庁舎棟：487.53㎡、駐輪場：6.10㎡、合計：493.63㎡
延床面積	庁舎棟：472.77㎡、駐輪場：6.10㎡、合計：478.87㎡
建築率	28.70%
容積率	27.84%
構造・仕様	庁舎棟：鉄骨造平屋建て、駐輪場：軽量鉄骨造平屋建て
階高	庁舎棟：地盤交差、独立基礎
建築軒高	庁舎棟：6.320m、駐輪場：1.9965m
最高高さ	庁舎棟：12.295m、駐輪場：2.17m

配置図 1:150

標準結線図



- 特記事項
1. 遮断器のトリップ容量は、各電動機の定格容量に適合したものを使用する。
  2. 電流計は超過目盛とし、置針指針付とする。
  3. 電動機名称盤には、容量も併記する。
  4. 各制御盤には、各電動機毎に接地端子を設ける。
  5. 盤内機器、遮断器、電磁接触器等に負荷名称を記入する。
  6. パイロットランプはLEDとすること。
  7. 各盤にELB専用接地端子を設け、単独にてELB専用接地を設けること。
  8. ELBの定格感度電流は30mA以下、漏電はすし動作時間は0.1秒以内とする。 分岐ELBの定格感度電流は主幹より少なく設定し主幹ELBとの保護協調を考慮すること。
  9. スイッチは、対象照明範囲(室名等)記入すること。(テブラ等)
  10. 屋内盤は、全て指定色境付け塗装とする。(環境対応粉体塗料を使用のこと。)

動力盤リスト

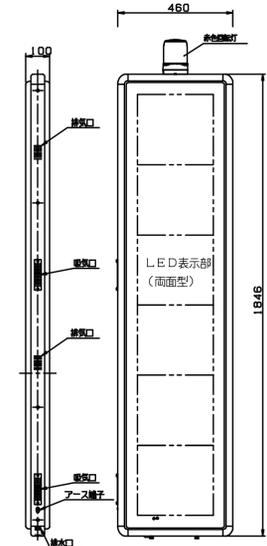
漏電ブレーカーの感度電流は手元開閉器と協調を考慮すること

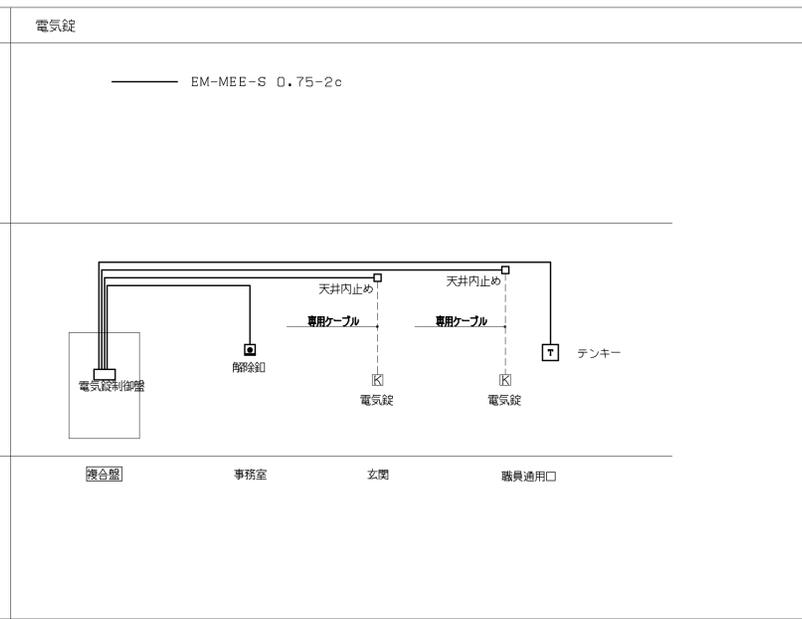
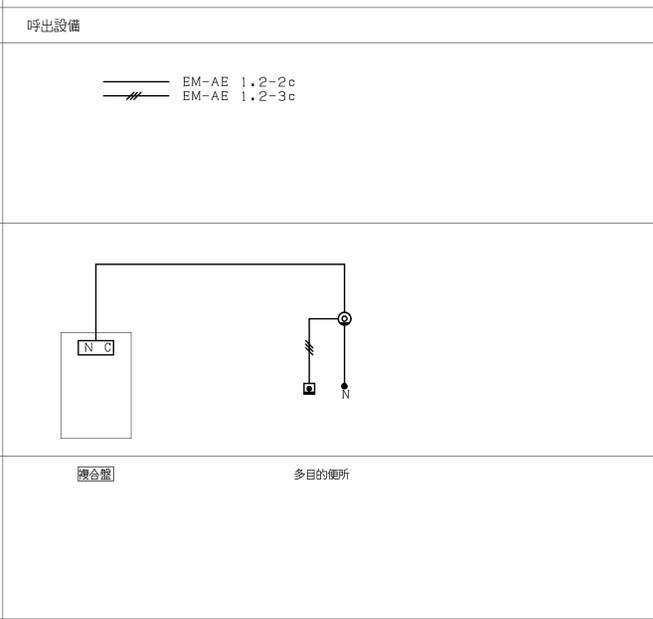
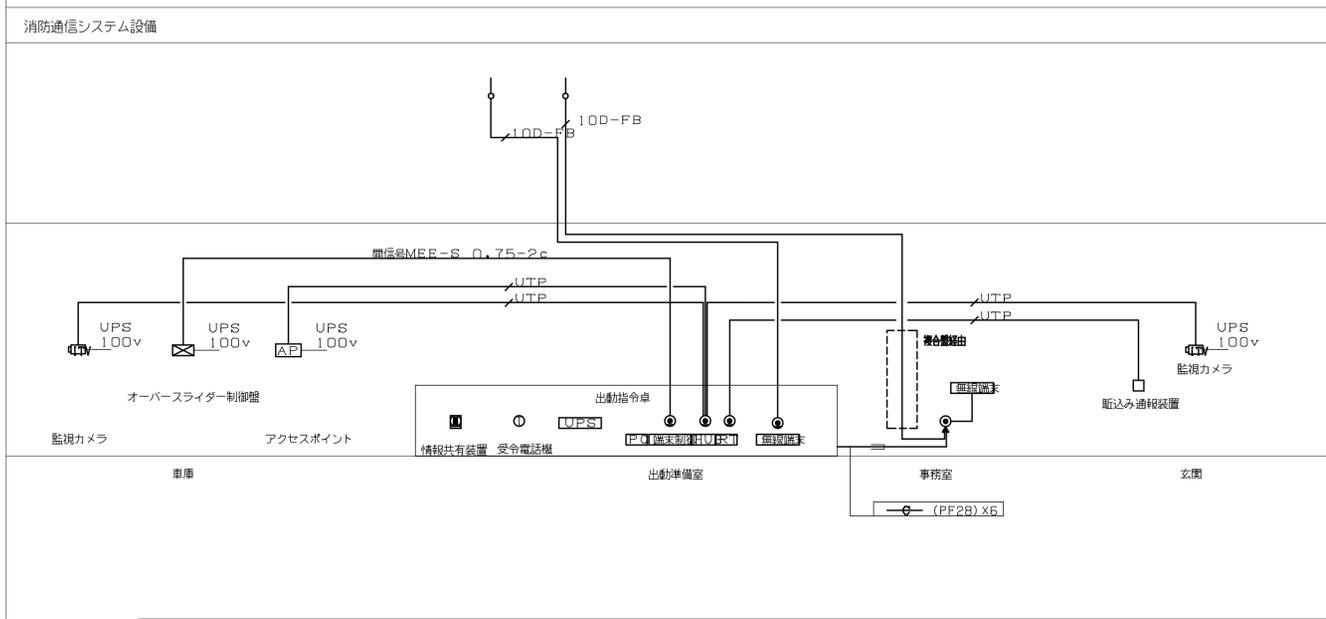
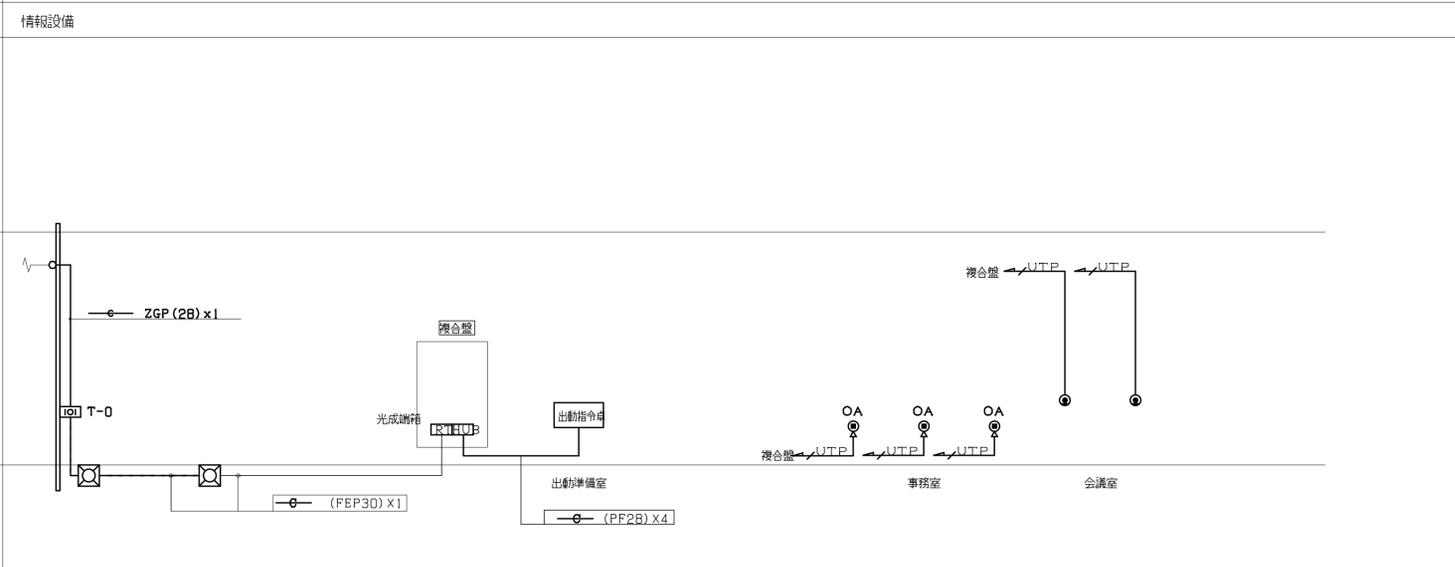
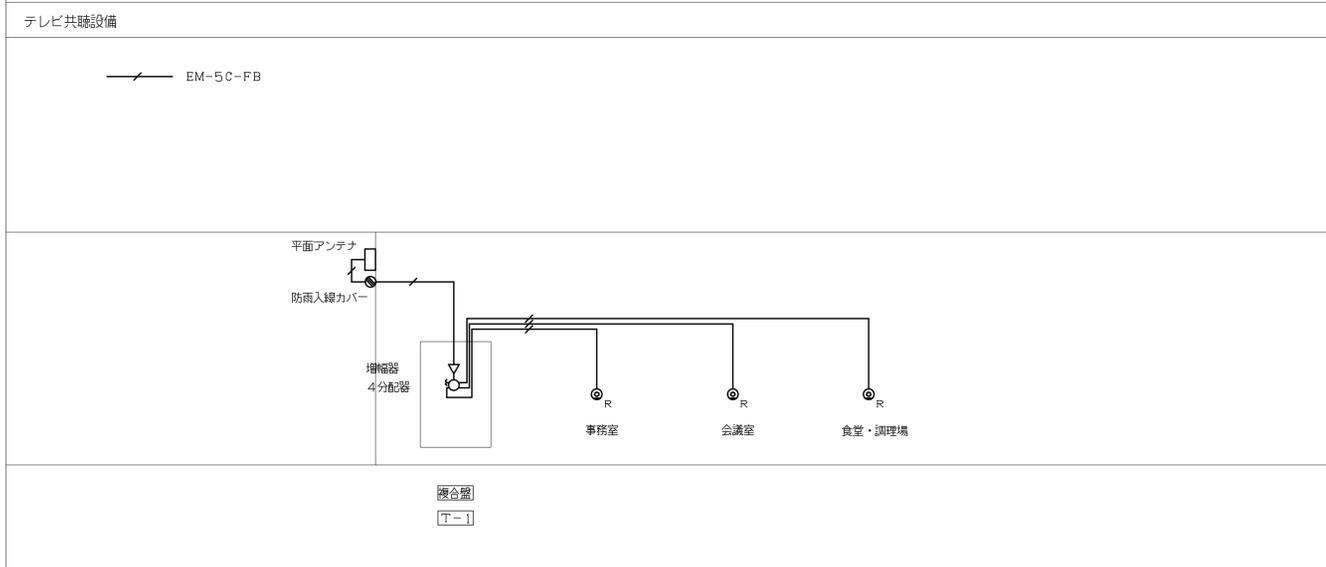
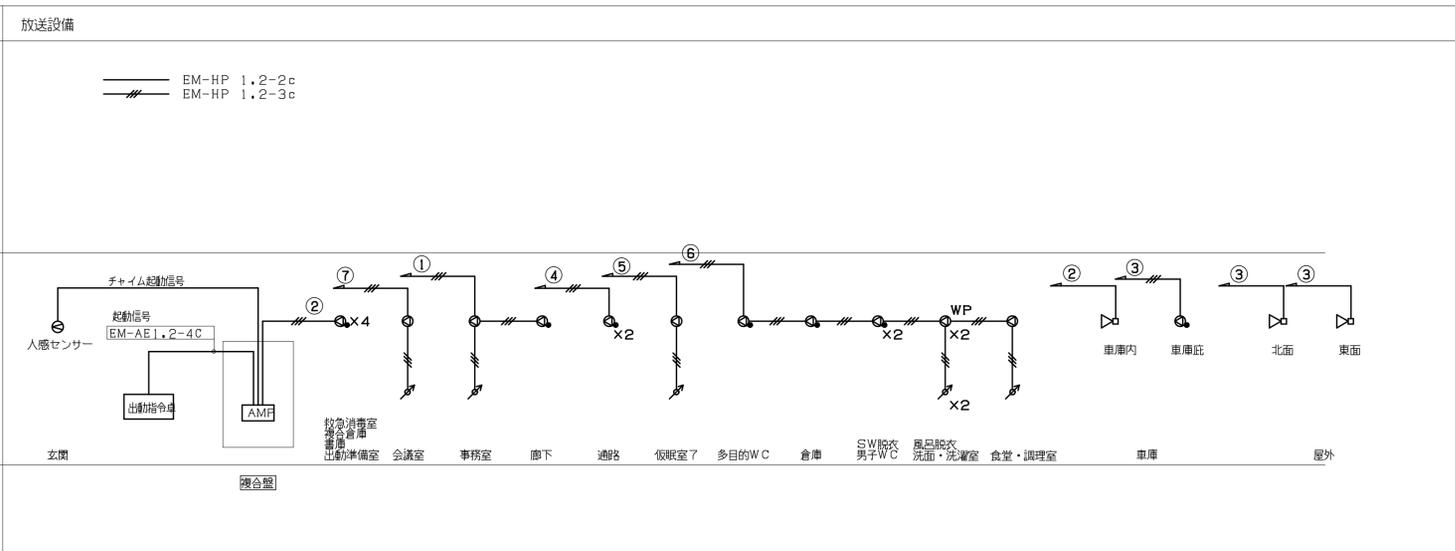
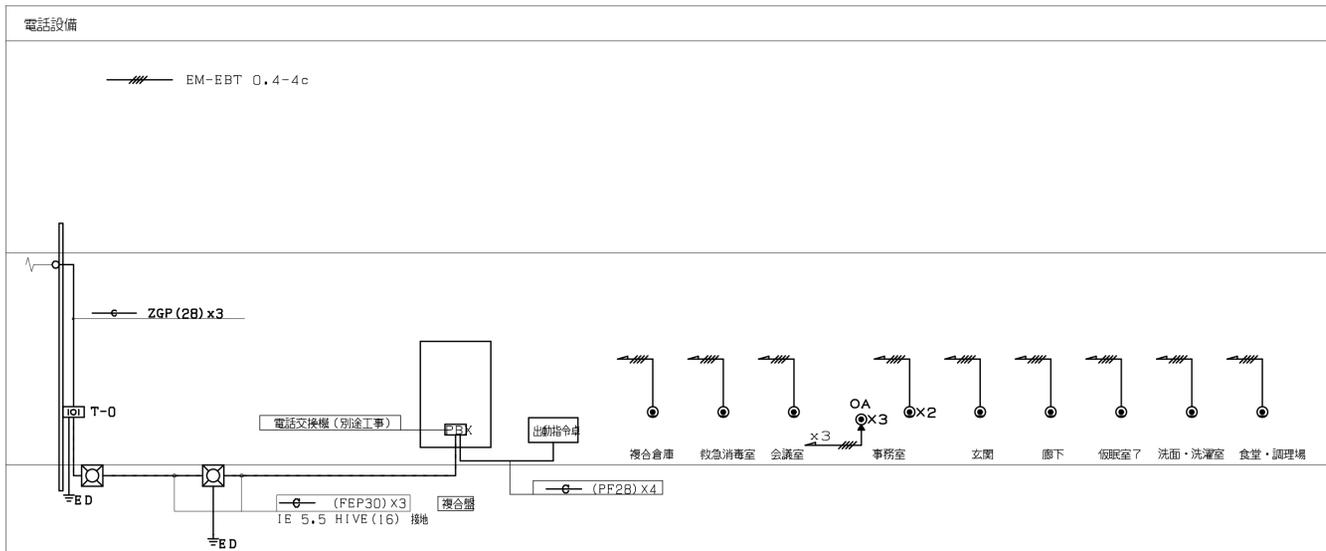
盤名称 盤形状	許線番号 合計容量	動力 機名	容量 (KW)	電圧	設置 場所	制御 記号	現場盤		警報盤		連動及び インターロック	配線サイズ	備考
							発停	状態	警報	発停			
LM-1	LM-0より 3φ3W	MCCB 3P 100/100											
		M1	ホースリフター	0.75x2	50	20	200						専用制御盤
		M2	車庫排気ファン	0.549	50	10	200						免許押知車庫内取付
		AC1	事務室エアコン ACP-1	2.49	50	30	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC2	会議室エアコン ACP-2	2.03	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC3	食堂エアコン ACP-2	2.03	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC4	出納準備室エアコン ACP-3	1.17	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC5	役員待合室エアコン ACP-4	1.05	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC6	候客室1~6エアコン ACP-5	1.74	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		AC7	候客室1~6エアコン ACP-5	1.74	50	20	200						EM-CE5.5sq-4C
		計			12.25	2,049							



照明器具姿図

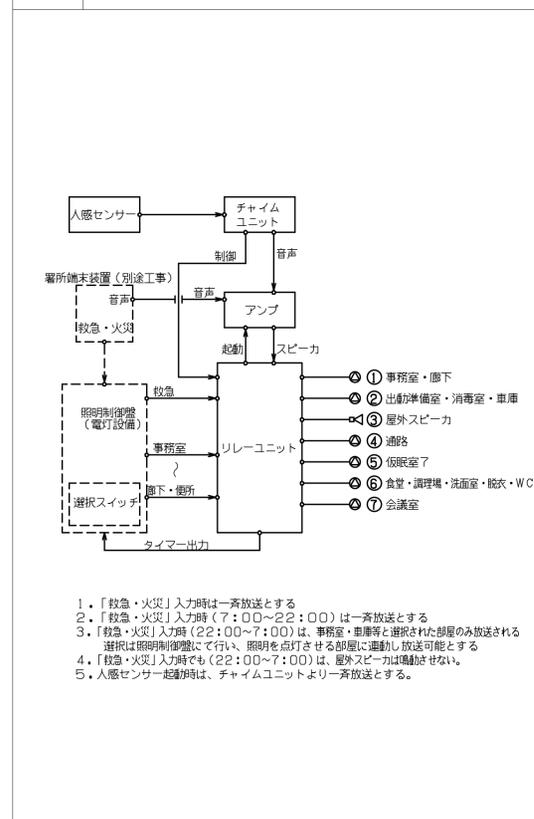
※記入の型番と同等とする。

<p>A</p> <p>LSS9-2350LM</p> <p>G LSS9-2350LM ガード付 ガード FK41534</p> 	<p>B</p> <p>LSS9-4900LM</p> 	<p>C</p> <p>LEDベースライト直付型 40w形</p> <p>1 Hf 32-1相当 防湿型W150</p> <p>2 Hf 32-2相当 防湿型W150</p> 	<p>D</p> <p>LEDベースライト直付型 40w形</p> <p>Hf 32-2相当 反射錠</p> 	<p>E</p> <p>LSS6-6600LM</p> 	<p>F</p> <p>LED直付型 40w形</p> <p>Hf 32-2相当 コーナライト</p> 
<p>G</p> <p>LRS1-1300LM-1</p> 	<p>H</p> <p>LEDキッチンライト 20形蛍光灯1灯器具相当</p> 	<p>I</p> <p>LED安全埋込防塵型 吊下型</p> <p>XLW422AENZLE9 XLW452AENZLE9</p> 	<p>J</p> <p>LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p> <p>人感センサー付、段調光、明るさセンサー付</p> 	<p>K</p> <p>LEDスポットライト HF 250w形相当</p> <p>NNY24921LE9</p> 	<p>L</p> <p>LED赤色表示灯</p> 
<p>M</p> <p>LEDスポットライト 100形1灯器具相当</p> <p>LGW40110</p> 	<p>N</p> <p>LEDモールライト</p> <p>コンパクト蛍光灯FHT57形相当</p> <p>地中埋込型ポール 街路灯用φ39タイプ 3.5m</p> <p>LGB52094LE1</p>  <p>本体：アルミダイカスト（コーヒープラワン） グローブ：ガラス（透明・縦半分アルミ真空接着）</p> <p>モールライトXY5778LE9 ポール XY3739A 基礎共</p>	<p>O</p> <p>LED電光表示機 片面表示</p> <p>取付コンクリート柱 本工事</p> <p>XLJ4100LE9</p> 	<p>LGWC80290LE1</p>	<p>NNY24921LE9</p>	<p>NNF20298K</p>



放送設備

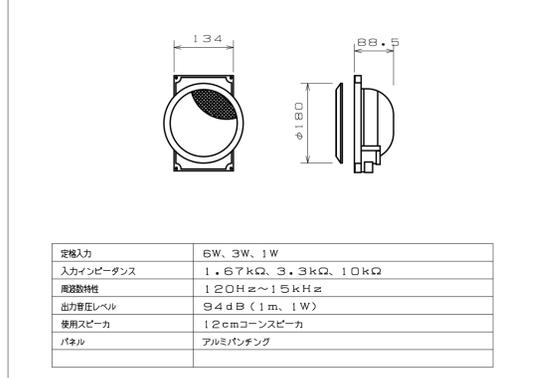
システムブロック図



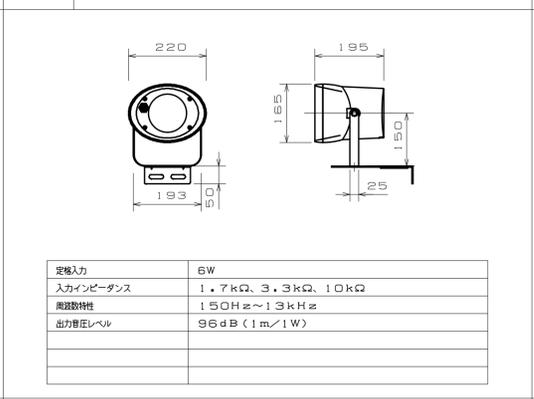
チャイムユニット(事務室給合盤内組込)



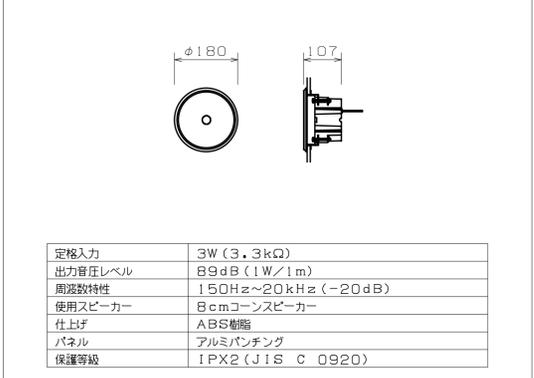
天井埋込スピーカー 1W



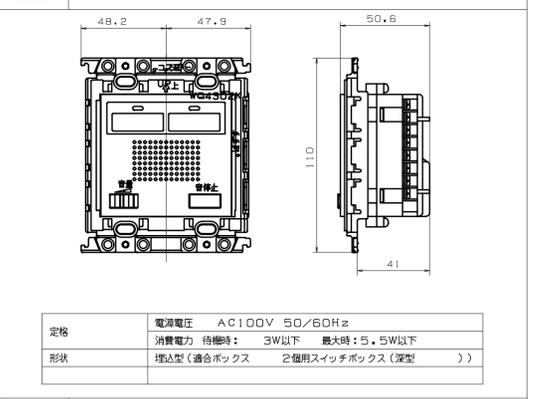
ホーン型コーンスピーカー



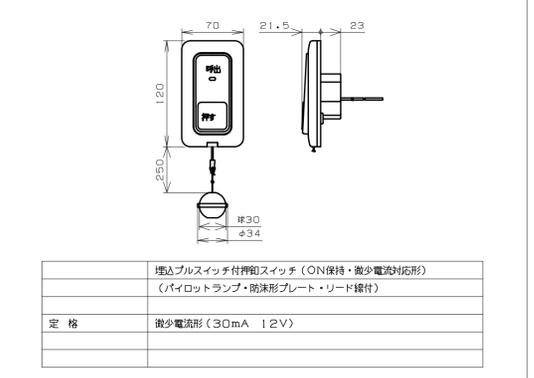
天井埋込スピーカー(防滴型)



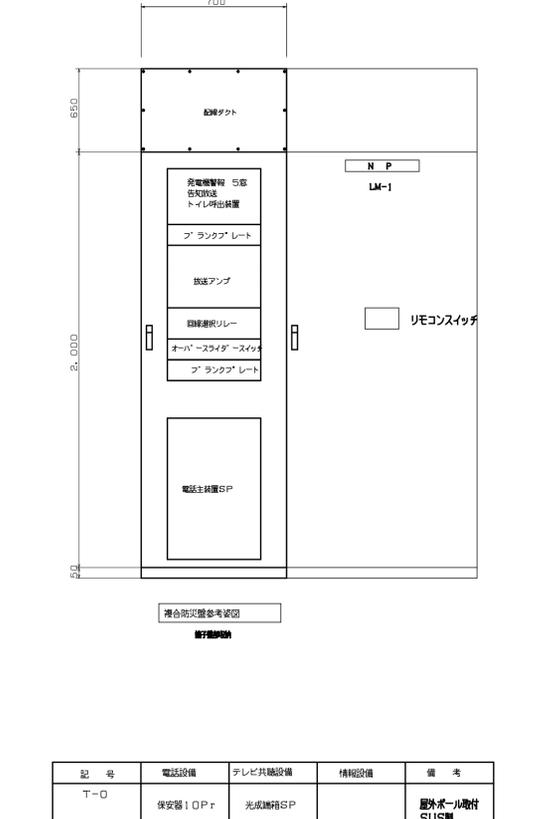
トイレ呼出設備



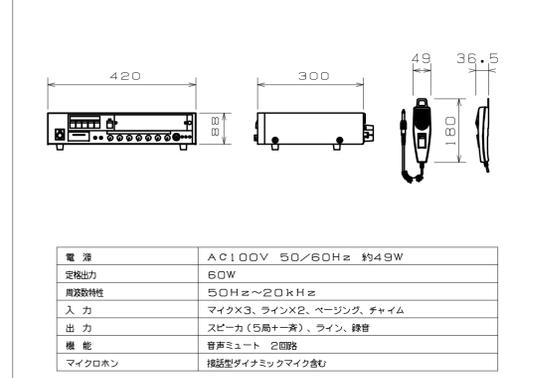
呼出ボタン(引きひも付)



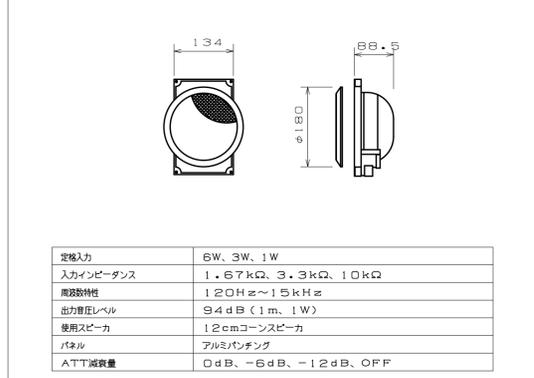
システムブロック図



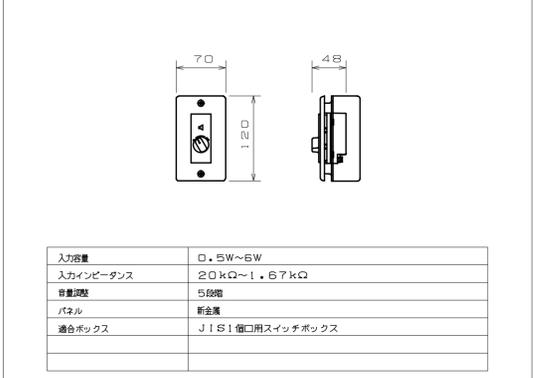
放送用アンプ(事務室給合盤内組込)



天井埋込スピーカー(ATT付) 1W



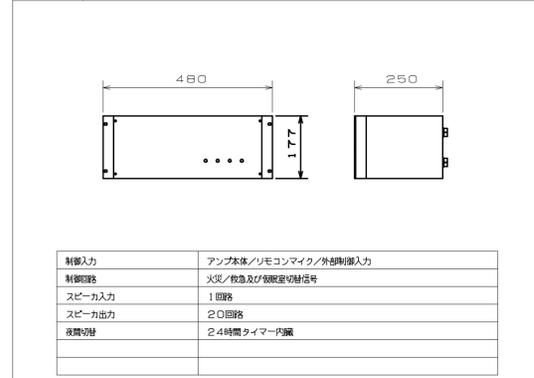
アッテネータ



人感センサー



リレーユニット(事務室給合盤内組込)

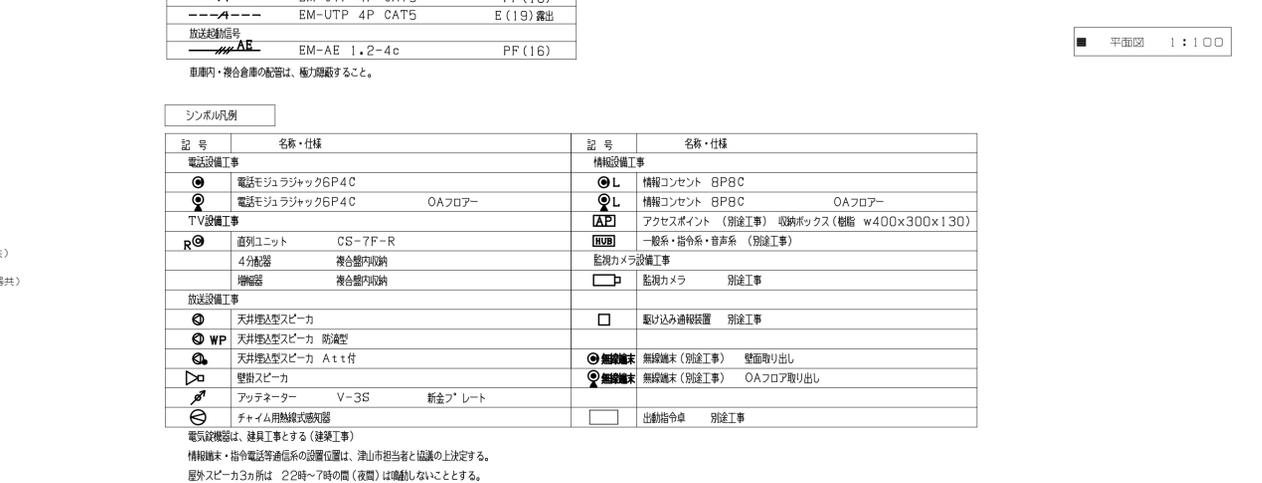
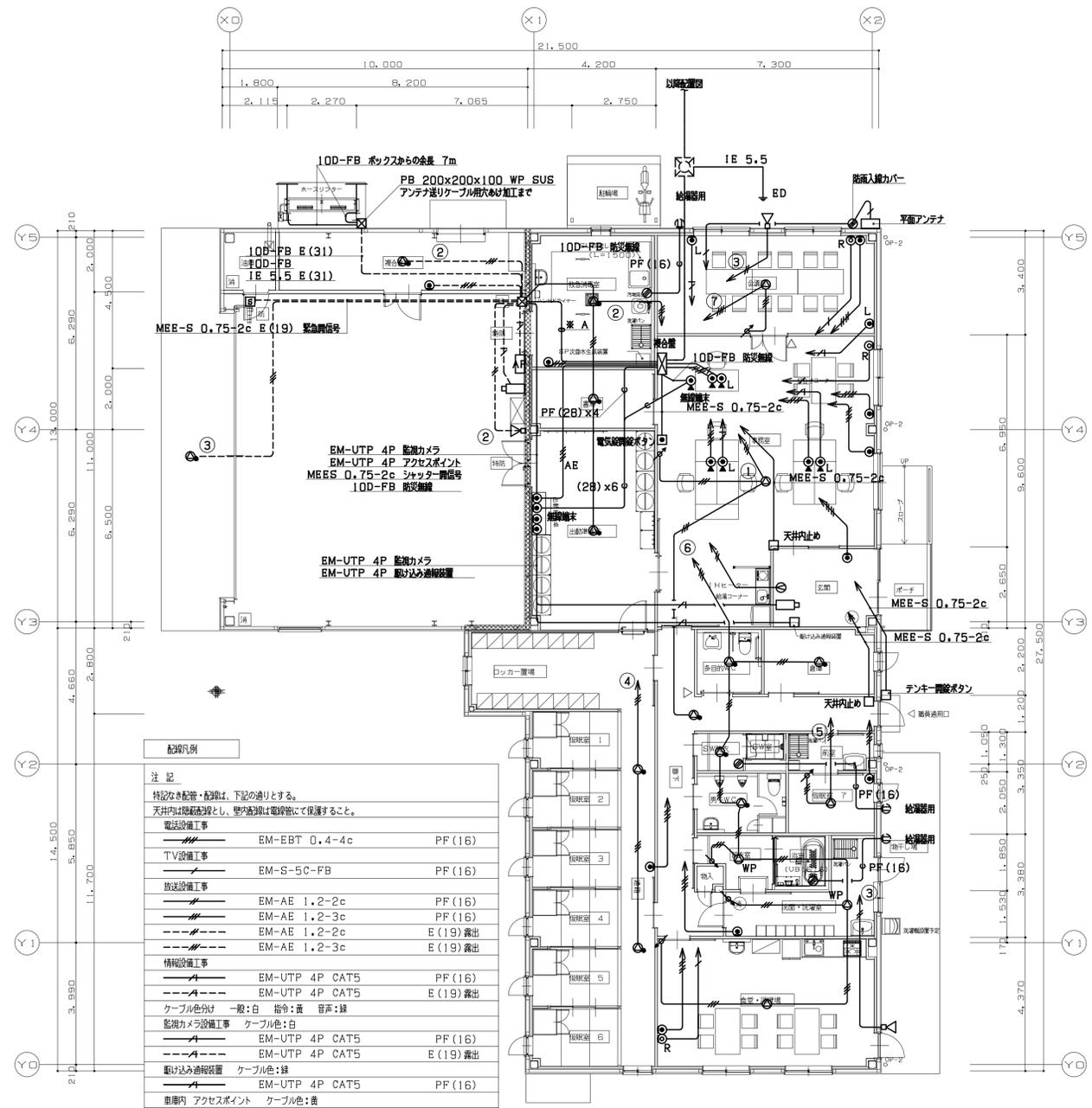
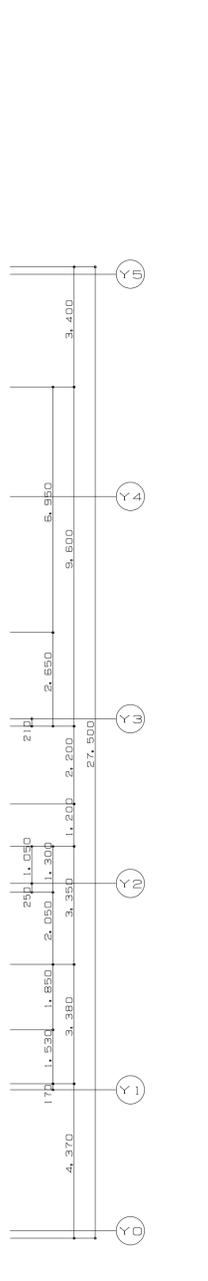
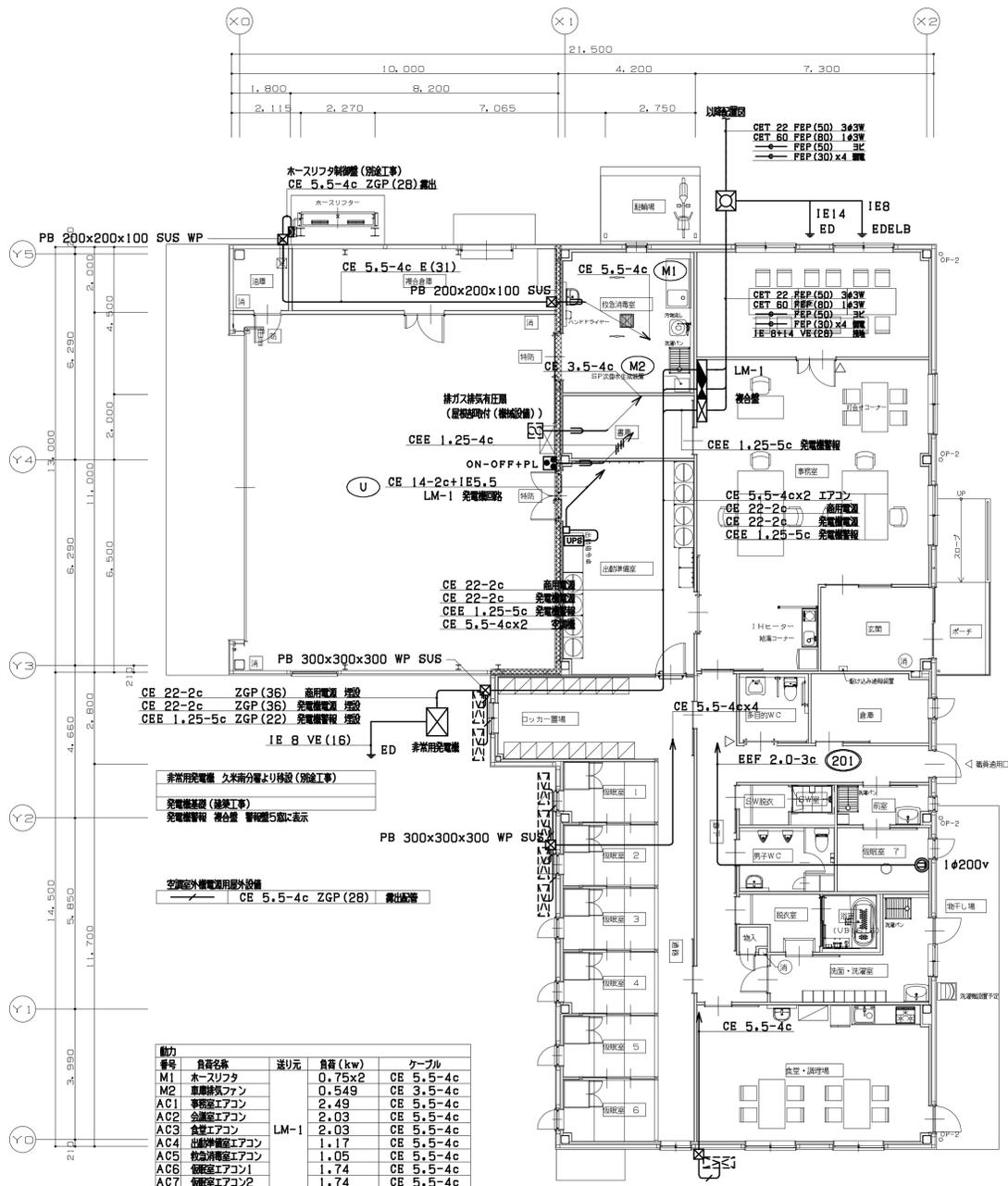


人感センサー

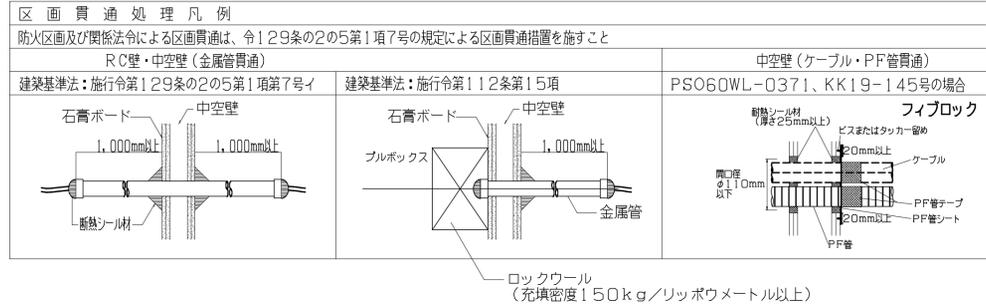


記号	電話設備	テレビ共聴設備	情報設備	備考
T-0	保安器10P+	光成線箱SP		屋外ポール取付 SUS製
T-1	TB 50P+	茶油し D-772X1	HUB8ポートスペース	露出コンセント×1

機器	数量	取付	備考
アンプ	1	表面取付	機器工事
リレーユニット	1	表面取付	機器工事
チャイムユニット	1	表面取付	機器工事
トイレ呼び出し装置	1	表面取付	機器工事
警報表示 5窓	1	表面取付	機器工事
オーバースライダー緊急開放スイッチ	1	表面取付	機器別途
HUB 8P	1	内部取付	機器工事
電話士装置	1	内部取付	機器別途
TV増幅器	1	内部取付	機器工事
4分配器	1	内部取付	機器工事
告知放送スピーカー	1	上層ダクト内に光成線箱・機器取付	機器別途
T-1	1	内部取付	機器工事
露出コンセント 2P15ABx2	2	一般電源	機器工事
露出コンセント 2P15ABx2	2	非常電源	機器工事



注記：防火壁区画処理箇所及び仕様を下記に示す。  
 ケーブル壁160φ以下用防火区画処理剤  
 国土交通大臣認定番号：PS06WL-0000（壁用）

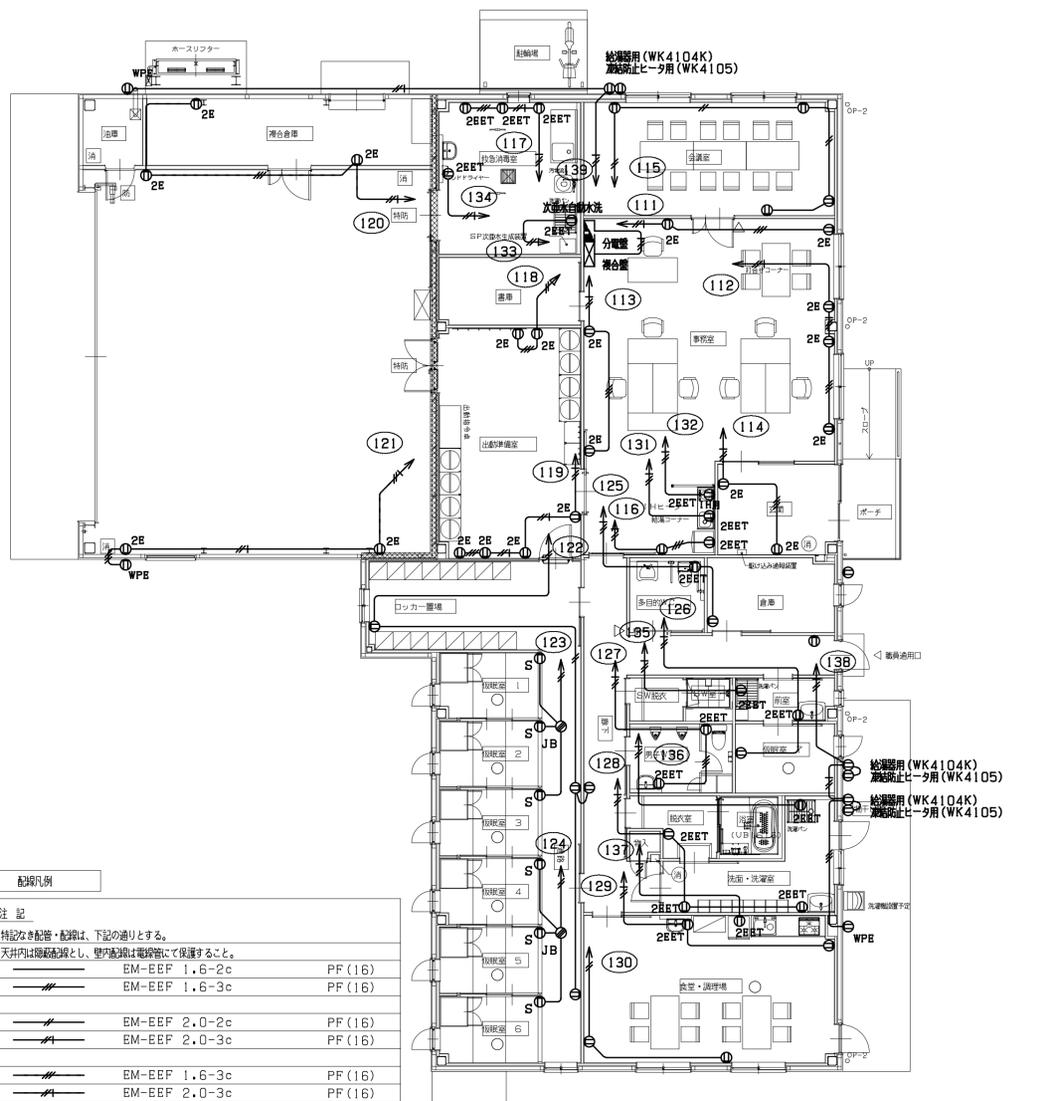


○ 各種用途区画壁：ALC板厚100(1H)：H12建告1399号

特務 特定防火設備を示す  
 固 特定防火設備を示す  
 消火器BOX (UFB-3F-307-PWH) を示す。(10型消火器共)  
 消火器BOX (UFB-1F-2720-PWH) を示す。(10型消火器共)  
 窓名札(平)：パブリックサイン(200×50)同等  
 窓名札(平、突出ビクト)：パブリックサイン(200×200)同等  
 住宅用火災警報器(電気設備工事)

記号	名称・仕様	記号	名称・仕様
①	電話モジュラジャック6P4C	①	情報コンセント 8P8C
②	電話モジュラジャック6P4C	②	情報コンセント 8P8C
③	電話モジュラジャック6P4C	③	情報コンセント 8P8C
④	電話モジュラジャック6P4C	④	情報コンセント 8P8C
⑤	電話モジュラジャック6P4C	⑤	情報コンセント 8P8C
⑥	電話モジュラジャック6P4C	⑥	情報コンセント 8P8C
⑦	電話モジュラジャック6P4C	⑦	情報コンセント 8P8C
⑧	電話モジュラジャック6P4C	⑧	情報コンセント 8P8C
⑨	電話モジュラジャック6P4C	⑨	情報コンセント 8P8C
⑩	電話モジュラジャック6P4C	⑩	情報コンセント 8P8C
⑪	電話モジュラジャック6P4C	⑪	情報コンセント 8P8C
⑫	電話モジュラジャック6P4C	⑫	情報コンセント 8P8C
⑬	電話モジュラジャック6P4C	⑬	情報コンセント 8P8C
⑭	電話モジュラジャック6P4C	⑭	情報コンセント 8P8C
⑮	電話モジュラジャック6P4C	⑮	情報コンセント 8P8C
⑯	電話モジュラジャック6P4C	⑯	情報コンセント 8P8C
⑰	電話モジュラジャック6P4C	⑰	情報コンセント 8P8C
⑱	電話モジュラジャック6P4C	⑱	情報コンセント 8P8C
⑲	電話モジュラジャック6P4C	⑲	情報コンセント 8P8C
⑳	電話モジュラジャック6P4C	⑳	情報コンセント 8P8C
㉑	電話モジュラジャック6P4C	㉑	情報コンセント 8P8C
㉒	電話モジュラジャック6P4C	㉒	情報コンセント 8P8C
㉓	電話モジュラジャック6P4C	㉓	情報コンセント 8P8C
㉔	電話モジュラジャック6P4C	㉔	情報コンセント 8P8C
㉕	電話モジュラジャック6P4C	㉕	情報コンセント 8P8C
㉖	電話モジュラジャック6P4C	㉖	情報コンセント 8P8C
㉗	電話モジュラジャック6P4C	㉗	情報コンセント 8P8C
㉘	電話モジュラジャック6P4C	㉘	情報コンセント 8P8C
㉙	電話モジュラジャック6P4C	㉙	情報コンセント 8P8C
㉚	電話モジュラジャック6P4C	㉚	情報コンセント 8P8C
㉛	電話モジュラジャック6P4C	㉛	情報コンセント 8P8C
㉜	電話モジュラジャック6P4C	㉜	情報コンセント 8P8C
㉝	電話モジュラジャック6P4C	㉝	情報コンセント 8P8C
㉞	電話モジュラジャック6P4C	㉞	情報コンセント 8P8C
㉟	電話モジュラジャック6P4C	㉟	情報コンセント 8P8C
㊱	電話モジュラジャック6P4C	㊱	情報コンセント 8P8C
㊲	電話モジュラジャック6P4C	㊲	情報コンセント 8P8C
㊳	電話モジュラジャック6P4C	㊳	情報コンセント 8P8C
㊴	電話モジュラジャック6P4C	㊴	情報コンセント 8P8C
㊵	電話モジュラジャック6P4C	㊵	情報コンセント 8P8C
㊶	電話モジュラジャック6P4C	㊶	情報コンセント 8P8C
㊷	電話モジュラジャック6P4C	㊷	情報コンセント 8P8C
㊸	電話モジュラジャック6P4C	㊸	情報コンセント 8P8C
㊹	電話モジュラジャック6P4C	㊹	情報コンセント 8P8C
㊺	電話モジュラジャック6P4C	㊺	情報コンセント 8P8C
㊻	電話モジュラジャック6P4C	㊻	情報コンセント 8P8C
㊼	電話モジュラジャック6P4C	㊼	情報コンセント 8P8C
㊽	電話モジュラジャック6P4C	㊽	情報コンセント 8P8C
㊾	電話モジュラジャック6P4C	㊾	情報コンセント 8P8C
㊿	電話モジュラジャック6P4C	㊿	情報コンセント 8P8C

電気設備は、建築工事とする(建築工事)  
 情報端末・指令電話等通信系の設置位置は、津山市担当者と協議の上決定する。  
 屋外スピーカー3ヵ所は 22時～7時の間(夜間)は鳴らないこととする。

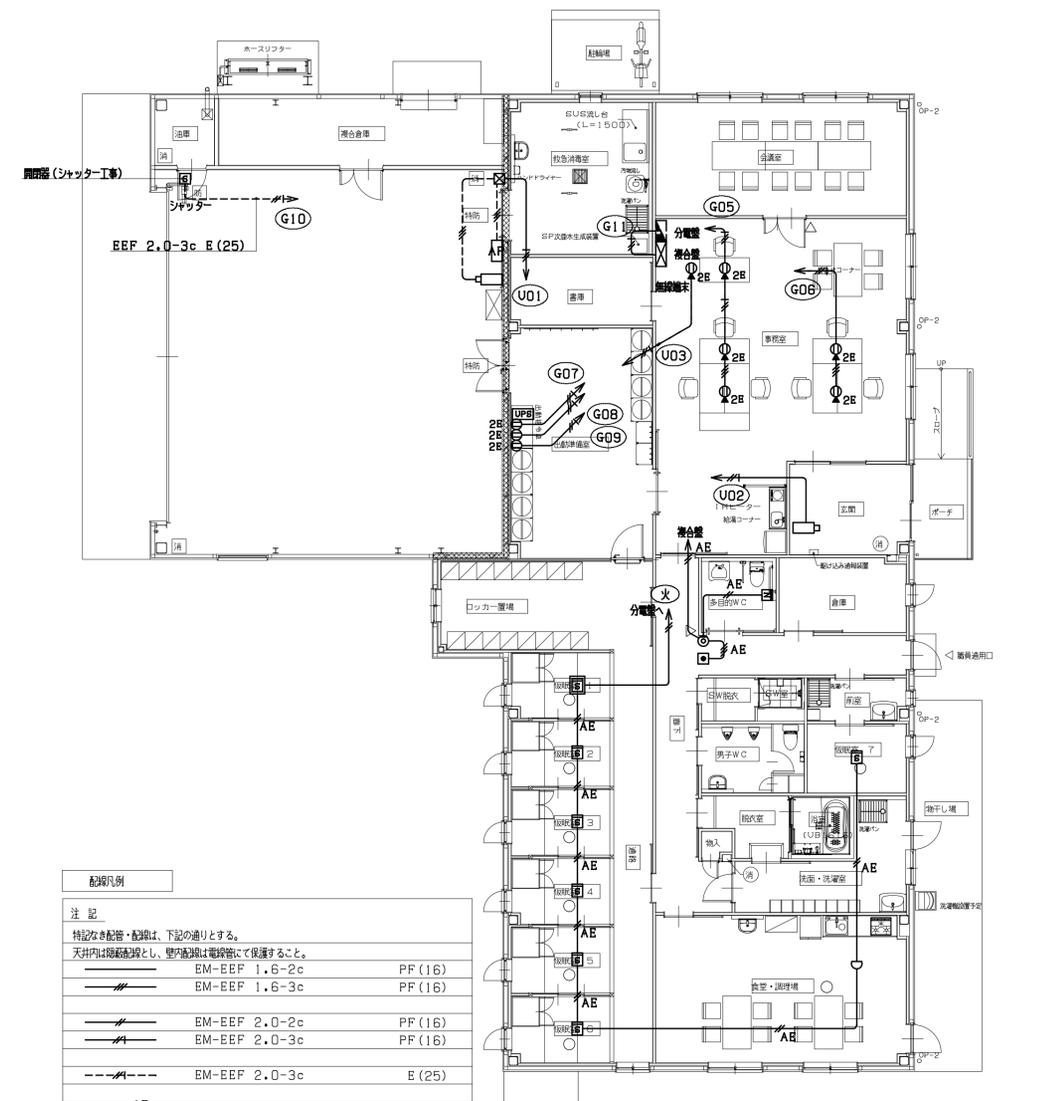


配線凡例		
注記		
特記なき配管・配線は、下記の通りとする。		
天井内は隠蔽配線とし、壁内配線は電線管にて保護すること。		
	EM-EFF 1.6-2c	PF (16)
	EM-EFF 1.6-3c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-2c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-3c	PF (16)
	EM-EFF 1.6-3c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-3c	PF (16)

記号凡例		
注記		
特記なきシンボルは、下記の通りとする。		
	CO 2P15A x 2	金属プレート
	CO 2P15AE x 2	金属プレート
	CO 2P15AE x 2 + ET	金属プレート
	CO 2P15AE + ET	防水型
	CO 2P15A x 1	金属プレート
		可動間仕切り用
仮眠室1~6 立下り配線は、建築工事により(埋木)隠蔽する。		

■ 平面図 1:100

■ 平面図 1:100  
 各種用途区分壁:ALC厚100(1H):H12建告1399号



配線凡例		
注記		
特記なき配管・配線は、下記の通りとする。		
天井内は隠蔽配線とし、壁内配線は電線管にて保護すること。		
	EM-EFF 1.6-2c	PF (16)
	EM-EFF 1.6-3c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-2c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-3c	PF (16)
	EM-EFF 2.0-3c	E (25)
	EM-AE 1.2-2c	PF (16)
	EM-AE 1.2-2c	PF (16)

	非常電源回路
	UPS電源回路

記号凡例		
注記		
特記なきシンボルは、下記の通りとする。		
	CO 2P15AE x 2 赤色	金属プレート
	CO 2P15AE x 2	OAフロア用
	住宅用火災警報器	機器
	住宅用火災警報器	子器
	監視カメラ	
	アクセスポイント	
	非常呼び出し鈴	
	廊下表示灯	
	復帰ボタン	

■ 平面図 1:100

■ 平面図 1:100  
 各種用途区分壁:ALC厚100(1H):H12建告1399号

油庫	救急処置室
照明器具番号 1	照明器具番号 C2
数量 1	数量 4

洋合食庫	書庫
照明器具番号 AG	照明器具番号 A
数量 3	数量 1

廊下	
照明器具番号 A	
数量 6	

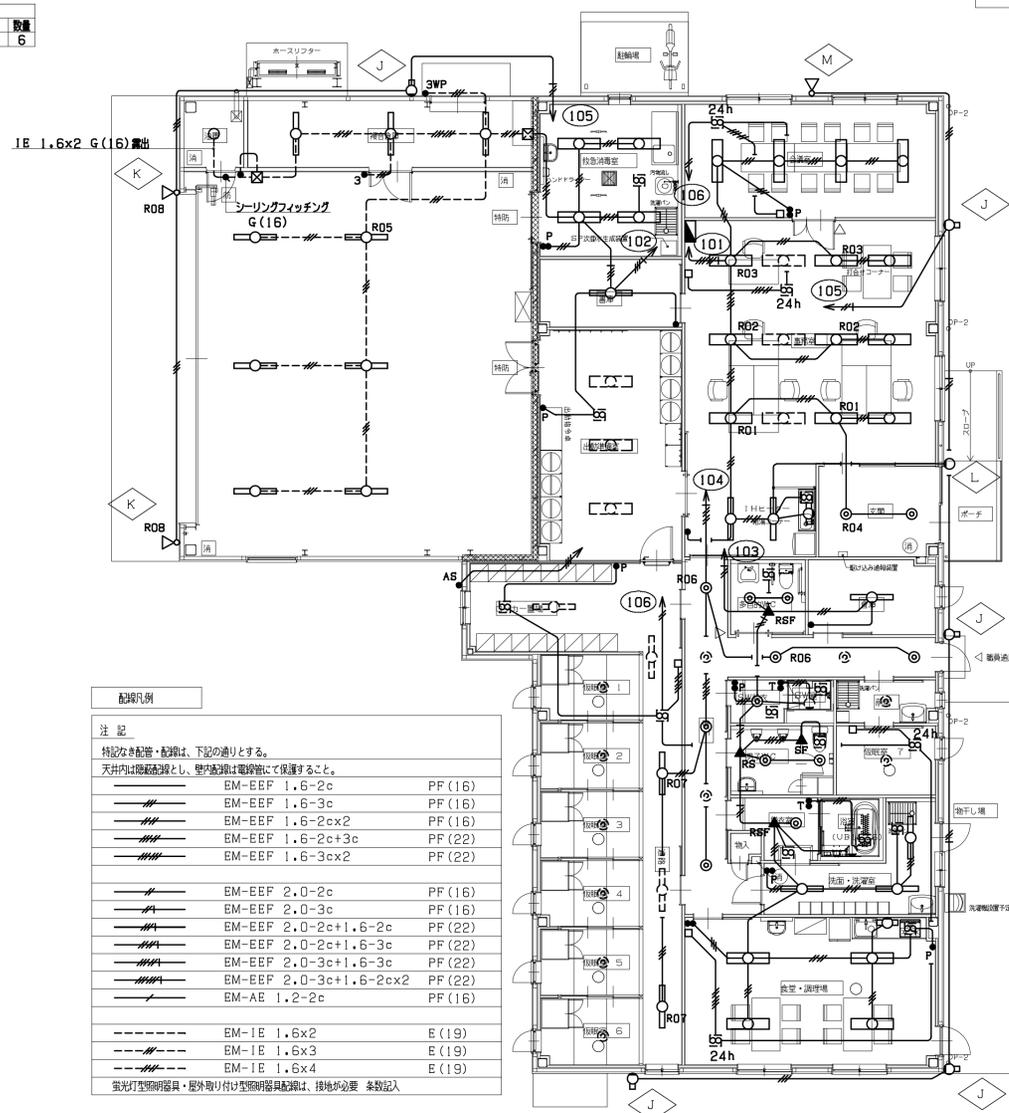
会議室	玄関
照明器具番号 B	照明器具番号 G
数量 4	数量 2

事務室	
照明器具番号 E	
数量 9	
A	
H	
数量 2	
数量 1	

庫裏	
照明器具番号 B	
数量 3	
F	
数量 4	

事務室	
照明器具番号 E	
数量 3	

出庫準備室	
照明器具番号 B	
数量 3	



配線凡例

注記  
特記なき配管・配線は、下記の通りとする。  
天井内は隠蔽配線とし、壁内配線は電線管にて保護すること。

EM-EFF 1.6-2c	PF (16)
EM-EFF 1.6-3c	PF (16)
EM-EFF 1.6-2cx2	PF (16)
EM-EFF 1.6-2c+3c	PF (22)
EM-EFF 1.6-3cx2	PF (22)
EM-EFF 2.0-2c	PF (16)
EM-EFF 2.0-3c	PF (16)
EM-EFF 2.0-2c+1.6-2c	PF (22)
EM-EFF 2.0-2c+1.6-3c	PF (22)
EM-EFF 2.0-3c+1.6-3c	PF (22)
EM-EFF 2.0-3c+1.6-2cx2	PF (22)
EM-AE 1.2-2c	PF (16)
EM-1E 1.6x2	E (19)
EM-1E 1.6x3	E (19)
EM-1E 1.6x4	E (19)

蛍光灯照明器具・屋外取り付け照明器具配線は、接地が必要 多数記入

記号凡例

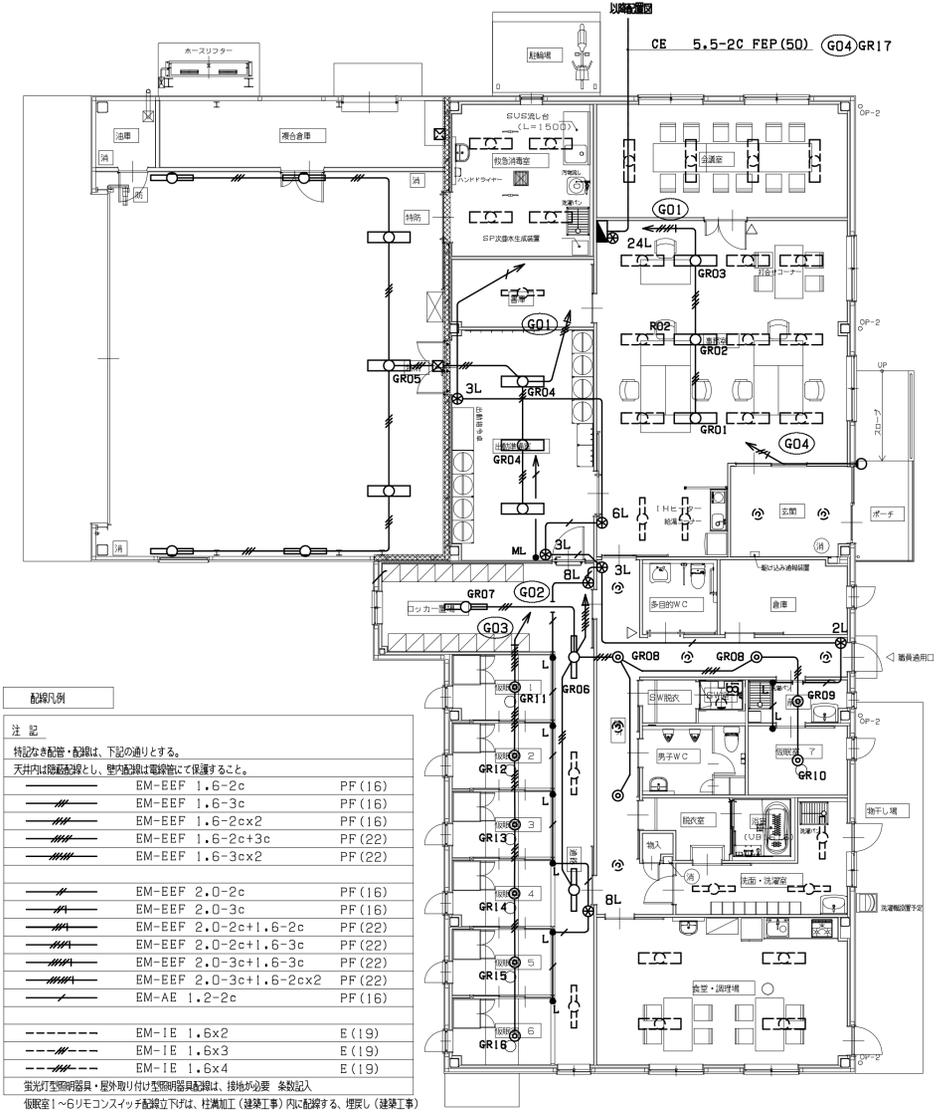
注記  
特記なき記号は、下記の通りとする。

●P	SW 1P15A (ネーム)	金属プレート
●P	SW 1P15APL (ネーム)	金属プレート
●T	SW 浴室換気 4h切替	金属プレート
▲RS	人感センサー-制御	
▲RS	人感センサー-警報 検知連動	
▲RSP	人感センサー-警報 検知連動	
□	ロスナイスイッチ (機械設備交換品)	

通路	倉庫	浴室脱衣
照明器具番号 A	照明器具番号 A	照明器具番号 G
数量 2	数量 1	数量 1
廊下	SW脱衣	洗面洗濯室
照明器具番号 G	照明器具番号 G	照明器具番号 O1
数量 5	数量 1	数量 3
多目的室	男子トイレ	食堂・調理室
照明器具番号 G	照明器具番号 G	照明器具番号 B
数量 2	数量 2	数量 4
		数量 1

■ 平面図 1:100

■ 平面図 1:100 異種用途区分型:ALC版厚100(1H):H12建告1399号



配線凡例

注記  
特記なき配管・配線は、下記の通りとする。  
天井内は隠蔽配線とし、壁内配線は電線管にて保護すること。

EM-EFF 1.6-2c	PF (16)
EM-EFF 1.6-3c	PF (16)
EM-EFF 1.6-2cx2	PF (16)
EM-EFF 1.6-2c+3c	PF (22)
EM-EFF 1.6-3cx2	PF (22)
EM-EFF 2.0-2c	PF (16)
EM-EFF 2.0-3c	PF (16)
EM-EFF 2.0-2c+1.6-2c	PF (22)
EM-EFF 2.0-2c+1.6-3c	PF (22)
EM-EFF 2.0-3c+1.6-3c	PF (22)
EM-EFF 2.0-3c+1.6-2cx2	PF (22)
EM-AE 1.2-2c	PF (16)
EM-1E 1.6x2	E (19)
EM-1E 1.6x3	E (19)
EM-1E 1.6x4	E (19)

蛍光灯照明器具・屋外取り付け照明器具配線は、接地が必要 多数記入

仮設室1~6リモコンスイッチ配線立下は、柱加工(建築工事)内に配線する。埋戻し(建築工事)

記号凡例

注記  
特記なき記号は、下記の通りとする。

●ML	リモコンスイッチ 一斉 オン	金属プレート
●L	リモコンスイッチ	金属プレート
⊕	リモコンスイッチ 複数	金属プレート

仮設室1~6リモコンスイッチ取付は、柱加工(建築工事)内に取付する。  
金属プレートは、可動機仕切り用金属プレート(WN3851)を使用すること。  
取付高さ、スイッチ大きさは、建築工事担当者とよく打合せすること。

ロッカー室・雑用	前室
照明器具番号 A	照明器具番号 G
数量 3	数量 1
仮設室1~6	仮設室7
照明器具番号 G	照明器具番号 G
数量 B	数量 1
廊下	
照明器具番号 G	
数量 3	

■ 平面図 1:100

■ 平面図 1:100 異種用途区分型:ALC版厚100(1H):H12建告1399号